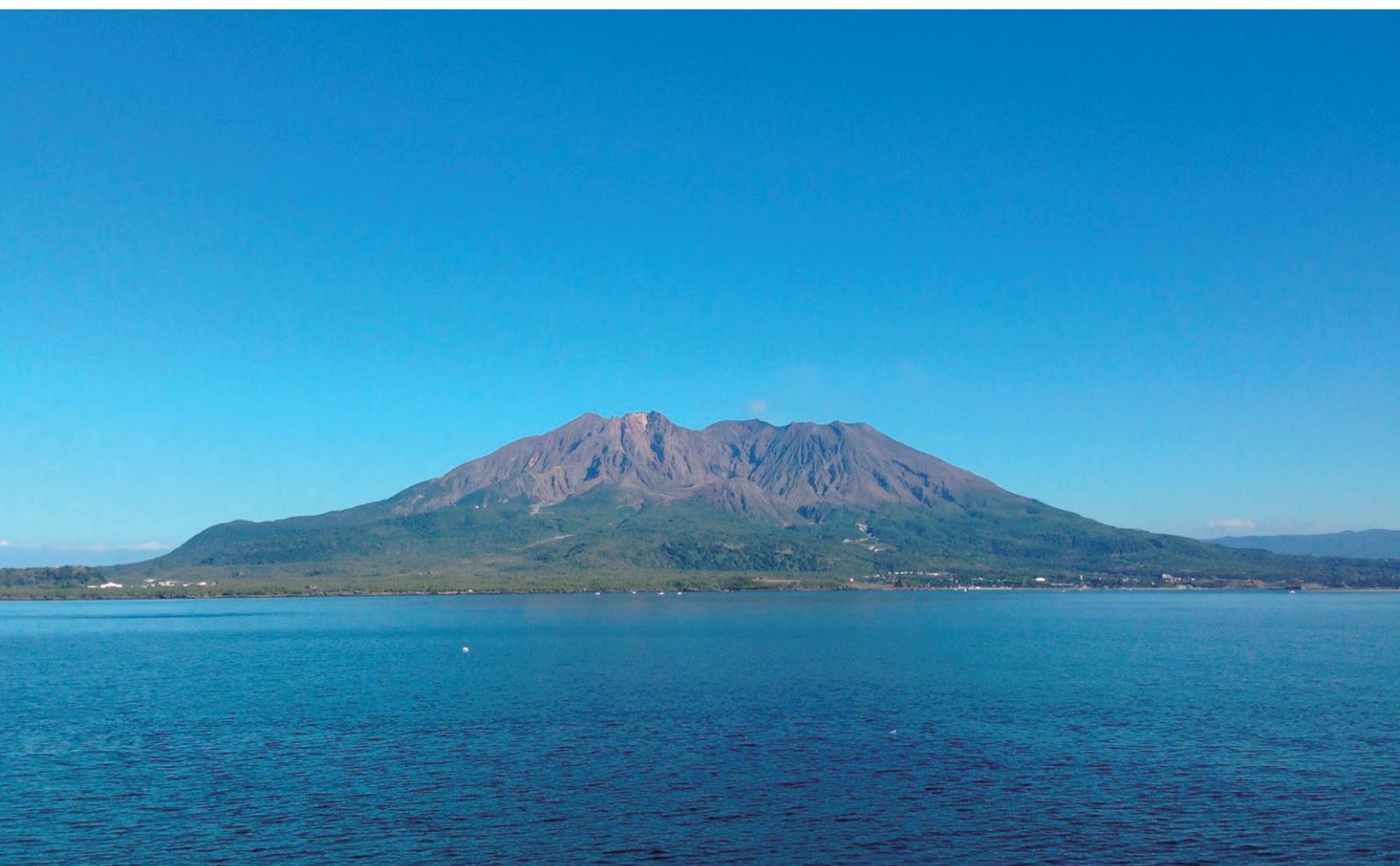


# 公益財団法人 慈愛会 年報

第⑤号

2020年度



# 医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、愛を持って病める人の苦しみを除く。  
慈しみ、愛する心、その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の医療理念です。

患者様を肉親と思い医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。

同時に

全職員の物心両面の幸せを追求します。

公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために  
5つの項目を掲げて質の向上を図っています。

1. 医療を通して地域社会へ貢献します。
2. 良心的な高度医療を提供します。
3. 心に届く慈愛の看護を実践します。
4. 快適な医療環境を提供します。
5. 働きがいのある職場環境を目指します。

# 目次

## 巻頭言

公益財団法人慈愛会 理事長 今村英仁	2
公益財団法人慈愛会 会長 納光弘	3

## 総括

今村総合病院	5
いづろ今村病院	6
谷山病院	7
奄美病院	7
徳之島病院	8
介護老人保健施設 愛と結の街	8
鹿児島中央看護専門学校	9
慈愛会クリニック	10
七波クリニック	10
高麗町クリニック	11
かごしまオハナクリニック	11

## 概要

法人・病院施設概要	12
病院施設別職員数	17
職種別常勤換算人員表	18

## 病院施設指標

今村総合病院	19
いづろ今村病院	26
谷山病院	34
奄美病院	40
徳之島病院	45
介護老人保健施設 愛と結の街	48
高麗町クリニック	53
慈愛会クリニック	54
七波クリニック	55
かごしまオハナクリニック	55
鹿児島中央看護専門学校	56

## 法人業績一覧

論文	58
学会発表	65
研究会・講演会	72
受賞	78
マスメディア	79
公的研究	80

## 医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」	81
慈愛会専門研修プログラム	82

## 部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門	83
リハビリテーション部門	98
薬剤部門	111
画像診断/放射線治療部門	116
臨床検査部門	120
栄養管理部門	125
ソーシャルワーカー部門 (JSW)	130
臨床工学部門 (CE)	142
総務人事部門	144
医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)	148
教育開発センター	150

## 2020年度 新たな取り組み

慈愛会学会立ち上げ	158
-----------	-----

## 一年のあゆみ

慈愛会の新型コロナ対応	161
鹿児島県の要請による人材派遣実績	164

## 編集後記

## ◎ 巻頭言



公益財団法人 慈愛会  
理事長 今村 英仁

2020年度は新型コロナ禍一色の年度となりました。当法人の全事業所は未知のウイルスにどのように対応していけば良いか手探りの状態からこの災禍に対する挑戦が始まりました。1年間を振り返ると当法人の全事業所がしっかりとこの災禍に対応出来たのみならず、日常業務についてもほぼ全ての事業所が例年並みの成果を上げ、中には前年度以上の成果を出した事業所もあったという実績が残りました。その結果、2020年度の年報も大変充実した内容になっています。

改めて、今回の新型コロナ禍は結果として組織の力を試す機会となっているのは間違いありません。ではそもそも今回のような有事に対応するために必要な組織力とは何でしょうか？ 様々な危機管理の視点から今回必要な能力の要諦は、

- ・ 平時に有事を想定した準備を行い有事の際に実行できる能力（BCPの策定と実行）
- ・ 想定外の課題に対して思考停止に陥ることなく、今までの経験と入手可能な最善の情報を加えて解決策をひねり出す能力
- ・ ひねり出した解決策を組織全体で速やかに実行しPDCAを回す能力を有している事、そのために平時から多職種協働のチームワークを築き上げている事

ということになるのでしょうか？

当法人にこれらの能力が十分に備わっているとはまだ言えないかもしれませんが、少なくとも昨年1年間を乗り越えられたという事実から、及第点の能力は備わっていると言えます。新型コロナ禍が収束しない状況のもと、引き続き有事に対応する組織力を向上させる努力を続け、収束後は当法人の今回の軌跡をしっかりと記録していくことが大事になります。

ここでも年報の役割が大きく発揮されることになるでしょう。

## ◎ 巻頭言



公益財団法人 慈愛会  
会長 納 光弘

今村英仁理事長の絶妙のリーダーシップのもと、慈愛会の全ての組織が一丸となって頑張った一年でした。新型コロナ禍のなかであって、それを乗り越えてここまで前進できたことは、評価に値すると言えましょう。

今村総合病院は帆北修一院長の精力的な取り組みに、全職員がすばらしい答えを出してくれました。新型コロナ禍という、想像を絶する困難の中であって、これを契機にしてさらなる病院の発展につながったことは、特筆すべきことでした。コロナ禍の制約のなかでも、病院見学の学生が鹿児島大学からのみならず、県外の大学からも多数来てくれたことも、今村総合病院の底力を示すものと言えましょう。

いづろ今村病院も黒野明日嗣院長によりさらなる飛躍をとげつつあります。在宅支援の視点からコロナ禍を乗り越えたと思います。福迫剛院長も谷山病院をコロナ禍から守り抜き、次への発展の土台を築きました。杉本東一名誉院長も奄美病院の、さまざまな困難に解決策を見出しました。末満純一院長は徳之島病院を本年度もさらに発展させました。野村秀洋施設長は介護老人保健施設愛と結の街をコロナ禍から守り発展させました。鹿児島中央看護専門学校も今村英仁校長のもとで、コロナ禍にもかかわらず学生への対面授業を様々な工夫で実現させています。また、国家試験の合格率も3年課程で100%を保っています。慈愛会クリニック（今村尚子院長）、七波クリニック（鮫島久子院長）、高麗町クリニック（下本地優院長）、かごしまオハナクリニック（林恒存院長）に於いてもこの一年は大きな発展がありました。

今村理事長のリーダーシップのもと、全職員が、スクラムを組んで頑張っている姿に私は感動を禁じえません。

皆でさらなる夢の実現に向けて頑張りますので、皆さま方のご支援よろしく願いいたします。

# 総 括

## 今村総合病院

院長 帆北 修一



2020年の今村総合病院の言葉として、**不将不逆**（莊子）を選びました。

2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症に対する対応が最優先となり、感染状況が日々刻々と変化し、対策もそれぞれの状況で変更いたしました。病院として瞬間的な決断が必要とされる場面がありましたが、病院全体で様々な局面に対応していただきました。職員の皆さんは医療人としての誇りをもって地域の皆さんのための医療提供を行っていただいたと思います。

2020年4月以降、大型の移設・改修工事や様々な行事が感染拡大で中止となりましたが、地域連携室の職員を中心に連携先クリニックへの訪問を行い、「女性医師の会」を設立して少しでも職場環境を整えるための意見交換の場を設定いたしました。「働き方改革」が社会全体の課題となっている中、「医師の働き方改革」についても進行中で、BCP（Business Continuity Plan:事業継続計画）の導入も行っています。

さて新型コロナウイルス感染症に関してですが、2月には当院でも対応を始めました。サージカルマスクを始めとするPPE（個人防護具）を総務課で中央管理としました。その後各方面から寄贈をいただき、この場で御礼申し上げます。新型コロナウイルス対策会議を毎週開催し、病院としての方針を検討・決定し職員全員へ通知いたしました。GW明けの感染拡大を想定してハード面・スタッフの確保等受け入れ準備をしておりましたが、7月に鹿児島市で100名超のクラスターが発生し、当院でも受け入れを開始いたしました。動線の問題で、スポーツ整形外科外来・腎臓内科外来の移設を行いました。

7月以降離島をはじめ、鹿児島市内外でクラスターの発生があり、当院の吉森みゆき看護師長（感染管理認定看護師、鹿児島県対策本部の一員）が、鹿児島県や鹿児島県看護協会の要請で与論島をはじめ現場での活動に協力されました。11月には「発熱者外来」を設置し、2021年3月には医療従事者へのワクチンの接種を開始しました。ワクチンに関しては基本型接種施設に指定され、2021年6月現在高齢者へのワクチン接種を行っております。

経営的には新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、いくつかの対策を行いました。2020年4月の診療報酬改正での地域医療体制確保加算（救急車の受け入れ台数年間2000台以上）を取得し、経費節減のための努力が可視化できるように運営費管理委員会で確認を始めました。5月からは遠隔システムでの院内多会場での研修や録画研修による後日研修の実施を開始し、8月にはWeb会議システムが使用できるようにしました。「品質向上会議」では委託業者との連携を強化しました。11月に「外来のあり方検討プロジェクト」を開始し外来の立ち位置等を検討しております。本当に大変な1年でしたが、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業を含め、国・県からの補助をいただくことができ、2020年度は赤字にはなりませんでした。

さて2021年の今村総合病院の言葉として、**和光同塵**（老子）を選びました。現在は100年に一度といわれる新型コロナウイルス感染症により世界が激変している時期です。今村総合病院においても、大きな転換期だと考えております。新館のアンギオ室は2021年4月1日に運用開始し、旧館の内装工

事（IVR-CTの導入、皮膚科外来の移設等々）が進行中です。2021年1月に急性期の病床をいづろ今村病院から15床移床し、4月から回復期リハ病棟を14床増床して全体で428床となりました。循環器内科が2月から、脳神経外科・泌尿器科が4月から1名増員となり、耳鼻科が鹿児島大学からの非常勤の先生方を中心とした体制となりました。消化器内科は4月から鹿児島大学からのメンバーを中心に、IBDセンターもいづろ今村病院より移設した新体制となりました。救急車は総合内科を中心に年間3000台を受け入れ、手術件数が年間2200件程度、放射線治療（トモセラピー）も増加傾向で年間約3700件、抗がん剤による外来化学療法は年間約1900件でした。脳卒中センターでは、緊急入院がスムーズに行われ血栓除去術も約20例でした。血液内科は移植を含めて全国的にも質の高い診療を提供し、泌尿器科の結石センターは九州でも有数の治療数でした。消化器外科・スポーツ整形外科・眼科・腎臓内科・透析・循環器内科・皮膚科・リハビリテーション科・精神科・歯科等各部門のQualityをますます高いものとし、全ての事に対してスピード感をもってかつ確実に対応していきたいと思えます。教育面では、鹿児島大学からの医学生の院外研修受け入れや初期研修医（毎年10名）の教育は継続して行い、さらに看護師特定行為研修センターの活動は3年目に入りました。災害対策に関して、患者さん・職員・地域の皆さんの安全確保や、感染症を含む大規模自然災害時でも経営的に影響されない病院運営をしっかりと確立していきたいと考えております。法人内各施設を含め地域全体との連携をしっかりと構築し、総合内科・脳卒中センターを中心に病院全体で断らない医療の提供と専門医療・救急医療の提供に心がけていきたいと思えます。職員の皆さんにおいては、一人ひとりが病院の事を意識し、プロである事を自覚する事が大事だと思えます。明るく希望のある職場にするための環境を整備していきたいと思えます。

2021年の干支は、辛丑で「変化が生まれる年で全く別のものから活路がみいだせる」という意味があるそうです。これまでにない何か新しい文化が定着するのではないのでしょうか。2021年度も地域医療に貢献できるように頑張りますので宜しくお願いします。

新型コロナウイルス感染症の収束を祈願して 2021年6月

## いづろ今村病院

院長 黒野 明日嗣



コロナで始まり、コロナで終わる一年でしたが、それにより病院とは何か、いづろ今村病院とは何かを考えさせられる一年でした。個人的には在宅療養支援病院となっていたからこそ、在宅の視点を持つことができ、だからコロナ禍によって当院は慢性期という疾患を在宅含めてみることであれば、将来も安定して運営できると確信するに至りました。

当初はコロナという未知の病気に対する不安も強かったのですが、公益財団法人としての役割、今村総合病院との機能分担から帰国者・接触者外来を開始し、補助金をもらいながら環境を整備し、スタッフのサポートをもらって発熱者外来も継続することができました。最悪の事態を考えて感染症を隔離できる病棟も備えましたが、幸いにも2021年4月現在使うことなく経過しています。

1月には15床減るという当院にとっては予想外の大変なことが起こりましたが、それでもスタッフの頑張りや後半良い結果が残せたと思えます。財務的には厳しい一年でしたが、病院の将来あるべき姿が見えたことと、提示された病院の状況をもとに自ら考えて行動してくれる人が増えたのも2020年度の大きな収穫でした。スタッフの来年度の活躍が楽しみです。

## 谷山病院

院長 福迫 剛

2020年度の谷山病院は、順調とは言い難い一年でした。原因は、新型コロナウイルス。外泊を繰り返さずに早めに退院にしたり、外出ができないからと早めに退院したり、入院を控えたり、県外との接触のあった患者さんの入院には慎重になったりし、さらに、新型コロナ病棟に人手を取られた部署ではマンパワーが低下し無理が利かなくなったりして、稼働率が低下しました。そのため、診療収入は減りましたが、それを補う補助金のお陰で、収益は何とか維持できました。

その他は、精神科救急の地域拠点病院として時間外を242件（内151件入院）受け入れたり、認知症疾患医療センターとしてかかりつけ医や地域包括支援センターと連携を図ったり、結核の代わりに新型コロナウイルス感染症を合併した精神障害者13名を受け入れたり、社会復帰施設と連携して長期入院患者さんの地域移行・地域定着を支援したりと、いつものように頑張りました。職員全員が患者さんのため、慈愛会のために、一生懸命働きました。結果は、数字にも表れていると思います。

2021年度も結果が残せるように、数字に表れない部分も含めて、努力を継続していきたいと思っています。

## 奄美病院

名誉院長 杉本 東一



2020年度は、慈愛会第2次マスタープラン（中長期5カ年計画）のステージ4（4年目）の年であり、引き続き精神科版地域包括ケアシステムの構築と充実を推し進めるため、重点目標として以下の3点を掲げました。

- ① 5年超の長期入院患者の計画的な退院促進（2020年度目標7名）
- ② 精神科急性期治療病棟における早期退院促進（在宅復帰率60%の維持）
- ③ 働き方改革の推進
  - (1) 電子カルテの円滑な導入による各種専門職の負担軽減
  - (2) 病床再編成による業務効率化と良質なサービス提供の両立
  - (3) 訪問看護モバイルシステムの検討

2020年度は奄美においてもコロナ禍の一年でしたが、職員一人一人が自覚と対応力をもって職務にあたり病院運営に大きな支障なく終えられたことは不幸中の幸いでした。

そのような中、重点目標について評価、検証してみますと、①・②については例年通り継続して達成できました。③については10月よりオーダーリングシステム導入により、業務の効率化と各種専門職の負担軽減に繋がり、奄美病院グループの段階的IT化の基盤を得ることができました。以上、重点目標については概ね達成することができましたが、引き続き病床利用率の低迷という課題が残り、結果として年度予算は未達成に終わりました。この課題の克服には、地域・行政・病診・施設等の連携が重要と考えられ、今後はその強化に取り組んでいきたいと思っています。

## 徳之島病院

院長 末満 純一



離島の精神科として長年慢性的な医師不足に悩んで来ましたが、常勤医として一人の先生を福岡からお迎えすることが出来、4名の常勤医と3名の非常勤医で診療に従事することが出来医師不足からは解放されました。しかし先頭で働いてもらっている肝心な看護部が毎月、毎月綱渡り状態で例の如く慈愛会の他施設からの「人事交流」に頼らないといけない状態でした。誠にありがとうございました。

一方、多職種連携による退院促進も計画通りに実行できましたが、入院患者数が150名を割る状態が続いており経営的に危機感を味わった1年でした。

また2018年から始めた、沖永良部島・与論島への訪問看護はコロナ禍の中、順調に行うことが出来、地域からもいい評価を頂いております。

次にミャンマーからの技能実習生については、着実に日本語や介護技術を習得してくれています（現在の母国の情勢に家族への思いを抱えながら、大変だろうと思いますが）。同様に「開かれた病院」としての、作業療法士実習生や地元の学生さんのインターンシップの受け入れも継続することができました。

最後に「働き方改革」の一環としてオーダーリングシステムの導入に12月から着手し、2021年4月1日からの実施にこぎ着けました。少しでもスタッフの負担が軽減すればと期待しています。

ほんとうに皆さん有り難うございました！

## 介護老人保健施設 愛と結の街

施設長 野村 秀洋



今年度も昨年同様に「超強化型老健」としての更なる機能アップを目標に、1. 在宅復帰、在宅療養支援のための地域拠点となる施設、2. リハビリテーションを提供する機能維持-改善の役割などを担う施設として→「地域包括ケアシステムの拠点：街創り」に取り組みました。

本年度はコロナ災禍の中で乗り越える事が出来て、入所利用率も年間95.4%の高稼働率を維持できた事や笹貫訪問看護ステーション愛の街の実績も利用者数289名/3月、訪問件数も1,162名/3月と増加し、谷山病院訪問看護室との合併の効果が見られました。また超強化型老健としての評価（在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価70%以上）も76%の指標を維持取得出来ています。

さらに「デイサービスはなぶさ」の跡地を利用して、老健の入所者に対して、①退所後も安心出来る住み慣れた環境（住まい、ケア体制）を提供することで、シームレスな支援体制を構築出来る、②在宅復帰の課題解決に向けたトライアルの場として活用出来る、といった目的を持った住宅型有料老人ホームあいゆいの家を新設することになりました。住宅型有料老人ホームあいゆいの家を2021年4月下旬の開設を目標に、地域や周辺事業所、行政との連携を深めて、地域に根差した施設：管理者兼務中馬健一君を中心に企画しています。

我々は、老健を中心に愛結グループ（居宅介護支援センター・訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・デイサービスセンター・グループホームなど）の多職種協働の下、谷山地区を中心とした「地域包括ケアシステムの拠点」を目指して、地域活動に貢献していく所存です。

「超強化型老健」としての「在宅復帰と生活支援」の機能強化に職員一丸となって取り組み、人生100年時代の生活支援の場として地域の皆様方にご利用頂ければと願っております。

# 鹿児島中央看護専門学校

校長 今村 英仁



3年課程看護科 副校長 久徳 美鈴

3年課程看護科では、2020年度「あらゆる場で主体的に看護を創造、発展させていける看護職者の育成」を事業目標に掲げ、新カリキュラムに向けた教育課程の検討・編成、学生が主体的・能動的に学ぶ教育活動の推進等5つの戦略目標に沿い取り組みを行いました。

コロナ禍で、学生の地域活動参加等の中止、実習の制約等もありましたが、慈愛会関連施設での協力もあり、約70%の実習を臨地で行うことができました。本年度は、ICT環境整備等に力を入れ、遠隔授業等もできました。また、放送大学とのダブルスクール制度の導入に向け準備を進め、学生や慈愛会職員を含め学士（教養）・学士（看護学）の取得を目指す方の支援体制が整備できました。

さらに、新カリキュラムに向けては、指定規則改正の骨子となる能力を見据え、本校が目指すビジョンの策定、教科目の設定等進めることができました。慈愛の心を基盤に「地域医療に貢献できる看護師の育成」に向けて、2021年度はカリキュラム編成の確実な実行に繋げていきます。学生が主体的・能動的に学ぶ教育活動については、本年度からグループ学習を主体とした看護技術演習、シラバスの積極的運用を行い、授業評価の構築に取り組みました。

入学生（定員1.1倍）の確保、鹿児島県内就業率及び国家試験の合格率は100%を達成し、教育活動の成果を得ることができました。

2年課程（通信制）看護科 副校長 南 ひとみ

2年課程（通信制）看護科では、就業経験が7年以上ある准看護師から看護師へのキャリアアップとともに南九州地域の看護の質向上に取り組んできました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため県外への移動制限や実習施設の受け入れ中止等もあり苦難の1年間となりましたが、感染対策の強化や学内実習の工夫などにより乗り切ることができました。

教育目標である「考える力」が身につく看護師養成を目指し、印刷教材による授業や看護過程展開の事例演習を通して自己学習力や問題解決能力強化を進めてきました。教育方法ではフィジカルアセスメントモデルや視聴覚教材を活用した演習・講義、健康教育のグループワークではホワイトボードの活用など工夫した内容に取り組みました。病院見学実習（学内実習も含む）では科学的根拠に基づいた看護について理解を深めました。学びの成果は看護師資格取得にも表れ、合格率は86.7%、2年課程（通信制）の中で全国第2位となりました。2021年度、2年課程（通信制）は最後の年度となります。学校目標「在籍2年で修了、同時に看護師資格取得」の達成を目指していききたいと思います。

## 慈愛会クリニック

院長 今村 尚子



2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応に追われた1年だったように思います。外来患者数も目標を達することができませんでした。コロナウイルス感染をおそれるあまり、薬のみや予約延期を希望する患者様が増加しました。

一方、取り組みを続けている透析予防指導については、指導数は昨年よりやや減少しましたが、指導によるHbA1c、クレアチニン、血圧の改善または維持がみとめられたものの割合は61%～71%を保っています。合併症の予防のためには、毎回地道に指導を続けていくことが重要であることを示していると思います。

収束の時期がみえないウイルス感染を不安に思う患者様の意思を尊重しつつ、安心して受診できる環境と患者様の不安を取り除けるようソフト面でも寄り添っていきけるよう尽力します。

## 七波クリニック

院長 鮫島 久子



糖尿病内科として、診察前に栄養士を含め看護師による問診、療養指導、症例によっては足観察や簡易処置を行い、医師診察を行っています。医師の体制は常勤1名、非常勤5名です。2020年の1カ月平均実患者数は平均1,041名（実人数）でしたが、初診患者数123名、栄養指導件数528件で前年比減少していました。新型コロナウイルス感染症の影響だと思いますが、対面での栄養指導や、他院での検査、ドックを受ける方も減っています。外来での糖尿病教室を2020年4月に実施しましたが、その後再開できませんでした。患者さんと接する時間、空間に制限のある状況が続き、今後糖尿病合併症を含め大きな疾患が増えるのではと心配ですが、制限内でできることを粛々と続けていく予定です。

## 高麗町クリニック

院長 下本地 優



開院から10年を数え（無事順調に実績を重ねる事が出来たことを皆様に感謝いたします）2020年度はクリニックが次の10年に向け新体制を備える1年と捉えていましたが、新型コロナウイルスに煽られて落ち着かない一年で数値目標は初めて予算を下回りました（77%）。

しかしながらそれでも訪問契約100件と黒字経営を維持し得たのはチームとしての成熟の賜物で、コロナ禍にあっても“在宅医療のニーズ”をあらためて実感するものでありました。

また後半には研修医実習も受け入れ、常勤医師補充も実現し、コロナ禍での危機管理、多職種連携、法人内外協調など多くを経験し、今後の飛躍に向けて“我慢と充実の1年”でありました。

## かごしまオハナクリニック

院長 林 恒存



定期的な外来通院者の健康維持・増進、疾病予防、慢性疾患管理、生活の質に関わる健康問題のサポート、そして通院困難な在宅療養者の訪問診療を行っています。オープン時からの定期通院者のほとんどの方に元気に通院継続いただけているのは、かかりつけ医療機関として一番の喜びです。訪問診療の契約者も、法人内だけではなく、法人外の医療機関や福祉関連施設からの依頼の増加をうけて、2020年度末で約100名の在宅療養者を、月平均200回の定期訪問と急病時往診により24時間365日体制で支援しております。

全てにおいてゼロからの試行錯誤で苦勞と不安の絶えなかった2020年度でしたが、オハナの存在意義を見失うことなくスタッフ全員で踏ん張った結果として、開設してちょうど1年目で予算を達成して無理のない事業継続に一定の目途が立ったことは私達にとって大きな成果でした。

2021年度は「量」のみならず「質」にこだわりたいと思います。良質な医療提供に不可欠のスタッフの知識技能向上、業務効率改善への工夫、そして一步先を見据えた設備・人材投資の3点をテーマに「あると助かる診療所」としてさらに存在価値を高められるよう日々精進してまいりたいと思います。

# 概 要

## 公益財団法人 慈愛会

主たる事務所 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号	理事長 今村 英仁 事業所 5病院 1介護老人保健施設 1看護師養成所 4診療所 17併設事業所	職員数 2,395名(2021年3月1日現在) 病床 1,575床 うち病院ベッド数1,475床 介護老人保健施設入所定員100床
従たる事務所 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号		

## 今村総合病院

管 理 者 帆北 修一

所 在 地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町11番23号

T E L 099-251-2221

病 床 数 414床(一般330床、回復36床、精神48床)

(2021年1月 399床→414床へ増床：いづろ今村病院より一般病床15床移設)

標榜診療科 内科、救急科(総合内科)、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、気管食道・耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、放射線科、精神科、病理診断科、麻酔科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科(2021年3月増科)

### 指定医療機関等

- ・臨床研修病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法による医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・労働者災害補償保険法による医療機関
- ・公害健康被害補償法による医療機関
- ・障害者自立支援法による医療機関(更生医療・精神通院医療)
- ・特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・鹿児島県がん診療指定病院

### 学会等認定施設

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定新家庭医療後期研修プログラム
- ・日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・日本血液学会認定専門研修認定施設
- ・日本HTLV-1学会登録医療機関
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設
- ・日本脳卒中学会専門医制度研修教育施設
- ・日本神経学会専門医制度教育施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本精神神経学会精神科専門医研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設)
- ・日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度(I&A制度)認証施設
- ・日本病理学会病理専門医制度研修登録施設
- ・日本臨床神経生理学会認定施設準教育施設(筋電図・神経伝導分野)
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設

## 概要

- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科—認定カテゴリー1（血液内科）
- ・日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター
- ・日本骨髄バンクならびに日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間骨髄採取認定施設
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- ・日本脳神経外科学会研修プログラム連携施設

### その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.2.0）
- ・日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設
- ・日本診療放射線技師会臨床実習指導施設
- ・痛風協力病院
- ・消化器がん検診精密検査医療機関
- ・特定行為に係る看護師の研修制度指定研修機関
- ・日本専門医機構専門医制度総合診療領域専門研修プログラム

## いづろ今村病院

管 理 者 黒野 明日嗣

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-2600

病 床 数 115床（一般42床、地域包括ケア53床、緩和ケア20床）

（2021年1月 130床→115床へ減床：今村総合病院へ一般病床15床移設）

標榜診療科 内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器外科、大腸・肛門外科、婦人科、放射線科、眼科、緩和ケア内科

### 指定医療機関等

- ・厚生労働省協力型臨床研修指定病院
- ・特定疾患医療指定医療機関
- ・開放型病院
- ・母体保護法指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・母子保健法指定医療機関
- ・緊急指定病院
- ・小児慢性特定疾患医療指定医療機関
- ・生活保護法指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病指定医療機関
- ・人間ドック指定病院
- ・結核予防法指定医療機関

### 学会等認定施設

- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本消化器病学会専門医制度審議委員会認定施設
- ・日本糖尿病学会専門医修練施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設

### その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver.1.1）
- ・日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定（Ver.3.0）
- ・全日病院協会日帰り人間ドック実施施設
- ・人間ドック健診専門医研修施設
- ・鹿児島県救急災害医療情報システム参加登録病院

通所リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-5206

---

概要

---

**指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい**

所在地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号  
TEL 099-226-2600

---

**指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい**

所在地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号  
TEL 099-226-5207

---

**谷山病院**

管理者 福迫 剛

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号

TEL 099-269-4111

病床数 392床

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
  - ・生活保護法指定医療機関
  - ・身体障害者福祉法による医療機関
  - ・被爆者一般疾病医療機関（原爆被爆者援護法）
  - ・難病医療費助成指定医療機関
  - ・結核指定医療機関
  - ・結核患者収容モデル事業（A2病棟5床）
  - ・肝炎治療特別促進事業
  - ・自立支援医療機関（精神通院医療）
  - ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
  - ・精神保健福祉法応急入院指定病院
  - ・医療観察法指定通院医療機関
  - ・鹿児島県指定認知症患者医療センター
  - ・協力型臨床研修病院（医師臨床研修制度）
  - ・精神科専門医制度認定研修施設（日本精神神経学会）
  - ・精神科救急地域拠点病院（鹿児島県）
  - ・災害時支援中心病院（日本精神科病院協会）
  - ・精神科認定看護師教育課程 実習施設（日本精神科看護協会）
  - ・DPAT登録病院（鹿児島県）
- 

**就労支援センター ステップ**

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号  
TEL 099-260-5810

---

**地域活動支援センター ひだまり**

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号  
TEL 099-260-5865

---

**グループホーム しらゆりの郷**

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号  
TEL 099-266-3214

---

**奄美病院**

管理者 杉本 東一

所在地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町170番地

TEL 0997-53-1200

病床数 348床

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver.2.0）
  - ・生活保護法指定医療機関
  - ・原爆被爆者医療法一般疾病医療取扱病院
  - ・精神科専門医制度認定研修施設
  - ・臨床研修医制度臨床研修病院（協力型）
  - ・自立支援医療機関（精神通院医療）
  - ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
  - ・医療観察法にかかる指定通院医療機関
  - ・鹿児島県指定認知症患者医療センター
-

---

概要

---

訪問看護ステーション イルカ  
指定特定相談支援事業所 あゆみ

所在地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番1号  
TEL 0997-57-6750 (イルカ)  
0997-57-6633 (あゆみ)

---

指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま

所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿佐仁金久2838  
TEL 0997-54-8911

---

グループホーム ひまわり

所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿砂田2879番1号  
TEL 0997-54-8787

---

徳之島病院

管理者 末満 純一

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190番地

TEL 0997-83-0275

病床数 206床

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG: Ver.2.0)
  - ・精神保健福祉法第19条の8 (指定病床数8床)
  - ・生活保護法指定医療機関
  - ・医療観察法指定通院医療機関
  - ・自立支援医療機関 (精神通院医療)
- 

グループホーム うんばた

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5210番1号  
TEL 0997-83-2840

---

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長 野村 秀洋 (いづろ今村病院 名誉院長)

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号

TEL 099-260-6060

入所定員数 100床

---

指定居宅介護支援センター 愛と結の街

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号

笹貫訪問看護ステーション 愛の街

TEL 099-267-6818 (居宅)

ヘルパーステーション 結の街

099-210-0150 (訪問看護)

099-267-0177 (ヘルパー)

---

グループホーム 愛と結の街

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番28号

デイサービスセンター あしたの風(認知症対応型)

TEL 099-267-0533 (グループホーム)

099-263-6630 (あしたの風)

---

デイサービス はなぶさ  
(通常規模型通所介護事業所)

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号

TEL 099-284-5663

---

---

概要

---

**慈愛会クリニック**

管 理 者 今村 尚子  
標榜診療科 内科, 糖尿病内科

所 在 地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号1F  
T E L 099-239-0588

**七波クリニック**

管 理 者 鮫島 久子  
標榜診療科 内科

所 在 地 〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町51番1号  
ニシムタスカイマーケット鴨池内テナント  
T E L 099-284-0610

**高麗町クリニック**

管 理 者 下本地 優  
標榜診療科 内科  
・在宅療養支援診療所

所 在 地 〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町39番11号  
T E L 099-812-7712

**かごしまオハナクリニック**

管 理 者 林 恒存  
標榜診療科 内科

所 在 地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号  
T E L 099-263-8787

**鹿児島中央看護専門学校**

校 長 今村 英仁

**3年課程看護科**

所 在 地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町12番7号  
T E L 099-227-5330

**2年課程（通信制）看護科**

所 在 地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号4F  
T E L 099-226-1201

**病院施設別職員数** 2021年3月1日現在 ( ) は非常勤・パート

	医師		看護部		診療支援部		事務員		その他職員		合計：実働
今村総合病院	108	(63)	454	(30)	212	(10)	101	(15)	21	(14)	1028
七波クリニック	1	(5)	4	(4)	1		5	(2)			22
かごしまオハナクリニック	1	(2)	3				3				9
いづろ今村病院	26	(25)	136	(13)	66	(3)	43	(8)	4	(2)	326
慈愛会クリニック	1	(4)	3	(2)	1		4				15
谷山病院	9	(26)	176	(10)	64	(8)	22		4		319
就労支援センターステップ			3		9		2				14
地域活動支援センターひだまり			2		4		1		(1)		8
グループホームしらゆりの郷			3		3		1		(1)		8
奄美病院	6	(7)	129	(2)	46	(10)	14		7	(2)	223
指定特定相談支援事業所あゆみ			2		3						5
訪問看護ステーションイルカ			8				1				9
グループホームひまわり			3								3
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま			12				1				13
徳之島病院	4	(4)	71	(7)	29	(3)	10		9	(5)	142
グループホームうんばた			1				1	(1)			3
介護老人保健施設愛と結の街	2	(1)	46.2	(12)	24.6	(5)	5	(1)	4	(2)	102.8
居宅介護支援センター 愛と結の街			7.2				1				8.2
グループホーム愛と結の街			14	(1)							15
ヘルパーステーション結の街			5	(8)							13
デイサービスあしたの風			5	(1)							6
デイサービスはなぶさ			6	(3)							9
笹貫訪問看護ステーション愛の街			14	(3)	2		1				20
高麗町クリニック	1	(1)	3		3		4				12
鹿児島中央看護専門学校							5	(1)	23	(1)	30
法人事業本部	2		4				26				32
合計	161	(138)	1114.4	(96)	467.6	(39)	251	(28)	72	(28)	2395

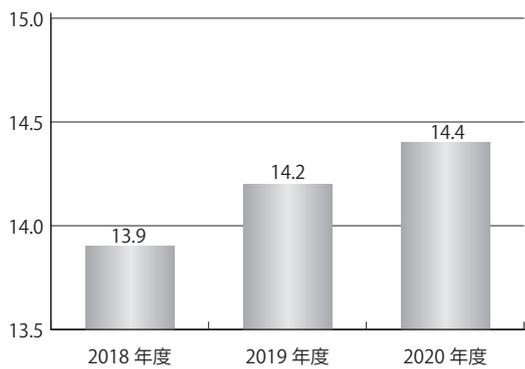
職種別常勤換算人員表（年度推移：人）

	職 種	2018 年度	2019 年度	2020 年度
1	医 師	168.4	176.7	184.8
2	歯 科 医 師	1.6	1.7	1.6
	診 療 部	170.0	178.3	186.4
3	保 健 師	6.1	6.0	6.4
4	助 産 師	16.0	15.6	13.8
5	看 護 師	763.3	781.6	803.4
6	専 任 教 員	23.6	24.4	24.3
7	准 看 護 師	53.3	52.2	48.5
8	看 護 助 手	104.7	116.4	118.5
9	介 護 福 祉 士	180.7	172.8	168.3
10	介 護 支 援 専 門 員	12.4	12.2	10.0
11	ケ ア ワ ー カ ー	5.3	0.8	0.0
12	ヘルパー	4.3	2.6	2.1
13	歯 科 衛 生 士	2.0	3.0	3.0
	看 護 部	1171.8	1187.4	1198.2
14	薬 剤 師	45.9	44.6	46.1
15	薬 剤 師 助 手	10.5	11.7	13.4
16	診 療 放 射 線 技 師	25.6	27.1	28.6
17	臨 床 検 査 技 師	38.1	38.8	40.7
18	一 般 臨 床 検 査 士	0.0	0.0	0.0
19	臨 床 検 査 助 手	1.7	1.7	1.7
20	臨 床 心 理 士	7.1	7.6	6.6
21	臨 床 心 理 技 術 者	1.0	1.0	1.0
22	理 学 療 法 士	60.0	63.0	63.2
23	作 業 療 法 士	54.7	50.8	53.9
24	作 業 療 法 士 助 手	0.0	0.0	0.0
25	言 語 聴 覚 士	16.8	19.8	20.0
26	音 楽 療 法 士	0.3	0.3	0.4
27	リ ハ ビ リ 助 手	5.1	4.5	4.6
28	臨 床 工 学 技 士	16.2	17.7	18.0
29	内 視 鏡 検 査 士	3.0	3.5	3.0
30	視 能 訓 練 士	3.8	4.1	3.1
31	管 理 栄 養 士	28.2	26.9	26.3
32	栄 養 士	17.0	16.6	14.5
33	調 理 師	57.8	60.9	63.0
34	調 理 員	22.9	25.6	26.1
35	社 会 福 祉 士	17.9	19.8	13.9
36	セーフティーマネージャー	0.0	0.0	0.0
37	精 神 保 健 福 祉 士	37.6	43.1	45.9
38	精 神 保 健 福 祉 士 助 手	2.0	0.0	0.0
39	柔 道 整 復 師	0.0	0.0	0.0
	診 療 支 援 部	473.7	489.2	493.9
40	事 務 員	222.5	235.5	239.6
41	診 療 情 報 管 理 士	11.6	12.0	12.8
42	シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	5.2	5.0	5.0
43	売 店	6.0	5.3	4.8
44	施 設 係	33.8	35.1	35.0
45	世 話 人	0.0	0.0	0.0
46	保 育 士	16.5	18.4	18.6
47	保 育 士 助 手	1.2	0.6	7.8
48	ピ ア サ ポ ー タ ー	1.1	1.0	1.0
49	そ の 他	0.0	0.0	0.0
	事 務 部	297.6	312.9	324.6
	合 計	2113.2	2167.7	2203.1

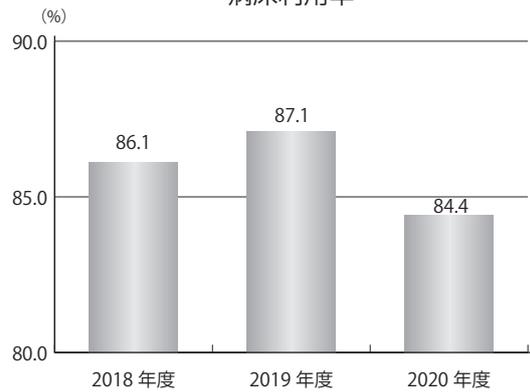
# 病院施設指標

## 今村総合病院

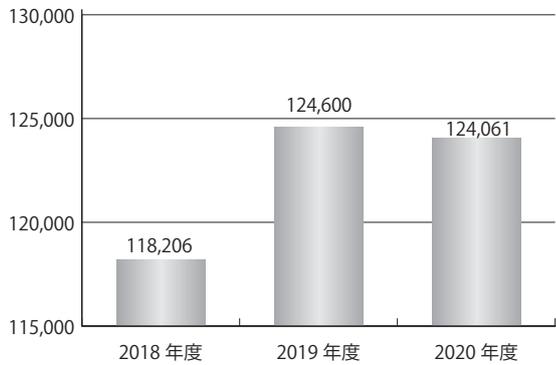
平均在院日数 (単位: 日)



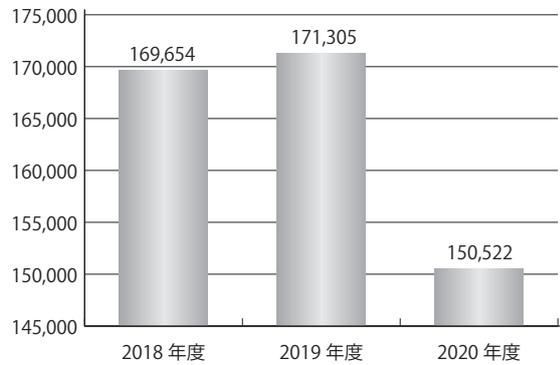
病床利用率 (%)



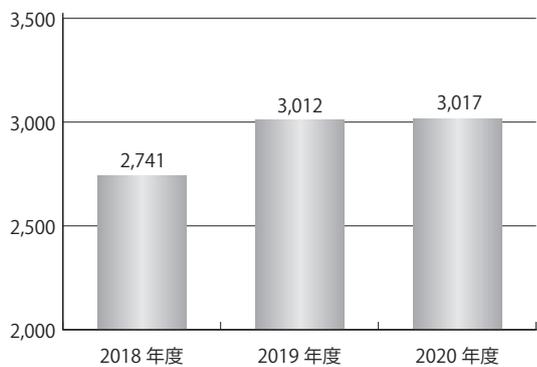
延べ入院患者数 (単位: 人)



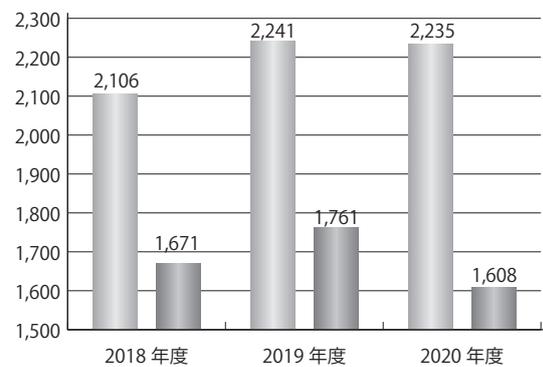
延べ外来患者数 (単位: 人)

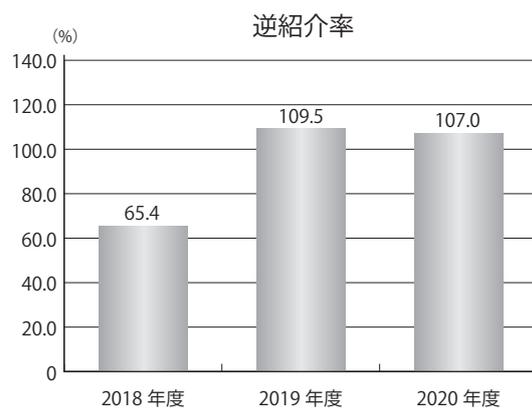
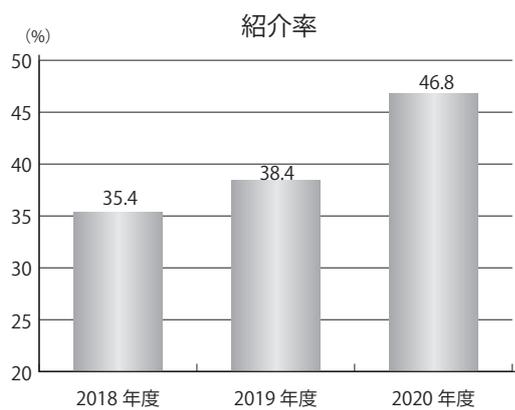


救急車受け入れ台数 (単位: 台)

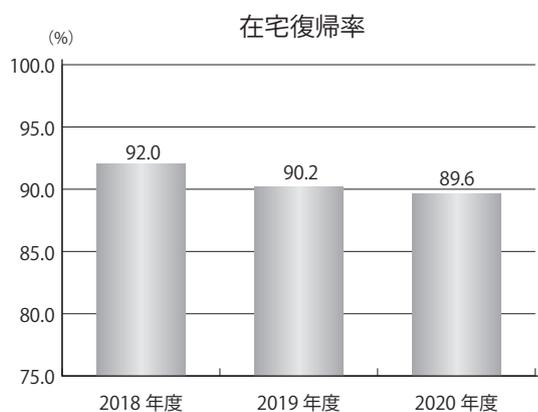


手術件数 (単位: 件) ■ 総数 ■ 全麻



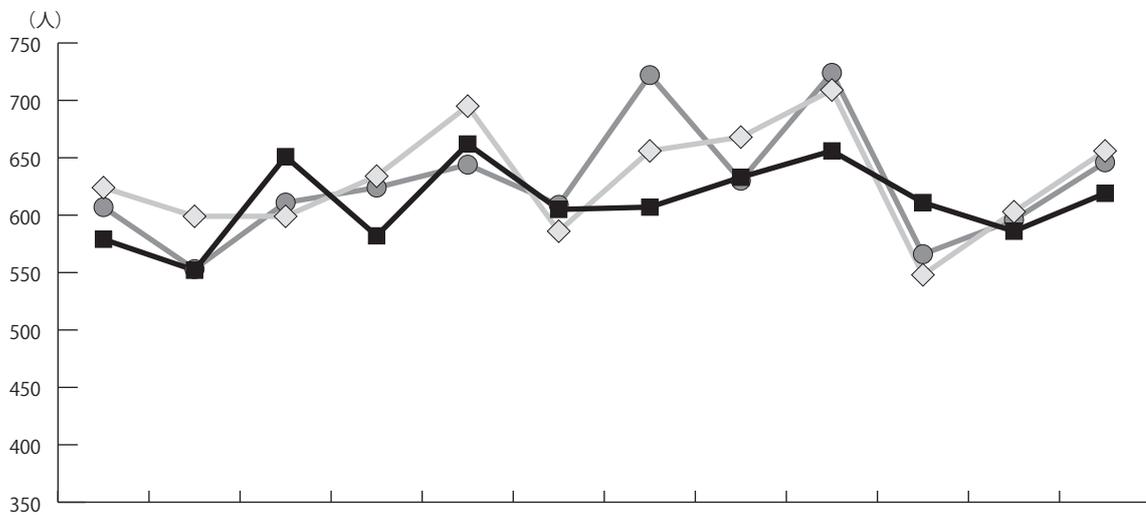


※紹介率、逆紹介率は2019年度より計算方法を変更（地域医療支援病院の計算式による）



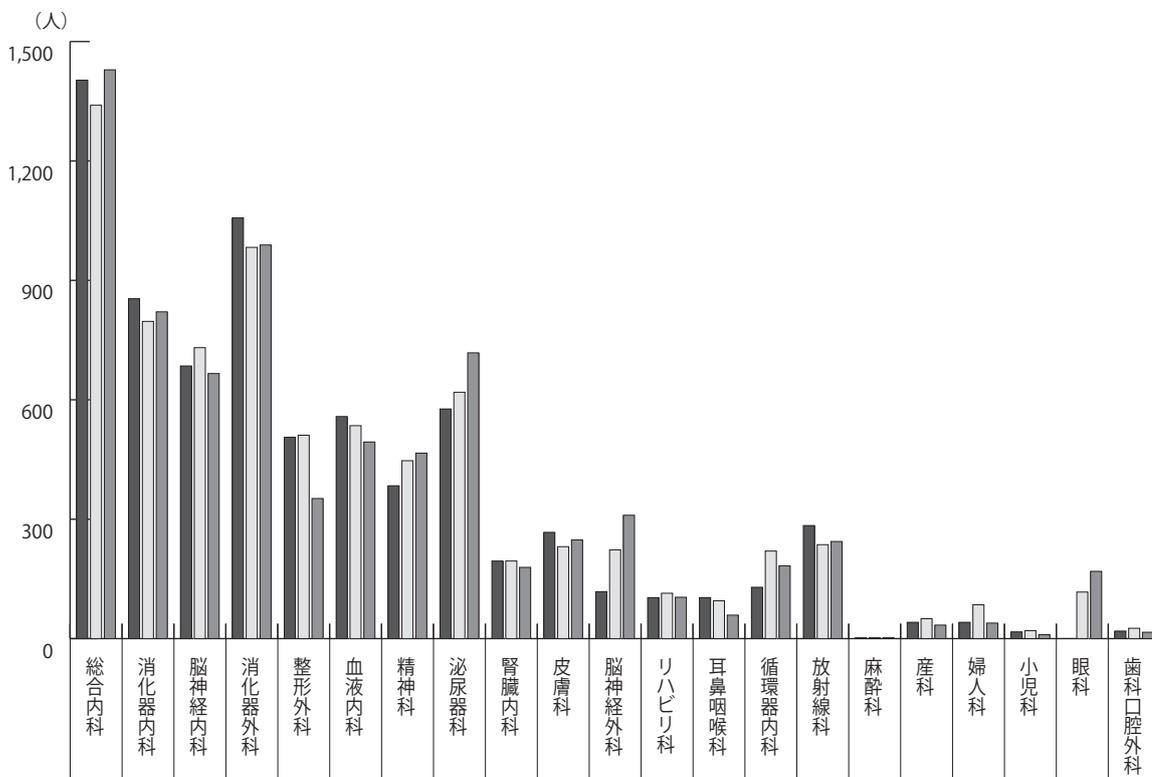
## 患者動向

年度別月別退院患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■ 2018年度	579	552	651	582	662	605	607	633	656	611	586	619
◇ 2019年度	624	599	599	634	695	586	656	668	709	548	603	656
● 2020年度	607	553	611	624	644	609	722	630	724	566	596	646

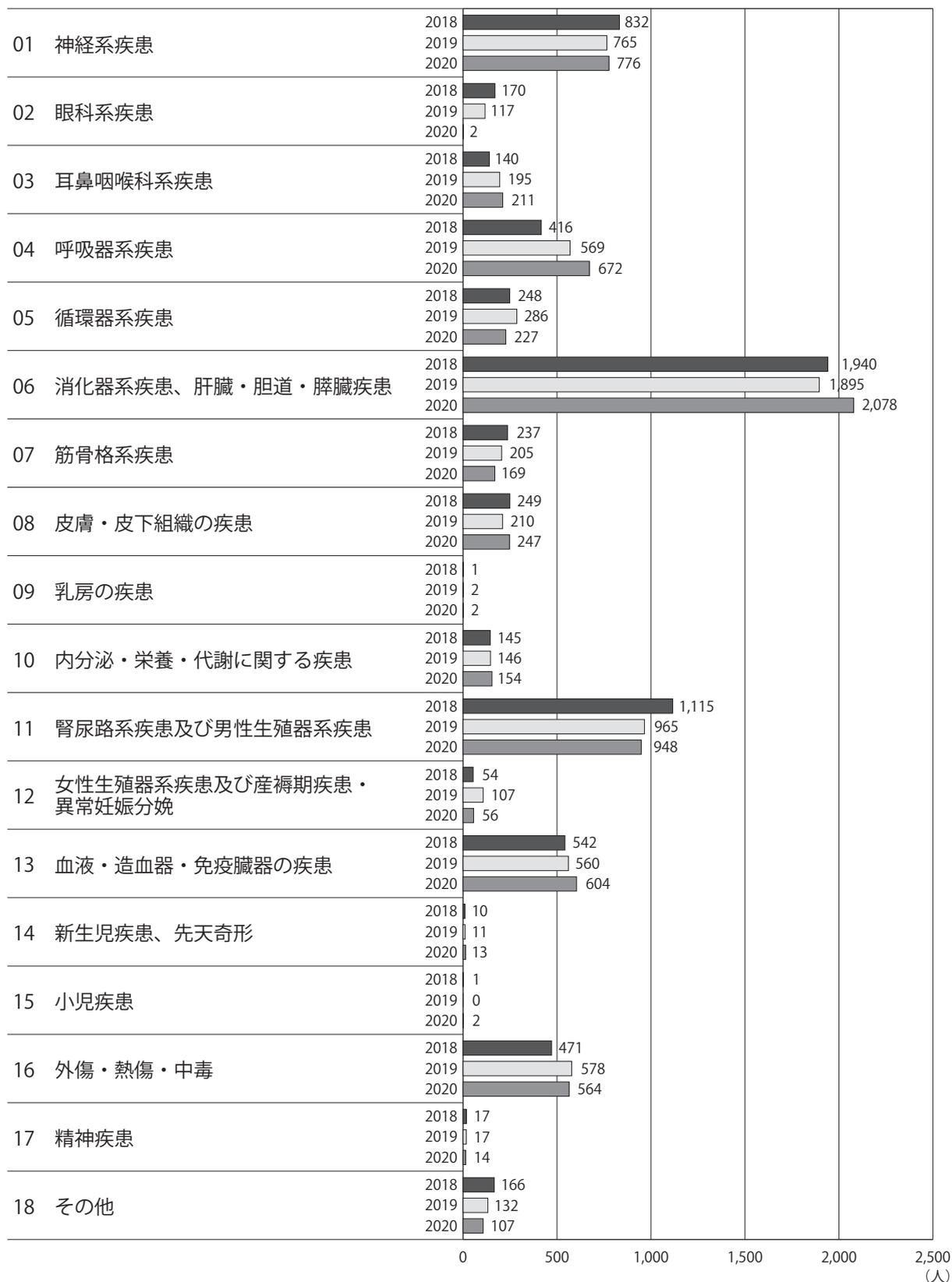
年度別診療科別退院患者数



診療科	2018年度	2019年度	2020年度
総合内科	1,403	1,340	1,429
消化器内科	854	797	821
脳神経内科	685	731	666
消化器外科	1,057	983	989
整形外科	506	511	352
血液内科	558	535	494
精神科	384	447	466
泌尿器科	577	619	718
腎臓内科	195	195	179
皮膚科	267	231	248
脳神経外科	118	223	310
リハビリ科	103	114	104
耳鼻咽喉科	103	95	59
循環器内科	129	220	183
放射線科	284	236	244
麻酔科	2	2	2
産科	41	50	34
婦人科	41	85	39
小児科	17	20	10
眼科	0	117	169
歯科口腔外科	19	26	16

## DPC 統計 (MDC、ICD)

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2018年度)  
2018年4月～2019年3月までの退院患者

大分類	総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	歯科口腔外科	計
1 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	130	5	18	10	0	0	54	1	2	3	0	0	0	13	5	1	0	3	0	0	245
2 新生物 (C00-D48)	28	2	444	293	3	149	77	4	214	10	0	2	0	491	34	0	18	0	0	3	1,772
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	22	1	47	3	0	0	4	0	2	0	0	0	3	9	5	0	2	0	0	0	98
4 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	76	3	1	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	9	19	0	0	4	0	0	117
5 精神および行動の障害 (F00-F99)	7	0	0	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	104	0	0	0	0	0	118
6 神経系の疾患 (G00-G99)	38	1	0	17	7	0	0	60	0	128	5	0	0	0	18	0	0	0	2	0	276
7 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
8 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	6	0	0	0	3	0	0	0	0	55	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	65
9 循環器系の疾患 (I00-I99)	72	24	1	29	47	6	4	0	14	440	79	0	112	1	15	0	0	0	0	0	844
10 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	564	4	19	3	0	0	1	36	21	5	5	1	8	2	49	0	0	7	0	0	725
11 消化器系の疾患 (K00-K93)	86	8	1	482	0	1	0	0	16	4	0	0	1	493	60	0	1	0	0	11	1,164
12 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	45	2	4	0	0	0	120	1	1	2	1	0	0	1	11	0	0	1	0	3	192
13 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	71	8	0	2	0	0	3	1	2	4	0	64	0	0	9	0	0	0	0	0	164
14 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	190	136	6	0	0	384	0	0	5	7	0	0	2	5	31	0	18	0	0	0	784
15 妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	32	0	0	0	0	33
16 周産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
17 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	2	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	9
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	20	0	0	2	0	16	0	0	1	4	0	0	1	0	6	0	0	2	0	0	52
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	46	0	9	10	57	20	3	0	3	18	11	417	2	10	15	0	1	0	0	2	624
20 傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	20	1	0	1	0	0	0	52
計	1,403	195	558	854	118	577	267	103	284	685	103	506	129	1,057	384	41	41	17	2	19	7,343

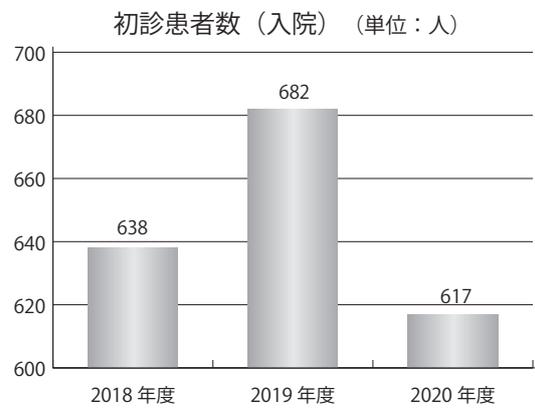
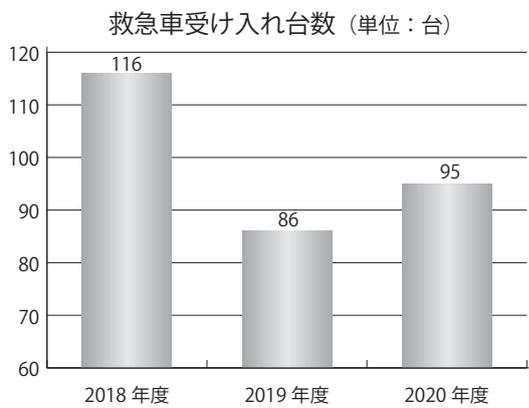
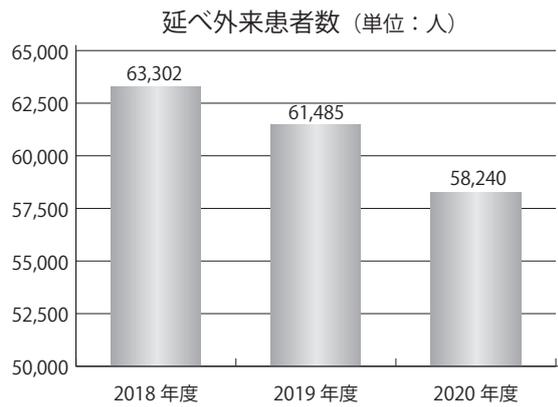
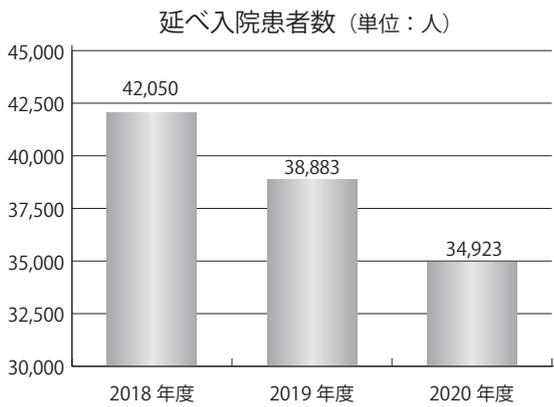
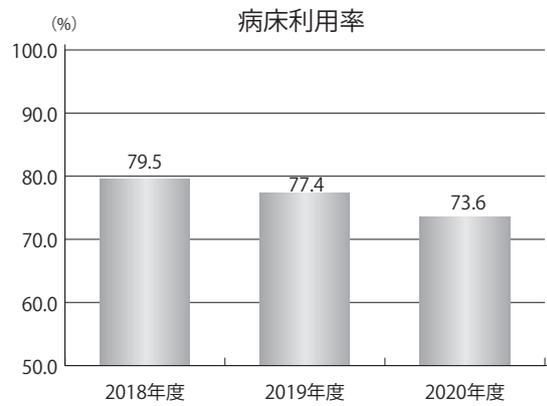
ICD-10 大分類による診療科別統計 (2019年度)  
2019年4月～2020年3月までの退院患者

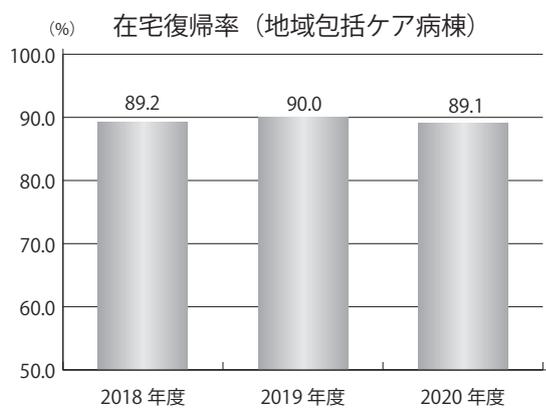
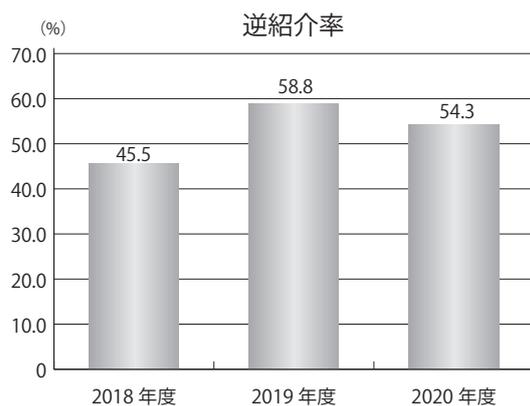
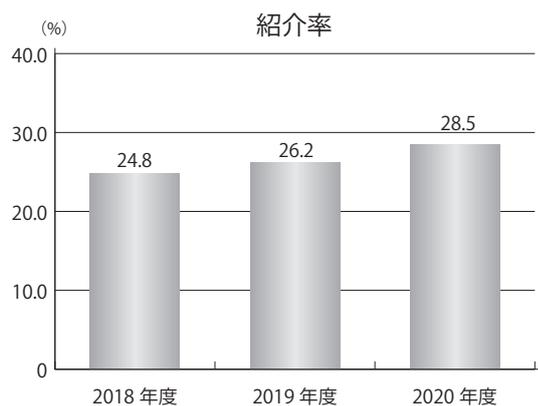
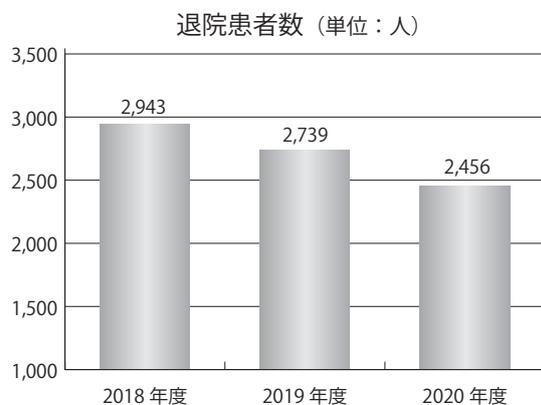
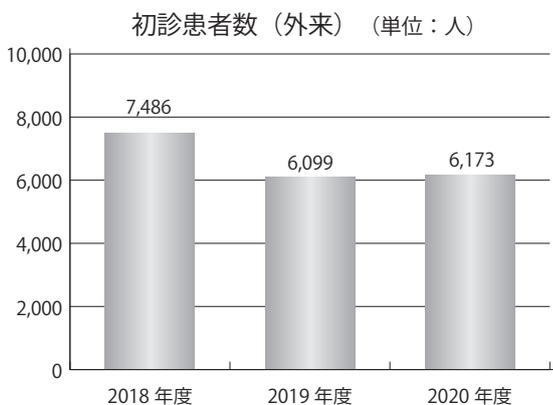
大分類	総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口腔外科	計
1 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	132	4	20	22	1	0	49	1	2	8	2	0	1	6	11	1	1	0	0	0	2	263
2 新生物 (C00-D48)	27	0	446	239	17	137	73	7	178	3	1	1	0	439	32	0	61	0	0	0	1	1,662
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	22	2	25	4	0	0	2	0	1	0	1	0	3	4	5	0	2	0	0	0	0	71
4 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	65	4	1	2	3	1	0	0	1	22	0	0	0	8	18	0	0	6	0	0	0	131
5 精神および行動の障害 (F00-F99)	15	0	0	8	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	121	0	0	1	0	0	0	148
6 神経系の疾患 (G00-G99)	32	0	2	11	17	1	0	59	0	136	5	2	1	1	27	0	0	0	1	0	0	295
7 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	18	0	0	0	0	113	0	133
8 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	4	0	0	0	5	0	0	0	0	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58
9 循環器系の疾患 (I00-I99)	73	14	4	25	98	5	2	0	13	467	93	0	194	3	5	0	0	0	0	1	0	997
10 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	508	13	13	8	0	1	1	26	20	7	5	0	8	5	62	0	0	9	0	0	0	686
11 消化器系の疾患 (K00-K93)	86	9	3	457	0	1	0	1	18	1	1	0	1	478	55	0	0	0	0	0	14	1,125
12 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	30	0	1	0	0	1	91	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	5	137
13 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	99	6	1	2	0	0	5	0	1	4	2	70	0	2	3	0	0	0	1	0	0	196
14 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	191	131	2	4	1	439	1	0	1	2	0	0	6	8	38	0	20	1	0	0	0	845
15 妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	0	43
16 周産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	0	0	0	8
17 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	17	1	0	0	0	16	0	1	1	3	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	51
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	39	9	7	14	81	17	7	0	0	26	4	409	6	9	33	0	0	0	0	3	4	668
20 傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	17	0	1	0	0	0	0	0	56
計	1,340	195	535	797	223	619	231	95	236	731	114	511	220	983	447	50	85	20	2	117	26	7,577

## ICD-10 大分類による診療科別統計 (2020年度) 2020年4月～2021年3月までの退院患者

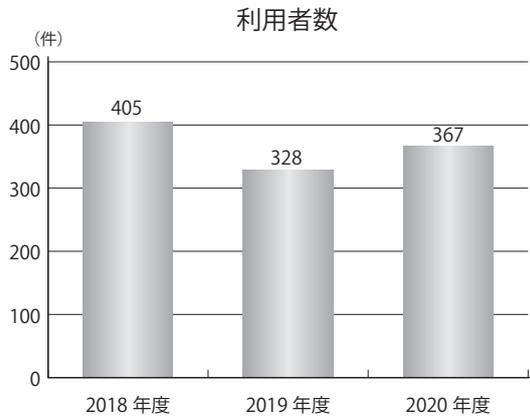
大分類	総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口腔外科	計
1 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	153	3	11	14	0	1	69	0	0	2	0	0	0	9	9	0	1	1	0	0	1	274
2 新生物 (C00-D48)	35	1	411	269	20	193	62	1	176	3	0	3	4	405	46	0	25	0	0	0	1	1,655
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	27	1	22	6	0	1	4	0	5	0	0	0	0	5	10	0	0	0	0	0	0	81
4 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	74	6	3	3	3	1	1	0	1	5	0	0	2	9	15	0	0	7	0	0	0	130
5 精神および行動の障害 (F00-F99)	19	0	2	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	171
6 神経系の疾患 (G00-G99)	39	0	1	1	42	0	0	41	2	101	2	0	2	1	16	0	0	0	2	0	0	250
7 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	166	0	191
8 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	11	0	0	0	3	0	0	0	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
9 循環器系の疾患 (I00-I99)	83	17	2	6	129	6	4	0	13	481	96	0	165	1	12	0	0	0	0	1	0	1,016
10 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	351	3	7	2	2	1	2	15	8	4	1	0	2	4	47	0	0	0	0	0	0	449
11 消化器系の疾患 (K00-K93)	97	12	8	461	0	2	2	0	31	0	1	0	2	499	71	0	1	1	0	0	11	1,199
12 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	43	0	0	0	0	2	99	1	1	0	0	2	0	1	9	0	0	0	0	0	2	160
13 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	164	4	1	0	1	2	4	0	0	6	0	60	0	2	12	0	0	0	0	0	0	256
14 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	248	126	6	3	2	449	0	0	2	1	0	0	3	9	23	0	11	0	0	0	0	883
15 妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	1	0	0	0	0	30
16 周産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
17 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	0	3	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	11
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	23	0	0	39	0	41	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	110
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	60	3	10	15	106	16	1	0	3	26	4	260	3	23	27	0	0	0	0	2	1	560
20 傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	27	0	18	0	4	0	0	0	0	0	60
計	1,429	179	494	821	310	718	248	59	244	666	104	352	183	989	466	34	39	10	2	169	16	7,532

# いづろ今村病院

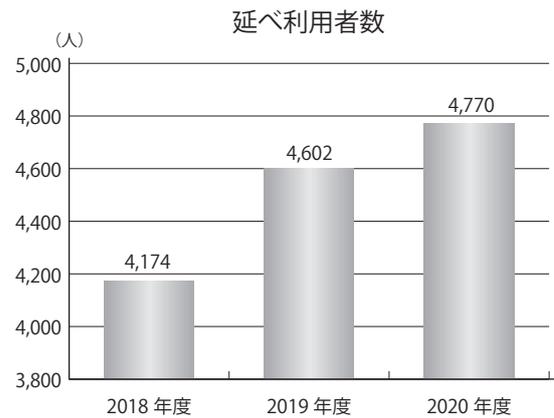
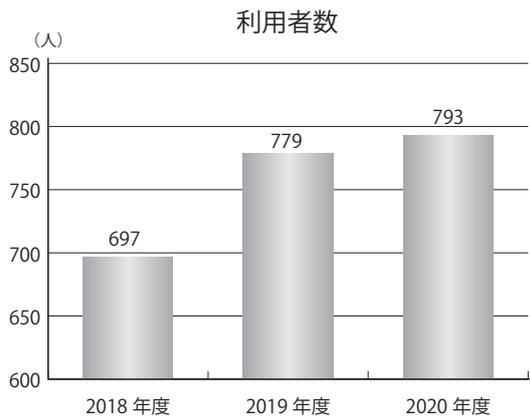




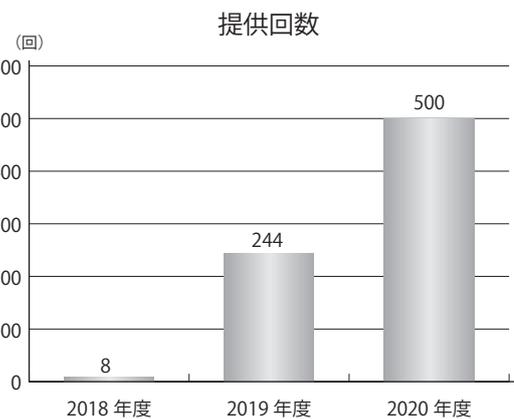
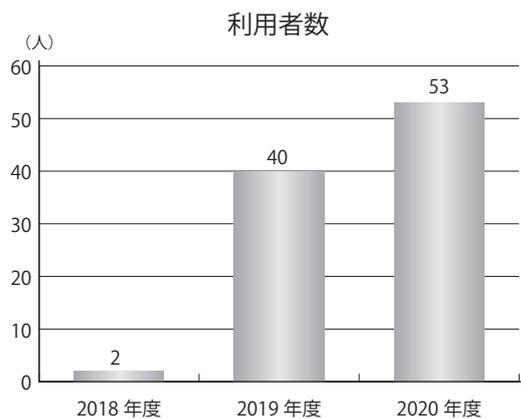
指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい



通所リハビリテーション ウェルネスじあい

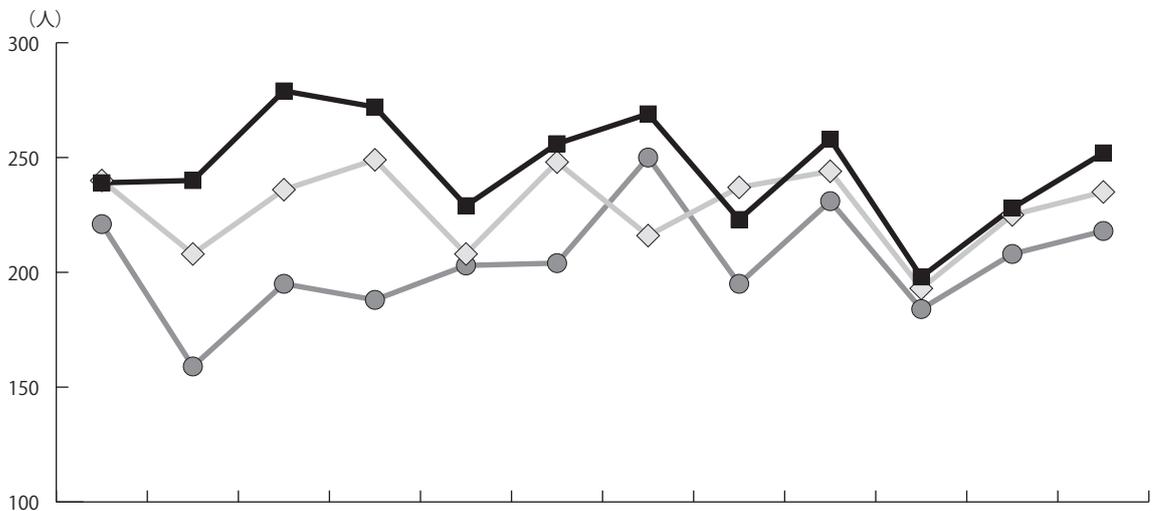


指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい



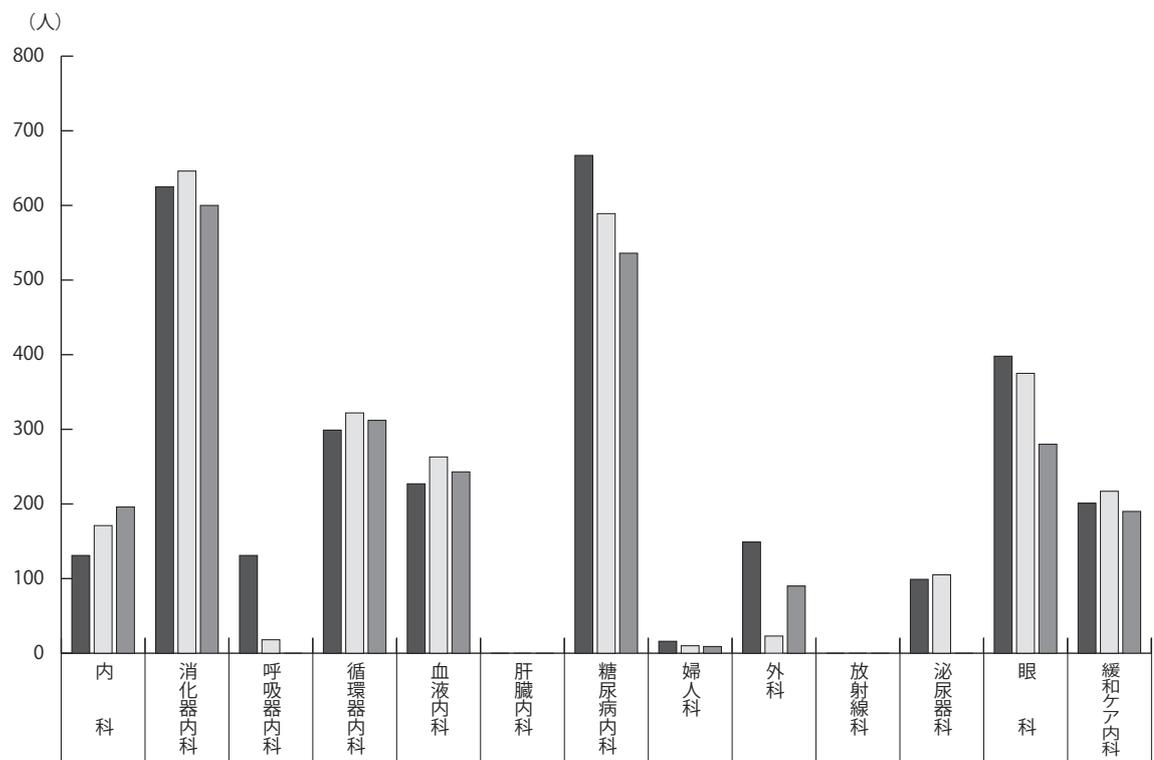
# 患者動向

年度別月別退院患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年度	239	240	279	272	229	256	269	223	258	198	228	252
2019年度	240	208	236	249	208	248	216	237	244	193	225	235
2020年度	221	159	195	188	203	204	250	195	231	184	208	218

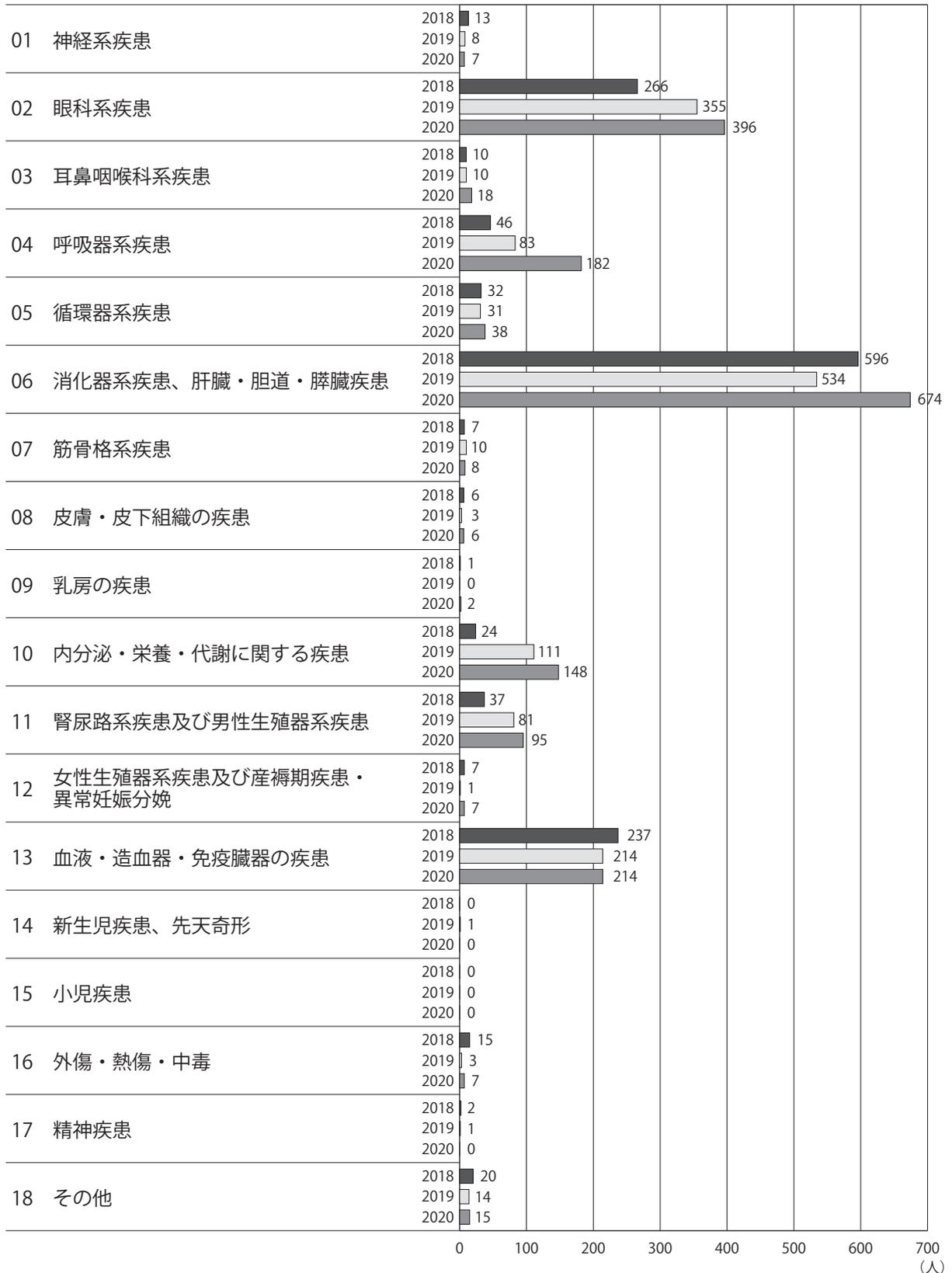
年度別診療科別退院患者数



診療科	2018年度	2019年度	2020年度
内科	131	171	196
消化器内科	625	646	600
呼吸器内科	131	18	0
循環器内科	299	322	312
血液内科	227	263	243
肝臓内科	0	0	0
糖尿病内科	667	589	536
婦人科	16	10	9
外科	149	23	90
放射線科	0	0	0
泌尿器科	99	105	0
眼科	398	375	280
緩和ケア内科	201	217	190

## DPC 統計 (MDC、ICD)

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2018年度)  
2018年4月～2019年3月までの退院患者

大分類		内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	呼吸器 内科	泌尿器 科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	計
1	感染症および寄生虫症 A00-B99	10	29	7	3			7	2	1			59
2	新生物 C00-D48	24	172	191	3	104	15	20	33	3	196		761
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	2	3	14				1	1		1		22
4	内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	6	11	1	607			1	2	3			631
5	精神および行動の障害 F00-F99	5				1				1			7
6	神経系の疾患 G00-G99	12			3	1		16	1	1			34
7	眼および付属器の疾患 H00-H59	5	1		10	1				246		397	660
8	耳および乳様突起の疾患 H60-H95	3			1								4
9	循環器系の疾患 I00-I99	3	2	2	7	2			3	32			51
10	呼吸器系の疾患 J00-J99	34	3	8	18	1		85	1	7			157
11	消化器系の疾患 K00-K93	5	390	2	5	35					1		438
12	皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	3			4		1						8
13	筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	13	1	1		1		2	4	4	1		27
14	腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	2	5	1	4		1		52				65
15	妊娠、分娩および産褥 O00-O99												
16	周産期に発生した病態 P00-P96												
17	先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99									1			1
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99												
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	4	8		2	3						1	18
20	傷病および死亡の外因 V01-Y98												
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99												
計		131	625	227	667	149	17	132	99	299	199	398	2,943

ICD-10 大分類による診療科別統計 (2019年度)  
2019年4月～2020年3月までの退院患者

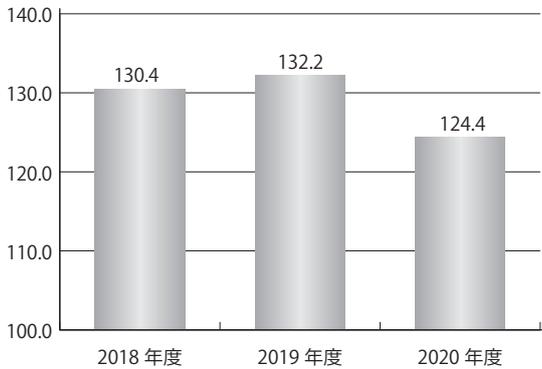
大分類		内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	呼吸器 内科	泌尿器 科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	計
1	感染症および寄生虫症 A00-B99	4	23	12	2			1		1			43
2	新生物 C00-D48	13	192	206	2	5	10	6	36	2	215	1	688
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	5	7	24									36
4	内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	9	4	1	545					2			561
5	精神および行動の障害 F00-F99	6	2		1	1					6		16
6	神経系の疾患 G00-G99	7	1			2		2	2	1			15
7	眼および付属器の疾患 H00-H59				12					250		373	635
8	耳および乳様突起の疾患 H60-H95	5			2								7
9	循環器系の疾患 I00-I99	15	3	1	3	1			2	45			70
10	呼吸器系の疾患 J00-J99	49	15	11	11			9		11			106
11	消化器系の疾患 K00-K93	23	383	3	1	11			1	1			423
12	皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	2	1	1	1								5
13	筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	19	7	3	1	2			1		2		35
14	腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	10		1	6				62				79
15	妊娠、分娩および産褥 O00-O99												
16	周産期に発生した病態 P00-P96												
17	先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99		1										1
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99												
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	4	7		2	1			1	3		1	19
20	傷病および死亡の外因 V01-Y98												
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99												
計		171	646	263	589	23	10	18	105	322	217	375	2,739

ICD-10 大分類による診療科別統計 (2020年度)  
2020年4月～2021年3月までの退院患者

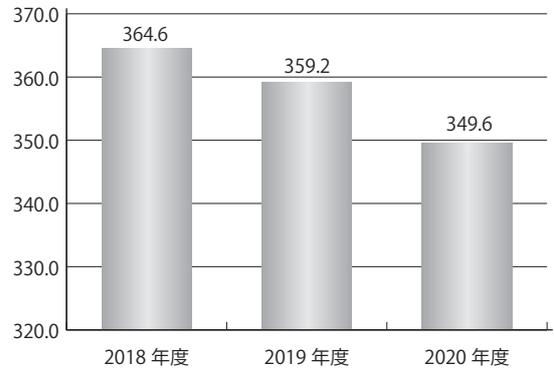
大分類		内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	計
1	感染症および寄生虫症 A00-B99	4	20		1	1		3			29
2	新生物 C00-D48	77	191	208		33	9	7	190		715
3	血液および造血管の疾患ならびに 免疫機構の障害 D50-D89	1	6	22							29
4	内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	6			501	1		4			512
5	精神および行動の障害 F00-F99	11	2					14			27
6	神経系の疾患 G00-G99	3	1					3			7
7	眼および付属器の疾患 H00-H59		1		8			184		280	473
8	耳および乳様突起の疾患 H60-H95	4	1					2			7
9	循環器系の疾患 I00-I99	8	2	1	3			56			70
10	呼吸器系の疾患 J00-J99	24	3	7	7	1		12			54
11	消化器系の疾患 K00-K93	11	356	2	2	51		6			428
12	皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	2	1		6	1		1			11
13	筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	4	1	2	3			8			18
14	腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	31	4		3			3			41
15	妊娠、分娩および産褥 O00-O99										
16	周産期に発生した病態 P00-P96										
17	先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99										
18	症状、徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されない もの R00-R99				1						1
19	損傷、中毒およびその他の外因の 影響 S00-T98	10	11	1	1	2		9			34
20	傷病および死亡の外因 V01-Y98										
21	健康状態に影響をおよぼす要因 および保健サービスの利用 Z00-Z99										
計		196	600	243	536	90	9	312	190	280	2,456

# 谷山病院

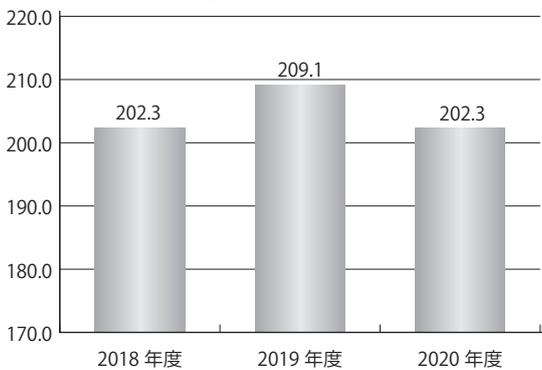
1日平均外来患者数（単位：人）



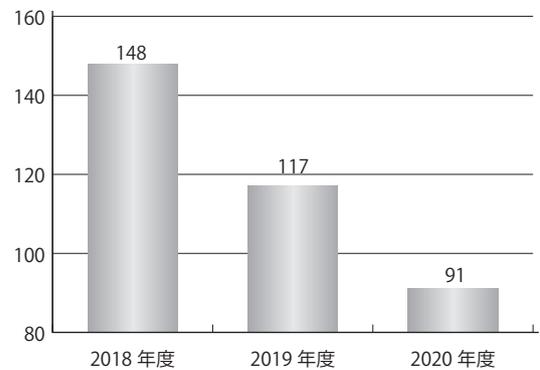
1日平均入院患者数（単位：人）



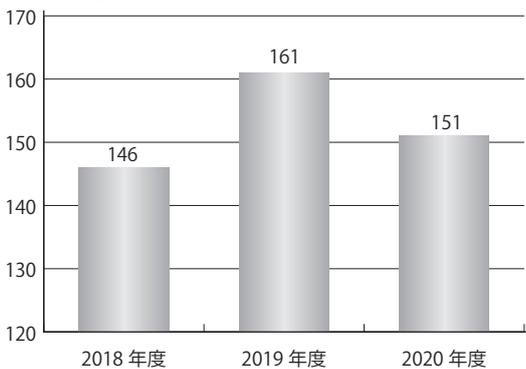
平均在院日数（単位：日）



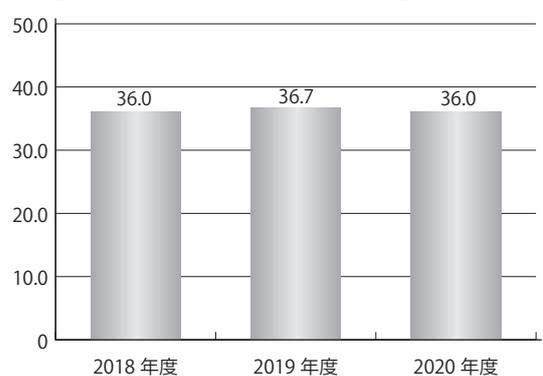
時間外診療件数（外来）（単位：件）



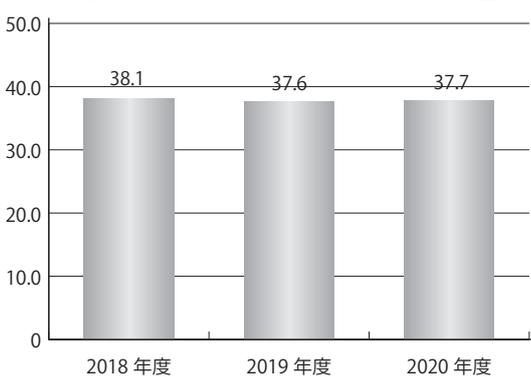
時間外診療件数（入院）（単位：件）



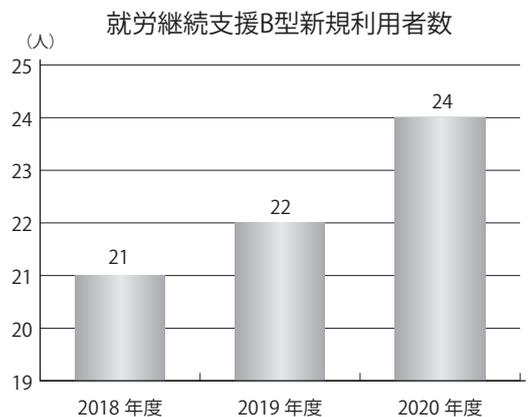
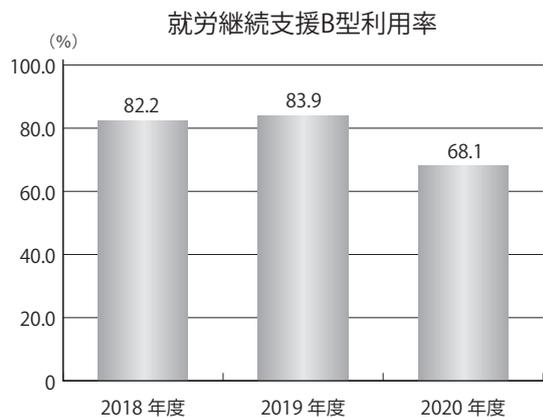
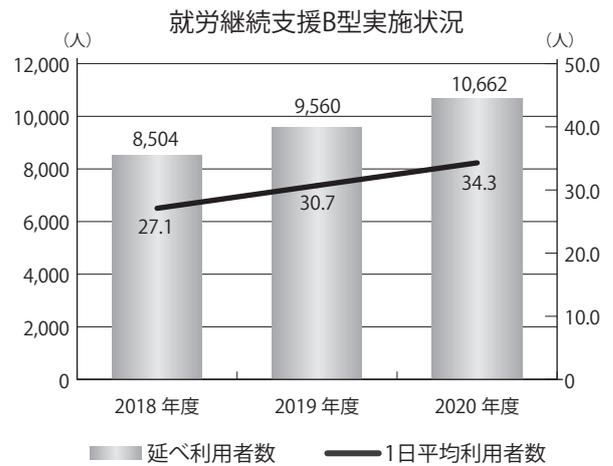
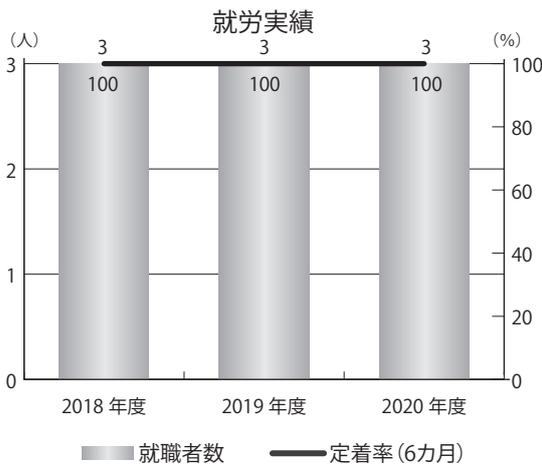
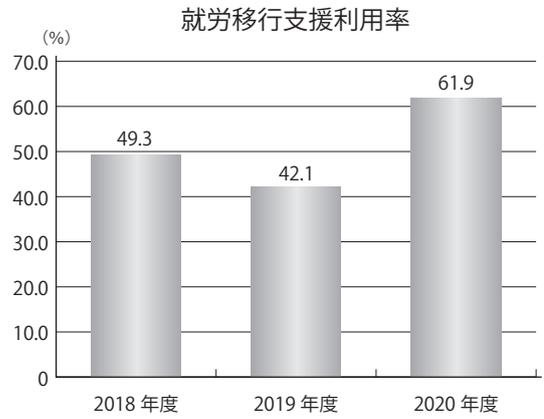
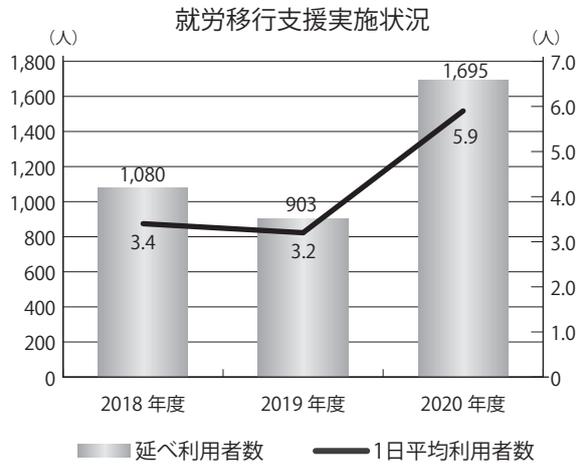
精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）



認知症治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）

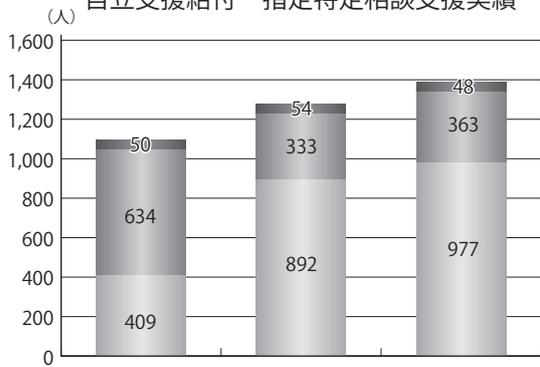


### 就労支援センター ステップ



### 地域活動支援センター ひだまり

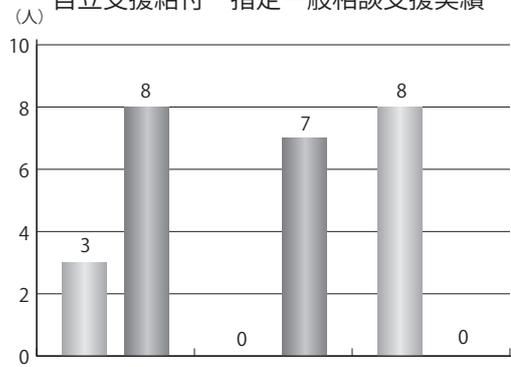
自立支援給付 指定特定相談支援実績



	2018年度	2019年度	2020年度
■ 利用支援(新規)	50	54	48
■ 利用支援(更新)	634	333	363
■ 継続支援(モニタリング)	409	892	977

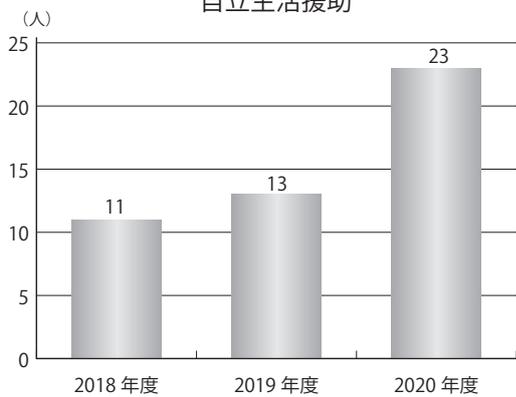
■ 継続支援(モニタリング) ■ 利用支援(更新) ■ 利用支援(新規)

自立支援給付 指定一般相談支援実績

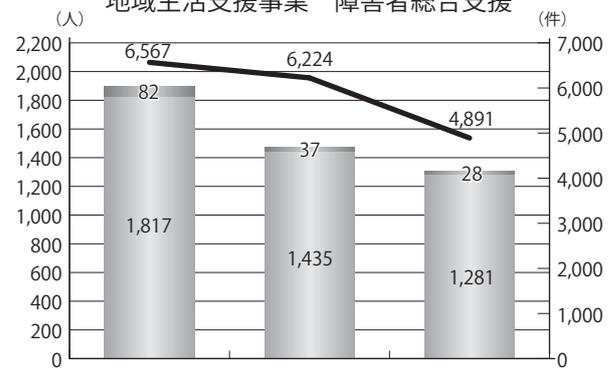


■ 地域移行支援 ■ 地域定着支援

自立生活援助



地域生活支援事業 障害者総合支援



	2018年度	2019年度	2020年度
■ 新規相談者	82	37	28
■ 相談継続者数	1,817	1,435	1,281
— 相談延べ件数	6,567	6,224	4,891

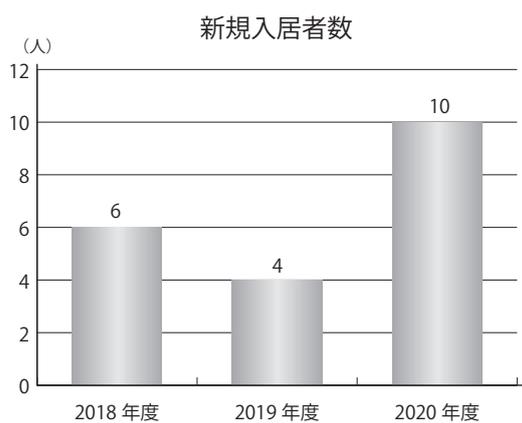
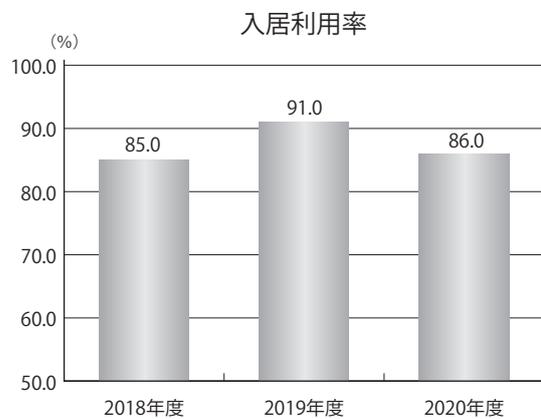
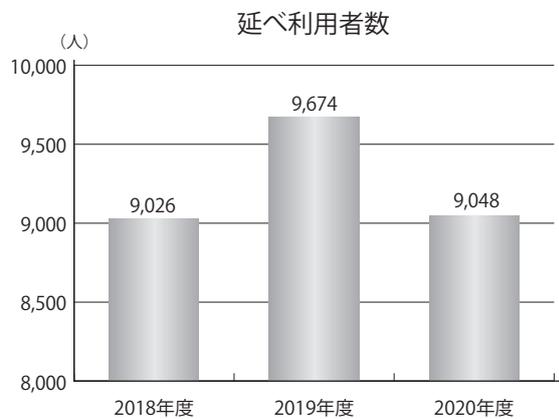
■ 相談継続者数 ■ 新規相談者 — 相談延べ件数

地域活動支援



■ 活動延べ件数 — 1日平均利用者数

### グループホーム しらゆりの郷



3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2020 年									2021 年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
谷山→徳之島	精神保健福祉士	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	作業療法士	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	看護師	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
谷山→奄美	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	薬剤師	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	5

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
認定看護師	1	0	0
臨床実習指導者	0	2	2

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6月30日現在の在院患者数

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	23	25	22
F 01 血管性認知症	2	3	1
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	40	33	31
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	13	13	12
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	1	1	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	1
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	225	252	231
F 3 気分（感情）障害	27	13	37
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15	15	13
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	1	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	2	1	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	4	5	6
F 8 心理的発達の障害	2	2	2
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	4	3	1
その他	6	0	0
計	365	367	359

b. 6 月中に退院した患者の退院先

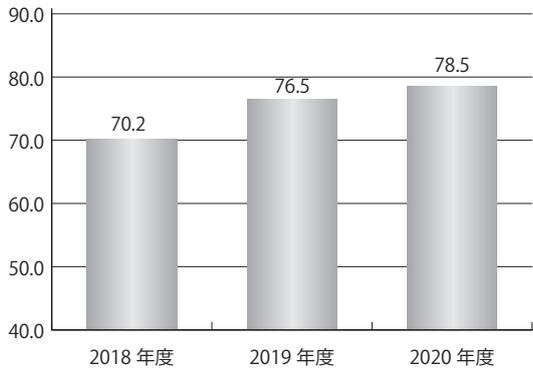
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
家庭復帰等	34	31	33
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	3	2	5
高齢者福祉施設	5	10	9
転院・院内転科	11	9	6
死亡	1	0	0
その他			
計	54	52	52

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

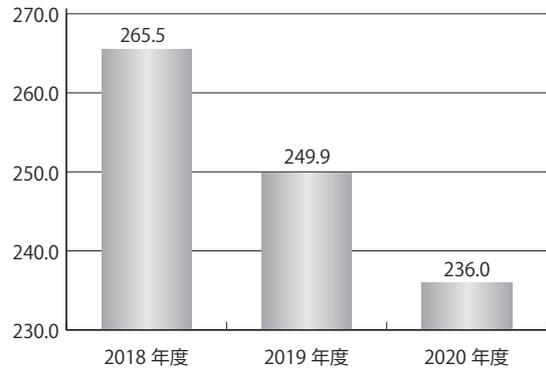
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	54	54	50
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	26	26	30
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	7	7	6
転院・院内転科	4	4	3
死亡	2	2	0
計	39	39	39
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	15	15	11

# 奄美病院

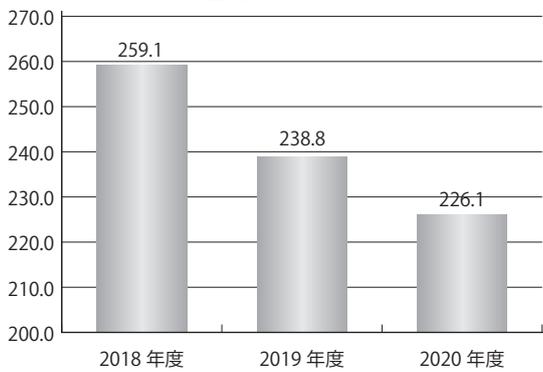
1日平均外来患者数（単位：人）



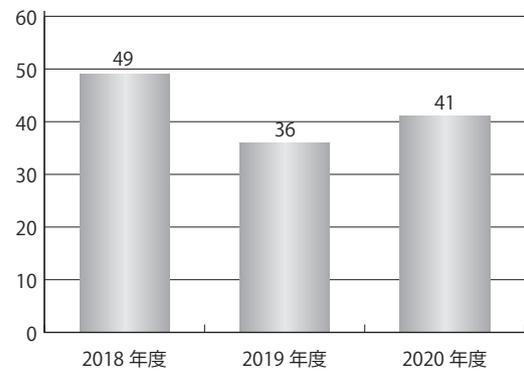
1日平均入院患者数（単位：人）



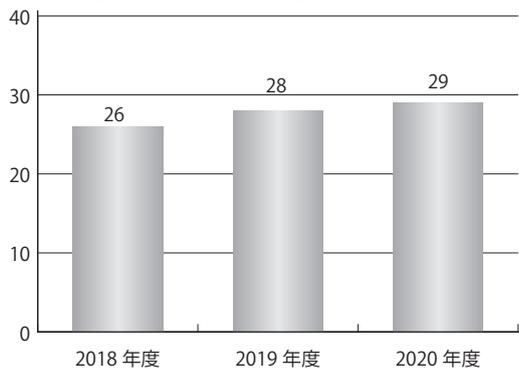
平均在院日数（単位：日）



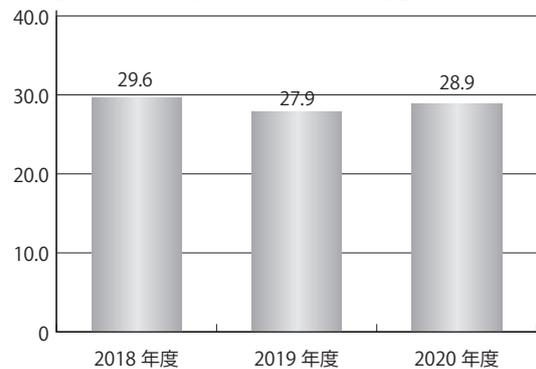
時間外診療件数（外来）（単位：件）



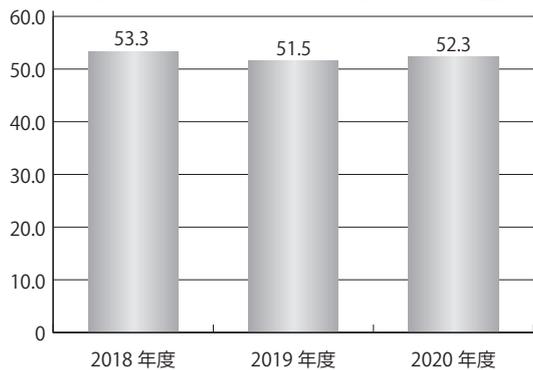
時間外診療件数（入院）（単位：件）



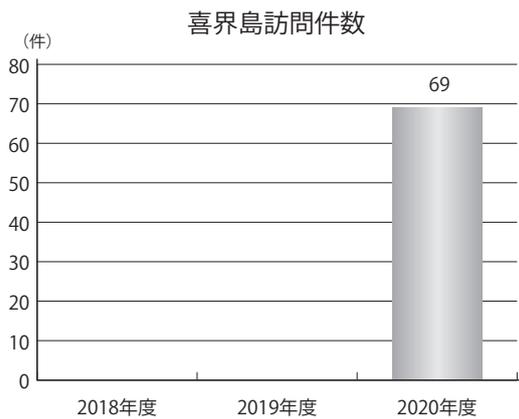
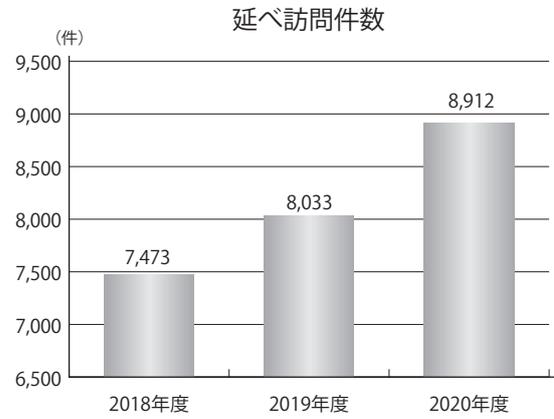
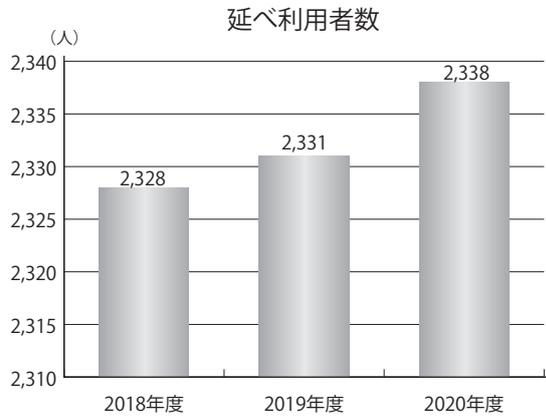
精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）



認知症治療病棟の1日平均入院患者数（単位：人）

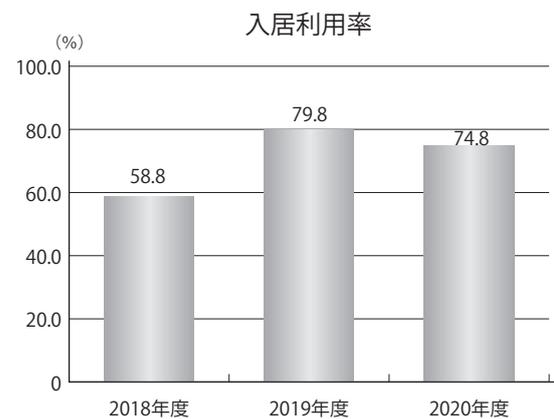
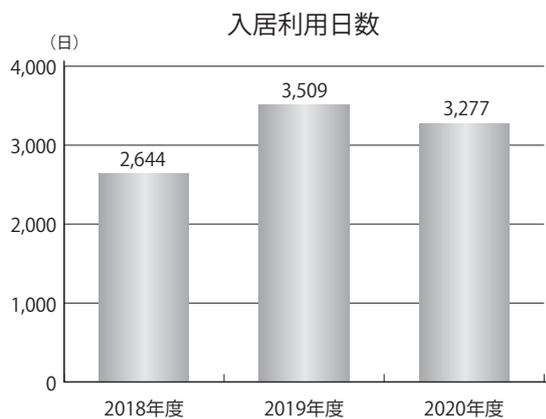


### 訪問看護ステーション イルカ

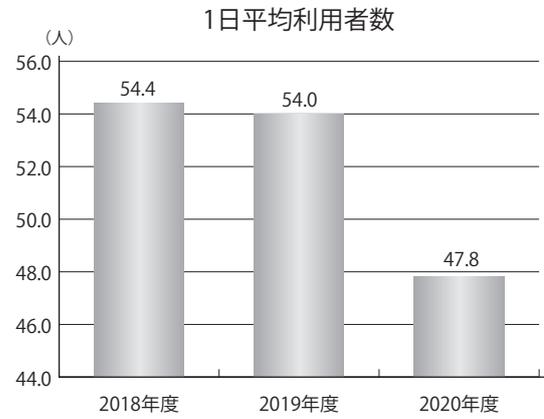


※2020年度より喜界島へ展開

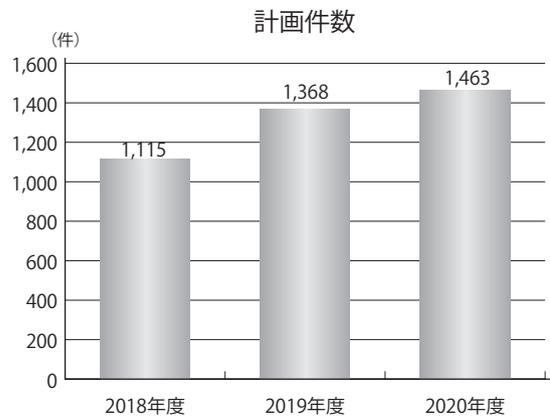
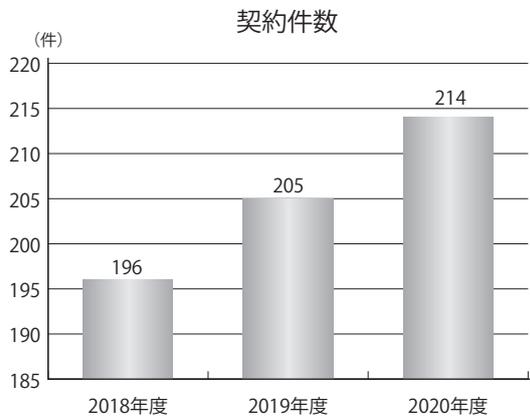
### グループホーム ひまわり



### 指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま



### 指定特定相談支援事業所 あゆみ



### 3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2020 年									2021 年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
奄美→徳之島	看護師	0	0	0	1	0	1	0	1	6	0	6	0	15
谷山→奄美	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	薬剤師	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	5

### 認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
認定看護師	1	0	0
臨床実習指導者	0	0	0

### 無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2018 年度	2019 年度	2020 年度
12	13	14

### 630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

#### a. 6月30日現在の在院患者数

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	25	31	25
F 01 血管性認知症	9	6	10
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	22	20	19
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	20	13	14
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	1	2	2
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	172	158	142
F 3 気分（感情）障害	9	17	15
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	6	6	2
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	1	0
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	6	6	6
F 8 心理的発達の障害	0	0	3
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	1
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	0	1	1
その他	0	1	0
計	270	262	241

b. 6 月中に退院した患者の退院先

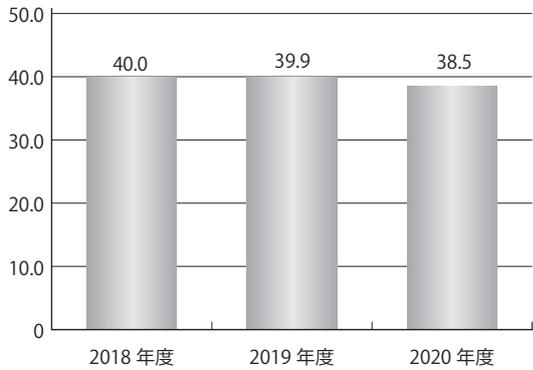
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
家庭復帰等	23	20	15
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	4	3	0
高齢者福祉施設	1	2	2
転院・院内転科	5	5	5
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	33	30	22

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

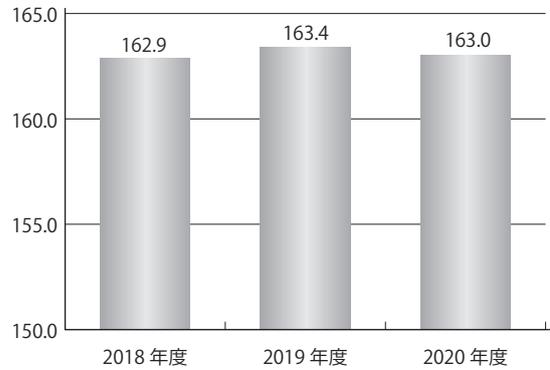
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	41	36	36
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	26	26	25
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	8	3	3
転院・院内転科	1	6	7
死亡	0	0	0
計	35	35	35
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	6	1	1

# 徳之島病院

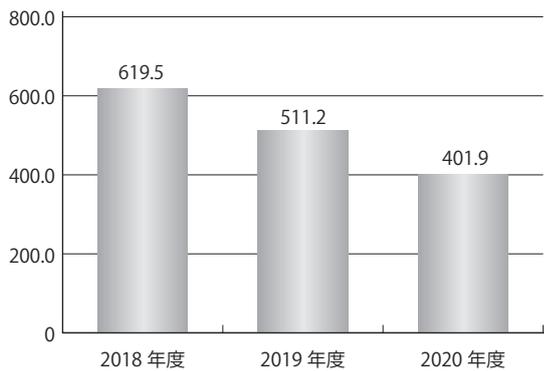
1日平均外来患者数（単位：人）



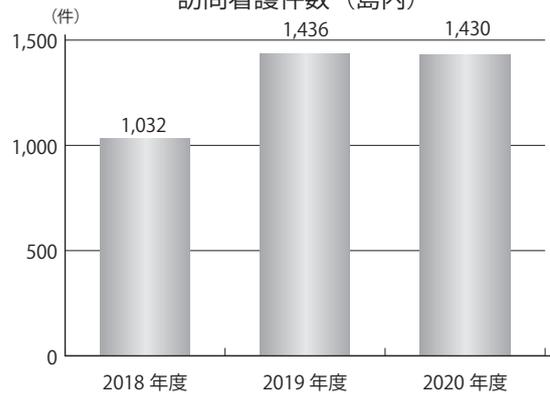
1日平均入院患者数（単位：人）



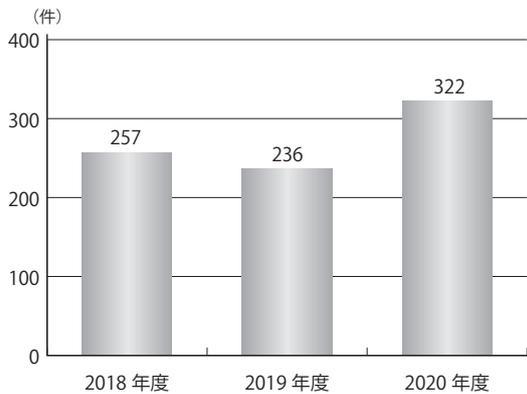
平均在院日数（単位：日）



訪問看護件数（島内）

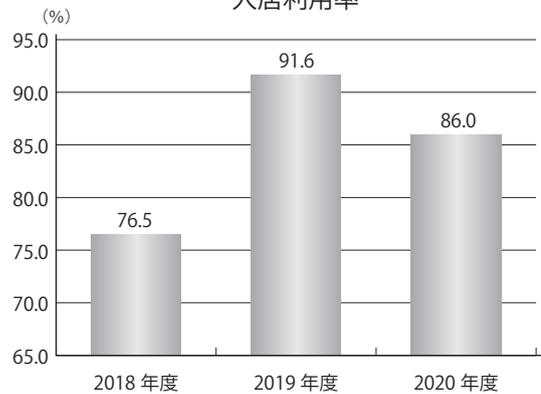


訪問看護件数（島外：沖永良部島・与論島）



## グループホーム うんばた

入居利用率



3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2020 年									2021 年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
谷山→徳之島	精神保健福祉士	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	作業療法士	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	看護師	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
奄美→徳之島	看護師	0	0	0	1	0	1	0	1	6	0	6	0	15

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2018 年度	2019 年度	2020 年度
5	5	5

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6月30日現在の在院患者数

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	1	1	0
F 01 血管性認知症	0	0	0
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	6	3	7
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	1	2	1
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	144	149	147
F 3 気分（感情）障害	0	0	5
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0	0	0
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	0
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	1	1	1
F 8 心理的発達障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	1
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	3	3	1
その他	0	5	0
計	156	164	164

b. 6 月中に退院した患者の退院先

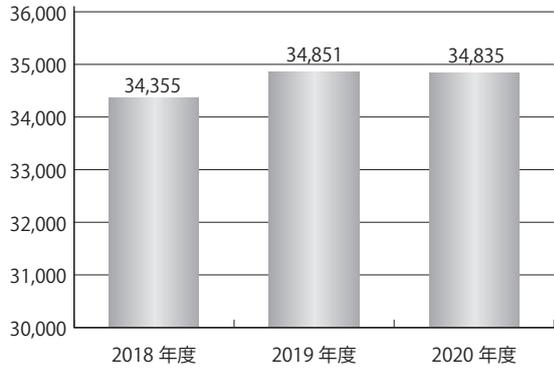
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
家庭復帰等	2	6	7
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	0	0
高齢者福祉施設	0	1	2
転院・院内転科	4	1	2
死亡	2	0	1
その他	0	0	0
計	8	8	12

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

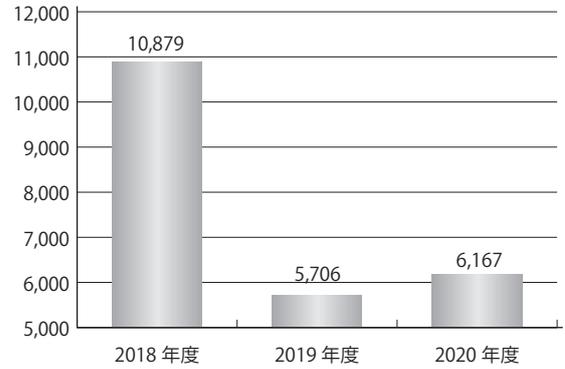
	2018 年度	2019 年度	2020 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	10	10	11
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	8	5	8
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	2	1	1
転院・院内転科	0	0	1
死亡	0	0	0
計	10	6	10
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	0	4	1

# 介護老人保健施設 愛と結の街

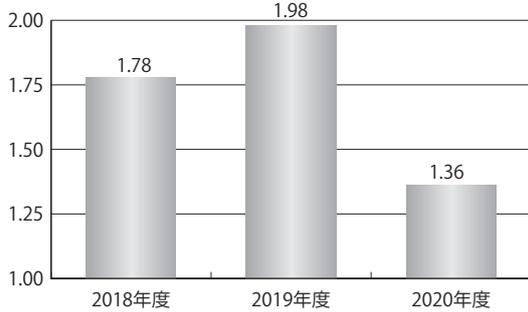
延べ入所者数（単位：人）



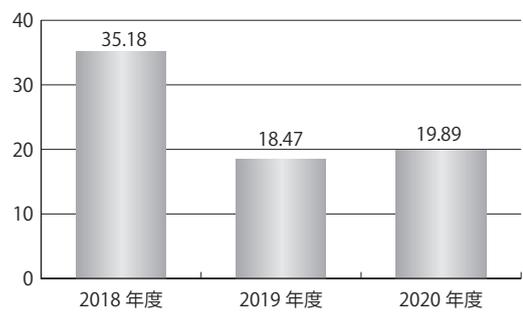
延べ通所者数（単位：人）



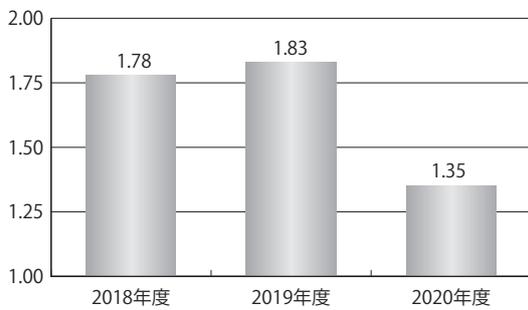
1日平均入所者数（単位：人）

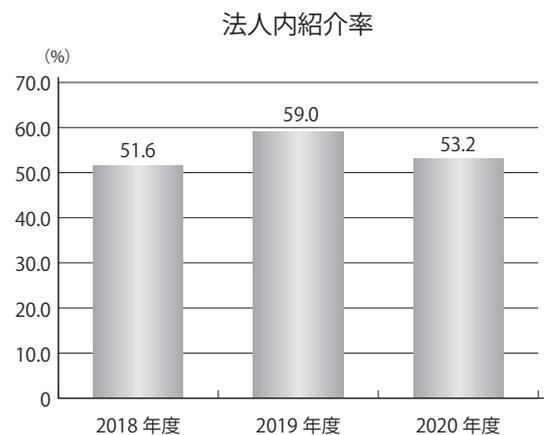
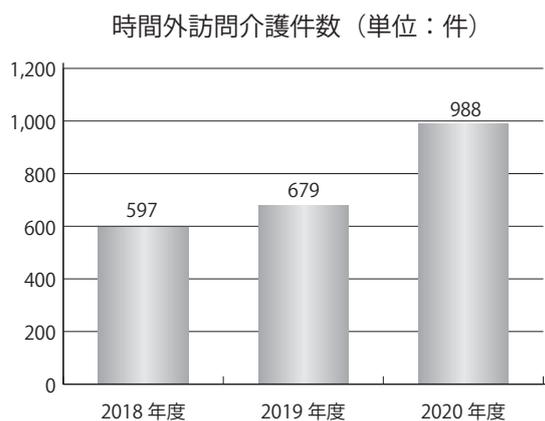
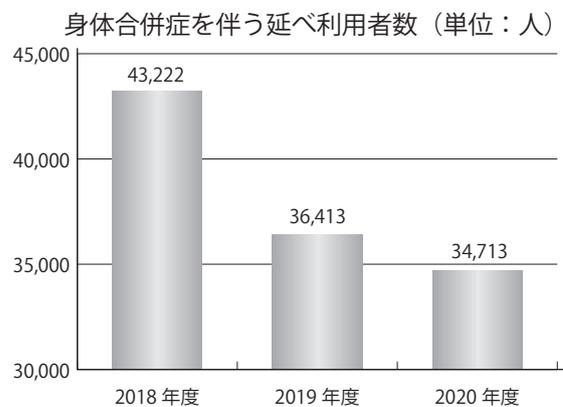
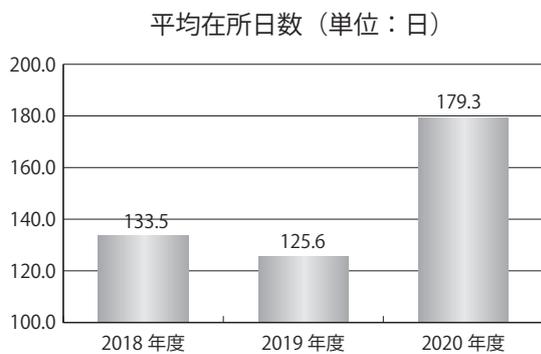
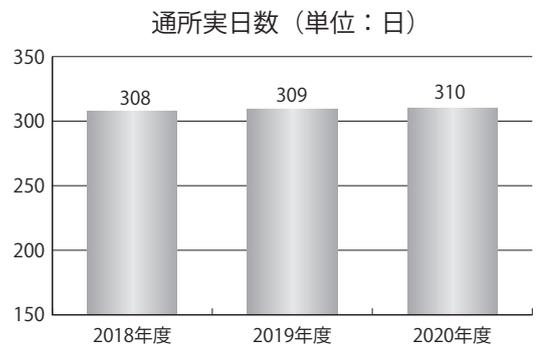
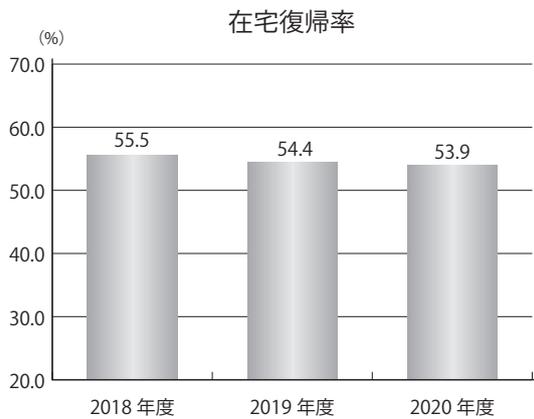
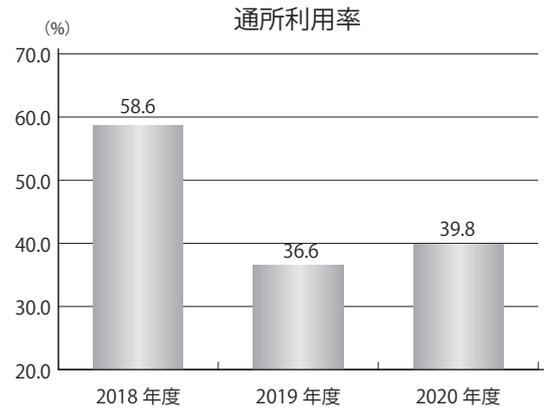
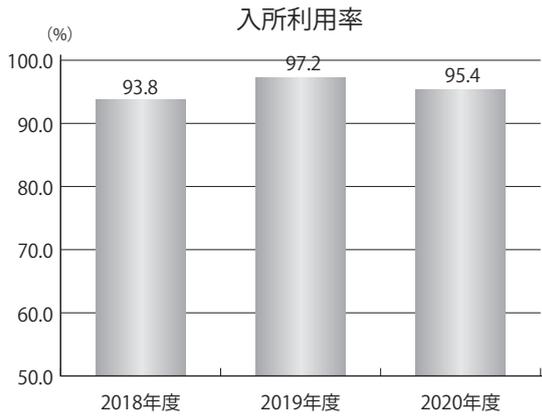


1日平均通所者数（単位：人）

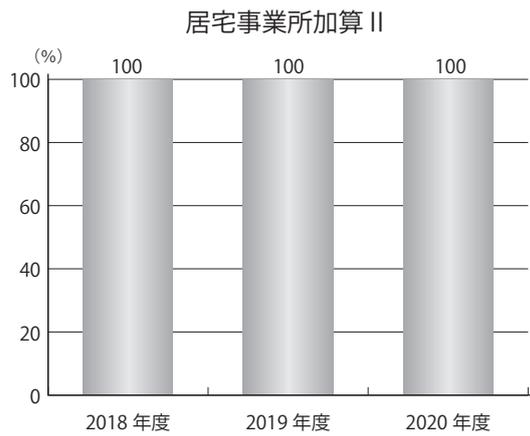
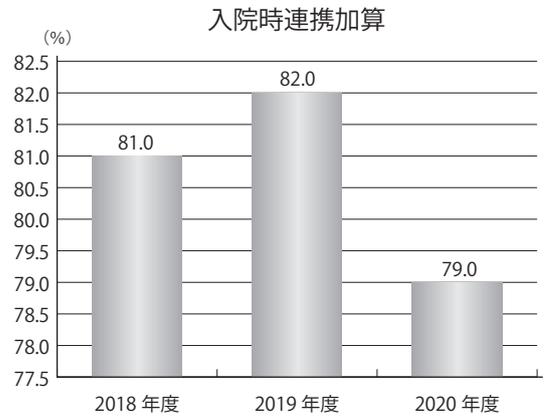
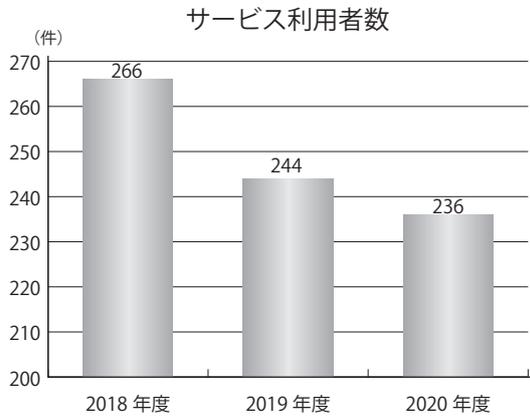


1日平均退所者数（単位：人）

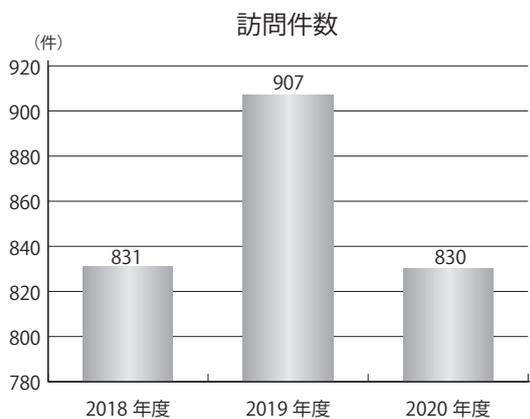




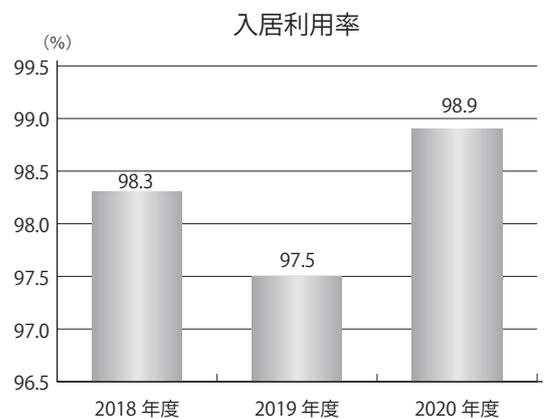
### 指定居宅介護支援センター 愛と結の街



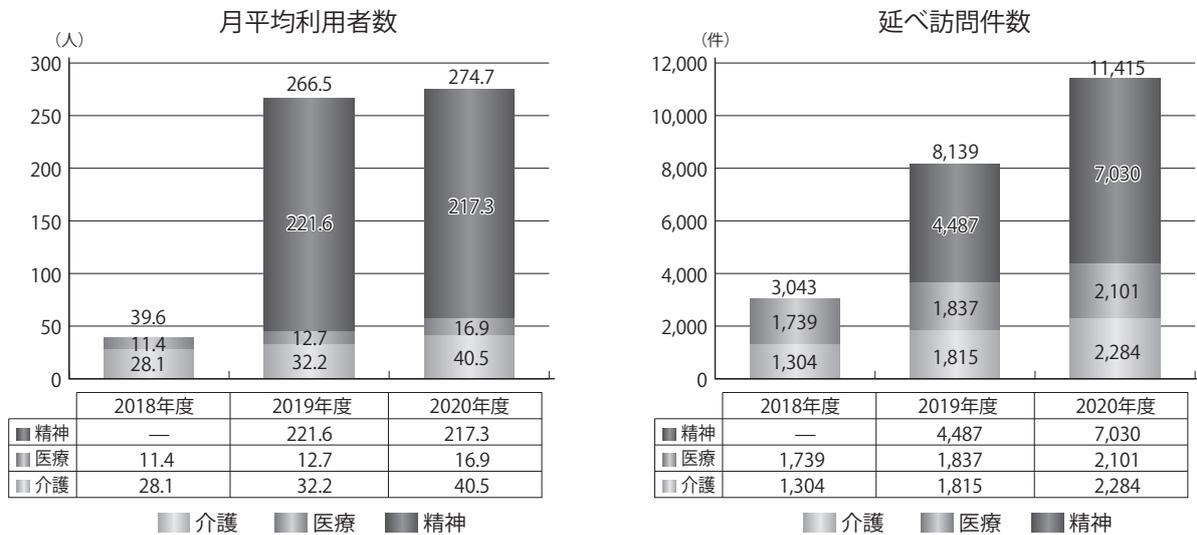
### ヘルプステーション 結の街



### グループホーム 愛と結の街

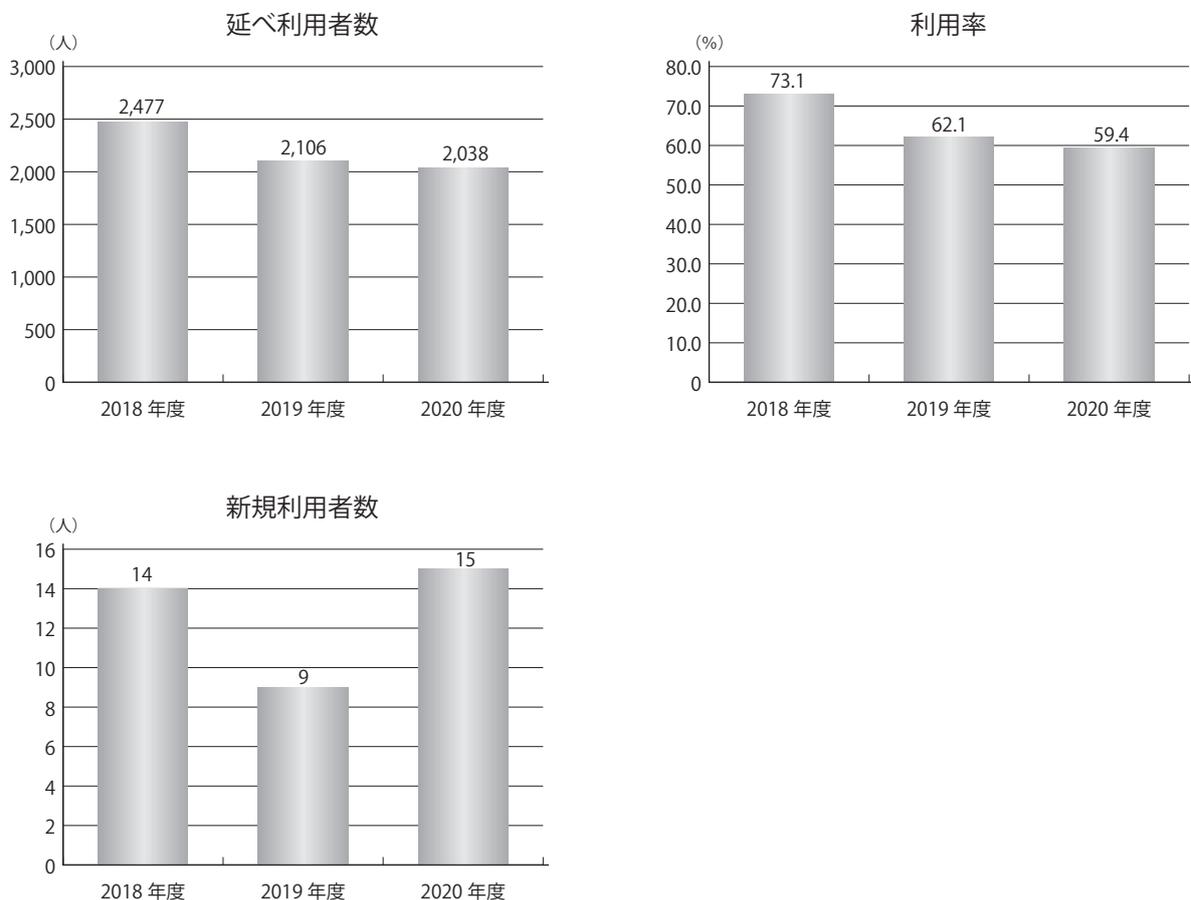


### 笹貫訪問看護ステーション 愛の街

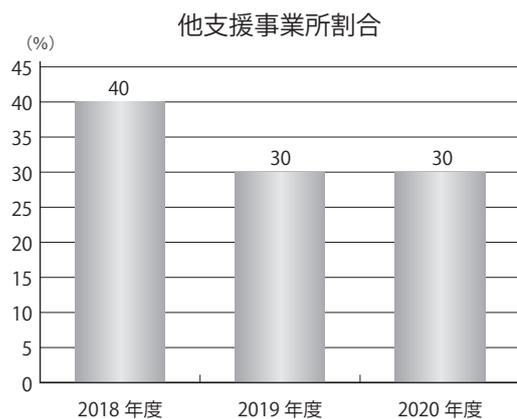
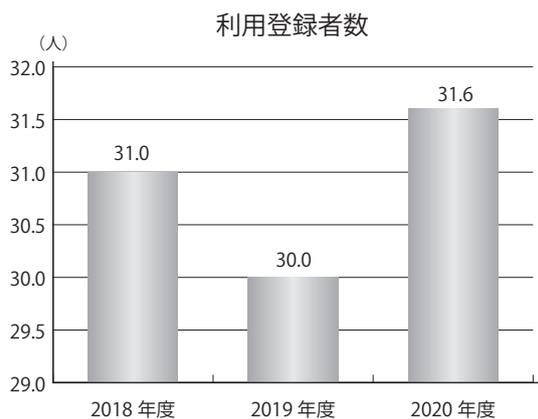
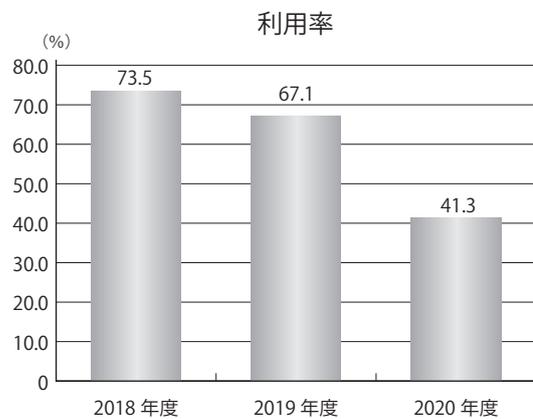
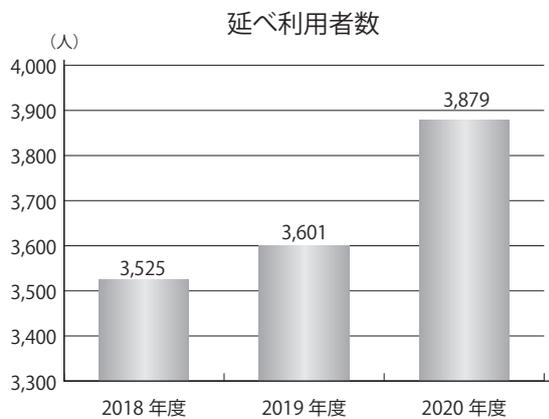


※2019年8月より谷山病院訪問看護室と統合合併し精神科訪問看護を開始。  
 一般の訪問看護のうち医療保険利用の訪問看護を「医療」、介護保険利用の訪問看護を「介護」として集計。  
 月平均利用者数の2018年度分は2018年9月～2019年3月の実績。

### デイサービスセンター あしたの風



## デイサービス はなぶさ

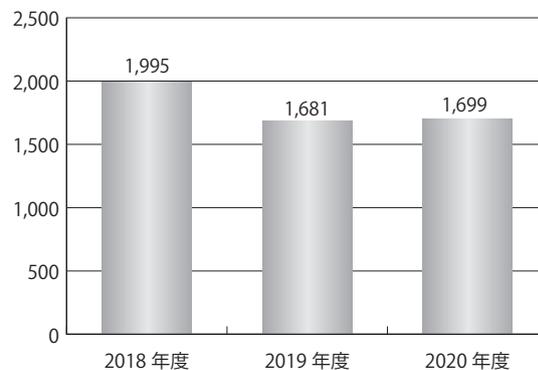


# 高麗町クリニック

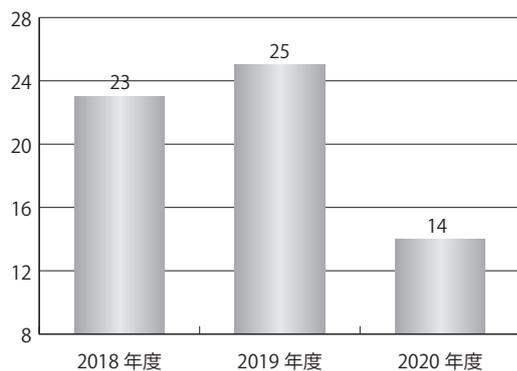
訪問診療延べ患者数 (単位：人)



訪問リハ延べ患者数 (単位：人)

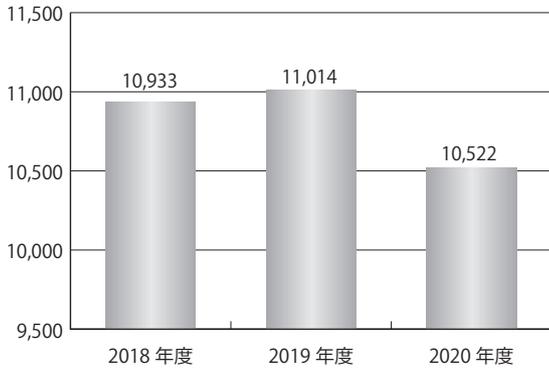


在宅看取り数 (単位：人)

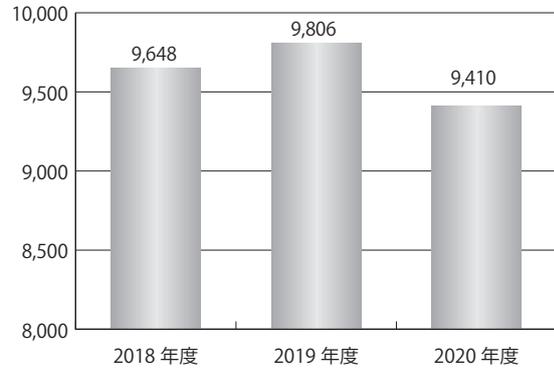


# 慈愛会クリニック

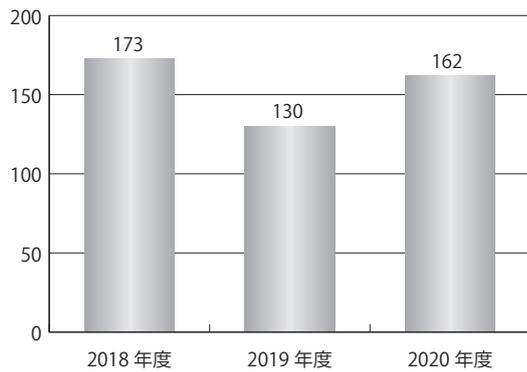
外来患者数（単位：人）



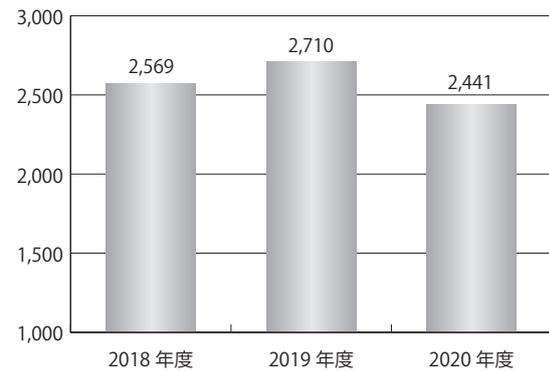
糖尿病患者延べ数（単位：人）



栄養指導数（単位：件）

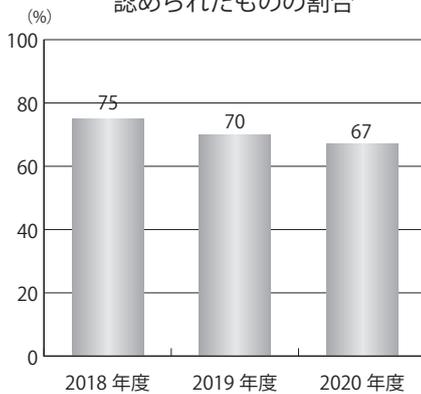


透析予防に関する指導数（単位：件）

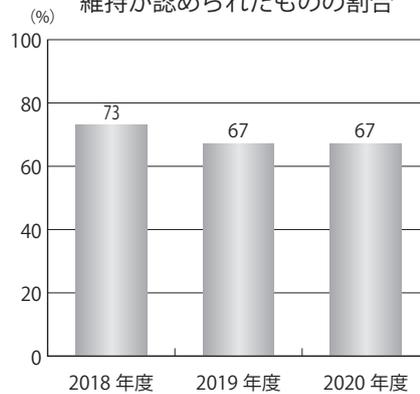


上記の透析予防に関する指導を行った患者における割合

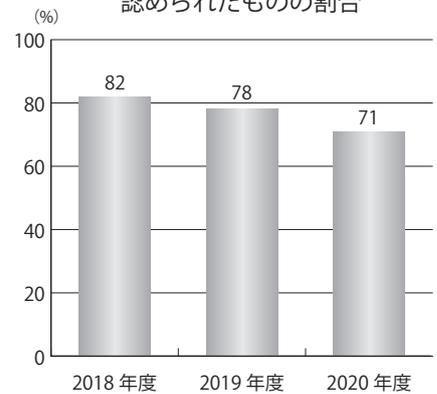
HbA1cの改善または維持が認められたものの割合



クレアチニン・eGFRの改善または維持が認められたものの割合

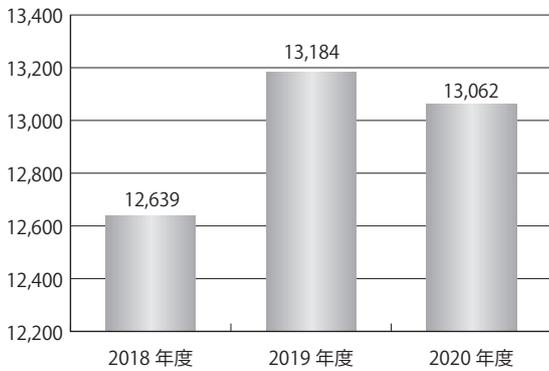


血圧の改善または維持が認められたものの割合

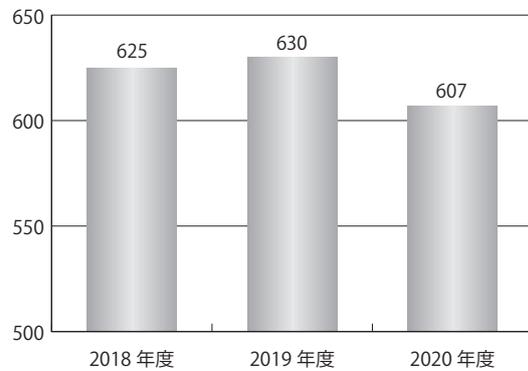


## 七波クリニック

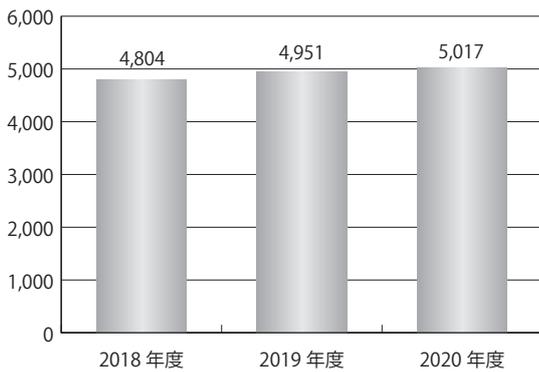
延べ外来患者数（単位：人）



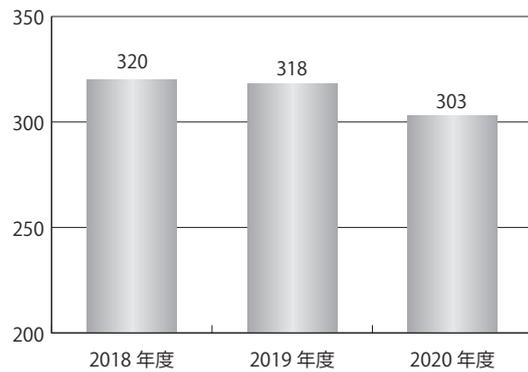
個別栄養食事指導件数（単位：件）



在宅自己注射指導管理料（単位：件）

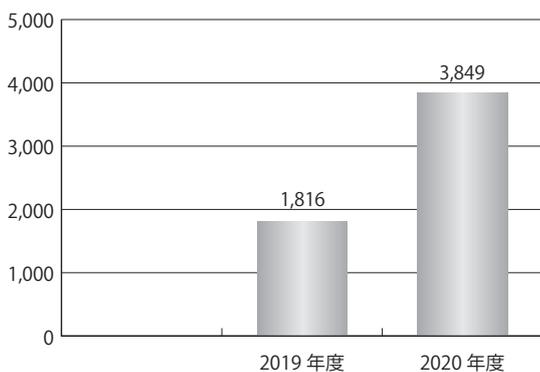


特定健診実施数（単位：件）



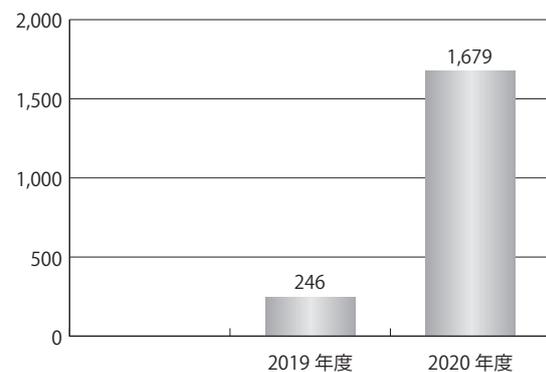
## かごしまオハナクリニック

外来患者数（単位：人）



※2019年10月開院

訪問診療件数（単位：件）

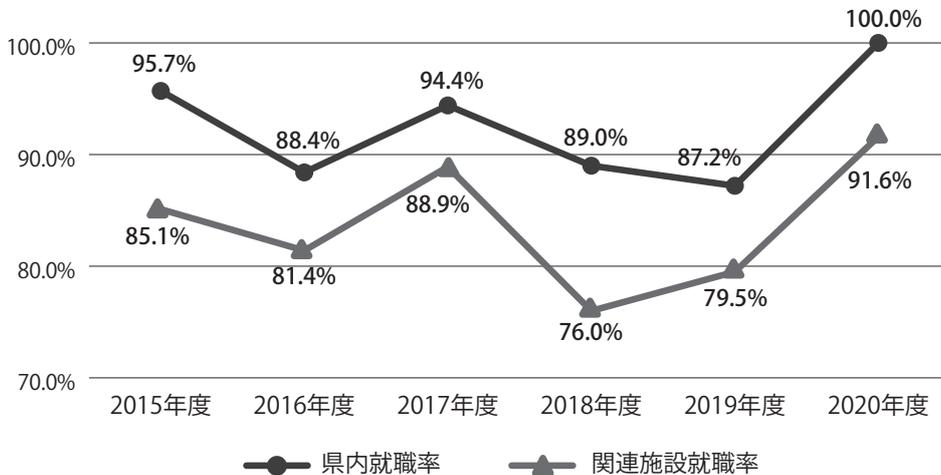


※2019年10月開院

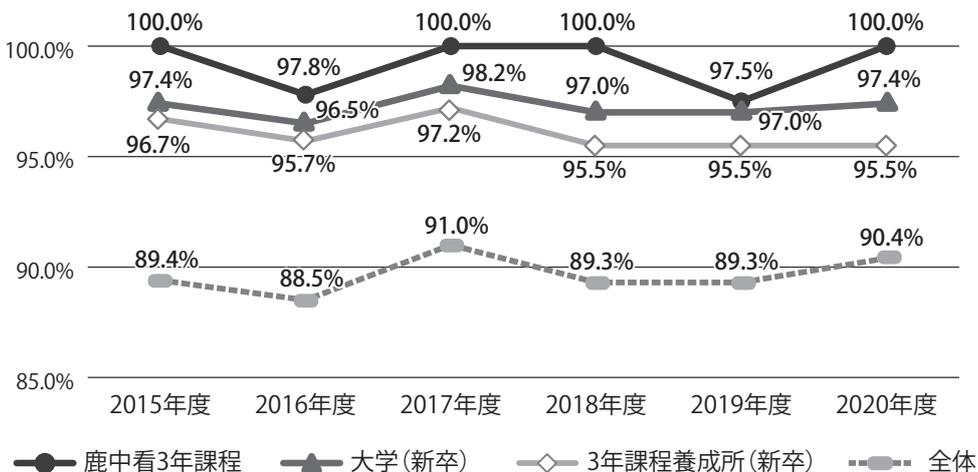
# 鹿児島中央看護専門学校

〈3年課程看護科〉

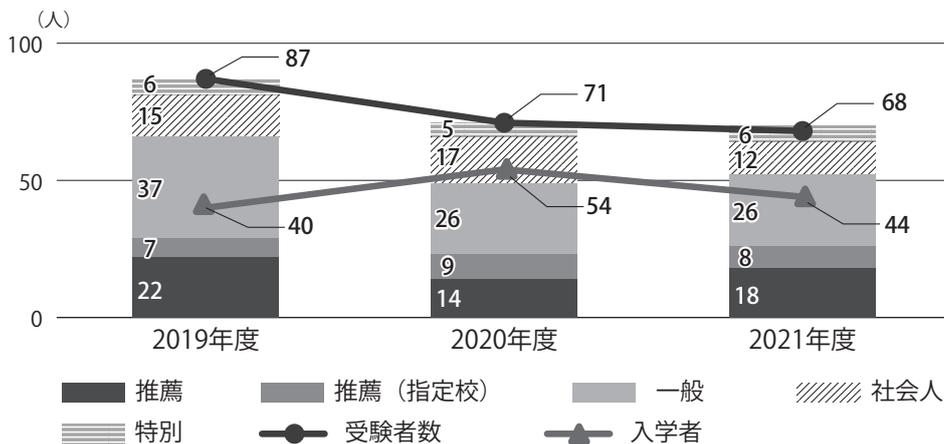
県内就職率・関連施設就職率



国家試験合格率の推移

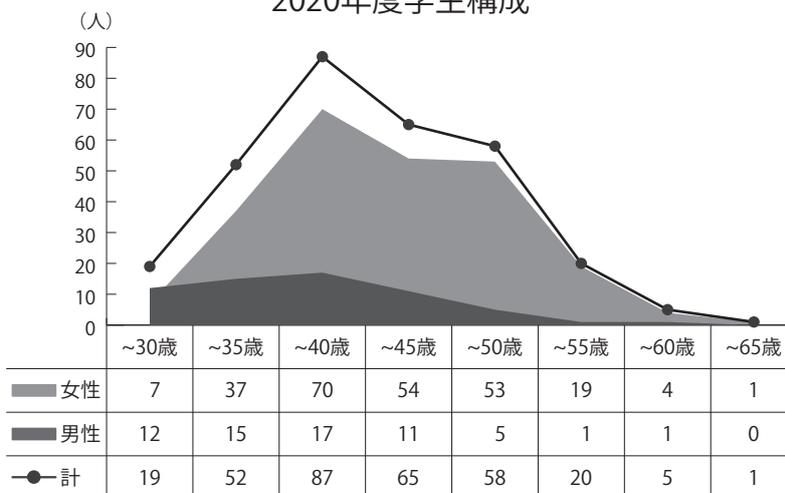


区分別受験者、入学者数推移 (定員40名)

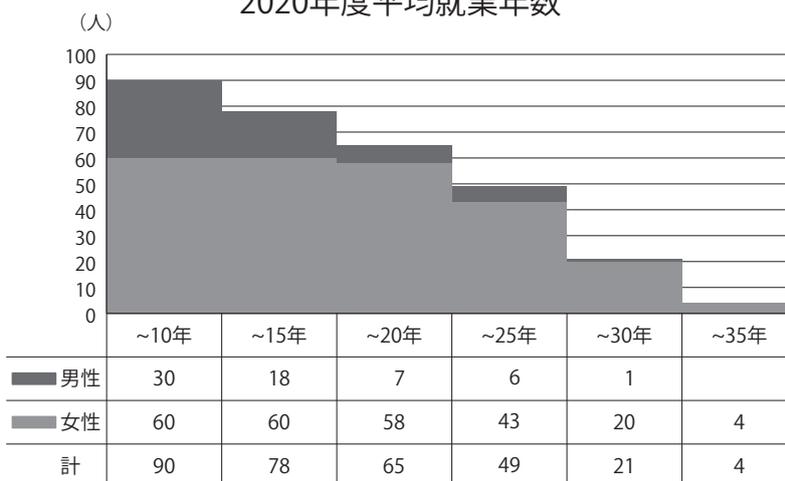


〈2年課程（通信制）看護科〉

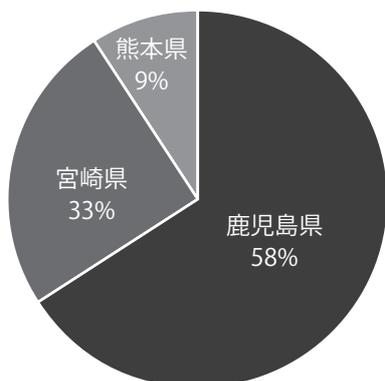
2020年度学生構成



2020年度平均就業年数



2020年度修了生県別構成



2020年度修了生県別構成

	女性	男性	総計
鹿児島県	63	16	79
宮崎県	27	3	30
熊本県	11	0	11
総計	101	19	120

# 法人業績一覧

## 【論文】

血液内科

### 今村総合病院

< 欧文 >

1. Oka T, Matsuoka KI, Utsunomiya A: Sensitive Photodynamic Detection of Adult T-cell Leukemia/Lymphoma and Specific Leukemic Cell Death Induced by Photodynamic Therapy: Current Status in Hematopoietic Malignancies. *Cancers (Basel)* 12(2):335, 2020
2. Fuji S, Kurosawa S, Inamoto Y, Murata T, Utsunomiya A, Uchimaru K, Yamasaki S, Inoue Y, Moriuchi Y, Choi I, Ogata M, Hidaka M, Yamaguchi T, Fukuda T: A decision analysis comparing unrelated bone marrow transplantation and cord blood transplantation in patients with aggressive adult T-cell leukemia-lymphoma. *Int J Hematol* 111(3):427-433, 2020
3. Yoshimitsu M, Fuji S, Utsunomiya A, Nakano N, Ito A, Ito Y, Miyamoto T, Suehiro Y, Kawakita T, Moriuchi Y, Nakamae H, Kanda Y, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Kato K; ATL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Outcomes of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for ATL with HTLV-1 Antibody-Positive Donors. *Biol Blood Marrow Transplant* 26(4):718-722, 2020
4. Kato M, Nakasone H, Nakano N, Fuji S, Shinohara A, Yokoyama H, Sakashita K, Hori T, Takahashi S, Nara M, Kanda Y, Mori T, Takita J, Kawaguchi H, Kawakita T, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Ogata M: Transplantation Complication Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation: Clinical course of autologous recovery with chromosomal abnormalities after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplant* 55(6):1023-1028, 2020
5. Kodama D, Tanaka M, Matsuzaki T, Izumo K, Nakano N, Matsuura E, Saito M, Nagai M, Horiuchi M, Utsunomiya A, Takashima H, Kubota R, Izumo S: Inhibition of ABL1 tyrosine kinase reduces HTLV-1 proviral loads in peripheral blood mononuclear cells from patients with HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *PLoS Negl Trop Dis* 14(7): e0008361, 2020
6. Okuma K, Kuramitsu M, Niwa T, Taniguchi T, Masaki Y, Ueda G, Matsumoto C, Sobata R, Sagara Y, Nakamura H, Satake M, Miura K, Fuchi N, Masuzaki H, Okayama A, Umeki K, Yamano Y, Sato T, Iwanaga M, Uchimaru K, Nakashima M, Utsunomiya A, Kubota R, Ishitsuka K, Hasegawa H, Sasaki D, Koh KR, Taki M, Nosaka K, Ogata M, Naruse I, Kaneko N, Okajima S, Tezuka K, Ikebe E, Matsuoka S, Itabashi K, Saito S, Watanabe T, Hamaguchi I: Establishment of a novel diagnostic test algorithm for human T-cell leukemia virus type 1 infection with line immunoassay replacement of western blotting: a collaborative study for performance evaluation of diagnostic assays in Japan. *Retrovirology* 17(1):26, 2020
7. Sando Y, Matsuoka K, Sumii Y, Kondo T, Ikegawa S, Sugiura H, Nakamura M, Iwamoto M, Meguri Y, Asada N, Ennishi D, Nishimori H, Fujii K, Fujii N, Utsunomiya A, Oka T, Maeda Y: 5-aminolevulinic acid-mediated photodynamic therapy can target aggressive adult T cell leukemia/lymphoma resistant to conventional chemotherapy. *Sci Rep* 10(1):17237, 2020
8. Yonekura K, Kusumoto S, Choi I, Nakano N, Ito A, Suehiro Y, Imaizumi Y, Yoshimitsu M, Nosaka K, Ohtsuka E, Hidaka M, Jo T, Sasaki H, Moriuchi Y, Ogata M, Tatetsu H, Ishitsuka K, Miyazaki Y, Ueda R, Utsunomiya A,

- Ishida T: Mogamulizumab for adult T-cell leukemia-lymphoma: a multicenter prospective observational study. *Blood Adv* 4(20):5133-5145, 2020
9. Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ishitsuka K, Ishizawa K, Ito S, Amano M, Ishida T, Uike N, Utsunomiya A, Ohshima K, Tanaka J, Tokura Y, Tobinai K, Watanabe T, Uchimaru K, Tsukasaki K, for collaborative Investigators: Prognosis of patients with adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan: A nationwide hospital-based study. *Cancer Sci* 111(12): 4567-4580, 2020
  10. Fujii K, Sakamoto Y, Masaki A, Murase T, Tashiro Y, Yonekura K, Utsunomiya A, Ito A, Kusumoto S, Iida S, Ueda R, Ishida T, Inagaki H: Immunohistochemistry for CCR4 C-terminus predicts CCR4 mutations and mogamulizumab efficacy in adult T-cell leukemia/lymphoma. *J Pathol Clin Res* 7(1): 52-60, 2021
  11. Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Takeshita M, Iwasaki H, Yonekura K, Tashiro Y, Ito A, Kusumoto S, Utsunomiya A, Iida S, Ueda R, Inagaki H: Clinical significance of CD28 gene-related activating alterations in adult T-cell leukaemia/lymphoma. *Br J Haematol* 192(2):281-291, 2021
  12. Nakano N, Utsunomiya A, Matsuo K, Yoshida N, Seto M, Ohshima K, Fujiwara H, Fuji S, Takatsuka Y, Ito A, Miyamoto T, Suehiro Y, Nakamae H, Sawayama Y, Yuasa M, Miyazaki Y, Ota S, Imada K, Fukuda T, Ichinohe T, Atsuta Y, and Kato K: Chromosomal defects and survival in patients with adult T-cell leukemia/lymphoma after allogeneic HSCT. *Blood Adv* 5(2): 475-486, 2021
  13. Muranushi H, Shindo T, Hishizawa M, Tokunaga M, Wake A, Nakano N, Eto T, Hidaka M, Choi I, Miyamoto T, Uchida N, Moriuchi Y, Miyazaki Y, Fukuda T, Ichinohe T, Atsuta Y, ATL Working Group of the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation; Koji Kato: GVHD-free, relapse-free survival provides novel clues for optimizing allogeneic-HSCT for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Bone Marrow Transplant* 56(1): 155-166, 2021
  14. Nakano N, Takatsuka Y, Kubota A, Tokunaga M, Miyazono T, Tabuchi T, Odawara J, Tokunaga M, Makino T, Takeuchi S, Ito Y, Utsunomiya A: Cord blood transplantation with a reduced-intensity conditioning regimen using fludarabine and melphalan for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Int J Hematol* 2021 [Epub ahead of print]
  15. Nakahata S, Syahrul C, Nakatake A, Sakamoto K, Yoshihama M, Nishikata I, Ukai Y, Matsuura T, Kameda T, Shide K, Kubuki Y, Hidaka T, Kitanaka A, Ito A, Takemoto S, Nakano N, Saito M, Iwanaga M, Sagara Y, Mochida K, Amano M, Maeda K, Sueoka E, Okayama A, Utsunomiya A, Shimoda K, Watanabe T, Morishita K: Clinical significance of soluble CADM1 as a novel marker for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Haematologica* 106(2):532-542, 2021
  16. Nakano K, Chihara Y, Kobayashi S, Iwanaga M, Utsunomiya A, Watanabe T, Uchimaru K: Overexpression of aberrant Wnt5a and its effect on acquisition of malignant phenotypes in adult T-cell leukemia/lymphoma (ATL) cells. *Sci Rep* 11(1): 4114, 2021
  17. Ishizawa M, Ganbaatar U, Hasegawa A, Takatsuka N, Kondo N, Yoneda T, Katagiri K, Masuda T, Utsunomiya A, Kannagi M: Short-term cultured autologous peripheral blood mononuclear cells as a potential immunogen to activate Tax-specific CTL response in adult T-cell leukemia patients. *Cancer Sci* 112(3): 1161-1172, 2021
  18. Penova M, Kawaguchi S, Yasunaga JI, Kawaguchi T, Sato T, Takahashi M, Shimizu M, Saito M, Tsukasaki K, Nakagawa M, Takenouchi N, Hara H, Matsuura E, Nozuma S, Takashima H, Izumo S, Watanabe T, Uchimaru K, Iwanaga M, Utsunomiya A, Tabara Y, Paul R, Yamano Y, Matsuoka M, Matsuda F: Genome wide association study of HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis in the Japanese population. *Proc Natl Acad Sci USA* 16:118(11): e2004199118, 2021

<和文>

1. 中野伸亮:成人 T 細胞白血病 / リンパ腫の治療戦略 (同種移植、新規薬剤、免疫療法の課題と展望). *Hematopaseo* 6: 19-23, 2020

2. 宇都宮 興：成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL). 白血病と言われたら 改訂第 6 版 下巻 血液の病気を知ろう 血液疾患の種類と治療法. 認定特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会, 2020, pp138-148
3. 中野 伸亮：高齢者の血液疾患（骨髄異形成症候群と多発性骨髄腫）の新常識. レジデントノート増刊 22(8) : 57-67, 2020
4. 中野 伸亮：T/NK 細胞リンパ腫に対する治療戦略. 血液内科 81(3) : 417-422, 2020
5. 中野 伸亮：ATLL の病態と治療の進歩. 血液内科 81(5) : 639-644, 2020

外科・消化器外科

今村総合病院

<欧文>

1. Matsushita D, Arigami T, Okubo K, Sasaki K, Noda M, Kita Y, Mori S, Uenosono Y, Ohtsuka T, Natsugoe S : The Diagnostic and Prognostic Value of a Liquid Biopsy for Esophageal Cancer : A Systematic Review and Meta-Analysis. *Cancers (Basel)* 12(10) : 3070, 2020
2. Arigami T, Matsushita D, Okubo K, Sasaki K, Noda M, Kita Y, Mori S, Kurahara H, Yanagita S, Uenosono Y, Ishigami S, Ohtsuka T, Natsugoe S : Clinical Significance of Conversion Surgery for Gastric Cancer with Peritoneal Dissemination : A Retrospective Study. *Oncology* 98(11) : 798-806, 2020
3. Arigami T, Matsushita D, Okubo K, Yanagita S, Ehi K, Sasaki K, Noda M, Kita Y, Mori S, Kurahara H, Uenosono Y, Ishigami S, Natsugoe S : Response Rate and Prognostic Impact of Salvage Chemotherapy after Nivolumab in Patients with Advanced Gastric Cancer. *Oncology* 98(9) : 630-636, 2020
4. Okubo K, Arigami T, Matsushita D, Sasaki K, Kijima T, Noda M, Uenosono Y, Yanagita S, Ishigami S, Maemura K, Natsugoe S : Evaluation of postoperative quality of life by PGSAS-45 following local gastrectomy based on the sentinel lymph node concept in early gastric cancer. *Gastric Cancer* 23(4) : 746-753, 2020
5. Arigami T, Matsushita D, Okubo K, Kawasaki Y, Iino S, Sasaki K, Noda M, Kita Y, Mori S, Kurahara H, Maemura K, Yanagita S, Uenosono Y, Ishigami S, Natsugoe S : Indication and Prognostic Significance of Conversion Surgery in Patients with Liver Metastasis from Gastric Cancer. *Oncology* 98(5) : 273-279, 2020
6. Tanaka T, Arigami T, Uenosono Y, Yanagita S, Matsushita D, Okubo K, Kijima T, Uchikado Y, Kita Y, Mori S, Sasaki K, Omoto I, Kurahara H, Maemura K, Ishigami S, Natsugoe S : A long-term survivor of recurrent esophagogastric junction adenocarcinoma treated with multidisciplinary therapy : a case report. *Surg Case Rep* 6(1) : 13, 2020
7. Kijima T, Arigami T, Uenosono Y, Hiraki T, Yanagita S, Matsushita D, Okubo K, Shimonosono M, Ishigami S, Maemura K, Tanimoto A, Natsugoe S : Comparison of HER2 Status Before and After Trastuzumab-based Chemotherapy in Patients With Advanced Gastric Cancer. *Anticancer Res* 40(1) : 75-80, 2020
8. Kita Y, Mori S, Tanabe K, Baba K, Tanoue K, Idichi T, Wada M, Arigami T, Sasaki K, Maemura K, Natsugoe S : Clinical prospects for laparoscopic stoma closure of a temporary loop ileostomy : Initial experience and report. *Asian J Endosc Surg* 13(4) : 618-621, 2020

<和文>

1. 有上 貴明, 松下 大輔, 大久保 啓史, 上之園 芳一, 大塚 隆生 : 【最新の蛍光ガイド下手術】 胃癌における蛍光ガイド下手術. *消化器外科* 43(10) : 1411-1421, 2020
2. 中田 浩二, 池田 正視, 高橋 正純, 木南 伸一, 吉田 昌, 上之園 芳一, 小寺 泰弘, 柏木 秀幸, 羽生 信義 : 【ガイドラインには書いていない - 胃癌治療の CQ】 胃切除後障害の今 胃切除術式と胃切除後障害に関する, 今後胃癌治療ガイドラインで取り上げるべきポイント. *臨床外科* 75(10) : 1196-1200, 2020

3. 盛真一郎, 喜多芳昭, 馬場研二, 田辺寛, 和田真澄, 戸田洋子, 夏越祥次:【taTME のすべて】 taTME に必要な解剖. 臨床外科 75(5): 516-522, 2020

皮膚科

今村総合病院

< 欧文 >

1. Kaneko S, Tsuruta N, Yamaguchi K, Miyagi T, Takahashi K, Higashi Y, Morizane S, Nomura H, Yamaguchi M, Hino R, Sawada Y, Nakamura M, Ohyama B, Ohata C, Yonekura K, Hayashi H, Yanase T, Matsuzaka Y, Sugita K, Kikuchi S, Mitoma C, Nakahara T, Furue M, Okazaki F, Koike Y, Imafuku S; Western Japan Inflammatory Disease Research Group: Mycobacterium tuberculosis infection in psoriatic patients treated with biologics: Real-world data from 18 Japanese facilities. J Dermatol 47(2): 128-132, 2020
2. Hisadome M, Higashi Y, Yonekura K, Kawai K, Kanekura T: Type I hypersensitivity elicited by an electrolytic solution containing 5% maltose. Journal of Cutaneous Immunology and Allergy 3(6): 128-129, 2020
3. Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ishitsuka K, Ishizawa K, Ito S, Amano M, Ishida T, Uike N, Utsunomiya A, Ohshima K, Tanaka J, Tokura Y, Tobinai K, Watanabe T, Uchimarui K, Tsukasaki K; for collaborative Investigators: Prognosis of patients with adult T-cell leukemia/lymphoma in Japan: A nationwide hospital-based study. Cancer Sci 111(12): 4567-4580, 2020
4. Yonekura K, Kusumoto S, Choi I, Nakano N, Ito A, Suehiro Y, Imaizumi Y, Yoshimitsu M, Nosaka K, Ohtsuka E, Hidaka M, Jo T, Sasaki H, Moriuchi Y, Ogata M, Tatetsu H, Ishitsuka K, Miyazaki Y, Ueda R, Utsunomiya A, Ishida T: Mogamulizumab for adult T-cell leukemia-lymphoma: a multicenter prospective observational study. Blood Adv 4(20): 5133-5145, 2020
5. Fujii K, Sakamoto Y, Masaki A, Murase T, Tashiro Y, Yonekura K, Utsunomiya A, Ito A, Kusumoto S, Iida S, Ueda R, Ishida T, Inagaki H: Immunohistochemistry for CCR4 C-terminus predicts CCR4 mutations and mogamulizumab efficacy in adult T-cell leukemia/lymphoma. J Pathol Clin Res 7(1): 52-60, 2021
6. Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Takeshita M, Iwasaki H, Yonekura K, Tashiro Y, Ito A, Kusumoto S, Utsunomiya A, Iida S, Ueda R, Inagaki H: Clinical significance of CD28 gene-related activating alterations in adult T-cell leukaemia/lymphoma. Br J Haematol 192(2): 281-291, 2021
7. Ohtsuka M, Hamada T, Miyagaki T, Shimauchi T, Yonekura K, Kiyohara E, Fujita H, Izutsu K, Okuma K, Kawai K, Koga H, Sugaya M: Outlines of the Japanese guidelines for the management of primary cutaneous lymphomas 2020. J Dermatol 48(2): e49-e71, 2021
8. Kawai H, Ando K, Maruyama D, Yamamoto K, Kiyohara E, Terui Y, Fukuhara N, Miyagaki T, Tokura Y, Sakata-Yanagimoto M, Igarashi T, Kuroda J, Fujita J, Uchida T, Ishikawa T, Yonekura K, Kato K, Nakanishi T, Nakai K, Matsunaga R, Tobinai K: Phase II study of E7777 in Japanese patients with relapsed/refractory peripheral and cutaneous T-cell lymphoma. Cancer Sci, 2021[Epub ahead of print]

< 和文 >

1. 米倉健太郎: いま学びたい皮膚リンパ腫の診断と治療. MB Derma 291: 55-64, 2020
2. 米倉健太郎: 高齢者の皮膚悪性腫瘍への現実的対応. Geriatric Medicine 58(8): 717-720, 2020
3. 大塚幹夫, 伊豆津宏二, 大熊加恵, 河井一浩, 清原英司, 島内隆寿, 濱田利久, 藤田英樹, 宮垣朝光, 米倉健太郎, 古賀弘志, 菅谷誠: 皮膚悪性腫瘍ガイドライン第3版 皮膚リンパ腫診療ガイドライン 2020. 日本皮膚科学会雑誌 130(6): 1347-1423, 2020

4. 秦舞子, 佐藤浩子, 市橋亮一: 在宅専門クリニックに在籍する皮膚科医の役割. 特集: 皮膚科往診バイブル~これからの絶対必要になる, 在宅診療のすべて. 学研メディカル秀潤社 19(12): 1210-1213, 2020

<著書>

1. 米倉健太郎: 紅皮症 (剥脱性皮膚炎). 今日の治療指針 2020 年版 (Volume62). 医学書院, 2020, pp1275
2. 米倉健太郎: 成人 T 細胞白血病リンパ腫. 皮膚疾患最新の治療 2021-2022. 南江堂, 2021, pp259-260

病理診断科

今村総合病院

<欧文>

1. Furukawa Y, Hamada H, Kamikawaji K, Unoki T, Inoue H, Tashiro Y, Okamoto M, Baba M, Hashiguchi T: Successful treatment of an AIDS patient with prolonged Mycobacterium avium bacteremia, high HIV RNA, HBV infection, Kaposi's sarcoma and cytomegalovirus retinitis. *Infect Chemother* 26(2): 279-281, 2020
2. Fujii K, Sakamoto Y, Masaki A, Murase T, Tashiro Y, Yonekura K, Utsunomiya A, Ito A, Kusumoto S, Iida S, Ueda R, Ishida T, Inagaki H: Immunohistochemistry for CCR4 C-terminus predicts CCR4 mutations and mogamulizumab efficacy in adult T-cell leukemia/lymphoma. *J Pathol Clin Res* 7(1): 52-60, 2021
3. Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Takeshita M, Iwasaki H, Yonekura K, Tashiro Y, Ito A, Kusumoto S, Utsunomiya A, Iida S, Ueda R, Inagaki H: Clinical significance of CD28 gene-related activating alterations in adult T-cell leukaemia/lymphoma. *Br J Haematol* 192(2): 281-291, 2021

小児科

今村総合病院

<欧文>

1. Delaney A, Volochayev R, Meader B, Lee J, Almpani K, Noukelak GY, Henkind J, Chalmers L, Law JR, Williamson KA, Jacobsen CM, Buitrago TP, Perez O, Cho CH, Kaindl A, Rauch A, Steindl K, Garcia JE, Russell BE, Prasad R, Mondal UK, Reigstad HM, Clements S, Kim S, Inoue K, Arora G, Salnikov KB, DiOrio NP, Prada R, Capri Y, Morioka K, Mizota M, Zechi-Ceide RM, Kokitsu-Nakata NM, Tonello C, Vendramini-Pittoli S, da Silva Dalben G, Balasubramanian R, Dwyer AA, Seminara SB, Crowley WF, Plummer L, Hall JE, Graham JM, Lin AE, Shaw ND: Insight Into the Ontogeny of GnRH Neurons From Patients Born Without a Nose. *J Clin Endocrinol Metab* 105(5): 1538-1551, 2020
2. Nakamura T, Kakimoto H, Morita S, Mizota M, Iwamoto J: Subacute thyroiditis presenting with creeping in a 6-year-old boy. *Clin Pediatr Endocrinol* 30(1): 75-78, 2021

腎臓内科

今村総合病院

<欧文>

1. Uwatoko M, Tokunaga K, Kawano M, Kamimura M, Ibi Y, Otsuka M, Minami M, Yoshimine H, Hamada F, Ido A: A case report with a literature review: cerebral meningioma diagnosed by convulsion and consciousness disorder on initiating hemodialysis. *Renal Replacement Therapy* 2020 [Epub ahead of print]

循環器内科

今村総合病院

<欧文>

1. Higo K, Kubota K, Hiwatari S, Iwatani N, Minayaga S, Jinguji M, Ohishi M : The potential for early diagnosis of pulmonary arterial hypertension using lung iodine-123-metaiodobenzylguanidine (123I-MIBG) uptake : A case report. Radiol Case Rep 15(8) : 1164-1167, 2020
2. Kubota K, Miyayama S, Iwatani N, Higo K, Tokushige A, Ikeda Y, Ohishi M : Geriatric Nutritional Risk Index Is Associated With Prognosis in Patients With Pulmonary Arterial Hypertension and Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension. Circ Rep 2020 12;2(7) : 372-377, 2020

糖尿病内科

慈愛会クリニック

<欧文>

1. Komorizono Y, Hosoyamada K, Imamura N, Kajiya S, Hashiguchi Y, Ueyama N, Shinmaki H, Koriyama N, Tsukasa M, Kamada T : Metformin dose increase versus added linagliptin in non-alcoholic fatty liver disease and type 2 diabetes:An analysis of the J-LINK study. Diabetes,Obesity and Metabolism : 1-6, 2020

臨床工学部 (CE)

今村総合病院

<和文>

1. 高岡大, 竹下佳希, 坂口政人, 越智秀美, 原康隆, 森田恵一, 樋元祐輔, 井上元紀, 川井田季睦, 岡田翔, 雪松慎太郎, 家村央士朗, 竹之内聖三, 三重陽一 : PMX-DHP 施行症例における比較～下部消化管穿孔症例との比較～. エンドトシン血症救命治療研究会誌 プロシーディング 24(1) : 183-186, 2020

かごしまオハナクリニック

<和文>

1. 小松真成, 田村幸大, 林恒存, 西元嘉哉, 谷口純一, 吉野俊平 : 九州支部教育セミナー開催報告 Mutlimorbidity 時代の内科診療. 日本内科学会雑誌 109(11) : 2414-2421, 2020

<その他の論文、著述>

1. 林恒存 : Overview 特定健診とがん検診. 臨床雑誌 内科 126(6): 南江堂,1039-1046,2020
2. 林恒存 : 随筆「年男雑感 これまでとこれから」. 鹿児島市医報 60(1) : 56-58, 2021

救急総合内科

今村総合病院

<その他の論文、著述>

1. 西垂水 and 隆 : 非麻薬性鎮痛薬の使用方法の新常識. レジデントノート増刊 22(8) : 136-145, 医学出版, 2020

2. 畠中成己：非チフス性サルモネラ菌血症の7例について. 鹿児島市医報 59(10)：9-14, 2020
3. 有馬丈洋：発熱患者の検査をどう見るか?. レジデント 130(13)8：41-46, 医学出版, 2020
4. 西垂水和隆（高齢者肺炎研究グループ）：高齢者肺炎におけるインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの予防効果に関する症例対照研究. 厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）ワクチンの有効性・安全性と効果的適用に関する疫学研究：55-60, 2021

【学会発表】

血液内科

今村総合病院

<国際>

1. Kogure Y, Kameda T, Koya J, Kamiunten A, Shide K, Hidaka T, Kubuki Y, Yoshimitsu M, Nosaka K, Imaizumi Y, Watanabe M, Saito Y, Marni B. McClure, Tabata M, Shingaki S, Yoshifuji K, Shiraishi Y, Hidaka M, Utsunomiya A, Juan Carlos Ramos, Shibata T, Takaori-Kondo A, Miyazaki Y, Matsuoka M, Ishitsuka K, Ogawa S, B. Hilda Ye, Shimoda K, and Kataoka K : Whole-genome analysis of adult T-cell leukemia/lymphoma. The 62nd American Society Hematology Annual Meeting in Virtual, USA, 5-8 December, 2020

<国内>

1. 大木浩, 古川良尚, 竹原哲彦, 西迫裕昭, 宮下幸一郎, 寺野玉枝, 花牟禮豊, 奥沙織, 大塚真紀, 森千奈美, 宮園卓宜, 藤山裕輝, 中島彩乃, 原口安江, 原純, 清武貴子, 園田敬大, 中野秀人, 義永文一, 田中朝志, 砂原伸彦, 児玉健士, 田畑千穂子, 川上保浩, 野村秀洋 : 奄美ブラッドローテーション・離島の救命救急センターにおける血液製剤利用に対して複数の連携医療機関が支援を行う運用の研究. 第68回日本輸血・細胞治療学会総会, 2020年5月28-30日, 札幌 (誌上発表)
2. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宇都宮與, 帆北修一 : 当院における移植用輸血システムの構築とその効果について. 第68回日本輸血・細胞治療学会総会, 2020年5月28-30日, 札幌 (誌上発表)
3. 牧野桃子, 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宇都宮與, 帆北修一 : 学会認定・自己血輸血看護師の役割～当院における自己血採血前業務の統一化への取り組み～. 第68回日本輸血・細胞治療学会総会, 2020年5月28-30日, 札幌 (誌上発表)
4. 宮園卓宜, 牧野桃子, 兼石知香 : 当院における骨髄ドナーの自己血貯血の安全性、自己血輸血の有用性の検討. 一般社団法人日本自己血輸血・周術期輸血学会第33回学術総会, 2020年9月3-18日, Web
5. 牧野桃子, 兼石知香, 宮園卓宜 : 当院における自己血採血業務の統一化に向けての取り組み. 一般社団法人日本自己血輸血・周術期輸血学会第33回学術総会, 2020年9月3-18日, Web
6. Hirouchi T, Yamagishi M, Nakashima M, Kobayashi S, Makiyama J, Utsunomiya A, Watanabe T, Suzuki Y, Uchimaruru K. Ectopic expression of voltage-gated Ca<sup>2+</sup> channel Cav3.2 perturbed intracellular Ca<sup>2+</sup> signals in adult T-cell leukemia. 第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月1-3日, 広島 (Web)
7. 横溝明香里, 山岸誠, 廣内大成, 久世裕太, 窪川美雪, 宇都宮與, 福田隆浩, 渡邊俊樹, 鈴木穰, 内丸薫 : VAV1 / PLCG1 の協調的変異による TCR シグナル伝達経路の異常な活性化. 第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月1-3日, 広島 (Web)
8. Yamagishi M, Suzuki Y, Kubokawa M, Kuze Y, Yokomizo A, Suzuki A, Kobayashi S, Nakashima M, Utsunomiya A, Morishima S, Fukuda T, Watanabe T, Uchimaruru K : Single-cell multi-omics sequencing reveals biological significance of TCR pathway mutation in the clonal evolution. 第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月1-3日, 広島 (Web)
9. 水池潤, 山岸誠, 大高時文, 中嶋伸介, 小林誠一郎, 中島誠, 新谷奈津美, 牧山純也, 宇都宮與, 田中勇悦, 渡邊俊樹, 山野嘉久, 鈴木穰, 藤澤順一, 内丸薫 : HTLV-1 感染前がんモデルにおけるエピジェネティックな MAPK/ERK 経路の活性化. 第79回日本癌学会学術総会, 2020年10月1-3日, 広島 (Web)
10. Kogure Y, Kameda T, Koya J, Kamiunten A, Shide K, Hidaka T, Kubuki Y, Yoshimitsu M, Nosaka K, Imaizumi Y, Watanabe M, Saito Y, M B. McClure, Tabata M, Shingaki S, Yoshifuji K, Shiraishi Y, Hidaka M, Utsunomiya A, Juan Carlos Ramos, Shibata T, Takaori A, Miyazaki Y, Matsuoka M, Ishitsuka K, Ogawa S,

- B. Hilda Ye, Shimoda K, Kataoka K : Whole-genome analysis of adult T-cell leukemia/lymphoma. 第 82 回日本血液学会学術集会, 2020 年 10 月 10 日, Web
11. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宇都宮與, 帆北修一: 急性骨髄性白血病再発臍帯血移植後に、急性消化管 GVHD、アデノウイルス性出血性膀胱炎を併発した一例. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会, 第 67 回総会、第 88 回例会, 2020 年 11 月 28 日, Web
  12. 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 内山典明, 西田博利, 宇都宮與, 伊藤能清: トモセラピーを用いた移植前処置の有効性と安全性の後方視的解析. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2021 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
  13. 中野伸亮, 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: タクロリムス単剤での GVHD 予防による臍帯血移植後早期の CD8 陽性 T 細胞、NK 細胞の動態. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2021 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
  14. 政氏伸夫, 福田隆浩, 保仙直毅, 高折晃史, 衛藤徹也, 黒川峰夫, 赤司浩一, 大橋一輝, 田中正嗣, 宮村耕一, 前田嘉信, 石黒卓朗, 日野雅之, 小川佳宏, 内山人二, 岩崎浩己, 甲田祐也, 久保恒明, 安藤潔, 益崎裕章, 奥村 廣和, 中尾眞二, 末廣陽子, 宇都宮與, 堺田恵美子, 豊嶋崇徳, 烏野隆博, 塚田信弘, 矢部善正, 小寺良尚: 同種末梢血ドナー調査 2020 の day 30 report data を用いた Poor mobilizer の解析. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2021 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
  15. 篠原明仁, 進藤理穂, 中野伸亮, 堺田恵美子, 内田直之, 福島健太郎, 中澤 英之, 芦田隆司, 神田善伸, 田中淳司, 福田隆浩, 熱田由子, 仲宗根秀樹: フルダラビンと骨髄破壊の用量のプスルファンを用いた同種移植前処置は高齢者で非再発死亡の悪化と関連する. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2021 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
  16. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 森希美, 村山芳博, 堂園充代, 吉田一成, 奈良聡一郎, 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與: 同種造血幹細胞移植患者における年齢による身体機能・QOL 変化. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2020 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
  17. 井上明威, 中野伸亮, 衛藤徹也, 河北敏郎, 宮本敏浩, 末廣陽子, 澤山 靖, 諫田淳也, 一戸辰夫, 熱田由子, 福田隆浩, 吉満誠: 成人 T 細胞白血病リンパ腫における HLA ミスマッチ移植の影響: ATL-WG 13-21. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2021 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
  18. 横峯小春, 船倉志保, 豎山理奈, 谷村あゆみ, 池田清夏, 福山美智子, 中野伸亮, 伊藤能清: ペットや家畜を飼育する同種移植患者の実態調査. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2021 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
  19. 宇都宮與, 中野伸亮, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 小田原淳, 徳永雅仁, 窪田歩, 宮園卓宜, 伊藤能清, 高崎能久, 上之園芳一, 帆北修一, 田代幸恵: 胃原発成人 T 細胞白血病リンパ腫の 1 例. 第 11 回日本血液学会九州地方会, 2021 年 3 月 13 日, 福岡 (Web)
  20. 小田原淳, 中野伸亮, 田淵智久, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: 同種移植後 Gilteritinib 維持療法中に増悪し、Quizartinib が奏功した FLT3ITD 変異陽性 AML の 3 症例. 第 11 回日本血液学会九州地方会, 2021 年 3 月 13 日, 福岡 (Web)

外科・消化器外科

今村総合病院

1. 中田浩二, 木南伸一, 池田正視, 高橋正純, 吉田昌, 上之園芳一, 小塩真司, 寺島雅典, 小寺泰弘: 上部消化管機能温存術式のエビデンス 各胃切除術における機能温存手技としての迷走神経腹腔枝温存の意義. 第 120 回日本外科学会定期学術集会, 2020 年 8 月 14 日, 横浜 (Web)
2. 小城夕季, 馬場研二, 田辺寛, 福久はるひ, 中嶋太極, 濱田由紀, 安留龍太郎, 上之園芳一, 帆北修一: 憩室炎を契機に発見された結腸悪性腫瘍の 2 切除例. 第 80 回鹿児島県臨床外科学会医学会, 2020 年 8 月 22 日, 鹿児島
3. 馬場研二, 大井秀之, 安留龍太郎, 田辺寛, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一, 盛真一郎, 夏越祥次: 定型化した腹腔鏡下左側大腸手術～IMA 根部郭清における安定した展開法～. 第 45 回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2020

年8月28日, 久留米

4. 中田浩二, 木南伸一, 三澤一成, 池田正視, 高橋正純, 吉田昌, 上之園芳一, 寺島雅典, 小寺泰弘, 「胃癌術後評価を考える」ワーキンググループ: 機能温存手術(食道・胃)の現状 機能温存手技と腹腔鏡アプローチが幽門側胃切除 Billroth I法再建後の QOL に及ぼす影響. 第82回日本臨床外科学会総会, 2020年10月31日, 大阪(Web)
5. 小城夕季, 福久はるひ, 中嶋太極, 濱田由紀, 安留龍太郎, 田辺寛, 馬場研二, 上之園芳一, 帆北修一: 憩室炎を契機に発見された結腸悪性腫瘍の2切除例. 日本消化器病学会九州支部第116回例会 2020年12月4日, 大分(Web).
6. 大井秀之, 上之園 芳一, 安留龍太郎, 田辺寛, 馬場研二, 帆北修一, 夏越祥次: 当院における Crohn 病に対する外科治療. 第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月15日, 和歌山(Web)
7. 安留龍太郎, 上之園芳一, 大井秀之, 田辺寛, 馬場研二, 帆北修一, 夏越祥次: ステージIV大腸癌にSOX+Bmab療法を行い組織学的CRを得た3症例. 第75回日本消化器外科学会総会, 2020年12月15日, 和歌山(Web)
8. 田辺寛, 安留龍太郎, 濱田由紀, 馬場研二, 有馬豪男, 上之園芳一, 帆北修一: 精神疾患を合併する大腸癌患者への外科治療経験. 日本外科系連合学会学術集会, 2020年12月24日, 久留米(Web)

#### 消化器内科

##### いづろ今村病院

1. 小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻: 新規 pH 依存型メサラジンの有効性. 第106回日本消化器病学会総会, 2020年8月11日, 広島(Web)
2. 小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻: 炎症性腸疾患患者の妊娠・出産に関する検討. 第62回日本消化器病学会大会, 2020年11月5日, 神戸(Web)
3. 小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻: 新規 MMX 型メサラジンの有効性-粘膜治癒を得られるか-. 第116回日本消化器病学会九州支部例会, 2020年12月4日, 大分(Web)

#### 救急総合内科

##### 今村総合病院

1. 海江田貴憲, 崎山隼人: 在宅での終末期のケアで難しさを感じた事例. 第51回 Kyusyu Okinawa Portfolio e-learning, 2020年6月17日, Web
2. 寺師綾子, 西垂水和睦, 市來征仁, 大塚暢, 畠中成己, 西村時紘: 骨髄異形成症候群が原因と思われた両側副腎出血の1例. 第331回日本内科学会九州地方会, 2020年11月29日, 宮崎(Web)
3. 和田忠久, 西垂水和睦, 市來征仁, 大塚暢, 有馬丈洋, 畠中成己, 寺師綾子, 山本花, 伊藤貴祥, 留岡史樹: Klebsiella pneumoniae による侵襲性肝膿瘍の1例. 第332回日本内科学会九州地方会, 2021年1月9日, 福岡(Web)

#### 脳神経外科

##### 今村総合病院

1. 永野祐志, 田中俊一, 田實謙一郎, 吉本幸司: 小脳出血に対する仰臥位での外側後頭下小開頭による血腫除去術の有用性. 第49回日本脳卒中の外科学会学術集会, 2020年8月24-25日, 横浜(Web)
2. 永野祐志, 町田明理, 大山賢, 脇田政之, 神田直昭, 川畑和代, 鹿島克郎, 田中俊一, 吉本幸司: 脳卒中専門医不在地域における遠隔画像診断システム導入の有用性と課題. 第79回日本脳神経外科学会総会, 2020年10月15-17日, 岡山
3. 永野祐志, 町田明理: 脳卒中診療における神経内科との協力体制の重要性. 第78回鹿児島脳神経外科学会, 2020年12月12日, 鹿児島

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎, 鶴田紀子, 宮城拓也, 小池雄太, 東裕子, 桑代麻希, 中原剛士, 大畑千佳, 金子栄, 山口道也, 池田賢太, 原田佳代, 齋藤華奈実, 柳瀬哲至, 今福信一: 乾癬患者における HTLV-1 抗体陽性率と治療選択に与える影響を明らかにするための多施設共同観察研究. 第 35 回日本乾癬学会学術大会, 2020 年 9 月 12-13 日, 福島 (Web)
2. 上塘葉子, 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎: 有孔網状オープンセルフフォームを使用した局所陰圧洗浄療法を併用したオトガイ部褥瘡治療の 1 例. 第 72 回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 2020 年 10 月 24-25 日, 松山 (Web)
3. 上塘葉子, 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 神崎保, 米倉健太郎, 島田辰彦: 開腹術後の瘻孔部に発症した基底細胞癌の 1 例. 第 36 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 2021 年 1 月 8-9 日, 横浜 (Web)

小児科

今村総合病院

1. 溝田美智代: 心理的要因が疑われ治療を中止できた複合型下垂体機能低下症の 1 例. 第 93 回日本小児内分泌学会学術集会, 2020 年 6 月 4-6 日, 浜松 (Web)
2. 四元景子, 溝田美智代, 高崎能久, 田代幸恵: ヘルペスウイルス初感染で食道炎を発症した一例. 第 175 回日本小児科学会鹿児島地方会, 2021 年 2 月 7 日, 鹿児島
3. 関祐子, 柿本令奈, 堀口達史, 森田智, 溝田美智代: 学校検診の成長曲線で発見された胚細胞腫の 1 例. 第 4 回日本小児内分泌学会九州沖縄地方会, 2021 年 2 月 21 日, 福岡 (Web)

スポーツ整形外科

今村総合病院

1. 前園恵慈: シンスプリントと足アーチ高との関係についての検討. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会-オンライン学術集会-, 2020 年 11 月 4-30 日, 宮崎 (Web)
2. 前園恵慈: 女子中高生バスケットボール選手の前十字靭帯断裂の疫学についての検討. JOSKAS-JOSSM 2020 (第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 第 46 回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会), 2020 年 12 月 17-19 日 (オンデマンド配信 2020 年 12 月 17 日 -2021 年 1 月 18 日), 兵庫 (Web)

病理診断科

今村総合病院

1. 宇都宮與, 中野伸亮, 竹内昇吾, 高塚祥芝, 小田原淳, 徳永雅仁, 窪田歩, 宮園卓宜, 伊藤能清, 高崎能久, 上之園芳一, 帆北修一, 田代幸恵: 胃原発成人 T 細胞白血病リンパ腫の 1 例. 第 11 回日本血液学会九州地方会, 2021 年 3 月 13 日, 福岡 (Web)

泌尿器科

今村総合病院

1. 一美貴弘, 水間浩平, 石原知明, 有村博史, 常盤光弘: 新規開発された発光式尿管カテーテル Infrared illumination system を用いて腹腔鏡下直腸癌手術を行った 1 例. 第 141 回日本泌尿器科学会鹿児島地方会, 2020 年

12月20日, 鹿児島

麻酔科・ペインクリニック内科

今村総合病院

1. 下野裕生, 川崎孝一, 東美木子, 新村尚美, 蓑田祐子, 鈴木有希: 青壮年患者においてレミマゾラムによる麻酔を行った場合の麻酔薬の術中平均投与量と術後覚醒時間について. 鹿児島麻酔懇話会, 2021年3月13日, 鹿児島

看護部

今村総合病院

1. 中村倫丈, 越口晋伍: 当院ICUにおけるせん妄発症状況と関連する危険因子の実態調査. 第16回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2020年7月1日-12月31日, 大阪 (Web)
2. 小濱奈々, 永野裕志, 稲森晃, 福田美幸, 小村友子, 神田直昭: t-PA 静注療法・血栓回収療法開始時間短縮のための業務フロー導入とその効果. 日本脳卒中学会学術集会 (STROKE2020), 2020年8月23日, 神奈川 (Web)
3. 吉森みゆき, 小波津武志: 感染管理ベストプラクティスを用いた外部委託業者への教育. 第22回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020年10月6-7日, 京都 (誌上発表)
4. 吉森みゆき, 小波津武志: 外来機能の構築に向けた現状と課題 固定配置から変動配置の転換に向けた取組. 第22回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020年10月6-7日, 京都 (誌上発表)
5. 小波津武志, 吉森みゆき: がん薬物療法による職業性曝露対策の実際と課題. 第22回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020年10月6-7日, 京都 (誌上発表)

いづろ今村病院

1. 柳井谷みさき: 眼科手術を受ける患者の手術中の不安軽減への取り組み～患者の不安の分析と看護実践～. 第54回鹿児島県保健看護研究学会, 2021年1月23日, 鹿児島

谷山病院

1. 中園明子: 精神科認定看護師・特定看護師の人材活用～離島の精神科医療体制への導入にむけて～. 第24回日本看護管理学会学術集会, 2020年8月28-29日, 石川 (Web)
2. 草野智之, 川路友美, 満富陽子: 精神科入院中の患者に対する下肢筋力増加の取り組み～足趾間圧力測定器による評価～. 第27回日本精神科看護専門学術集会, 2020年12月5-6日, 茨城 (Web)

奄美病院

1. 肥後友嘉: 攻撃性のエスカレータを防ぐ～ディエスカレーションを意識した取り組み～. 第27回日本精神科看護専門学術集会, 2020年12月5-6日, 茨城 (Web)
2. 満永雅美: 私たちの夜勤帯に感じる自己判断の不安. 第27回日本精神科看護専門学術集会, 2020年12月5-6日, 茨城 (Web)

徳之島病院

1. 吉元初美, 宮本陽子, 末永真由美: 精神科病院のない離島における出張訪問看護の実践報告. 第27回日本精神科看護専門学術集会, 2020年12月6日, 茨城 (Web)
2. 芳田真由美, 嶺井千春, 政岡恵, 幸春奈: 精神科病院のない地域への訪問看護を始めて～患者・家族・行政の思い

を尋ねて見えたもの～. 第27回日本精神科看護専門学術集会, 2020年12月6日, 茨城 (Web)

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士

1. 武清孝弘, 堂園浩一郎, 森希美, 村山芳博, 吉田一成, 奈良聡一郎, 堂園充代, 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與: 同種造血幹細胞移植患者における年齢による身体機能・QOL変化. 第43回日本造血細胞移植学会総会, 2021年3月5-7日, 東京 (Web)
2. 東健祐, 松元龍, 浜田香穂麗, 村山芳博, 迎雄作, 室屋信二, 堂園浩一郎: 摂食障害を呈した1症例に対する理学療法介入BMI・血液データと身体機能の回復過程. 第34回鹿児島県理学療法士学会, 2021年3月14日, 鹿児島 (Web)
3. 松元龍, 津曲麻美, 鮫島悠子, 浜田香穂麗, 村山芳博: 当院SCUにおける退院時FIMに関連する因子の検討. 第34回鹿児島県理学療法士学会, 2021年3月14日, 鹿児島 (Web)
4. 岡村敏之, 武清孝弘, 園田拓史, 川本哲志, 村山芳博, 堂園浩一郎: 健康教室に参加された透析患者の身体機能・活動量と透析期間について. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会, 2021年3月20-21日, 宮城 (Web)

いづろ今村病院 理学療法士

1. 西賢一郎: 当院における看護要員の腰痛調査報告. 第22回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020年10月6-7日, 京都 (Web)

今村総合病院 作業療法士

1. 寺園隆宏: 重度片麻痺患者が両手でのカメラ操作を可能とした一例. 第54回日本作業療法学会, 2020年10月19日, 新潟 (Web)

今村総合病院 言語聴覚士

1. 鮫島悠子, 門田良子, 松元龍, 村山芳博, 神田直昭, 堂園浩一郎: 橋病変を契機として高次脳機能障害を呈した2症例. 第44回日本高次脳機能障害学会学術総会, 2020年11月22日, 岡山 (Web)

薬剤部

今村総合病院

1. 木下大夢, 岡崎椋子, 御牧夕紀子, 帖佐弘子, 松山淳史, 鬼丸俊司: Clostridioides difficile 感染症再発の要因解析. 第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月24日-11月1日, 名古屋 (Web)
2. 御牧夕紀子, 橋本直美, 木下大夢, 平松愛理, 山崎良子, 國師奈緒美, 松山淳史, 帖佐弘子, 鬼丸俊司, 山口辰哉: ICUサテライト薬局における無菌調製業務. 第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021年2月7日, 鹿児島 (Web)
3. 山下万葵, 橋本直美, 岩坪真穂, 横山大樹, 鬼丸俊司, 山口辰哉: 臍帯血移植時のレテルモビルに対する薬剤師の介入について. 第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021年2月7日, 鹿児島 (Web)
4. 橋本直美, 堀口大輔, 松山淳史, 鬼丸俊司, 中野伸亮, 伊藤能清: 同種造血幹細胞移植におけるブスルファンの1日1回投与方法への変更による安全性と薬剤師業務への影響に関する検討. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2021, 2021年3月6-7日, 千葉 (Web)
5. 堀口大輔, 橋本直美, 松山淳史, 鬼丸俊司: 連携充実加算取得に向けての取り組み. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2021, 2021年3月6-7日, 千葉 (Web)

## いづろ今村病院

1. 遠矢素子, 東屋敷史織, 内山ゆかり, 東條知子, 野元優基, 有間三香子, 元山真悟, 神門孝典, 山口辰哉: チェックシートを活用したタクロリムス UC 患者に対する薬剤師の関わり. 第 5 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021 年 2 月 7 日, 鹿児島 (Web)

## 谷山病院

1. 幸田将輝, 馬場貴子, 染川考佑, 大平有紗, 田代佳代, 稲森志織, 四本晶子, 新村味穂子, 山口辰哉: 急性期病棟におけるプレクスピラゾール内服開始患者の現状と症例. 第 5 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021 年 2 月 7 日, 鹿児島 (Web)

### 画像診断部

## 今村総合病院

1. 馬場隆行: プレシヨットと補助具を用いた多様性のある骨関節に対する低被ばく高精度 X 線撮影の実現. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020 年 11 月 4-30 日, 宮崎 (Web)
2. 馬場隆行: プレシヨットと補助具を活用した再撮影基準の決定と低被ばく高精度撮影の実現. 第 36 回日本診療放射線技師学術大会, 2021 年 1 月 8-31 日, 宮城 (Web)

## いづろ今村病院

1. 矢崎滉平: 腹部超音波検査で鑑別困難であった肝疾患の 1 例. 第 61 回日本人間ドック学会学術大会, 2020 年 11 月 26 日 -12 月 26 日, Web
2. 上釜健作, 矢崎滉平: 腹部超音波検査で診断に苦慮した脾原発悪性リンパ腫の 1 例. 第 45 回日本超音波検査学会学術集会, 2020 年 12 月 19 日 -2021 年 1 月 31 日, Web

### 臨床検査部

## 今村総合病院

1. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 高塚祥芝, 宇都宮興, 帆北修一: 当院における移植用輸血システムの構築とその効果について. 第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2020 年 5 月 28 - 30 日, 札幌 (Web)
2. 牧野桃子, 兼石知香, 新屋果蓮, 小田原千里, 中島彩乃, 藤山裕輝, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宮園卓宜, 宇都宮興, 帆北修一: 学会認定・自己血輸血看護師の役割～当院における自己血採血前業務の統一化への取り組み～. 第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2020 年 5 月 28 - 30 日, 札幌 (Web)
3. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宇都宮興, 帆北修一: 急性骨髄性白血病再発臍帯血移植後に、急性消化管 GVHD、アデノウイルス性出血性膀胱炎を併発した 1 例. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第 67 回総会, 2020 年 11 月 28 日, 長崎 (Web)

## 教育開発センター

1. 中重敬子: 人材育成とチームビルディングの組織づくり. 第 22 回日本医療マネジメント学会学術集会, 2020 年 10 月 6-7 日, 京都

## 【研究会・講演会】

### 血液内科

#### 今村総合病院

1. 中野伸亮：当院における移植後再発の対応. 令和2年度第2回 ATL 福田班 Web 班会議, 2020年8月28日, Web
2. 宮園卓宜:FL 白血化症例に対しBR 施行し再発なしなるも、低 $\gamma$ グロブリン血症が持続している症例. Zoom セミナー九州リンパ腫 meeting, 2020年10月22日, Web
3. 小田原淳：再発・難治性 FLT3 遺伝子変異陽性 AML 移植適応症例に対する移植へのブリッジング、移植後再投与. XOSPATA HSCT カンファレンス, 2020年11月27日, Web
4. 中野伸亮：血液内科医としてのキャリア足跡. Young Hematologist Web Discussion Seminar, 2020年11月27日, Web
5. 中野伸亮：地域医療としての臍帯血移植の役割. 令和2年度第1回造血幹細胞移植推進拠点病院 WEB セミナー「With コロナ時代における造血幹細胞移植のための地域連携と岩手県における現状」, 2021年2月28日, Web
6. 宇都宮興：HBI-8000 210 試験 症例報告. 2021年3月5日, HBI-8000 (Tucidinostat) Scientific Advisory Board Meeting, Web

### 外科・消化器外科

#### 今村総合病院

1. 馬場研二：当院における大腸癌化学療法の実際. がん薬物療法対策講習会, 2020年10月3日, 鹿児島
2. 馬場研二：令和最新の大腸癌化学療法. 若手隼人の会, 2020年10月28日, 鹿児島
3. 馬場研二：大腸ステント最前線～閉塞性大腸癌に対する BTS ～. 2020年12月3日, 鹿児島
4. 馬場研二：大腸癌治療における最近の話題～NAC から腹腔鏡手術～. 鹿児島がん診療セミナー, 2020年12月17日, 鹿児島

### 消化器内科

#### いづろ今村病院

1. 小野陽平：IBD における医療連携. HIGO SATSUMA IBD Symposium, 2021年1月13日, 鹿児島 (Web)
2. 小野陽平, 大井秀久, 生駒今日子, 徳元攻：中等症難治性 UC の治療戦略を考える. Ustekinumab Web Meeting in 鹿児島, 2021年2月9日, 鹿児島 (Web)
3. 小野陽平：クローン病に対するウステキスマブの有用性と安全性. 鹿児島大腸肛門病懇話会, 2021年2月26日, 鹿児島 (Web)
4. 小野陽平：潰瘍性大腸炎の治療と病診連携. 北薩 IBD フォーラム, 2021年3月4日, 鹿児島 (Web)
5. 小野陽平：MMX 型メサラジンの使用経験. 鹿児島 IBD ネットフォーラム, 2021年3月9日, 鹿児島 (Web)
6. 小野陽平：IBD におけるチーム医療. IBD 診療の Real World Topics, 2021年3月29日, 鹿児島 (Web)

### 救急総合内科

#### 今村総合病院

1. 伊藤加菜絵：今村総合病院のリウマチ診療について. 南九州のリウマチ診療に携わる女性医師の会, 2020年11月11日, 鹿児島 (Web)
2. 伊藤加菜絵：ライフステージに応じたリウマチ診療. Simponi Seminar for Health Care Professional in Kagoshima, 2020年11月14日, 鹿児島 (Web)

脳神経外科

今村総合病院

1. 永野祐志：治療に悩んだ急性期脳梗塞症例. 鹿児島 AIS セミナー, 2020年12月18日, 鹿児島
2. 永野祐志：当院における急性期血行再建術の取組み -D2R 短縮・高い再開通率を目指して. 南九州 AISWebinar, 2020年11月13日, 鹿児島 (Web)

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎：乾癬患者における HTLV-1 抗体陽性率と治療選択に与える影響を明らかにするための多施設共同観察研究. 西日本炎症性皮膚疾患研究会, 2020年7月17日, 福岡 (Web)
2. 米倉健太郎：皮膚 T 細胞リンパ腫の最新の治療. CTCL Special Seminar Hiroshima, 2020年11月4日, 広島 (Web)
3. 米倉健太郎：HTLV-1 と乾癬 from KAGOSHIMA . Psoriasis Clinical Web Seminar, 2020年11月13日, Web
4. 米倉健太郎：とっても大事！スキンケア～アトピー性皮膚炎・食物アレルギーからマスク肌荒れまで～. 皮膚の日記念公開講座, 2020年11月15日, 鹿児島 (Web)
5. 米倉健太郎：臨床データに基づいた乾癬の治療戦略 ～ WJPR での HTLV-1 キャリア調査結果を含めて. 岡山スキーージ1周年講演会, 2020年12月9日, 岡山 鹿児島 (Web)
6. 米倉健太郎：当科におけるデュピルマブの使用経験. Atopic Dermatitis Webinar in Kagoshima, 2020年12月16日, 鹿児島 (Web)
7. 米倉健太郎：皮膚リンパ腫の治療 up to date. 令和2年度日本皮膚科学会皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会, 2021年1月9日, 横浜 (Web)
8. 米倉健太郎：デニロイキン ジフチトクスの最適なポジショニングを考える. Advisory Board Meeting, 2021年1月21日, 東京 (Web)
9. 米倉健太郎：アトピー治療のアンメットニーズを再考する. 鹿児島県皮膚科医部会共催セミナー, 2021年3月3日, 鹿児島 (Web)
10. 米倉健太郎：今村総合病院における ATL 診療～再発・難治例に対する治療の実際～. 第360回沖縄皮膚科勉強会, 2021年3月11日, 沖縄 (Web)
11. 米倉健太郎：今村総合病院における乾癬治療の現状と生物学的製剤の導入、連携体制. 北薩乾癬勉強会, 2021年3月17日, 薩摩川内

眼科

今村総合病院

1. 土居範仁：糖尿病連携における眼科の役割. 糖尿病地域連携セミナー, 2020年9月16日, 11月18日, 12月9日, 鹿児島 (Web)

産科・婦人科

今村総合病院

1. 飯尾一登：緊急避妊. オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研究会, 2021年2月7日, 鹿児島

看護部

今村総合病院

1. 中村倫丈：成人看護学Ⅱ呼吸器看護。鹿児島中央看護専門学校3年課程看護科非常勤講師，2020年5～7月，鹿児島
2. 中村倫丈：フィジカルアセスメント（中堅看護師対象）。鹿児島県看護協会大島地区研修，2020年9月12日，鹿児島
3. 中村倫丈：フィジカルアセスメント（新人看護師対象）。鹿児島県看護協会大島地区研修，2020年9月12日，鹿児島
4. 吉森みゆき：ゾーニングの基礎。鹿児島県新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に関わる研修会，2020年9月25日，鹿児島（Web）
5. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症 外来における発熱患者への対応について。鹿児島県医師会医療関連感染対策研修会，2020年10月28日，鹿児島（Web）
6. 吉森みゆき：COVID-19感染対策支援チームの取り組み。鹿児島感染制御ネットワーク学術講演会，2020年10月31日，鹿児島
7. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症の感染対策支援 介護事業所支援の現状と予防に向けて。第76回日本認知症ケア学会教育講演，2021年2月12日，鹿児島（Web）
8. 吉森みゆき：医療現場における新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題。看護連盟鹿児島県の看護と政策を考える意見交換会，2021年2月20日，鹿児島
9. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症への対応 看護管理者がおこなうこと。南薩地区看護管理者研修会，2021年3月5日，鹿児島（Web）

愛と結の街

1. 福元綾子：生活支援～食事について～。鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2020年4月～8月，鹿児島
2. 今西由香：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2020年6月17-24日，鹿児島
3. 木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2020年7月1, 8日，鹿児島
4. 米澤美智代：活動報告 看護師特定行為研修修了後の活動と課題。鹿児島県看護協会特定行為研修修了看護師交流会，2021年8月29日，鹿児島
5. 原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ。鹿児島中央看護専門学校3年課程，2020年8月31日，9月14, 28日，10月12-13日，鹿児島
6. 安藤理恵子，細山明日香：コロナ感染対策。小原町住民へのコロナ対策講演会，2020年10月21日，鹿児島
7. 川崎友義：介護老人保健施設について。鹿児島国際大学介護福祉士課程，2020年12月25日，鹿児島
8. 都外川純子：コロナ感染対策。魚見町住民へのコロナ対策講演会，2021年2月16日，鹿児島
9. 原口悦江：介護施設における事故予防と急変時の対応。鹿児島県看護協会一般研修，2021年2月17日，鹿児島

法人事業本部看護部支援室

1. 今村健次：医療安全。学校法人原田学園医療技術専門学校，2020年6月2,8,16,23日,7月16日，鹿児島
2. 今村健次：新型コロナ感染症に対するストレス。南薩地域振興局本庁舎「心の健康教室」心の健康教室，2021年1月20日，鹿児島
3. 今村健次：新型コロナ感染症に対するストレス。南薩地域振興局指宿庁舎「心の健康教室」，2021年2月2日，鹿児島

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士

1. 村山芳博：鹿児島市地域リハ支援事業。（一社）鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚療法士連絡協議会，年間6回，鹿児島

2. 村山芳博：チーム医療の実践について。鹿児島大学医学部保健学科，2020年6月30日，鹿児島
3. 村山芳博：理学療法士の医療政策論1。（公社）鹿児島県理学療法士協会，2020年7月26日，鹿児島（Web）
4. 村山芳博：理学療法士の医療政策論2。（公社）鹿児島県理学療法士協会，2020年8月23日，鹿児島（Web）
5. 村山芳博：社会の中の理学療法士。鹿児島県理学療法士協会新人オリエ，（公社）鹿児島県理学療法士協会，2020年11月8日，鹿児島（Web）
6. 村山芳博：CVAの理学療法の評価。鹿児島大学医学部保健学科，2020年12月17日，鹿児島
7. 村山芳博：社会の中の理学療法士。第一医療リハビリ専門学校理学療法学科，2021年3月19日，鹿児島
8. 武清孝弘：造血幹細胞移植リハビリテーション～入院からLTFU外来まで～。造血幹細胞移植推進拠点病院 造血細胞移植オンライン勉強会，2021年3月20日，福岡（Web）

### いづろ今村病院 理学療法士

1. 土井敦：介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識。公益財団法人介護労働安定センター実務者研修，2021年2月2日，鹿児島
2. 土井敦：基本動作と生活環境。鹿児島理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研修会，2021年2月13日，鹿児島（Web）
3. 土井敦：快適な住環境整備と介護。鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2021年2月24日，鹿児島

### 谷山病院 作業療法士

1. 中山陽平：精神科病院における作業療法士の役割について。鹿児島国際大学精神保健福祉援助実習学内代替え実習に関わる講師派遣，2020年8月24日，鹿児島（Web）
2. 黒木貴博：作業療法生涯教育概論。鹿児島県作業療法士協会主催 現職者共通研修，2020年10月23日，鹿児島（Web）
3. 黒木貴博：厚労省指定鹿児島県臨床指導者講習会，2020年12月12 - 13日，鹿児島（Web）
4. 内村ちひろ：就労について。鹿児島県立聾学校就労ネットワーク会議，2021年3月23日，鹿児島（Web）

### 愛と結の街 作業療法士

1. 宮田雅士：BPSDを考える～樹状モデルの活用～。令和2年度かごしま認知症OTネットワーク交流会，2021年2月21日，鹿児島（Web）

### 今村総合病院 言語聴覚士

1. 中島史博：誤嚥性肺炎予防教室。鹿児島市地域リハビリテーション活動支援事業（早山団地お達者クラブ），2020年6月25日，鹿児島
2. 中島史博：令和2年度鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会講師。鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成事業，2020年11月1日-3月7日，鹿児島

#### 薬剤部

### 今村総合病院

1. 堀口大輔：患者個々の治療を理解し一歩踏み込んだ患者指導に繋げる～より充実した薬薬連携を目指して～今村総合病院の取り組み。第231回鹿児島県病院薬剤師会研修会・第39回がん薬物療法対策講習会，2021年10月3日，鹿児島（Web）

## 谷山病院

1. 大平有紗, 四本晶子, 馬場貴子, 幸田将輝, 染川考佑, 田代佳代, 稲森志織, 新村味穂子, 山口辰哉: アセナピンの著効例と薬剤師の介入. 2020年度 MeijiSeika ファルマ研修会, 2021年1月26日, 鹿児島 (Web)
2. 染川考佑, 馬場貴子, 幸田将輝, 大平有紗, 田代佳代, 稲森志織, 四本晶子, 新村味穂子, 山口辰哉: 再発の急性期統合失調症患者に対するルラシドンの使用経験. 第237回鹿児島県病院薬剤師会研修会・第33回精神科薬物療法対策講習会, 2021年3月13日, 鹿児島 (Web)

### 画像診断部

## 今村総合病院

1. 市来守: 当施設の治療計画補助業務について. 第14回南九州地域放射線治療合同研究会, 2021年2月27日, 宮崎 (Web)

### 栄養管理部

## 今村総合病院

1. 七枝美香: 食事療法のアドバイス コンビニ食、宅配食を利用した食事指導. 第20回糖尿病医療連携体制講習会, 2020年11月17日, 鹿児島
2. 西園夏帆: フレイル予防の食事について. 今村総合病院第1回市民公開講座 You Tube 配信, 2020年12月~, 鹿児島

## いづろ今村病院

1. 中菌智美: 糖尿病症例検討・資料説明. 糖尿病重症化予防従事者連携スキルアップ研修会, 2020年10月3日, 鹿児島
2. 萬福有理: 卒業生と語る会 体験発表. 鹿児島純心女子大学, 2020年10月31日, 鹿児島
3. 中菌智美: 腎臓を守る食事～たんぱく質の考え方～. 糖尿病重症化予防従事者連携研修会, 2020年11月8日, 鹿児島
4. 中菌智美: 糖尿病を予防する食生活. 食べて学ぶ～糖尿病予防教室～, 2021年1月27日, 串木野
5. 中菌智美: 腎臓を守る食事～たんぱく質の考え方～. 糖尿病重症化予防従事者連携研修会, 2021年1月31日, 鹿児島
6. 中菌智美: 食生活を見直そう (パートI) (パートII). プチ糖尿病予防教室, 2021年2月12日, 3月16日, 鹿児島

## 徳之島病院

1. 清水崇: 自分らしい自己管理のあり方 パネリスト. 第6回 鹿児島1型糖尿病セミナー, 2020年12月19日, 鹿児島

## 慈愛会クリニック

1. 加藤実穂: 栄養スクリーニング. 鹿児島県栄養士会 在宅訪問栄養食事指導研修会, 2020年10月24日, 鹿児島

### 医療福祉相談部

## 今村総合病院 社会福祉士

1. 梅木亮太: 多重課題を抱えた親子に介入した一事例. 鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会 令和2年度第1回全体研修会研究発表SW実践報告講演, 2020年12月5日, 鹿児島

地域連携室・医療福祉相談室

いづろ今村病院 看護師

1. 大垣美紀：看取りに不可欠な多職種との連携。株式会社やさしい手，2020年8月25日，鹿児島（Web）

地域連携室

奄美病院 精神保健福祉士

1. 西牟田智子：アディクションの理解と支援について。鹿児島県社会福祉協議会 令和2年度生活支援員研修，2020年11月26日，奄美
2. 西牟田智子：アディクションの理解と支援について。奄美市社会福祉協議会 令和2年度職員研修，2021年2月13日，奄美
3. 西牟田智子：ゲーム・SNSとの付き合い方。鹿児島県奄美市立朝日中学校1・2年生対象講話，2021年3月22日，奄美

鹿児島中央看護専門学校

3年課程看護科

1. 久徳美鈴：管理実践課題演習支援。鹿児島県看護協会 令和2年度認定看護管理者セカンドレベル教育研修会，2020年9月1日-11月4日 全9回，鹿児島
2. 久徳美鈴：新型コロナウイルス感染症への看護職の活動と今後に向けて ～看護学校の立場から～。令和2年度鹿児島県看護協会施設代表者会議，2020年9月11日，鹿児島
3. 久徳美鈴：新任教員研修 ～効果的な授業設定と実践・評価～。鹿児島県看護協会専任教員継続研修，2020年9月19日，鹿児島
4. 松山日実子：成人看護実習指導案演習支援。鹿児島県看護協会 令和2年度実習指導者講習会，2020年12月3日-2021年1月22日 全6回，鹿児島
5. 久徳美鈴：みんなで育てよう～人を育てるとのこと～。昭南病院看護部教育研修会，2020年12月9日，鹿児島

2年課程（通信制）看護科

1. 南ひとみ：教育課程（2年課程通信制）。鹿児島県（鹿児島県看護協会受託）主催 令和2年度実習指導者講習会，2020年12月9日，鹿児島

かごしまオハナクリニック

1. 林恒存：総合診療体制の構築・これからの在宅医療。慈愛会任用候補者研修，2020年11月13日，鹿児島
2. 林恒存：鹿児島県消防学校 救急科講義「高齢者」。2021年3月3日，鹿児島

法人事業本部教育開発センター

1. 中重敬子：認定看護管理者セカンドレベル教育 経営資源と管理の実際（適切な療養環境の整備）。鹿児島県看護協会，2020年10月26日，鹿児島

## 【受賞】

### 消化器内科

#### いづろ今村病院

1. 大井秀久：令和2年度 国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰，2020年

### スポーツ整形外科

#### 今村総合病院

1. 上蘭直弘：【Naohiro Uezono, et al. Prior Treatment with Anti-High Mobility Group Box-1 Antibody Boosts Human Neural Stem Cell Transplantation-Mediated Functional Recovery After Spinal Cord Injury. Stem Cells, 2018】鹿児島大学整形外科奨励学会 宮崎賞，2020年

### 看護部

#### いづろ今村病院

1. 田中ミドリ：看護業務功労者表彰，公益社団法人鹿児島県医師会，2020年4月
2. 稲森佳子：看護業務功労者表彰，公益社団法人鹿児島県医師会，2020年4月

#### 谷山病院

1. 中蘭明子：精神科看護業務功労者厚生労働大臣表彰，一般社団法人日本精神科看護協会，2020年6月26日
2. 西三穂子：永年勤続表彰，公益社団法人日本精神科病院協会，2020年10月1日
3. 元明子：永年勤続表彰，公益社団法人日本精神科病院協会，2020年10月1日

### 薬剤部

#### 今村総合病院

1. 山口辰哉：令和2年度 薬事功労者知事表彰，鹿児島県，2020年10月19日

#### いづろ今村病院

1. 遠矢素子：「チェックシートを活用したタクロリムス UC 患者に対する薬剤師の関わり」第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会 優秀発表賞，2021年2月7日

### 事務部

#### 今村総合病院

1. 鈴木大輔，有島尚亮：「2040年に向けての医療機関における生産性の向上への取り組み ～組織として生き残るために必要なこと～」第2回懸賞論文 日本医療経営実践賞 優秀賞，一般社団法人日本医療経営実践協会，2020年10月4日

#### 法人事業本部教育開発センター

1. 中重敬子：看護業務功労 鹿児島県知事表彰，鹿児島県，2020年5月20日

## 【マスメディア】

### 血液内科

#### 今村総合病院

1. 宇都宮興：「HTLV-1 知って」鹿児島市で対策講演会。南日本新聞，2021年2月17日

### 外科・消化器外科

#### 今村総合病院

1. 帆北修一：医療関係者「優先接種」準備 本格化。MBC 南日本放送 ニューズナウ，2021年3月2日

### 皮膚科

#### 今村総合病院

1. 米倉健太郎：もっと知って「乾癬」のこと。リビング鹿児島，2020年9月12日

### 認知症疾患医療センター

#### 谷山病院

1. 染川悠希：脳活性チャレンジ講座 認知症予防や対処など学ぶ。南日本新聞，2021年2月25日

#### いづろ今村病院

1. 黒野明日嗣：「快護生活フェス！」認知症をテーマに講演。南日本新聞，2021年2月24日

#### 愛と結の街

1. 石原南：慈愛会がエッセー集 寄り添う看護エピソードつづる。南日本新聞，2020年6月17日
2. 末永真由美：「与論島の最前線から」新型コロナ・医療者に聞く（下）情報の手続き調整。南日本新聞，2020年8月25日

#### かごしまオハナクリニック

1. 林恒存：コロナ下の熱中症注意。南日本新聞，2020年5月27日
2. 林恒存：健康情報を正しく活用するための秘訣。LL かもいけ，2020年10月

#### 法人事業本部

1. 今村英仁：県内高齢施設 予防と介護 両立苦心。南日本新聞，2020年8月21日
2. 今村英仁：塩田県政検証6カ月 各界の見方 「官民連携は成功事例」。南日本新聞，2021年2月2日

#### 法人事業本部教育開発センター

1. 中重敬子：人材育成とチームビルディングの組織づくり。定期刊行誌「医事業務」2021.1号 投稿

## 【公的研究】

### 血液内科

#### 今村総合病院

<日本医療研究開発機構（AMED）研究費>

1. 宇都宮與『HTLV-1の総合的な感染対策に資する研究』班 研究分担者（研究代表者：国立感染症研究所 浜口功）
2. 宇都宮與『遺伝子異常の全貌とクローン構造の理解に基づくATL個別化診療の確立』班 研究分担者（研究代表者：宮崎大学 下田和哉）
3. 宇都宮與『成人T細胞白血病/リンパ腫の治癒を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立：薬事承認を目的とした第Ⅱ相医師主導治験』班 研究分担者（研究代表者：九州がんセンター 末廣陽子）
4. 中野伸亮『成人T細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究』班 研究分担者（研究代表者：国立がん研究センター中央病院 福田隆浩）

<国際共同研究加速基金>

1. 宇都宮與『HTLV-1a/c亜型の疫学調査と独自の病原性発現機構解明に向けた日豪共同研究』研究分担者（研究代表者：東京大学大学院 中野和民）

### 看護部

#### 愛と結の街

1. 原口悦江：介護現場における持続的な生産性向上を支援する調査研究事業 参画・報告. 厚生労働省事業

# 医師育成への取り組み

## 初期研修プログラム『錦江湾プログラム』

公益財団法人慈愛会は、人材育成の重要な柱の一つとして、初期臨床研修医の育成に力を注いできました。初期研修の制度ができた初年度の2004年度から今村病院（現 いづろ今村病院）を基幹型病院とする『じあいプログラム』をスタートさせました。その後、2010年度からは、『じあいプログラム』に併設する形で『錦江湾プログラム』をスタートさせました。『錦江湾プログラム』は今村総合病院が基幹型病院を務め、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、鹿児島大学病院を含む16の協力病院群からなる初期研修プログラムです。発足初年度は規定により2名の定員枠でしたが、次年度は5名の定員枠が認められ、2012年度には定員枠が7名に増えました。『じあいプログラム』は10年目の2013年度をもって終了させ、2014年度より定員枠を10名に増やす形で『錦江湾プログラム』に一本化し、現在に至っています。この間、両プログラム合わせて128名の研修医を育ててきました（現在進行中の研修医を含む）。『錦江湾プログラム』は学生の間で、今とても人気が高い状況です。人気が高い大きな理由は、各診療科の医療のレベルが高いだけでなく、スタッフの人材が揃っており、研修医を育てようという意気込みが学生に伝わっているからとのこと。私たちは、全国から人材が集まってくるような、日本有数の教育病院に育てようと全力を挙げて取り組んでいるところで、着実に研修医が育ちつつあります。

### 【初期研修医数の推移】

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	総数
錦江湾プログラム	2名	5名	7名	5名	8名	7名	6名	10名	9名	10名	10名	79名

### 【基本方針】

基本目標として将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライマリ・ケアの対応能力を習得することを基本方針とする。

### 【研修プログラム】

#### ◆プログラムスケジュール

内科	麻酔科	救急科	外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目
24週(※1)	8週	12週	8週	4週	4週	4週	4週	36週

※1 一般外来4週を含む

錦江湾プログラムは下記の病院群と機能を分担して実施する。

必修研修	内科 (24 週)	今村総合病院 (一般外来研修含む)	救 急 (12 週)	今村総合病院
		いづろ今村病院 鹿児島大学病院	麻 酔 科 (8 週)	今村総合病院
	外科 (8 週)	今村総合病院		
	小児科 (4 週)	今村総合病院・鹿児島大学病院・鹿児島こども病院		
	産婦人科 (4 週)	今村総合病院・鹿児島大学病院		
	精神科 (4 週)	今村総合病院・谷山病院・奄美病院・鹿児島大学病院		
	地域医療 (4 週)	高麗町クリニック・五反田内科クリニック・倶知安厚生病院・小林市立病院		
自由選択	(36 週)	今村総合病院	全診療科	
		いづろ今村病院	全診療科	
		介護老人保健施設 愛と結の街	保 健	
		鹿児島大学病院	全診療科	
		鹿児島医療センター	循環器内科	
		聖マリア病院	救 急	
		浦添総合病院	救 急	
		飯塚病院	内 科	
		中央病院	循環器内科	

## 慈愛会専門研修プログラム

慈愛会では、専門医を育成するため、内科と総合診療の専門研修プログラムを開設しています。

### ●慈愛会内科専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会内科専門研修プログラムは、急性期病院である今村総合病院を基幹施設として、鹿児島県内、福岡県内、東京都内、および北海道内にある連携施設で内科専門研修を行っており、8名の専攻医が在籍しています。3年間のプログラムを終え、2020 年度に1名が修了となりました。

総合内科専門医は単に各専門科を全て経験すれば良いということではなく、多くの診療科にまたがる症例や、逆にどこの専門科にも属しにくいような症例、症状を解決していく能力が必要となります。

当プログラムでは、総合内科の specialist を育成するため、基幹病院である今村総合病院の救急・総合内科で研修を行うとともに、他の院内診療科や連携施設で、より専門性の高い研修を受けることができるよう連携しています。

### ●慈愛会総合診療専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会総合診療専門研修プログラムには1名の専攻医が在籍しています。

3年間のプログラムを終え、2020 年度に1名が修了となりました。

当プログラムでは院内の各診療科および連携施設で、総合診療医として、予防医療、プライマリ・ケア(急性期対応)、総合内科知識・技能・亜急性期・慢性期、そして終末期のいずれの段階の医療にも対応できる能力の習得、または病院総合医、地域の開業医、在宅医療、老健施設での慢性期医療など、将来どのような環境でも活躍できるようなオールラウンドプレイヤー養成を基本としています。

# 部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

## 看護部門

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護部支援室 慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療連携における看護能力の向上	① 定期連携会議開催による情報共有と課題検討(1回/1カ月or2カ月)  ② 中堅看護師の同行訪問研修継続 ③ ローテーション研修の積極的導入による慈愛会における看護能力の向上	① 新型コロナウイルス感染拡大により、地域連携会議の定期的開催が難しかった。鹿児島市内(今村総合病院、いづろ今村病院、谷山病院、愛と結の街)の連携では断る事例はない。11/26 会議開催 会議メンバーの合意のもと本会議の目標は達成しており、在宅医療推進会議と2月4日より統合し、「慈愛会連携推進会議」を立ち上げた。 ② 各施設により継続して実践している。 ③ 慈愛会の看護の専門性を現地で研修を通して学びあうことで、慈愛会トータルヘルスケアの強みの理解と看護の質向上を目指し8コースの研修を企画した。今年度は6施設が施設の専門性を発揮した看護研修を企画し、慈愛会全体の看護職員を対象に研修生を募集し、各施設で開催した。多職種協力をもらい看護以外の講義や演習を計画し、多職種とのチーム医療についても多くの学びと刺激を受けていた。新型コロナウイルス感染拡大により、5日間の研修日程を短縮し3日間で開催した。8コースの内、6コースを開催できた。内容、参加実績は後掲。	① 地域連携会議、在宅医療推進会議発足当初の目的は達成した。更に慈愛会内外の医療連携を推進する目的で「慈愛会連携推進会議」を立ち上げ、活性化することで慈愛会連携が推進できる。  ③ 慈愛会看護部で初めての企画であったが、各施設の看護の専門性を慈愛会内の研修生に伝え学びあう環境作りが出来た。多職種の協力をもらい看護のみでなく多職種とのチーム医療について学びあえる。 ・新型コロナウイルス感染拡大の中で心配しながらであったが、看護部長をリーダーとして企画がなされ、柔軟に対応した研修プログラムとし開催できた。トップマネージャーの研修意義を理解しリーダーシップが発揮された企画の取り組みであった。慈愛会組織の理解と看護の質向上のために必要な研修である。 ・研修生のアンケート結果、企画側の評価では満足度が高く、継続した研修への意欲も見られた。研修参加者の学びを施設で共有し研修参加を勧めるなど影響力を発揮している。継続して取り組む意義がある。参加人数には施設により差が見られた。参加しやすい環境や意図的なかわりが必要である。	① 慈愛会連携推進会議を充実させ、慈愛会連携強化、入退院支援連携強化・情報共有、各施設の在宅推進に取り組む。いづろ今村病院の入院促進、今村総合病院の退院支援、笹貫訪問看護ステーション愛の街との連携、クリニックとの連携強化の上での課題解決に現場レベルで取り組み、経営に貢献する。  ③ 8コースの研修を実施する。 ・研修生が増える取り組みや、研修内容や意義を理解し各施設で周知し、研修参加を支援できる環境作りを努める。 ・2021年度より、慈愛会組織の理解を深め、今後の人材育成や慈愛会連携推進に活かすため、新人副看護師長、新人看護師長が研修に参加する体制を構築する。
	④ 定期的異動による人事交流  ⑤ 「心に届く慈愛の看護」を語る会の開催 第1回 2020年5月9日(土)	④ 2020年度は人事異動により谷山病院副看護師長認定看護師1名と看護学校教員が徳之島病院へ2名、いづろ今村病院より看護学校へ1名、看護師7名とナースエイド1名が慈愛会内異動した。  ⑤ 第1回「心に届く慈愛の看護」を語る会は2020年5月9日(土)に開催した。 ・慈愛会看護職員からエピソードを募集し(募集期間:2020年2月24日～3月20日)90作品の応募があった。 ・詩人三角みづ紀先生に選考委員長を務めていただき他選考委員により13作品を入選作品として表彰した。 ・語る会は、感染防止のため入選者13名と所属長、審査員、運営担当者のみに入場を制限した。会場参加25名(うち入選者9名)、Zoom参加12名(うち入選者 徳之島病院2名、愛と結の街2名)。 ・南日本新聞の取材を受け記事に掲載された。 ・エピソード集としてまとめ、看護職員個々に配布した。慈愛会入職1～3年目の職員が感想をカードに記載し、冊子にまとめ受賞者に届けた。開催の様子やポストカード集を受け取った受賞者の感想をウェブサイトに掲載した。	④ 教員養成長期研修後に学校に異動できた。研修の学びを発揮できる体制となっている。徳之島病院では異動によって徳之島病院の人材不足解消に貢献できた。徳之島病院へ感染管理認定看護師の異動により離島の感染対策が充実し、新型コロナウイルス禍において地域にも教育活動や感染対策を強化する上で貢献できた。離島から長期研修受講が難しい環境の中で、慈愛会内で専門スキルを持った人事交流は貴重である。  ⑤ 看護職員は日頃より、慈愛会の理念に基づき看護を実践しているが、看護を語る十分な時間を見つけ語り合うなど中々難しい現状である。年1回であるがこのような慈愛会全体で語る会を開催することは意義がある。90作品が集まるなど看護職員の積極的な姿勢を感じた。 今後も継続して取り組み、慈愛会看護の見える化、看護の伝承に繋げていく。	④ 今後も慈愛会の強みを活かし、キャリア支援と共に柔軟な異動の仕組みを活用した人事交流を継続する。  ⑤ 来年度も継続する。多くの応募があるよう第2回開催の周知を行っていく。 ・エピソードを記述する際の留意点等について事前に周知する。 ・新型コロナウイルス感染対策をしっかりと行い、第2回は川商ホールで開催し、鹿児島中央看護専門学校新入生、新人看護師が参加出来るようにする。今後目指す看護師像への動機づけとしていきたい。 ・2021年度は2部構成とし、第1部で作者による朗読と表彰式、第2部でクリニカルラダーV申請者による実践報告を行い看護の共有と学びの場とする。
		[新型コロナ禍への対応] ・新型コロナウイルス感染対策に関し、認定看護師を中心にクラスター関係へ協力し、鹿児島県の感染拡大防止およびその後の対策に貢献した。クラスター関係の看護管理者や職員へのメンタルヘルス支援も行った。	[新型コロナ禍への対応] ・慈愛会の認定看護師活動が地域で活躍した。自施設での体制整備を行いながら認定看護師が活躍できる支援も各施設が行っている。	[新型コロナ禍への対応] ・今後ますます、活躍が期待される。県や看護協会、地域の要請に応じていく。

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～ 2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
在宅事業部 (訪問診療・看護) の機能強化	<p>①在宅医療推進会議実施による在宅医療の推進(1回/2カ月)</p> <p>②笹貫訪問看護ステーション愛の街への統合後の訪問看護件数増加への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習(勉強会・訪問同行等)による精神科と一般訪問看護師の協力関係構築と質向上</li> <li>・訪問看護体制の精神一般ミックスしたチーム体制構築</li> <li>・訪問看護クリニカルリーダーを用いた能力の向上</li> </ul> <p>③訪問件数の向上(目標:1日一人平均4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いづろ今村、今村総合急性期病院との連携(カンファレンス参加またはMSW会議参加による情報交換)</li> <li>・近隣の診療所、施設への周知活動の実施</li> </ul>	<p>①在宅医療推進会議は新型コロナウイルス感染拡大によって対面での会議開催が出来なかった。12/2に第1回開催した。訪問看護ステーションの統合および訪問看護ステーション拡大に向けて検討してきたが目的はおおよそ達成した。会議の在り方を再度検討することが必要となった。今後さらに慈愛会の連携強化のためには地域連携会議と統合する意義があるとの合意のもと2月4日より統合した会議を開催することとなった。</p> <p>②③新型コロナウイルス感染の状況により、直接訪問が不可能な場合は電話訪問に切り替え対応するなど対応した。令和2年度後半は月1000件を超える訪問回数であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年1月よりいづろにサテライトを設置し、訪問エリアを拡大した取り組みを行っている。</li> <li>・訪問企画を細やかにいづろと連携をとって実施している。</li> <li>・訪問看護に関する課題等は月1回の会議によって検討して解決へ向けた取り組みを行っている。</li> </ul> <p>③訪問件数は年間平均951件(目標950件)であった。3月は年度最高の1162件、大幅に増加がみられる。新型コロナウイルス禍においても柔軟に対応し利用者の安心提供に徹した。</p>	<p>①統合することで、医師、看護職員、ケースワーカー、ケアマネジャー、地域連携室職員の参加のもと幅広い検討ができる。各施設の立ち位置や課題を明確にし慈愛会全体で連携を強化するための意見交換ができることで収益にも貢献できる。</p> <p>②③サテライト設置により利用者数、訪問数の増加につながっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いづろ今村病院からの依頼や高麗町クリニック、かごしまオハナクリニックなど連携強化が今後も重要となる。</li> <li>・訪問看護依頼を断らない姿勢や対応が訪問看護ステーションの信頼、利用者の拡大につながっている。</li> </ul>	<p>①会議運営を充実させ、慈愛会内外の医療連携が更に推進できるようにする。2カ月に1回の開催で継続していく。</p> <p>②③サテライトの設置など今後も訪問看護への地域ニーズを把握しながら検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護に関する人材育成支援、令和3年度は在宅ケア認定看護師教育課程を受講予定。特定看護師、認定看護師が配置された訪問看護ステーションである強みが発揮できる体制構築に努める。</li> <li>・介護報酬改定に伴う加算関係整備(情報提供のシステム整備)</li> </ul>
	看護部支援室	<p>①クリニカルリーダー(認定管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリニカルリーダー認定の管理</li> <li>・マネジメントリーダー認定による昇格運用の管理</li> <li>・認定看護師リーダー管理</li> </ul> <p>②看護職の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者教育の継続</li> <li>・新任副看護師長、新任看護師長研修企画運営</li> <li>・3年目研修、副看護師長、副看護部長、看護部長研修企画運営</li> <li>・看護部長、副看護部長の部下育成能力向上(看護管理者による研修企画と実践・評価)</li> <li>・看護部長研修は教育開発センター実施</li> <li>・管理者任用候補者研修の共同開催</li> </ul> <p>③クリニカルリーダーⅣ・Ⅴ認定者の給与反映案作成</p> <p>④認定看護師、教員養成教育課程研修参加による人材育成</p>	<p>①昨年クリニカルリーダーを見直し、慈愛会で統一したクリニカルリーダーを作成し、各施設、看護管理者への周知と看護職員への支援を行った。</p> <p>[2020年度申請率( )は2019年度]</p> <p>今村総合病院 80.1% (57.1%)、いづろ今村病院 100% (55.8%)、谷山病院 100% (35.7%)、奄美病院 100% (61.9%)、徳之島病院 60% (46.2%)</p> <p>今年度、社会の変化に伴い看護管理者に求められる資質や能力について看護部長会で見直しを行った。見直しを経て再構築に取り組んだ。次年度は看護管理者に周知し、新マネジメントによる目標設定を行っていきたくと考える。</p> <p>②看護職の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者教育の継続に取り組んだ。</li> <li>・新任看護師長(7/3:4名) 新任副看護師長(9/18:9名) 副看護師長研修(9/5:67名) 副看護部長研修(9/26:7名) 看護部長研修(10/29:6名)</li> <li>・3年目研修 10/24.10/30 75名</li> <li>・実習指導者、学校教員合同研修 10/17 58名参加 限られた実習体験を最大限に生かし、看護学生の知識の統合と臨地での実践能力習得のために自部署での取り組みについて考える。</li> </ul> <p>③給与反映案作成に至っていない</p> <p>④2020年度長期研修支援</p> <p>緩和ケア認定看護師1名(今村総合1:久留米大学) 特定行為研修6名(今村総合3、いづろ1、本部1、谷山1:今村総合5、日本看護協会1)</p> <p>すでに特定行為研修を修了した6名のうち3名は手順書に基づく特定行為実践に至っていない現状である。</p>	<p>①クリニカルリーダー改定に伴い、看護管理者、看護職員への周知およびレベル申請への支援をおこなった。評価方法等も見直し、すべての施設でレベル申請率が上がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理者の意図的教育とレベル申請の意味をしっかりと認識することが申請率上昇につながった。</li> <li>・J-seatyナースにむけて習得していくことをさらに周知しキャリアアップへの動機づけをしていく。</li> </ul> <p>②新型コロナ禍であったが会場や回数を増やすなど工夫し、中止することなく実施でき研修目的は達成した。看護管理者の研修意欲は高い。看護管理者の意図的教育姿勢が部下のクリニカルリーダー申請に一定の効果を上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者・教員合同研修は1回開催した。新型コロナウイルス感染拡大に伴い実習時間が短縮したが、貴重な体験の中で何をいかに学ばせていくと良いかなど検討し次への具体的な指導につながった。学校教員と実習指導者が協力して学生の学習環境整備に取り組む体制が強化できた。実習指導者のリーダーシップが発揮できている。</li> <li>・看護管理者のキャリア開発システムであるマネジメントリーダーについて社会の動向に応じた見直しを行い慈愛会看護管理者の資質向上を図る必要がある。</li> </ul> <p>③クリニカルリーダーの進捗と給与の整合性について検討する必要がある。</p> <p>④長期研修派遣申請の手続きが遅れがちであった。意図的に人材を育成するためには日頃から準備性をもって関わり、研修への動機づけを行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修終了後の活躍の場の提供と体制構築が不十分な点がある。慈愛会看護部長が研修者へ積極的に教育的かかわりを行っていくために、特定行為研修修了者の自律的看護実践の体制構築に早急に取り組む必要がある。</li> </ul>

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護職員の人材確保およびマグネッ トホスピタル活動 看護部支援室	<p>①看護職の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンスへの積極的参加および卒業生活躍の場を増加、業者活用による広告</li> <li>・学校訪問(看護学校、看護系大学、高校訪問)卒業生同行訪問計画実施</li> <li>・奨学金制度の見直し検討</li> <li>・パンフレットの見直し、同窓生への案内</li> <li>・慈愛会就職説明会の実施 4月25日</li> <li>・シニアの補助者活用推進</li> <li>・介護福祉士・看護補助者就職説明会・見学会開催 2回/年</li> </ul>	<p>①2021年度の慈愛会入職者は76名(うち鹿児島中央看護専門学校生44名) 介護福祉士4名(新人)採用&lt;人材確保活動&gt;</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴いガイダンスが中止される中、就職活動が十分にできない看護学生への支援として看護学校・高校訪問を積極的に実施し人材確保の継続に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス参加 鹿児島中央看護専門学校 48名(6/20) 44名(12/11) ハローワーク説明 8名(9/14)</li> <li>・学校訪問 看護学校 25校 高校 14校</li> <li>・企業就職説明会参加 (2021.3.27 来場者83名)</li> <li>・企業情報サイト年間契約 (2021.3.22～11月末)</li> </ul> <p>2021年度は奄美病院、徳之島病院を除き看護職は確保できた。離島採用に関し12月に慈愛会採用内定鹿児島中央看護専門学校3年生に対し、離島への就職説明会を再度実施した。その結果、奄美病院1名、徳之島病院3名の就職が決定した。</p> <p>※採用試験</p> <p>第1回 5月 4名 第2回 8月 65名 第3回 11/7 12/29 2名 第4回 1/30 4名 他 臨時 2月 3月 2名</p>	<p>①新型コロナウイルス感染の影響もあり県内就職傾向、今年度は新人看護職員の希望が増加した。内定者に対し更に離島への具体的な採用活動及び病院とZoomでつなぎ働き先輩からの就職後の看護師としての成長や環境について知る機会を設けたことが就職につながった。実際は6名の希望があったが面接を行い4名に決定した。現地とオンラインでつないだ就職説明は効果的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ下でも学校訪問は対面での時間を短縮するなどして活動を継続したことは学校教員との連携も強化でき介護福祉士の新人獲得にもつながった。</li> </ul> <p>業者説明では、大学生を中心とした来場者があった。4年目看護師の説明が効果的であった。企業情報サイトで慈愛会を紹介し約半年オンデマンドでの情報公開は就職説明会への参加希望や採用試験希望に繋がり人材確保に活かせる。</p>	<p>①積極的採用活動継続(学校訪問、採用試験、マイナビによるオンデマンド活用、広報活動など)</p> <p>鹿児島中央看護専門学校と連携強化し、1～3年目看護師のキャリア支援及びメンタル支援を強化し、人材定着を図る。</p>
	<p>②離職防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入職2～4年目の看護職員への定期的支援、教育体制の再構築</li> <li>・入職1～4年目の看護職員卒業校への同行訪問</li> <li>・鹿児島中央看護専門学校との協力による入職6カ月の看護学校での支援体制構築</li> <li>切れ目のない教育的かかわりの充実</li> <li>・離職理由(危機管理室アンケート)の把握→分析→対策</li> <li>・管理者の学習会開催(メンタルヘルスと定例業務困難者への対応)</li> <li>・テレビ会議による対策の実施(1～2回/月)</li> </ul>	<p>②入職1年目看護師の辞職は今村総合病院3名であった。辞職理由は助産師としてのスキルアップや健康上の理由であった。定期的に面談を実施する等支援したが辞職の意向は変わらなかった。</p>	<p>②急性期施設では3～5年目の辞職者が多い。その原因について分析が不足している。定着に向けて離職理由の根本原因を分析し、定着に向けた具体的取り組みにつなげることが必須である。新入職時から組織凝集力を高める工夫をもう少し具体的にすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・J-seatyナース研修や慈愛会で統一したクリニカルラダーの活用、心に届く慈愛の看護エピソード集を配布し具体的な看護実践を可視化し伝承することが慈愛会看護師として目指す看護の理解につながり、働き続ける一助になると考える。</li> </ul>	<p>②新たに慈愛会共有の新人看護師育成プログラム作成・運用。新人職員はじめ支援者すべての職員が理解・活用し、新人の成長を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人フレッシュナース研修開催し、職員としての支援を強化する。(3/22～3/25 4日間)不安や緊張感を軽減し職場適応をスムーズにする。</li> <li>・放送大学編入制度活用による学位獲得に向けた支援システム検討</li> <li>・スタッフが自信を持って慈愛会看護のすばらしさを伝える取り組みを継続する。</li> </ul>
	<p>③離島看護師確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島中央看護専門学校はじめガイダンス等で離島の看護の魅力を伝える</li> <li>・保護者説明企画</li> </ul>	<p>③入学時より離島就職希望し奨学金を取得している看護学生を2名採用できた。しかし必要人員は確保できなかった。再度鹿児島中央看護専門学校学生で慈愛会内定者に対し、徳之島病院就職説明会を開催した。Zoomで病院と繋ぎ、施設説明や1～3年目の看護スタッフより実際のキャリア支援や徳之島での生活など看護学生が直接理解したい内容を説明した。また、J-seatyナース研修に参加し離島での精神医療と看護について学んだ教員からも説明を行った。</p>	<p>③左記取り組みもあり、徳之島病院への就職を決断した学生が6名となり、うち4名が奄美病院・徳之島病院就職につながった。</p>	<p>③左記取り組みを継続しつつ、その他の方法についても引き続き、分析・検討していく。</p>
	<p>④子育て支援・縁結びプロジェクト活動継続</p> <p>子育て支援便り…看護部、多職種へ拡大</p>	<p>④6月12月の年2回、統括看護部長、自施設看護部長の便りと最新情報を添えた子育て支援便りを継続発行した。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、慈愛会縁結び応援プロジェクトの活動も影響を受けたが、オンラインで「会えない今だからこそつながる縁」を3回企画運営した。離島とも繋がり創意工夫しながら取り組んだ。縁結び応援プロジェクト「会えない今だからこそZoomで繋がる 宴♪縁♪円♪(輪♪和♪話♪)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020/11/27 18:30-19:50 第1回「あなたの一押しアニメについてアツク語ろう」参加者8名(男性4/女性4) スタッフ8名</li> <li>・2020/12/18 18:30-19:30 第2回「あなたの思いでの歌についてアツク語ろう」参加者4名(男性1/女性3) スタッフ8名</li> <li>・2021/3/10 18:00-19:10 「1年目さん いらっしゃ～い!!」参加者8名(男性3/女性5) スタッフ8名</li> </ul>	<p>④子育て支援、縁結び応援プロジェクト共に今後も取り組んでいく必要があると考える。</p>	<p>④子育て支援、縁結び応援プロジェクト継続</p>
	<p>⑤看護管理者が管理業務に専念できる環境整備</p>	<p>⑤新型コロナウイルス患者受け入れのため人材確保が必要となり、緊急的に管理者への負担も生じたが柔軟に対応し協力しながら管理業務に取り組んだ。</p>	<p>⑤新型コロナ禍と必要人員の確保状況を見ながら、引き続き柔軟に対応していく。</p>	<p>⑤左記活動の継続</p>

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護部支援室	働き方改革の推進 1. 意図的看護が見える記録 ①看護記録による看護実践の見える化 ②継続看護に活かす簡潔な看護記録 ③チーム共有記録に看護記録を掲載し多職種間で記録による情報を共有する ④適切な看護判断のもとケアした記録がタイムラグがないように記録できる 2. 超過勤務の縮減(勤務開始の前夜)業務改善、看護記録時間の短縮による超過勤務時間の縮減 ・タイムマネジメント能力の向上、リーダーの育成、各施設ワークライフバランス委員会との協働	1. 超過勤務の内容は看護記録が最も多い。 2. 各施設において時間外勤務縮減に向けて取り組んでいる。 ・いづろ今村病院では看護師長会、副看護師長会、看護スタッフ全員参画による働き方改革目標を明確にし取り組み、時間外勤務が減少した。 ・今村総合病院は今年度の目標を「感謝の気持ちを伝え合う職場づくり」とした。3月には各職場の感謝の言葉をつづったメッセージを掲示する取り組みを実施した。 ・看護部長研修会で取り組むべき課題として①看護管理者育成(マネジメントラダー再構築、資質検討)②人材定着③在宅医療推進④看護職が安心して働き続けられる職場づくり推進⑤ナースエイドキャリア支援を掲げ、BSCを作成し取り組みを開始した。	・改めて、看護記録のあり方と超過勤務の縮減は関連があると認められた。 ・離職と働き方、やりがいへの影響など、現状把握と課題への具体的な取り組みが不足している。看護管理者と職員の課題を共有し、全員参画して職場改善に取り組む職場風土作りが必要である。取り組んだ結果の働き方改革成功事例を共有し具体的実践につなげていく。 ・慈愛会看護部長が一丸となり課題へ取り組むことが看護管理者・慈愛会看護の資質向上の推進力となっている。具体的に取り組むことで成果を生み、看護職員の働きがいや職場環境改革につながる。	・まずは超過勤務に繋がっている看護記録の記載方法について、分析・構築していく。 ・定期的看護部長ミーティングを行い、働き方改革に具体的・継続的に取り組む。 ・職員参画による働き方改革、意識・行動変革 ・時間外勤務分析による業務改善 ・職員満足度調査・組織風土分析実施を活用した職場改善 ・働き方改革実践報告(成功事例 1回/年)による改革の推進

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、様々な行事やプログラムの短縮・変更、創意工夫が求められた。管理者教育や行事、人材確保など、どのようにできるか、どうしたらできるか悩み考えながら取り組んだ一年であり、ITを活用した会議や教育の効率的運営など、これまでの方法を見直す機会ともなった。しばらくは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け続けることが予測されるため状況に応じ柔軟に対応してきたい。

今年度より看護の見える化と慈愛会理念に基づく看護の伝承を目的に、第1回 心に届く慈愛の看護を語る会を開催した。看護職員からエピソードを募集し、感動に

あふれる90作品の応募があった。鹿児島出身の詩人 三角みづ紀先生に選考委員長を務めていただき、最優秀作品1編、優秀作品2編、入選作品10作品の表彰を行った。新型コロナ禍、多くの職員の参加はできなかったが、後日エピソード集を全看護職員に配布し慈愛の看護を共有した。毎年、慈愛会創立記念日に近い5月の土曜日に継続企画し、専門職としてのやりがいに繋げていきたい。

慈愛会組織の理解を深め看護職員の専門性向上や活躍のために、慈愛会トータルヘルスケアの強みを生かしたJ-seatyナース研修8コースを立ち上げ、6コース開催できた。32名の職員が研修で学び、意義ある研修となった。

### 2020年度 J-seatyナース研修

施設名	研修名	研修期間	受講者	講義 (内容)	講師 (担当)
いづろ今村病院	地域包括ケア、緩和ケア 住み慣れた地域で暮らし続けるために 病院、地域の役割	8/24 - 8/26	5名	看護ケア概論	医師 松下格司
				症状マネジメント がん疼痛	看護教員 井上美奈子
				症状マネジメント (消化器症状・呼吸困難感・倦怠感・せん妄)	看護師 中窪尊子
				がん患者とのコミュニケーション	看護師 中窪尊子
				がん患者の家族への支援	看護師 平石敬美
				緩和ケア病棟に携わる薬剤師の活動について	薬剤師 東条智子
				緩和ケアのお食事について	栄養士 萬福有理
				がん治療におけるチームアプローチ 緩和的リハビリテーションについて	作業療法士 飯田真由美
				心理士の活動について	公認心理士 / 臨床心理士 片山秀実
がん治療におけるチームアプローチ 看取りに必要な多職種連携	看護師 大垣美紀				
鹿児島中央看護専門学校	看護基礎教育	9/14, 16, 18	3名	鹿児島中央看護専門学校の教育 / 看護教員への道	看護教員 久徳美鈴
				授業とは	看護教員 井上美奈子
				実習指導の実際 / 授業見学	看護教員 蒲池恵美
				実習指導の実際	看護教員 飯田かずよ
				実習指導の実際	看護教員 松山日実子

部門別 事業報告(PDCA) 看護部門

施設名	研修名	研修期間	受講者	講義 (内容)	講師 (担当)
今村総合病院	フィジカルアセスメント	9/30 - 10/2	8名	フィジカルアセスメント呼吸	看護師 中村倫丈
				誤嚥性肺炎の予防ケアを考える / 敗血症の初期対応を考える	看護師 中村倫丈
				フィジカルアセスメント呼吸循環	看護師 谷村利行
				フィジカルアセスメント脳神経	看護師 稲森晃
				急変を未然に防ぐためのフィジカルアセスメント	看護師 小濱奈々
				急変時の初期対応	看護師 平川あゆみ
				グループワークのファシリテーター及び司会進行	看護師 小波津武志
				急変時の初期対応 実技支援	看護師 浜崎彩
愛と結の街	訪問看護、老健在宅看護地域連携	10/5 - 10/7	9名	介護保険制度	事務 秋廣定也
				地域包括ケアシステムにおける愛と結の街の役割・機能	医師 野村秀洋
				地域包括ケアシステムにおける愛と結の街の役割・機能	看護師 原口悦江
				地域包括ケアシステムにおける愛と結の街の役割・機能	介護福祉士 川崎友義
				老健での在宅支援の取り組み	支援相談員 佐別當誠子
				老健におけるリハビリテーション	作業療法士 村井真由美
				老健におけるリハビリテーション	言語聴覚士 大脇万喜
				老健におけるリハビリテーション	理学療法士 細縦友美
愛と結の街	訪問看護、老健在宅看護地域連携	10/5 - 10/7	9名	老健における栄養マネジメント	管理栄養士 長崎まり子
				老健における栄養マネジメント	看護師 池上直子
				チームケア 自立支援に向けたケア	看護師 木場田哲也
				チームケア 自立支援に向けたケア	看護師 新真也
				チームケア 自立支援に向けたケア	介護福祉士 濱田郁代
				チームケア 自立支援に向けたケア	介護福祉士 堅山佳祐
				在宅支援 認知症	介護福祉士 前屋敷さよ子
				在宅支援 認知症	介護福祉士 福元綾子
				認知症の治療とケア	医師 黒野明日嗣
				認知症の治療とケア	介護福祉士 加納美紀
				認知症の治療とケア	介護福祉士 西七海
				認知症の治療とケア	介護福祉士 海平由起子
				社会資源と地域連携 / 居宅介護支援センターケアマネジメントの実際	看護師 安藤朋文
				訪問看護の概要 / 訪問看護の実際 / 在宅看護 精神訪問看護 離島訪問看護	看護師 末永真由美
在宅看護 精神訪問看護 離島訪問看護	看護師 伊地知幸輝				
在宅での皮膚排泄ケア / 在宅での看取りケア	看護師 米澤美智代				
徳之島病院	離島における精神科看護南三島精神科訪問看護と地域行政との関わり	10/20 - 10/23	5名	徳之島病院の役割について	医師 末満純一
				徳之島病院の役割について	看護師 宮本陽子
				徳之島病院の役割について	事務 福島太志
				離島での薬剤管理	薬剤師 東楨徹
				精神保健福祉士の役割	精神保健福祉士 梅岡啓香
				精神科リハビリテーションについて	作業療法士 小澤孝典
				精神科における栄養管理	管理栄養士 清水崇
				精神科における医療安全	看護師 池田美和子
				精神科での感染対策の取り組み	看護師 中尾明美
				徳之島が行う離島訪問看護	看護師 吉元初美
				徳之島が行う離島訪問看護	看護師 嶺井千春
奄美病院	奄美大島における精神科看護地域包括ケアシステム	12/1 - 12/4	2名	奄美の精神科病院の役割と機能	看護師 福長由美
				精神科外来看護師の役割	看護師 千田多摩希
				精神科における栄養課のかかわり	管理栄養士 和田裕美
				サービス管理者の役割	介護福祉士 大野力
				統合失調症の疾患と看護	看護師 平江将樹
				精神科における心理検査の重要性	公認心理士 杉本遼介
				奄美の精神科医療	医師 杉本東一
				精神科リハビリテーション	作業療法士 森山祐樹
				認知症疾患患者の看護	看護師 富地幸代
				長期入院患者への退院支援	看護師 川畑富士美
				急性期治療病棟看護師の役割	看護師 朝野勝也
				精神保健福祉法の理解 / 地域連携室の役割	精神保健福祉士 盛谷竜也
				訪問看護における在宅での生活継続支援	看護師 直原博文

コース別 参加者所属施設別 内訳

参加者	コース 緩和ケア (いづろ今村) 8/24 - 8/26	看護基礎教育 (鹿中看) 9/14, 16, 18	フィジカル アセスメント (今村総合) 9/30 - 10/2	老健・在宅 (愛結) 10/5 - 10/7	離島を含む 精神医療 (徳之島) 10/20 - 10/23	離島を含む 精神医療 (奄美) 12/1 - 12/4	
今村総合	3	2	2	0	2	0	9
いづろ今村	1	1	2	2	1	1	8
谷山	0	0	1	0	0	0	1
奄美	0	0	2	0	1	0	3
徳之島	0	0	0	0	0	0	0
愛結	1	0	1	6	0	0	8
鹿中看	0	0	0	1	1	1	3
計	5	3	8	9	5	2	32

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

### 1. 慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療の連携強化

今年度、今村総合病院、いづろ今村病院の急性期病床の再編成が行われた。救急体制の強化や連携、入退院支援も整備された。今後は慈愛会内外の連携とともに、連携における体制強化が重要な課題である。体制強化の方策の一つとして、これまでの地域連携会議と在宅医療推

進会議の会議を統合し、「慈愛会連携推進会議」を立ち上げ、2月より会議運営開始した。医師・地域連携に携わる多職種が会議に臨み、現状の課題を具体的にし、その対策に取り組むことで慈愛会連携の強化が期待できる。

新型コロナウイルスに伴う患者の受け入れ、発熱外来の設置等、施設・地域の要請に各施設看護部は適切に体制整備し対応した。新型コロナウイルス回復後患者の受け入れも慈愛会で連携している。

### 【在宅医療推進会議報告】

	開催日時	議題
第1回	2020/12/2 (水)	1) 訪問看護ステーション実績報告 ①現在の訪問状況 (新型コロナウイルス感染拡大に伴う変動含む) ②新規利用状況 ③拠点、サテライト設置進捗状況 2) いづろ今村病院・高麗町クリニック・かごしまオハナクリニック在宅訪問診療状況 3) 在宅医療推進会議について ①会議目的 ②会議メンバーについて 地域医療連携室 (いづろ今村、今村総合、谷山、愛結) PFM職員の参加 ③会議の在り方 (今後進めるうえでの方向性) ④慈愛会内外との連携強化、訪問看護拡大・活性化に向けての検討

### 【慈愛会連携推進会議報告】

	開催日時	議題
第1回	2021/2/4 (木)	1) 慈愛会連携推進会議設立経緯および目的、概要について 2) 慈愛会内外連携報告 (1) 訪問看護ステーション実績報告 ①現在の訪問状況 (笹貫訪問看護ステーション愛の街、いづろサテライト) ②新規利用状況 (2) 慈愛会連携状況 (実績報告 医療連携に関し各施設が抱える課題) 3) 慈愛会連携推進会議の今後の進め方 (1) 慈愛会内外連携における課題抽出 (2) 課題への取り組み (3) 会議報告

### 2. 在宅事業部 (訪問診療・看護) の機能強化

統合後の訪問看護ステーションの運営は、月平均訪問看護件数951件と目標900件を上回った。新型コロナウイルス感染拡大時でも利用者の在宅での安心を提供するために切れ目なく電話対応など適切に対応した。新規依頼へ

の適切な対応が信頼や利用者の拡大につながっている。

利用者拡大に伴い、さらなる充実のために鹿児島市泉町にサテライトを設置した。効率的訪問活動が体制化され利用者ニーズへの対応が可能となった。

訪問看護の質向上では訪問看護クリニカルラダー上位

レベルへのチャレンジや認定看護師教育課程への受験、専門分野の研修参加など積極的に行った。

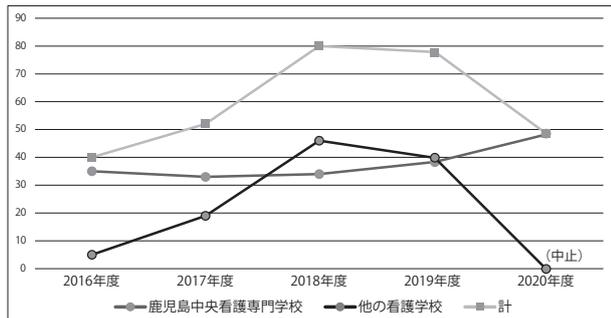
### 3. 看護師確保について

必要人員は確保できた。採用活動は感染拡大に伴い学校訪問制限、就職説明会も対面による実施が制限される状況であった。その中であっても進路指導の教員に適切な情報が伝わるよう時期を考え積極的に訪問活動を続け連携を図った。採用試験は5月から開始し定期で4回実施した。全体で76名の看護師と新卒の4名の介護福祉士、そのうち離島施設は徳之島病院4名、奄美病院2名の新人看護師を採用できた。離島への入職者の増加につながった要因の一つに鹿児島中央看護専門学校の慈愛会就職内定者に対し、再度Zoomで離島とつなぎ施設環境や先輩看護師による実際のキャリア支援や福利厚生など現場から説明を行ったことがあげられる。今後の就職説

明についての在り方を検討しながら慈愛会看護職員採用に取り組んでいきたい。

人材確保とともに人材の定着は重要な課題である。離職率は昨年に比較し慈愛会全体で10.0%と低下し、特にいづろ今村病院は様々な取り組みによる成果が得られた。新人職員については専門性の高いスキルを習得するための辞職希望など今村総合病院で3名の離職があった。個別に早期に支援するなど今後も継続して取り組む必要がある。看護部教育委員会では来年度入職者に関し危機感をもって準備を進めた。新型コロナウイルス感染の影響により実習体験に差が生じ特に不安を抱える職員が多いことが予測される。新人教育プログラムを見直し、より成長支援できるための教育プログラムや入職前の準備教育としてフレッシュナース研修など企画し新人受け入れ態勢を整備した。今後もマグネットホスピタルを目指し各施設それぞれが積極的に取り組んでいく。

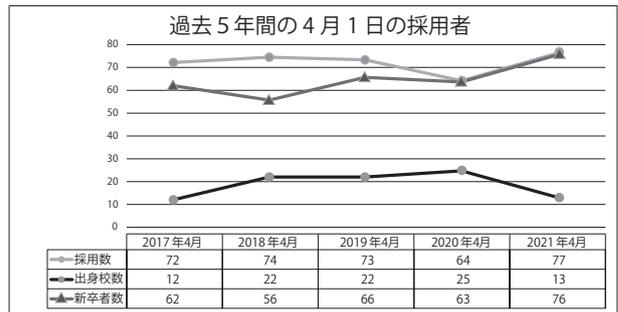
慈愛会主催就職説明会の来場者状況（過去5年間）



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
鹿児島中央看護専門学校	35	33	34	38	48
他の看護学校	5	19	46	40	0
計	40	52	80	78	48
採用者数	63	72	74	73	55

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の為に鹿児島中央看護専門学校以外の学生への就職説明会は未実施

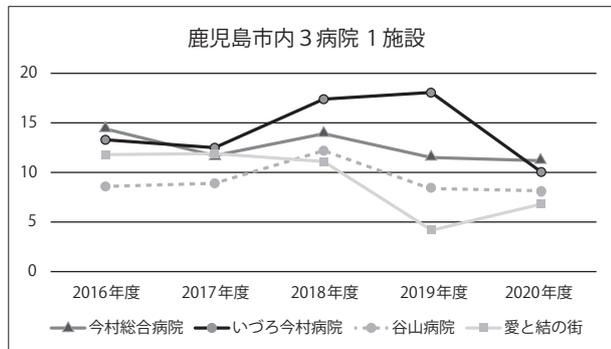
看護師採用状況



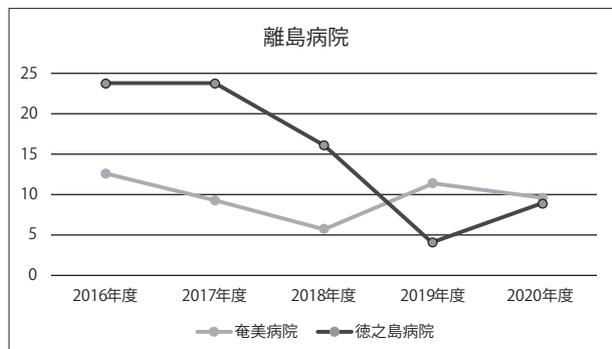
過去5年間の4月1日の採用者（病院別）

	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月
今村総合病院	44	54	51	46	50
いづろ今村病院	12	8	11	9	9
谷山病院	5	9	9	6	12
奄美病院	8	2	0	1	2
徳之島病院	3	1	2	2	4

離職率状況



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
今村総合病院	14.4	11.7	13.9	11.4	11.0
いづろ今村病院	13.3	12.5	17.4	17.9	10.0
谷山病院	8.6	8.9	12.2	8.6	8.5
愛と結の街	11.8	11.9	11.1	4.5	7.1



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
奄美病院	12.6	9.3	5.7	11.1	9.7
徳之島病院	23.8	23.8	16.1	4.5	9.1

## 合同研修会

	研修名	開催日	時間	場所	対象者	受講者	研修概況	
管理者研修	1	看護部長研修会	2020/10/29	8:30～17:30	かごしまオハナビル3階大会議室	看護部長	総合: 1名 いづろ: 1名 谷山: 1名 奄美: 1名 徳之島: 1名 愛結: 1名 合計: 6名	・体験の語り: 「人材育成」「看護を語る」 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 最近、部下との関わりを通して「嬉しかったこと」「感動したこと」 「楽しかったこと」 自己の感動 部下の喜び ・グループワーク: 論点1【看護管理者人材育成の問題】 論点2【既存の資質評価】 論点3【慈愛会マネジメントラダー】 論点4【慈愛会マネジメントラダーとJNAマネジメントラダー】 論点5【意図的計画的な人材育成】
	2	副看護部長研修	2020/9/26	8:30～15:30	かごしまオハナビル3階大会議室	副看護部長	総合: 2名 いづろ: 1名 谷山: 1名 奄美: 1名 徳之島: 1名 愛結: 1名 合計: 7名 奄美・徳之島はリモート参加	・体験の語り: 前年度研修後から現在まで役割発揮の体験を語る 「楽しかった」「嬉しかった」「喜んだ」 「満足した」「良かった」などの体験 看護サービス向上のための自己の役割・マネジメントラダー評価 ・講義: 自施設の魅力 自施設PR 慈愛会全体 チーム脳(協働思考)について学ぶ 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 ・意見交換: 「働きがいのある職場環境」今年度の看護目標への参画 看護師長リフレクション 超過勤務時間縮減への取り組み 有給休暇取得率向上 人材育成 クリニカルラダー など 今後の活動計画 慈愛会副看護部長ネットワーク
	3	新任看護部長研修	2020/7/3	8:30～16:30	かごしまオハナビル3階大会議室	2019年8月以降、看護部長に昇任したものの	総合: 1名 いづろ: 1名 奄美: 2名 合計: 4名	・グループワーク: 看護部長となつてぶつかっている壁～想いを吐き出そう～ 私の体験 愛と結の街副看護部長 榎本清美 谷山病院看護部長 吉井百合子 心に届く慈愛の看護を語る ・講義: 看護部長の役割 マネジメントラダー評価と看護管理者の資質 ～ラダー自己評価結果 7つの資質について振り返り～ 教育開発センター長 中重敬子 組織が求める看護部長への期待～自部署の組織をまず理解しよう～ SWOT分析/クロスSWOT分析 「人材から人財へ」 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 ・先輩看護管理者の語り 今村総合病院看護部長 北原美代子 いづろ今村病院副看護部長 上原奈津美 今村総合病院看護部長 池田清夏
	4	副看護部長研修	2020/9/5	8:30～15:30	鹿児島中央看護専門学校(今村総合病院・支援室職員)	副看護部長 ※新任副看護部長は除く	総合: 28名 いづろ: 8名 谷山: 14名 奄美: 8名 徳之島: 9名 愛結: 2名 支援室: 1名 合計: 70名	・講義: 部署の問題を分析し、看護サービスの向上への取り組みができる 組織分析の理解 SWOT分析/クロスSWOT分析/看護部目標/BSC 「チーム脳を活性化する質問ラダー」 ～生産性の高い職場ではコミュニケーションを活性化するリーダーが存在し、全員が丸となって仕事にあたっている～ 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 新型コロナウイルス感染症対策～感染管理認定看護師活動を通して ゾーニング・標準予防策の考え方と実際～ 今村総合病院看護部長 感染管理認定看護師 吉森みゆき ・グループワーク: 【感動させて人を育てる】新型コロナウイルス禍において
	5	新任副看護部長研修	2020/9/18	8:30～16:30	かごしまオハナビル3階大会議室 ※新型コロナウイルス感染症対策において奄美病院は自部署でリモート研修	2019年8月以降副看護部長に昇任した者 2019年度の新任副看護部長研修を未受講の者 その他 看護部長が受講を勧める者	総合: 2名 いづろ: 1名 谷山: 3名 奄美: 3名 合計: 9名	・自己課題発表: 副看護部長となり直面している自己の課題～想いを吐き出そう～ ・先輩看護管理者の「今」 愛と結の街看護部長 今西由香 いづろ今村病院看護部長 宮田美穂 ・講義: 「管理・指導者の役割について～最前線で実践する為に～」 いづろ今村病院看護部長 飯下和代 「看護管理者(副看護部長)に期待される役割 組織分析の理解 SWOT分析/クロスSWOT分析」 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 ・グループワーク: SWOT分析/クロスSWOT分析の理解 副看護部長として今後取り組んでいくこと ・先輩看護管理者の語り 「心に届く慈愛の看護を語る」 今村総合病院副看護部長 中谷明実 谷山病院副看護部長 伊地知綾美
職員研修	6	3年目研修 慈愛会看護部	2020/10/24	8:30～17:30	かごしまオハナビル3階大会議室(今村総合病院・支援室職員) ※新型コロナウイルス感染症対策において他の病院・施設は自部署でリモート研修	①卒業3年目看護師 ②その他オープン参加	総合: ①24名 ②7名 いづろ: ①5名 ②2名 谷山: ①8名 ②2名 支援室: 3名 合計: 51名	・講義: 「危機的状態の患者家族への看護」 ①心に届く看護とは ②病いの物語の一般的展開の仕方の概要 ③病いの物語の一般的展開の仕方…発病による悲嘆プロセス ④発病による悲嘆プロセスに沿ったケア ⑤患者の悲嘆プロセスに関わる看護者のケア 鹿児島大学医学部保健学科 名誉教授 堤由美子先生 ・個人ワーク: 自己レポート(事例)のリフレクション ・ペアを組み、私が大切にしている看護を相手に語る ・グループワーク: 危機的状態の患者・家族のケア～心に届くケア～
			2020/10/31	8:30～17:30	かごしまオハナビル3階大会議室		総合: ①21名 ②6名 合計: 27名	
7	7 臨地実習 教員合同研修 臨地指導者	2020/10/17	10:40～12:30	鹿児島中央看護専門学校3年課程校舎	臨地実習指導者	総合: 17名 いづろ: 7名 谷山: 9名 愛結: 8名 支援室: 3名 3年課程: 13名 2年課程: 1名 合計: 58名	・私が大切にしたい臨地実習での教育(関わり) 慈愛会統括看護部長兼看護部支援室長 木佐貫涼子 ・グループワーク: 自施設で学ばせたいこと(事前課題発表) より具体的な意図的実習計画を考える ・個人ワーク: 具体的な行動スケジュールを考える ・意見交換	
8	8 新人研修 フレッシュユナイス研修	2021/3/22～3/25(4日間)	8:30～15:30	鹿児島中央看護専門学校第1校舎 各施設	内定者(新卒)	総合: 47名 いづろ: 7名 谷山: 9名 奄美: 2名 徳之島: 1名 合計: 66名	研修の目的 慈愛会看護師としての役割意識を高め、職場適応を支援する目標 1) 慈愛会理念、基本方針、法人概要について理解できる 2) 医療職に必要な社会人基礎力について学ぶ 3) 臨床実践能力を高めるための基礎的知識・技術を学ぶ 4) 自己目標を明確化し、将来のキャリアプランが描ける	

## 技能・能力向上に向けた取り組み

### キャリア開発

#### 1) 看護師のクリニカルラダー取得状況 (表1)

新クリニカルラダーを看護管理者・看護職員ともに理解し活用に取り組んだ。4月の申請率は100%の施設が多く、クリニカルラダー申請の意義を理解したことにより昨年度より増加した。年度末には認定を行い次のレベルアップのために上位レベルへチャレンジする仕組みとなった。看護管理者教育・3年目研修は方法を工夫しすべて開催できた。Off-JTを活かし、現場でのOJTに連動した研修となっている。

#### 2) 認定看護師その他の資格保有状況 (表2)

長期研修派遣は計画的に実施している。特定行為研修に関し、研修後の体制整備が急務である。研修終了後の活動推進マニュアルを作成し、長期研修後、知識と技術を生かし看護の質の向上に貢献できる体制の構築に努める。

今年度は新型コロナ感染拡大に関し、専門資格、特に感染管理・精神看護のスペシャリストの活躍があった。慈愛会全体での教育活動、県や看護協会からの要請に適切に対応できる有資格者による貢献が目立った。またジェネラリストの資質向上への主体的な活動も看護の質保証につながっている。

#### 3) 看護管理者の育成とマネジメントラダーレベル認定状況 (表3, 表4)

看護部長研修では社会の動向を見据え既存のマネジメントラダー、管理者に求められる資質の見直しが重要と認識し看護部長ミーティングを定期的に開催し、新たなマネジメントラダー、資質を検討した。トップマネージャーである看護部長が慈愛会や地域が求める看護管理者像を自ら明確にでき、慈愛会全体で協議し、慈愛会看護管理者育成プログラム作成にあたったことが重要であり、来年度からの管理者教育やマネジメントラダー申請・認定の活性化につなげ看護管理者育成に貢献できると考える。

## 各種指標

(表1) クリニカルラダー認定状況

		1. 認定申請率 ※対象者に対する		2. 全体の認定率 ※対象者に対する		3. 2020年度の認定合格率 ※申請者に対する		4. 認定合格者 (数)	今年度の対象者(数) ※看護管理者除外	これまでに1回も 申請がない(人数)
		対象者の中での 申請者数	申請率	対象者の中での 認定者数	認定率	申請者のうち 認定合格者数	合格率		5. 全体の対象者(数) ※看護管理者除外	6. これまでに1回も 認定されていない(人数)
今村総合病院	2020年度の 新たな認定者・更新者	249	81.4%	195	63.7%	195	78.3%	195	306	16
	全体の認定者	329	95.4%	333	96.5%	329	98.8%	333	345	12
いづろ今村病院	2020年度の 新たな認定者・更新者	77	100.0%	53	68.8%	53	68.8%	53	77	0
	全体の認定者	85	100.0%	85	100.0%	76	89.4%	85	85	0
谷山病院	2020年度の 新たな認定者・更新者	100	96.2%	70	67.3%	70	70.0%	70	104	2
	全体の認定者	109	98.2%	109	98.2%	109	100.0%	109	111	2
奄美病院	2020年度の 新たな認定者・更新者	38	92.7%	12	29.3%	12	31.6%	12	41	0
	全体の認定者	46	100.0%	46	100.0%	41	89.1%	46	46	0
徳之島病院	2020年度の 新たな認定者・更新者	9	47.4%	7	36.8%	7	77.8%	7	19	0
	全体の認定者	20	100.0%	20	100.0%	18	90.0%	20	20	0
	全体の認定者	589	100.0%	593	97.0%	573	96.6%	593	547	18
									607	14

(注)

1. 認定申請率 …………… 対象者とは、副看護師長以上の看護管理者を除く看護師(助産師)
2. 全体の認定率 …………… 常勤(嘱託)の副部長以上の管理職を除く看護師(助産師)に対する認定率(レベル取得した者の率)
3. 2020年度の認定合格率 …………… 2020年度に申請し2020年の年度末に合格した合格率
4. 認定合格者 …………… 過去の認定者も含めて全体でレベルⅠ～Ⅳ
5. 対象者 …………… 年度末(2021年3月31日)時点の対象者総数とする

(表2) 看護師資格取得状況一覧 (2020年度)

		いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	鹿中看 3年課程	鹿中看 2年課程	本部	法人計	
認定看護師	救急看護	資格者	2								2	
		受講中									0	
	皮膚・排泄ケア	資格者					1				1	
		受講中									0	
	集中ケア	資格者		1							1	
		受講中									0	
	緩和ケア	資格者	1	1							2	
		受講中		1							1	
	がん化学療法	資格者		1							1	
		受講中									0	
	がん性疼痛	資格者	1								1	
		受講中									0	
感染管理	資格者	1	2			1				4		
	受講中									0		
糖尿病	資格者									0		
	受講中									0		
脳卒中リハビリテーション	資格者		2							2		
	受講中									0		
がん放射線療法	資格者									0		
	受講中									0		
精神科	資格者		1	3	1					1	6	
	受講中										0	
認定看護管理者	ファーストレベル	資格者	15	25	29	13	9	6	3	1	1	102
		受講中										0
	セカンドレベル	資格者	7	13	6	3	1	3	1		2	36
		受講中										0
サードレベル	資格者		1	1				1			3	
	受講中										0	
認定看護管理者	資格者		1	1				1		2	5	
	受講中										0	
特定行為研修	皮膚創傷に係る薬剤投与関連	資格者					1				1	
		受講中									0	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	資格者		3	1			1			5	
		受講中		2							2	
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	資格者		1							1	
		受講中		1						1	2	
	循環器動態に係る薬剤投与関連	資格者		1							1	
		受講中		1							1	
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	資格者			1						1		
	受講中									0		
創傷管理関連	資格者		3	1			1				5	
	受講中	1	1								2	
ろう孔管理関連	資格者		1	1							2	
	受講中		1								1	
その他の資格・研修	災害支援ナース		4	5	5	2	1		1		18	
	教員養成課程修了		0	3	1		1		13	7	25	
	糖尿病療養指導士		6	3						※1	9	
	呼吸療法士		2	6							8	
	消化器内視鏡技師		2	3							5	
	透析技術認定士			6							6	
	日本救急学会認定 インストラクター ICLS コース		1	6	5		2				14	
	アメリカ心臓病学会 インストラクター BLS コース		1	7	6		1				15	
	栄養サポートチーム 専門療法士		1	2							3	
	介護支援専門員		2	1				22	1	※4	26	
	訪問看護師 養成講習会修了者		1	2	1	6	2	1	2	1	16	

注) 受講中とは本年度研修受講したもの

※糖尿病療養指導士 1人未更新  
 ※介護支援専門員 4人未更新  
 ※主任介護支援専門員 1人未更新

(表3) 慈愛会看護部 管理者任用候補者選考結果及び昇任状況

病院	年度	看護部			介護福祉士			ナースエイド			次年度昇任者数	次年度以降の昇任者数	受験者中再受験者数
		受験者( )内副看護師長	合格者( )内副看護師長	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)			
いづろ今村病院	2016年度	4	3	75.0%							2	1	0
	2017年度	7 (5)	6 (5)	85.7%							0	0	0
	2018年度	4 (1)	4 (1)	100.0%							0	2	2
	2019年度	2	2	100.0%							1		0
	2020年度	1	1	100.0%	0	0		0	0				
今村総合病院	2016年度	17 (11)	13 (9)	76.5%							2	1	3
	2017年度	11 (3)	10 (3)	90.9%							5	0	3
	2018年度	10	8	80.0%							0	4	1
	2019年度	6	5	83.3%							2		1
	2020年度	6	6	100.0%	1	1	100.0%	5	4	80.0%	2		
谷山病院	2016年度	6 (3)	5 (2)	83.3%							1	2	0
	2017年度	3 (2)	1 (1)	33.3%							0	0	0
	2018年度	4 (1)	4 (1)	100.0%							1	1	2
	2019年度	1	1	100.0%							1		0
	2020年度	2	2	100.0%									
奄美病院	2016年度	4 (2)	2 (1)	50.0%							1	0	0
	2017年度	5 (2)	4 (2)	80.0%							1	1	1
	2018年度	3 (2)	3 (2)	100.0%							1	0	0
	2019年度	4	3	75.0%							3		0
	2020年度	1	1	100.0%	3	3	100.0%						
徳之島病院	2016年度	4	3	75.0%							1	0	1
	2017年度	2	2	100.0%							2	0	1
	2018年度	2	2	100.0%							1	1	0
	2019年度	2	2	100.0%							0		0
	2020年度	1 (1)	1 (1)	100.0%	1	0	0.0%						
愛と結の街	2016年度	0	0	-									
	2017年度	2 (2)	2 (2)	100.0%							0	0	0
	2018年度	2 (2)	2 (2)	100.0%							0	0	0
	2019年度	3	3	100.0%							0		0
	2020年度	1	1	100.0%	5	5	100.0%				1		
鹿児島中央看護専門学校	2019年度	1	1	100.0%							0		0
	2020年度	0	0	-									
全体	2016年度	35 (5)	26 (3)	74.3%							7	4	4
	2017年度	30 (22)	25 (19)	83.3%							8	1	5
	2018年度	25 (6)	23 (6)	92.0%							3	8	5
	2019年度	19	17	89.5%							7	0	1
	2020年度	12	12	100.0%	10	9	90.0%	5	4	80.0%	3	0	0

※教員へ1名

(表4) 2020年度 マネジメントラダー 認定状況

		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	副看護部長職	看護部長職
今村総合病院	対象者	12	4	5	9	1	1
	申請者	11	4	0	0	0	0
	認定者	11	4	0	0	0	0
	認定率	100%	100%	0%	0%	0%	0%
いづろ今村病院	対象者	2	2	1	3	1	1
	申請者	1	1	1	2	1	0
	認定者	1	1	1	1	1	0
	認定率	100%	100%	100%	50%	100%	0%
谷山病院	対象者	3	0	0	8	0	0
	申請者	3	0	0	3	0	0
	認定者	3	0	0	3	0	0
	認定率	100%	0%	0%	100%	0%	0%
奄美病院	対象者	3	1	1	5	0	1
	申請者	3	1	1	2	0	0
	認定者	3	0	1	2	0	0
	認定率	100%	0%	100%	100%	0%	0%
徳之島病院	対象者	3	1	2	0	1	1
	申請者	0	1	0	0	0	0
	認定者	0	1	0	0	0	0
	認定率	0%	100%	0%	0%	0%	0%
認定の申請 5病院計	対象者	23	8	9	25	3	4
	申請者	18	7	2	7	1	0
	認定者	18	6	2	6	1	0
	認定率	100%	86%	100%	86%	100%	0%

※認定率は申請者に対する認定率

## 業 績 一 覧

### 【学会発表】

#### 今村総合病院

1. 中村倫丈, 越口晋伍: 当院 ICU におけるせん妄発症状況と関連する危険因子の実態調査. 第 16 回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2020 年 7 月 1 日 -12 月 31 日, 大阪 (Web)
2. 小濱奈々, 永野裕志, 稲森晃, 福田美幸, 小村友子, 神田直昭: t-PA 静注療法・血栓回収療法開始時間短縮のための業務フロー導入とその効果. 日本脳卒中学会学術集会 (STROKE2020), 2020 年 8 月 23 日, 神奈川 (Web)
3. 吉森みゆき, 小波津武志: 感染管理ベストプラクティスを用いた外部委託業者への教育. 第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020 年 10 月 6-7 日, 京都 (誌上発表)
4. 吉森みゆき, 小波津武志: 外来機能の構築に向けた現状と課題 固定配置から変動配置の転換に向けた取組. 第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020 年 10 月 6-7 日, 京都 (誌上発表)
5. 小波津武志, 吉森みゆき: がん薬物療法による職業性曝露対策の実際と課題. 第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020 年 10 月 6-7 日, 京都 (誌上発表)

#### いづろ今村病院

6. 柳井谷みさき: 眼科手術を受ける患者の手術中の不安軽減への取り組み～患者の不安の分析と看護実践～. 第 54 回鹿児島県保健看護研究学会, 2021 年 1 月 23 日, 鹿児島

#### 谷山病院

7. 中菌明子: 精神科認定看護師・特定看護師の人材活用～離島の精神科医療体制への導入にむけて～. 第 24 回日本看護管理学会学術集会, 2020 年 8 月 28-29 日, 石川 (Web)
8. 草野智之, 川路友美, 満富陽子: 精神科入院中の患者に対する下肢筋力増加の取り組み～足趾間圧力測定器による評価～. 第 27 回日本精神科看護専門学術集会, 2020 年 12 月 5-6 日, 茨城 (Web)

#### 奄美病院

9. 肥後友嘉: 攻撃性のエスカレートを防ぐ～ディエスカレーションを意識した取り組み～. 第 27 回日本精神科看護専門学術集会, 2020 年 12 月 5-6 日, 茨城 (Web)
10. 満永雅美: 私たちの夜勤帯に感じる自己判断の不安. 第 27 回日本精神科看護専門学術集会, 2020 年 12 月 5-6 日, 茨城 (Web)

#### 徳之島病院

11. 吉元初美, 宮本陽子, 末永真由美: 精神科病院のない離島における出張訪問看護の実践報告. 第 27 回日本精神科看護専門学術集会, 2020 年 12 月 6 日, 茨城 (Web)
12. 芳田真由美, 嶺井千春, 政岡恵, 幸春奈: 精神科病院のない地域への訪問看護を始めて～患者・家族・行政の思いを尋ねて見えたもの～. 第 27 回日本精神科看護専門学術集会, 2020 年 12 月 6 日, 茨城 (Web)

## 【研究会・講演会】

### 今村総合病院

1. 中村倫丈：成人看護学Ⅱ呼吸器看護。鹿児島中央看護専門学校3年課程看護科非常勤講師，2020年5～7月，鹿児島
2. 中村倫丈：フィジカルアセスメント（中堅看護師対象）。鹿児島県看護協会大島地区研修，2020年9月12日，鹿児島県
3. 中村倫丈：フィジカルアセスメント（新人看護師対象）。鹿児島県看護協会大島地区研修，2020年9月12日，鹿児島県
4. 吉森みゆき：ゾーニングの基礎。鹿児島県新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に関わる研修会。2020年9月25日，鹿児島（Web）
5. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症 外来における発熱患者への対応について。鹿児島県医師会医療関連感染対策研修会，2020年10月28日，鹿児島（Web）
6. 吉森みゆき：COVID-19感染対策支援チームの取り組み。鹿児島感染制御ネットワーク学術講演会，2020年10月31日，鹿児島
7. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症の感染対策支援 介護事業所支援の現状と予防に向けて。第76回日本認知症ケア学会教育講演，2021年2月12日，鹿児島（Web）
8. 吉森みゆき：医療現場における新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題。看護連盟鹿児島県の看護と政策を考える意見交換会，2021年2月20日，鹿児島
9. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症への対応 看護管理者がおこなうこと。南薩地区看護管理者研修会，2021年3月5日，鹿児島（Web）

### 愛と結の街

10. 福元綾子：生活支援～食事について～。鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2020年4月～8月，鹿児島
11. 今西由香：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2020年6月17-24日，鹿児島
12. 木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2020年7月1,8日，鹿児島
13. 米澤美智代：活動報告 看護師特定行為研修修了後の活動と課題。鹿児島県看護協会特定行為研修修了看護師交流会，2021年8月29日，鹿児島
14. 原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ。鹿児島中央看護専門学校3年課程，2020年8月31日，9月14,28日，10月12-13日，鹿児島
15. 安藤理恵子，細山明日香：コロナ感染対策。小原町住民へのコロナ対策講演会，2020年10月21日，鹿児島
16. 川崎友義：介護老人保健施設について。鹿児島国際大学介護福祉士課程，2020年12月25日，鹿児島
17. 都外川純子：コロナ感染対策。魚見町住民へのコロナ対策講演会，2021年2月16日，鹿児島
18. 原口悦江：介護施設における事故予防と急変時の対応。鹿児島県看護協会一般研修，2021年2月17日，鹿児島

### 法人事業本部 看護部支援室

19. 今村健次：医療安全。学校法人原田学園医療技術専門学校，2020年6月2,8,16,23日，7月16日，鹿児島
20. 今村健次：新型コロナ感染症に対するストレス。南薩地域振興局本庁舎「心の健康教室」心の健康教室，2021年1月20日，鹿児島
21. 今村健次：新型コロナ感染症に対するストレス。南薩地域振興局指宿庁舎「心の健康教室」，2021年2月2日，鹿児島

## 【受賞】

### いづろ今村病院

1. 田中ミドリ：看護業務功労者表彰. 鹿児島県医師会, 2020年4月
2. 稲森佳子：看護業務功労者表彰. 鹿児島県医師会, 2020年4月

### 谷山病院

3. 中菌明子：精神科看護業務功労者厚生労働大臣表彰. 一般社団法人日本精神科看護協会, 2020年6月26日
4. 西三穂子：永年勤続表彰. 日本精神科病院協会, 2020年10月1日
5. 元明子：永年勤続表彰. 日本精神科病院協会, 2020年10月1日

## 【公的研究】

### 愛と結の街

1. 原口悦江：介護現場における持続的な生産性向上を支援する調査研究事業 参画・報告. 厚生労働省事業

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

リハビリテーション部門

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
公益法人として県民への知識・技術の還元	①法人内リハ部門 生産性の向上 標準18単位/day/1人(身障系POS)、20件/day/1人(精神科OT)	今村総合病院では、標準18単位/dayをキープする事で、セラピスト1人、約1千万/yearの生産性を目標とした。 他病院・施設も生産性向上に努めた。 笹貫訪看：身体面での訪問リハビリ指示あり	今村総合病院では、セラピスト1人、約980万/yearの生産性をクリア 今年度もOT4人・PT4人の産休・育休の影響が考えられた。 他施設でも、リハスタッフの産休・育休の報告あり。	効率性と生産性を念頭に置いた組織作りが必要 産休・育休期間での、期間限定補充者の活用を積極的に行う。
	②地域への貢献活動・脳卒中地域連携ネットワーク他	鹿児島市地域リハ支援事業へ講師としてPT・OT・ST参加(第1四半期のみ) 徳之島：OTが保育園にて集団運動指導実施(年度上半期のみ) 離島への障害予防教室、トレーナー活動は年間通して休止 患者会・町内会への講義活動も休止	専門性の中で地域貢献活動であるが、今年度はコロナ禍の影響が大きく、夏以降は殆どの活動が制限され、県民への知識・技術の還元が不十分であった。	公益法人としての慈愛会リハビリ部としては、専門性の中で地域貢献が重要である。対面が難しいならば、ZoomやYouTubeを使用しての県民への知識・技術の還元に繋げていく。
	③各自のレベル向上(専門家としてのスキルアップ)	リハスタッフ各自、POST協会主催研修会受講(リモート研修含む) 認定理学療法士(代謝・呼吸・地域)各1名ずつ認定 臨床実習指導者育成研修終了(各施設PT・OT・ST) eラーニング中心に協会主催研修参加 院内新人看護師への介助方法・ポジショニング指導	コロナ禍における研修活動は、対面は厳しくリモートが主となった。厚生労働省からのリハ学生臨床実習指導にあたり、SVとして必要な臨床実習指導者育成研修を、それぞれの施設で終了 専門家としてのスキルアップと、治療の質向上を目的に各自活動実施	リモート活用での、積極的学会発表・研修会参加の促しと環境設定 学生指導にて、リハスタッフ自身のスキルアップや、就職促進に繋がる動きを実践する。 2021年度からの、慈愛会リハスタッフ教育ラダーの本格実施
医療から介護へ(地域包括ケアシステム)から リハビリ部	①地域包括ケア・介護予防リーダー、精神科疾患別リハ算定資格者育成	地域包括ケアシステムの理解も含め、鹿児島県PT・OT・ST連絡協議会主催の各リーダー研修会受講	今年度は、今村総合病院ST2名が、地域包括ケア・介護予防リーダー研修受講	地域包括ケアシステムの基礎となり、在宅復帰指導にも役立つ為、他施設にも、再啓発を実施。
	②慈愛会内各リハ施設のリハスタッフローテーション(PT・OT・ST1人ずつ/2～3年)	今村総合病院から愛と結の街へ(OT)スタッフ5月異動 今村総合病院と谷山病院との(OT)スタッフ9月異動(交代) 今村総合病院から いづろ今村病院への(ST)スタッフ11月異動 定期的スタッフ異動にてスキルアップを検討。	医療保険分野と介護保険分野、また身障系と精神科系の作業療法士異動にて、各自のスキルアップに貢献。 いづろ今村へのベテランST異動(補充)にて、業務量と質の維持確保。	2021年度は、7月に総合病院のPTと老健のPTを異動(交代)、10月には老健と総合病院のSTを異動(交代)予定。 2022年度は、10月に総合病院のPTをいづろに異動予定。
	③施設から自宅へのシームレスな支援	谷山病院：リハビリバス試乗中・サマリーの作成・使用中 徳之島病院：離島訪問看護へのOT同行を継続中 今村総合病院：退院前リハ訪問指導(回復期リハNs同行)継続	リハビリバスの使用、チーム医療スタッフの看護師との協働にて、在宅復帰への促進を図る。	専門家としてのスキルアップと、病院から自宅へ帰られる時の退院時リハ指導や退院前自宅訪問を積極的に実施する必要あり。
Big Dataの確立(慈愛会リハの存在意義)	①慈愛会各施設内でのアウトカムデータの蓄積・症例発表	慈愛会各施設での治療後のアウトカムデータ蓄積と分析 今村総合病院：10、いづろ今村病院：3、谷山病院：4、愛と結の街：1それぞれのリハスタッフが講師となり実施	コロナ禍にて、昨年度より講義・講演の機会が減少(上半期は皆無、下半期はリモートにて実施) アウトカムデータの蓄積継続。エビデンス確立に繋げる	リモートでの講演増加に対応可能な人材育成を検討する。 データを纏めての、対外発表(啓発)に繋げる
	②慈愛会リハ合同活動発表会から九州・全国学会へ	今村総合病院での全国・九州学会発表6演題(昨年は11演題) 対象患者のリハ効果、顔面麻痺患者の心理調査 奄美病院：PTと小グループでの身体リハ実施計画 認知症病棟の患者算定計画立案	コロナ禍にて、昨年度より学会・研修会の開催が減少(上半期は皆無、下半期はリモートにて開催)	今年度コロナ禍にて延期した、慈愛会リハスタッフ活動発表会(一般身障・精神科リハ)を来年度開催し、全国へのデータ・エビデンス発表に繋げる。 他施設にも、啓発を実施。
	③精神科病院での身体リハへの取り組み・院内外身障・精神科リハ講演活動	谷山病院：看護部向けOT学習会実施 徳之島病院：新人へ移動・移乗の勉強会実施 身体リハの点数化→小グループでのリハをPT・OTが協働	精神科OTの身体リハをPTがフォロー コロナ禍の中でも、認知症ケア病棟・急性期病棟を中心に活動。 チーム医療の観点で、他職種との協働・教育を実施。	精神科入院患者の廃用予防と、可能な範囲での身体リハ算定に繋げる。 他職種との教育・研修機会の継続

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会リハビリ部には、2021年4月現在、約150人の理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）が所属しております。

一般急性期病院として、いづろ今村病院・今村総合病院、介護保険領域として、老健愛と結の街グループ・高麗町クリニック、精神科領域では、谷山病院・奄美病院・徳之島病院があり、それぞれの施設で、PT・OT・STが臨床・教育・研究に携わっています。（慈愛会リハ施設概況表参照）

### 1、慈愛会各施設リハビリ部責任者TV会議（4回/年）

（一般身障：今村総合病院・いづろ今村病院・愛と結の街・高麗町クリニック）

2020年 5月27日，8月26日，11月11日

2021年 2月24日

※各施設のリハ責任者が集合し、村山慈愛会リハビリ統括室長の下、

#### ①各施設リハ部門の現状報告と展望

（リハスタッフの動向・学生指導・施設内感染対策等含む）

#### ②今年度の慈愛会リハ活動発表会準備会議

今年当初からのコロナ感染の影響で、毎年4月に予定していたリハ活動発表会を9月に延期。7月に県内でのクラスター発生を受けて、堂園リハ部長とも検討。苦渋の選択で、今年度は発表形式を取らず、抄録集のみ発行とした。

#### ③慈愛会リハビリ部内人事異動

いづろ今村病院と今村総合病院、今村総合病院と愛と結の街、また、今村総合病院と谷山病院にて、セラピストの人事異動を実施。慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋がった。

#### ④慈愛会リハビリ部内 物品有効活用

各施設内で使用しない物品の情報を共有し、有効活用へ結びつける。

#### ⑤その他

フィロソフィ、事業計画・報告、教育（ラダー啓発）・研修、診療報酬改定、飲酒運転防止等

以上について話し合い、各施設との情報共有と連携向上に繋がっている。

### 2、慈愛会精神科リハビリTV会議（12回/年）

（精神科：谷山病院・奄美病院・徳之島病院）

2020年4月13日～2021年3月25日（原則、毎月第2月曜日）

※各精神科施設のリハ責任者が集合し、村山慈愛会リハ統括室長の下、

#### ①各精神科施設リハ部門の現状報告と展望

（リハスタッフの動向・学生指導・施設内感染対策等含む）

#### ②今年度の慈愛会精神科リハ活動発表会準備会議

今年当初からのコロナ感染の影響で、毎年5月に予定していたリハ活動発表会を10月に延期。7月に県内でのクラスター発生を受けて、堂園リハ部長とも検討。苦渋の選択で、身障系と同様に今年度は発表形式を取らず、抄録集のみ発行とした。

#### ③人事異動

谷山病院と奄美病院、谷山病院と徳之島病院にて、セラピストの人事異動を実施。慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋がった。

#### ④物品有効活用

#### ⑤その他

フィロソフィ、事業計画・報告、教育（ラダー啓発）・研修、診療報酬改定、徳之島病院の機能評価受審、飲酒運転防止等

以上について話し合い、各施設の情報共有と連携向上に繋がっている。

## 合同研修会

### 「第9回 慈愛会リハビリスタッフ合同活動発表会」

（慈愛会身障系の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を中心に、日頃の業務、研究の結果や活動の内容を発表）

【コロナ禍にて、今年度は発表を延期、抄録集のみ発行とした】

以下、当初予定。

・2020年4月25日（土）17:00 - 19:10

・谷山病院 じあいホール

・参加者所属施設：今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院・高麗町クリニック・愛と結の街・奄美病院・徳之島病院

・司会：愛と結の街 作業療法士 豊丸 夏希

【内容】

1. 開会の挨拶  
慈愛会リハビリテーション統括室長 村山 芳博
2. 理事長挨拶  
慈愛会 理事長 今村 英仁
3. 施設長挨拶  
介護老人保健施設 愛と結の街 施設長 野村 秀洋
4. 活動発表
  - 第1セッション  
座長 今村総合病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 若松 藍
  - ①輪状咽頭筋弛緩不全を呈した症例に対するダブルバルーンの即時効果について  
今村総合病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 丸岡 由佳
  - ②機能向上により、日常生活動作練習室にて自宅での動作を想定した練習まで行えた症例  
今村総合病院 リハビリテーション部 作業療法士 迎 雄作
  - ③身体疾患を有し自宅から当院精神科へ入院した患者の転帰先に関連する因子の検討  
今村総合病院 リハビリテーション部 理学療法士 秋山 祐子
  - 第2セッション  
座長 今村総合病院 リハビリテーション部 理学療法士 津曲 麻美
  - ④当院糖尿病入院から外来後の運動継続の調査  
いづろ今村病院 リハビリテーション部 理学療法士 森永 恭子
  - ⑤FIMから見えてきた老健の現状  
愛と結の街 理学療法士 大迫 由美
  - ⑥延髄外側梗塞後にBody lateropulsionを呈した症例を経験して  
今村総合病院 リハビリテーション部 理学療法士 永松 健太郎
  - ⑦当院における鏡視下腱板修復術後の他動での関節可動域と再断裂率～関節可動域練習の開始時期を早期化したことでの変化～  
今村総合病院 リハビリテーション部 理学療法士 吉田 研吾
5. 総括  
慈愛会 リハビリテーション部部長 堂園 浩一朗

「第9回 慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会」

(慈愛会精神科の作業療法士を中心に、日頃の業務、研究の結果や活動の内容を発表)

【コロナ禍にて、今年度は発表を延期、抄録集のみ発行とした】

以下、当初予定。

- ・2020年5月16日(土) 17:00 - 18:40
- ・メイン会場：奄美病院
- ・サブ会場：谷山病院・徳之島病院
- ・司会：奄美病院 作業療法士 森山 祐樹

【内容】

1. 理事長挨拶  
慈愛会 理事長 今村 英仁
2. 活動発表
  - 第1セッション  
座長 奄美病院 作業療法士 椿山 直己
  - ①作業療法クリニカルパスの開発 - ゼロからのスタート -  
谷山病院 リハビリテーション科 作業療法士 河村 菜央
  - ②一人暮らしを目標に調理教室を導入した症例  
奄美病院 作業療法士 向井 清也
  - ③就労移行支援のアセスメント MSFAS(幕張ストレス・疲労アセスメントシート)を活用した事例  
就労支援センターステップ 作業療法士 揚村 美帆子
  - 第2セッション  
座長 奄美病院 作業療法士 中井 慎二
  - ④当院デイケアへのSST導入後の参加者の生活と今後の課題  
谷山病院 デイケア 作業療法士 伊瀬知 友梨
  - ⑤長期入院患者の地域移行に向けての支援 退院準備プログラムを实践して見えてきた課題  
徳之島病院 作業療法士 田中 智大
  - ⑥当院の認知症病棟における作業療法導入について  
奄美病院 作業療法士 森野 大将
3. シリーズ病院紹介  
「奄美病院」  
奄美病院 作業療法士 森山 祐樹
4. 総括  
慈愛会 リハビリテーション統括室長 村山 芳博

## 技能・能力向上に向けた取り組み

主な資格取得状況（2020年度内取得）

- ・代謝認定理学療法士：PT 1名（いづろ今村病院）
- ・呼吸認定理学療法士：PT 1名（いづろ今村病院）
- ・地域リハ認定理学療法士：PT 1名（いづろ今村病院）
- ・フレイル対策推進マネージャー：PT 5名（今村総合病院）、PT1名（いづろ今村病院）、PT 2名（愛と結の街）
- ・鹿児島県地域糖尿病療養指導士：PT 2名（いづろ今村病院）
- ・訪問リハ実務者研修終了：PT 1名・OT 1名・ST 2名（愛と結の街）
- ・介護予防推進リーダー：PT 1名（今村総合病院）、OT 1名（谷山病院）
- ・地域包括ケアリーダー：PT 1名（今村総合病院）、OT 1名（谷山病院）
- ・高血圧・循環器病予防療養指導士：PT 1名（今村総合病院）
- ・厚労省の臨床実習指導者講習会受講：PT 2名（今村総合病院）、PT 3名（いづろ今村病院）、OT 1名（谷山病院）、OT 1名（奄美病院）、OT 1名（徳之島病院）
- ・失語症者向け意思疎通支援者指導者：ST 1名（今村総合病院）
- ・エンドオブライフケア認定援助士：PT 1名（いづろ今村病院）
- ・日本心理士会認定心理士：PT 1名（今村総合病院）

※各リハスタッフ、PT・OT・STの国家資格だけでなく、配属先の臨床に役立つ資格を取得し、各個人のスキルアップと、他職種とのチーム医療に役立てている。

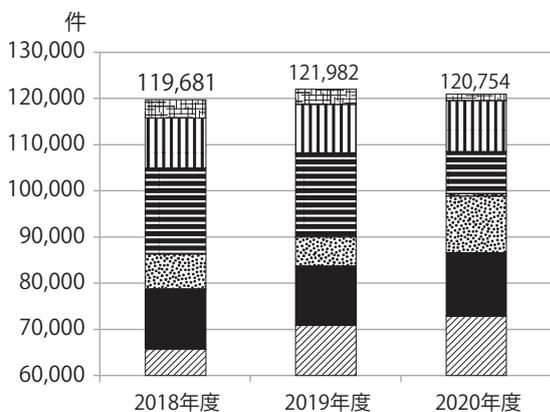
公益財団法人慈愛会 各施設リハビリ概況表 (2021年4月現在)

施設名	今村総合病院		リハビリテーション基準			脳血管I・運動器I・呼吸器I・廃用I・心大血管I・がんリハ		
病床数	428床	外来患者：600名/日	リハビリ対象患者：			入院 260～270名、外来 120名/日		
職員数	理学療法士	52名(内3名育休)	作業療法士	17名(内4名育休)	言語聴覚士	19名(内1名育休)	リハ助手	5名(内パート1名)
参考事項	<p>脳血管障害等の急性期 (ICU・SCU 含む) と回復期を中心に、リハビリ専門医5名、回復期リハビリ病棟Ns.と共にPT・OT・STアプローチを密に行い、MSW (常勤10名) の協力のもと早期の家庭・社会復帰を目指します。その他、運動器・呼吸・廃用症候群へのPT、血液・消化器等のがんに対してのPT、高次脳機能障害・病棟ADL重視のOT、失語症・摂食嚥下アプローチのST、急性期身体症状発症の精神科患者への廃用予防リハ等、様々な経験が可能です。そして、これから循環器リハにも注力したいと考えています。また、スポーツ整形外科も10年前に開設 (スポーツ専門Dr.5名) し、1階のスポーツ整形リハセンターにてPT (15名) とAT (アスレチックトレーナー) が協力した、機能回復・スポーツ復帰へのリハビリと、障害予防の為に活動に力を入れています。</p>							
施設名	いづろ今村病院		リハビリテーション基準			脳血管Ⅲ・廃用Ⅲ・運動器Ⅱ・呼吸器Ⅰ・がんリハ		
病床数	115床	外来患者：200名/日	リハビリ対象患者：			入院 30～45名/日、外来 0名/日		
職員数	理学療法士	8名(内通所2名)	作業療法士	2名(内通所1名)	言語聴覚士	2名(内通所1名)	リハ助手	0名
参考事項	<p>当院では12名のスタッフ (2021年4月時点でうち1名は産休中) で医療保険分野 (DPC病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟) と介護保険分野 (通所、訪問) の幅広い領域でリハビリ支援に携わっています。入院リハビリ対象者は廃用症候群や慢性的な運動器疾患が多数を占めますが、血液疾患や消化器疾患のがん治療の方も少なくありません。院内にリハビリ専門医の在籍はありませんが、週1回総合病院からの専門医出向の的確なアドバイスを頂けます。同一施設内での医療～介護の強い連携は在宅復帰支援にも役立ち、特に同一敷地内にあるサービス付き高齢者向け住宅の退院支援は環境整備での訪問も時間に縛られず躊躇なく行えるため当院の強みです。地域包括ケア病棟では在宅調整支援の役割が多く、個別リハビリ以外に補完代替リハビリテーションも充実させています。スタッフは希望に応じ医療、介護それぞれの分野で活躍できるよう配属場所を配慮しています。今後は口腔ケア、摂食嚥下、認知症対応に関し多職種での連携強化に力を注ぎます。</p>							
施設名	高麗町クリニック		リハビリテーション基準			訪問リハビリテーション (介護・医療)		
病床数	0床	外来患者：8名/日	リハビリ対象患者：			5名/日		
職員数	理学療法士	2名	作業療法士	0名	言語聴覚士	0名	リハ助手	0名
参考事項	<p>当クリニックの訪問診療部門や各利用者の主治医・事業所と密な連携を図りつつ訪問リハビリテーションを提供しています。理学療法士が利用者の状況やニーズに合わせ、心身機能・活動・参加などの「生活機能の維持又は向上」を図るように支援を行っています。</p>							
施設名	老健施設愛と結の街グループ		老健施設基準			超強化型老健		
病床数	100床	外来患者：0名/日	リハビリ対象患者：			入所100名、通所リハ50名/日 (午前・午後25名ずつ)		
職員数	理学療法士	5名(内1名育休)	作業療法士	6名	言語聴覚士	2名	歯科衛生士	0名
参考事項	<p>慈愛会内外の病院・施設と連携をとり、在宅復帰・支援に向けて様々なリハビリテーションを展開しています。生活を見る視点として、環境調整 (シーティング、ポジショニング、福祉用具等) や作業機会の積極的な提供を行うとともに、認知症のケア、リハビリテーションにも力をいれています。STは提携の歯科衛生士と訪問歯科と連携し、口腔機能への専門的なアプローチを行っています。在宅支援として通所リハ、訪問リハビリ、併設施設で精神科訪問看護事業を行い、目標達成型のリハビリテーションを多職種協働にて行っています。</p>							
施設名	谷山病院		リハビリ基準			精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション		
病床数	392床	外来患者：130名/日	リハビリ対象患者：			入院130名、外来10名、デイケア50名/日		
職員数	理学療法士	1名	作業療法士	18名	言語聴覚士	0名	音楽療法士	(非常勤職員) 3名
参考事項	<p>精神一般病棟に加え、急性期治療病棟・療養病棟・認知症治療病棟の機能を持つ病院です。24時間365日の精神科救急への対応を備えており、早期作業療法に取り組んでいます。心理教育、ARP (アルコールリハビリテーションプログラム)、退院準備プログラム、SSTにも力をいれています。デイケアや就労支援センターなどの在宅部門でも作業療法士が勤務、また常勤の理学療法士と連携を取りながら身体機能への対応を進めています。</p>							
施設名	奄美病院		リハビリ基準			精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション		
病床数	348床 (休床90)	外来患者：78.5名/日	リハビリ対象患者：			入院 200名、デイケア 40名/日		
職員数	理学療法士	1名	作業療法士	9名(内1名育休)	言語聴覚士	0名	リハ助手	0名
参考事項	<p>現在作業療法士9名 (精神科作業療法5名、認知症病棟1名、デイケア2名) 勤務しております。急性期治療病棟における早期作業療法の充実・長期入院患者の退院促進を特に重点的に実施しています。また、2017年度より理学療法士が常勤配置となっており、認知症疾患リハビリテーションや、身体的リハビリテーション (非算定) を実施しています。2018年度よりデイケアが大規模となり、年々マンパワーが増えており、地域移行定着の充実を力を入れています。</p>							
施設名	徳之島病院		リハビリテーション基準			精神科作業療法・精神科デイケア		
病床数	206床 (休床8)	外来患者：38.3名/日	リハビリ対象患者：			入院 143名、デイケア 13名/日		
職員数	理学療法士	0名	作業療法士	6名	言語聴覚士	0名	リハ助手	0名
参考事項	<p>作業療法士6名 (精神科作業療法5名、デイケア1名) が勤務。選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的にしています。また、2020年度より心理教育プログラムを開始。積極的に島内・島外の訪問看護へも同行し地域定着・地域移行に取り組んでいます。</p>							

各種指標

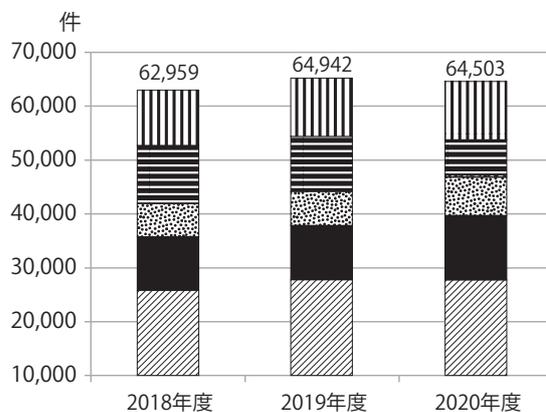
今村総合病院

3Fリハセンター 実施件数



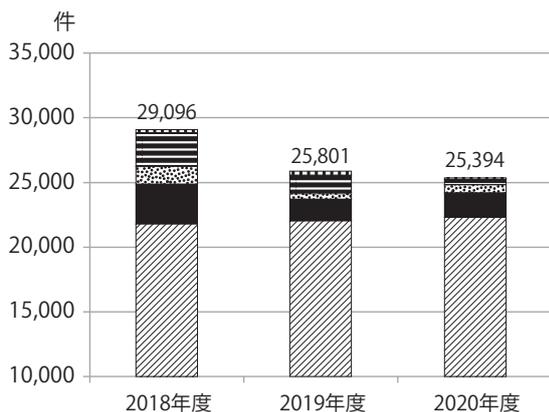
	2018年度	2019年度	2020年度
■実施件数	119,681	121,982	120,754
▨脳血管	65,659	71,173	72,888
■運動器	13,108	12,435	13,824
☼呼吸	7,456	5,922	11,932
☼心大血管	0	0	419
▨廃用	18,733	17,237	9,138
▨がん	10,822	11,736	11,140
☼摂食	3,903	3,479	1,413

3F PT実施件数



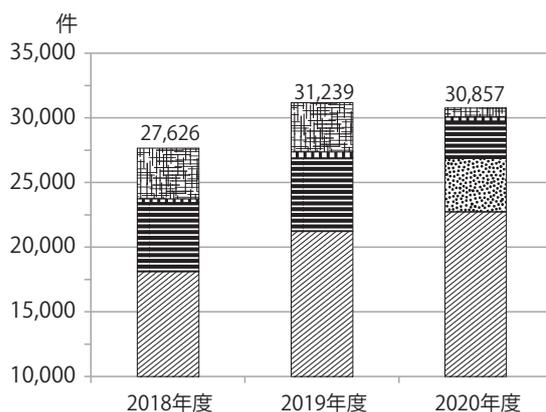
	2018年度	2019年度	2020年度
■実施件数	62,959	64,942	64,503
▨脳血管	25,789	27,175	27,568
■運動器	10,005	10,806	11,949
☼呼吸	6,096	5,536	7,166
☼心大血管	0	0	419
▨廃用	10,809	10,332	6,569
▨がん	10,260	11,093	10,832
☼摂食	3,903	3,479	1,413

OT件数



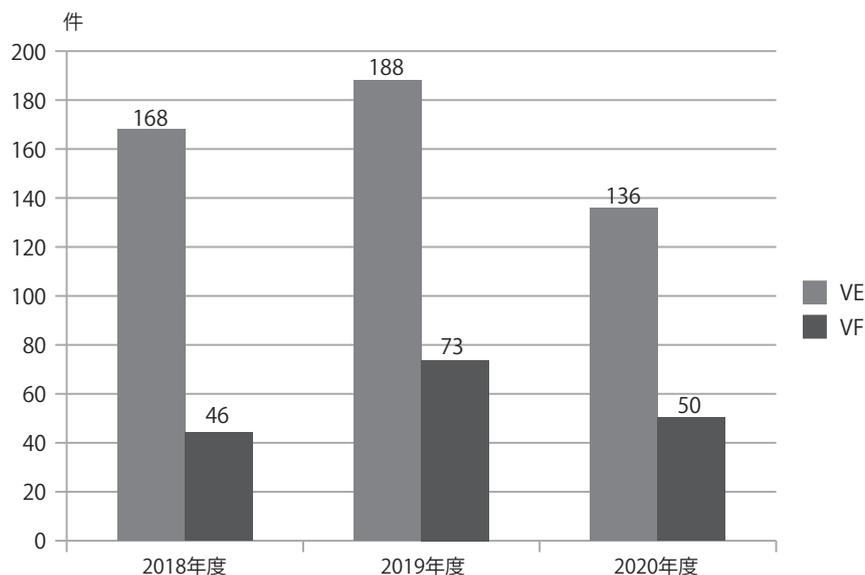
	2018年度	2019年度	2020年度
■実施件数	29,096	25,801	25,394
▨脳血管	21,776	22,282	22,578
■運動器	3,103	1,629	1,875
☼呼吸	1,360	386	605
▨廃用	2,582	1,304	283
▨がん	275	200	53
☼摂食	3,903	3,479	1,413

ST件数



	2018年度	2019年度	2020年度
■実施件数	27,626	31,239	30,857
▨脳血管	18,094	21,716	22,742
☼呼吸	0	0	4,161
▨廃用	5,342	5,601	2,286
▨がん	287	443	255
☼摂食	3,903	3,479	1,413

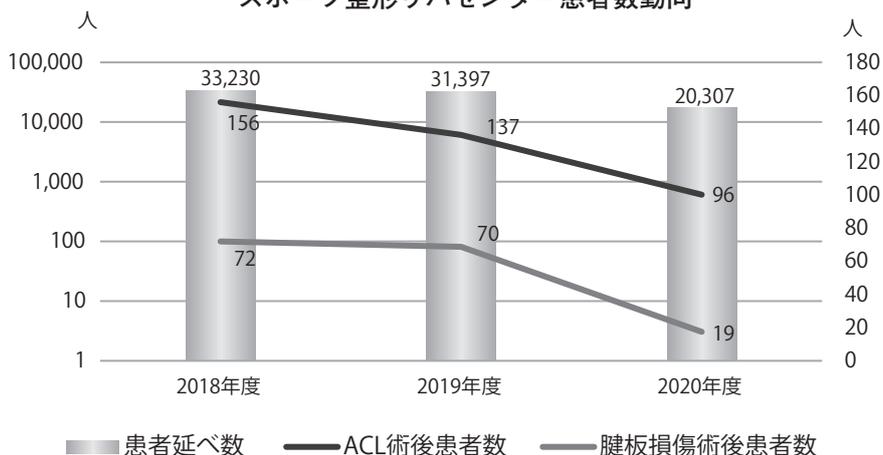
嚥下内視鏡検査（VE）、嚥下造影検査（VF）実施件数



【今村総合病院 3階リハビリテーションセンターの実績・特色】

- ・リスク管理のもと、入院後すぐにリハビリテーションを開始し、365日（土日・祝日も）継続して実施します。
- ・脳卒中、心大血管疾患、呼吸器、運動器、がん、外科術後・内科治療後の廃用症候群、嚥下障害、高次脳機能障害等について、専門セラピスト（PT・OT・ST）による質の高いリハビリテーションを提供します。
- ・麻痺の回復を助ける・運動量増加に繋がる電気刺激装置、体重の一部を免荷しながら歩く練習ができる歩行装置、身体の筋肉量等を測定できる装置、その他の最新の機器を用いて実施します。
- ・鹿児島市地域リハビリテーション支援活動に協力しています。

スポーツ整形リハセンター患者数動向

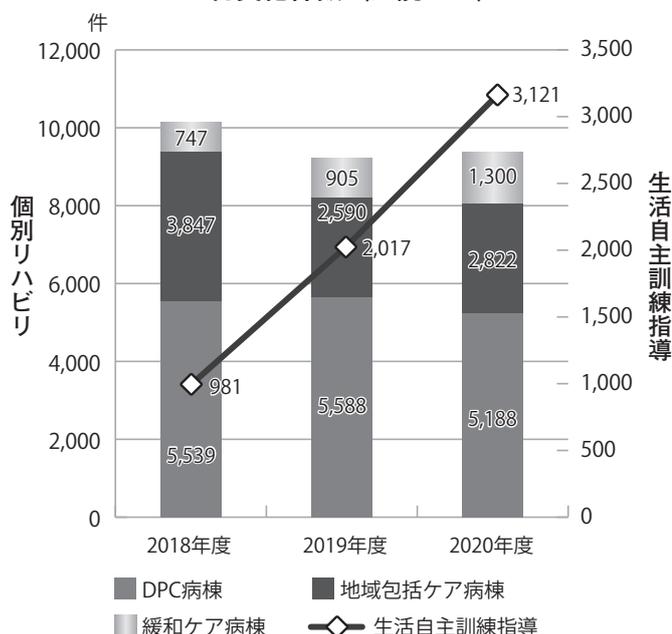


【スポーツ整形外科リハセンターの実績・特色】

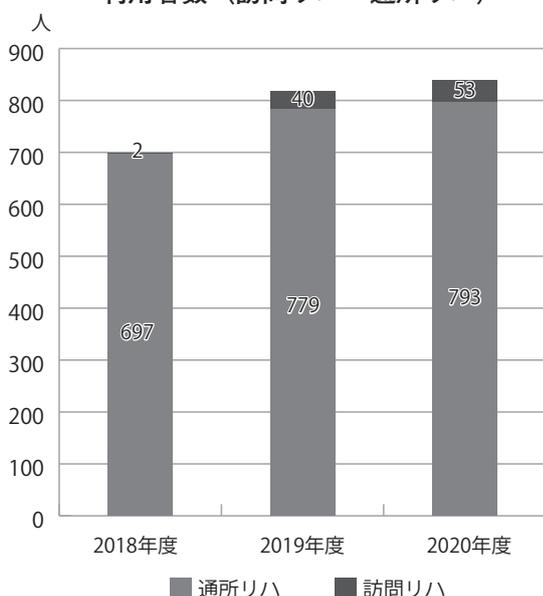
- ・2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で延べ患者数、各手術後リハ数ともに減少しました。
- ・従来行っていたACL教室・投球教室や奄美での障害予防教室は開催できませんでした。
- ・院内職員向けの医療安全講習会を継続実施しました。
- ・院内での研究発表（毎週火曜カンファレンス時に持ち回りで理学療法士全員実施）
- ・BLS講習会実施（年1回）
- ・ラダー研修（月2回実施）

## いづろ今村病院

個別リハビリ・生活自主訓練指導  
総実施件数（入院リハ）



利用者数（訪問リハ・通所リハ）



### 【いづろ今村病院 入院リハビリテーションの実績・特色】

- ・DPC病棟では疾患の治療を行いつつ生活動作が低下しないよう、あるいは低下した動作能力が回復できるような状態に応じて個別リハビリで支援します。必要に応じ地域包括ケア病棟への転棟も考慮し継続的なりハビリ介入を行います。
- ・地域包括ケア病棟では在宅復帰を目指す方に対し個別リハビリで対応し、個々の目標を明確にした上で生活動作能力改善を図ります。在宅生活が難しい方には生活動作の中で補完代替りハビリを行い、生活の質向上を図ります。病棟の特質上、入退院を繰り返す方も多ですが、その分関係性も深いため生涯を通した関わりが可能です。
- ・緩和ケア病棟でも在宅復帰を視野に個別リハビリで関わり、多職種連携で環境調整や介護方法の検討を重ねます。
- ・主に糖尿病療養患者様には自己管理力の向上を目的に講義や実技での運動指導を行っています。

### 【通所リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

- ・新規でのご利用検討の方に対し、施設体験ご利用をお勧めしています。2020年度は年間22件の体験ご利用があり、うち17件はご利用開始となりました（2019年度は体験11件、ご利用開始9件）。
- ・要介護利用者さまにはリハビリ会議にて現状報告と施設に対するご要望聴取を行い、サービス向上に繋げています。また必要に応じてリハビリ計画の見直しや目標修正も行い、個々の需要に応じたサービス提供を心がけています。
- ・ケアマネジャーとの連携を充実させ、必要に応じ主治医へ情報提供を依頼することでより安全なりハビリを提供しています。
- ・年4回の病院での消防訓練参加（代表者）に加え、年1回、施設スタッフ全員参加で消防訓練を行い、緊急時対応が速やかに行えるよう備えています。

### 【指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

- ・2020年度は理学療法士と言語聴覚士が訪問リハビリに出向き、ご利用者さま個々の目標に応じたりハビリプログラムを計画し、在宅での生活を支援しました。
- ・基本的に当院退院後の患者様、もしくは当院をかかりつけとされている方を対象としており、主治医が他院医師の方に関しては高麗町クリニックを紹介し対応を依頼するなど、慈愛会内での連携を図っています。
- ・当院入院の方で訪問リハビリの適応がある方には、退院後にスムーズに在宅生活を送れるよう早い時期から入院担当スタッフと密に情報共有を行い、退院後、ご自宅での課題解決に向け短期集中的に支援しています。

## 谷山病院

総実施件数（精神科作業療法）



### 【谷山病院 精神科作業療法の実績・特色】

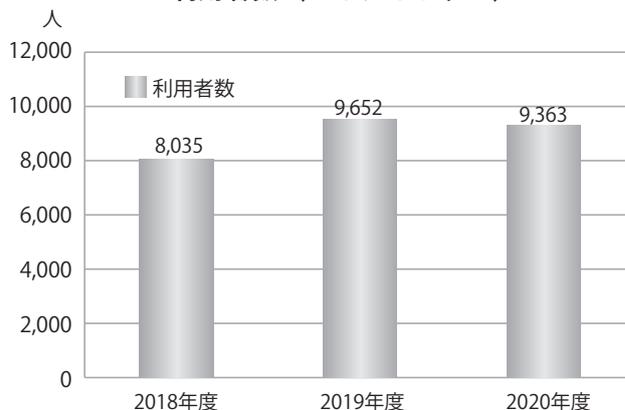
- ・急性期治療、退院支援、在宅部門、と作業療法士の職域が広く、作業療法士の視点で切れ目ない支援の提供ができます。
- ・患者様のニーズに応えられるよう様々な個別・集団プログラムを実施しています。
- ・院内の教育的プログラム（心理教育、退院準備プログラム、アルコール学習会、健康教室など）は作業療法士が中心となり多職種と共に実施しています。
- ・理学療法士の常勤、作業療法士による嚥下機能評価や訓練など、身体的リハビリテーションにも力を入れています。

## 奄美病院

総実施件数（精神科作業療法）



利用者数（デイナイトケア）



### 【奄美病院精神科作業療法の実績・特色】

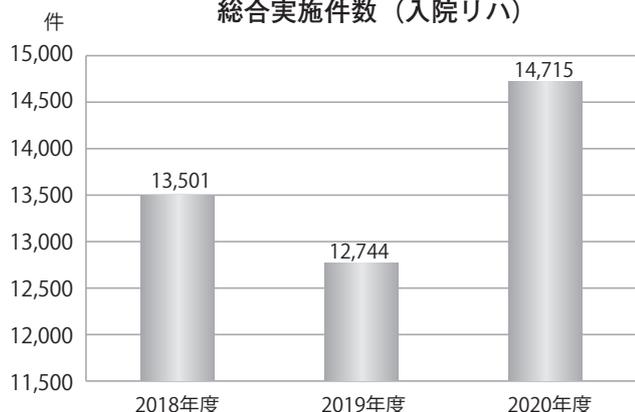
- ・早期の作業療法を実施しています（基本5日以内の開始）。
- ・長期入院患者に対して退院準備プログラム及び個別OTを実施し、多職種協働のもと、地域移行が充実しています。
- ・RPTを配置したことにより身体的リハビリテーションが充実しています。
- ・幅広い年齢層に対応したプログラムを準備しています。

### 【奄美病院デイナイトケアの実績・特色】

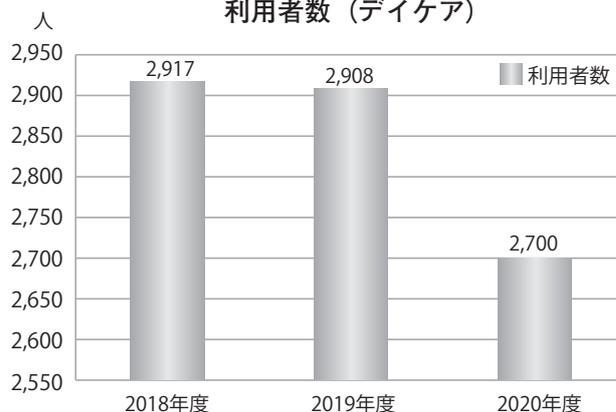
- ・様々なニーズに対応できるように職員を2名増員（8名）。個々の状態に合わせた対応や幅広い年齢層を受け入れています。
- ・定期的に担当者会議を実施しており地域定着者が増加しています。
- ・多方面の送迎を開始しており、参加しやすい環境になっています。
- ・入浴サービス（身体的・環境的理由が対象）を開始しました。

## 徳之島病院

総合実施件数（入院リハ）



利用者数（デイケア）



### 【徳之島病院リハビリ部門の実績・特色】

- ・ 選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。
- ・ 心理教育、退院準備プログラムを多職種協働で行っています。
- ・ 患者様、病棟スタッフのニーズに応じて柔軟にプログラムの設定・変更を行っています。
- ・ 積極的に島内外の訪問看護へも同行し、入院～退院後まで作業療法士が関わる体制が出来ています。

### 【徳之島病院デイケアの実績・特色】

- ・ 病院併設のデイケアのため、他部署と連携し安全かつ円滑にサービスを提供しています。
- ・ 島内全域を対象に送迎サービスを実施しています。
- ・ 利用者が主体的に取り組めるよう、活動の多様化を図っています。

## 介護老人保健施設 愛と結の街

総実施件数（入所）



### 【入所リハビリの実績・特色】

- ・ 当施設は在宅復帰・在宅療養支援機能をもつ超強化型老健として稼働しています。各階に専従・専任セラピストが配置されています。
- ・ 入（退）所前後訪問、家屋調査、在宅復帰トライアル等を実施し積極的に在宅復帰を支援します。
- ・ 退所後も通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ等を提供できる体制をとり、在宅支援に向け、切れ目のない取り組みを行っています。
- ・ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士が常勤で勤務しています。
- ・ 対象疾患は脳血管障害、整形外科疾患、認知症のみならず、呼吸器疾患や精神疾患、がん等、幅広い疾患に対応しています。
- ・ リハビリは目標を設定して、ADLやIADLが向上するように、セラピストや介護福祉士等多職種協働で、生活リハビリを支援しています。
- ・ 在宅生活に必要な作業ができるようにAMPS（標準化された観察型のADL等の評価法）を行い、その結果を基にリハビリを実施します。
- ・ 老健以外の他事業所と連携する等、外部での活動を積極的に行っています。ただし、2020年度はCOVID-19感染対策として、一部活動を制限しました。

総実施件数（通所）



総実施件数（訪問）



【通所リハビリの実績・特色】

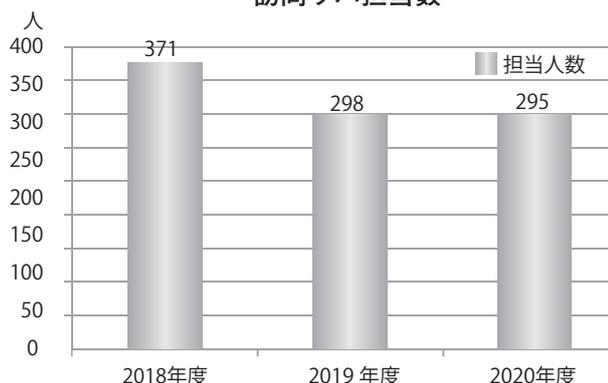
- ・2019年度より、デイケアはリハビリ特化型の短時間通所リハ（午前・午後2～3時間/定員各25名）へと生まれ変わりました。
- ・医師が参加するリハビリ会議や在宅訪問指導等を積極的に行いながら、活動に焦点をおいた目標達成型のリハビリを、デイケア専従のセラピストや介護福祉士等と多職種協働で支援しています。
- ・リハビリマネジメントⅢ、Ⅳに対応しています。
- ・リハマネⅣとは、リハビリに関するデータを厚生労働省に定期的に提出し、フィードバックを受けるもので、リハビリの質の向上に努めています。
- ・管理栄養士、歯科衛生士と連携し、栄養マネジメントにも対応しています。
- ・2020年1月より、デイサービス（はなぶさ）が老健1階に移動し、入浴や食事、生活リハビリ等の通所介護（7～8時間/定員30名）を提供しています。セラピストが同フロアに常駐しておりますので、必要に応じて、助言・指導が可能です。
- ・2020年度はCOVID-19感染対策として、受け入れ基準を設ける、リハビリ内容を変更する等して対応しました。

【訪問リハビリの実績・特色】

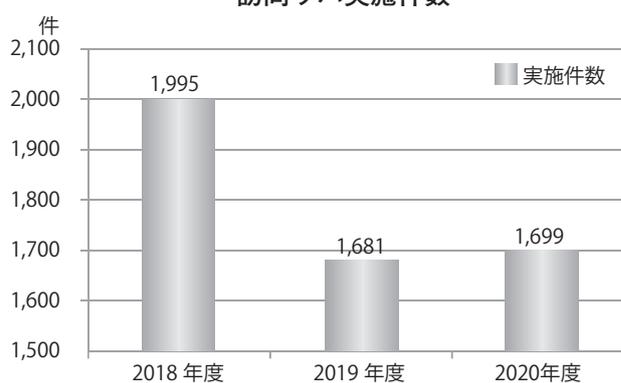
- ・訪問リハビリは、安心して在宅生活が行えるように、原則、入所担当セラピストが訪問まで引き続き担当します。退所後、短期間、集中的に訪問リハを行い、在宅生活を支援する体制をとっています。
- ・実際の生活の場である自宅での動作確認を行い、ご利用者のご家族が互いに行いやすい介助方法等の助言・指導を行います。また家事動作や実際の外出等も確認し、助言・指導を行います。
- ・自宅での福祉用具の使用の確認、アドバイス等を行います。
- ・理学療法士や作業療法士だけでなく、言語聴覚士の訪問リハビリが提供できます。
- ・言語聴覚士の訪問リハビリは、言語機能だけでなく、摂食嚥下機能の訓練の他、食事に関する助言・指導を行います。
- ・2020年度はCOVID-19感染対策として、訪問リハビリの提供については一部制限せざるを得ない状況でした。

高麗町クリニック

訪問リハ担当数



訪問リハ実施件数



【高麗町クリニック訪問リハの実績・特色】

- ・基本的な歩行練習や応用歩行練習、日常生活活動などの応用動作練習に加え、生活への楽しみ作り、ご家族の健康や運動の相談、介助方法の指導・助言などを行います。
- ・要支援1～要介護5と幅広い介護度の支援を担当。また、疾患も整形外科疾患や脳梗塞のみならず糖尿病、腎不全、呼吸器疾患やがんなど、幅広い疾患の利用者への支援を行っています。
- ・南は谷山地区から北は伊敷地区まで、幅広い地域へ訪問。
- ・慈愛会内では、今村総合病院、いづろ今村病院、愛と結の街、かごしまオハナクリニックと連携。
- ・緊急時には在宅診療を行っている当クリニック医師に相談し対応。

## 業 績 一 覧

### 【学会発表】

#### 今村総合病院 理学療法士

1. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 森希美, 村山芳博, 吉田一成, 奈良聡一郎, 堂園充代, 小田原淳, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮典: 同種造血幹細胞移植患者における年齢による身体機能・QOL 変化. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会, 2021 年 3 月 5-7 日, 東京 (Web)
2. 東健祐, 松元龍, 浜田香穂麗, 村山芳博, 迎雄作, 室屋信二, 堂園浩一朗: 摂食障害を呈した 1 症例に対する理学療法介入 BMI・血液データと身体機能の回復過程. 第 34 回鹿児島県理学療法士学会, 2021 年 3 月 14 日, 鹿児島 (Web)
3. 松元龍, 津曲麻美, 鮫島悠子, 浜田香穂麗, 村山芳博: 当院 SCU における退院時 FIM に関連する因子の検討. 第 34 回鹿児島県理学療法士学会, 2021 年 3 月 14 日, 鹿児島 (Web)
4. 岡村敏之, 武清孝弘, 園田拓史, 川本哲志, 村山芳博, 堂園浩一朗: 健康教室に参加された透析患者の身体機能・活動量と透析期間について. 第 11 回日本腎臓リハビリテーション学会, 2021 年 3 月 20-21 日, 宮城 (Web)

#### いづろ今村病院 理学療法士

5. 西賢一郎: 当院における看護要員の腰痛調査報告. 第 22 回日本医療マネジメント学会学術総会, 2020 年 10 月 6 - 7 日, 京都 (Web)

#### 今村総合病院 作業療法士

6. 寺園隆宏: 重度片麻痺患者が両手でのカメラ操作を可能とした一例. 第 54 回 日本作業療法学会, 2020 年 10 月 19 日, 新潟 (Web)

#### 今村総合病院 言語聴覚士

7. 鮫島悠子, 門田良子, 松元龍, 村山芳博, 神田直昭, 堂園浩一朗: 橋病変を契機として高次脳機能障害を呈した 2 症例. 第 44 回日本高次脳機能障害学会学術総会, 2020 年 11 月 22 日, 岡山 (Web)

### 【研究会・講演会】

#### 今村総合病院 理学療法士

1. 村山芳博: 鹿児島市地域リハ支援事業. (一社)鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚療法士連絡協議会, 年間 6 回, 鹿児島
2. 村山芳博: チーム医療の実践について. 鹿児島大学医学部保健学科, 2020 年 6 月 30 日, 鹿児島
3. 村山芳博: 理学療法士の医療政策論 1. (公社)鹿児島県理学療法士協会, 2020 年 7 月 26 日, 鹿児島 (Web)
4. 村山芳博: 理学療法士の医療政策論 2. (公社)鹿児島県理学療法士協会, 2020 年 8 月 23 日, 鹿児島 (Web)
5. 村山芳博: 社会の中の理学療法士. 鹿児島県理学療法士協会新人オリエ, (公社)鹿児島県理学療法士協会, 2020 年 11 月 8 日, 鹿児島 (Web)
6. 村山芳博: C V A の理学療法の評価. 鹿児島大学医学部保健学科, 2020 年 12 月 17 日, 鹿児島
7. 村山芳博: 社会の中の理学療法士. 第一医療リハビリ専門学校理学療法学科, 2021 年 3 月 19 日, 鹿児島
8. 武清孝弘: 造血幹細胞移植リハビリテーション～入院から LTFU 外来まで～. 造血幹細胞移植推進拠点病院 造血細胞移植オンライン勉強会, 2021 年 3 月 20 日, 福岡 (Web)

### いづろ今村病院 理学療法士

9. 土井敦：介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識。公益財団法人 介護労働安定センター実務者研修，2021年2月2日，鹿児島
10. 土井敦：基本動作と生活環境。鹿児島理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研修会，2021年2月13日，鹿児島（Web）
11. 土井敦：快適な住環境整備と介護。鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2021年2月24日，鹿児島

### 谷山病院 作業療法士

12. 中山陽平：精神科病院における作業療法士の役割について。鹿児島国際大学精神保健福祉援助実習学内代替え実習に関わる講師派遣，2020年8月24日，鹿児島（Web）
13. 黒木貴博：作業療法生涯教育概論。鹿児島県作業療法士協会主催 現職者共通研修，2020年10月23日，鹿児島（Web）
14. 黒木貴博：厚労省指定鹿児島県臨床指導者講習会，2020年12月12 - 13日，鹿児島（Web）
15. 内村ちひろ：就労について。鹿児島県立聾学校就労ネットワーク会議，2021年3月23日，鹿児島（Web）

### 愛と結の街 作業療法士

16. 宮田雅士：BPSDを考える～樹状モデルの活用～。令和2年度かごしま認知症OTネットワーク交流会，2021年2月21日，鹿児島（Web）

### 今村総合病院 言語聴覚士

17. 中島史博：誤嚥性肺炎予防教室。鹿児島市地域リハビリテーション活動支援事業（早山団地お達者クラブ），2020年6月25日，鹿児島
18. 中島史博：令和2年度鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会講師。鹿児島県失語症者向け意思疎通支援者養成事業，2020年11月1日-3月7日，鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

薬 剤 部 門

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～ 2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
薬 剤 部	<p>薬 剤 師 確 保 対 策</p> <p>①薬剤師の確保計画 ・新卒薬剤師 (10名) ・薬剤師採用試験 (2回) ・病院間薬剤師職員の定期 (臨時) 異動 (2回) ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤 補充数 (1名) ・新採薬剤師の離島での実地研修 (2～3回) ・薬学実務実習生の受け入れ (6名) ・薬学生の病院見学の受け入れ (15名) ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信 (2回)</p>	<p>①薬剤師の確保計画 ・新卒薬剤師 (4名) ・薬剤師採用試験 (2回) ・病院間薬剤師職員の定期・臨時 異動 (3名) ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤 補充数 (3名) ・新採薬剤師の離島での実地研修 なし ・奄美応援体制 (いづろ: 4名、総合6人、谷山5名) ・薬学実務実習生の受け入れ (いづろ: 3名、総合: 4名) ・薬学生の病院見学の受け入れ (14名) ・九州保健福祉大学: 就職説明会 (WEB実施) ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信 (14回)</p>	<p>①薬剤師の確保計画について ・新卒薬剤師確保希望は7名で採用試験2回行い、内定通知6名であったが採用は4名となった。 ・中途採用5名、退職者6名 ・奄美・徳之島の離島病院の薬剤師の確保 奄美3名採用できたが退職者1名あり。 ・4月～6月谷山3名、7月～3月総合5名、谷山1名 10月～3月いづろ4名、総合1名、谷山1名応援体制 ・薬学実務実習生の受け入れ慈愛会で7名良好。 ・薬学生の病院見学は、情報発信をWEB等積極的に行い、新型コロナの影響もなく、例年と同等であった。</p>	<p>①薬剤師の確保について ・新卒採用人数は4名程度でとどまっているため新卒だけではなく、中途採用のリクルートも考える。 ・徳之島は定着しているが、奄美については今年度 現地採用者の定着を考える。 ・今年初めて、就職説明会にWEB参加したが、今後、薬剤師募集に関し、各大学に積極的なWEB活用を行う。 ・今後もこれを継続しより専門性を持った薬剤師の育成を行う。 ・今村総合病院では、3学会の研修施設に認定された。来年度は、研修生受け入れを行う。</p>
	<p>人 材 育 成</p> <p>①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師 (新規目標) 9名 ・糖尿病療養指導士 (〃) 1名 ・精神科薬物療法認定薬剤師 (〃) 1名</p> <p>②慈愛会薬剤部合同研修会の実施 ③各種研修会、学会での発表 ・慈愛会合同研修会 (8題) ・各種学会発表 (院外) (8題)</p>	<p>①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師 (新規目標) 11名 ・糖尿病療養指導士 (新規目標) 1名 準備済 ・精神科薬物療法認定薬剤師 (新規目標) 1名準備済 ・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士1名 ・日本医療薬学会: 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設認定 ・日本臨床腫瘍薬学会: がん診療病院連携研修病院 ・日本臨床薬理学会: 認定薬剤師制度研修施設</p> <p>②慈愛会薬剤部合同研修会の実施 (2020.11.7) ③各種研修会、学会での発表 ・慈愛会合同研修会 (8題) ・各種学会発表 (院外) (8題) ・鹿児島県病院薬剤師会学術大会にて優秀発表賞受賞 (いづろ)</p>	<p>①各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・計画には少し足りないがほぼ計画通り取得できた。 ・新たに研修施設の認定取得ができた (総合)。</p> <p>②予定通り行えた。 ③新型コロナの影響もあり学会の中止などがあったがWEB発表で達成できた。また、優秀発表賞受賞できたことは評価される。</p>	<p>・今後もこれを継続しより専門性を持った薬剤師の育成を行う。 ・今村総合病院では、3学会の研修施設に認定された。来年度は、研修生受け入れを行う。</p>
	<p>薬 剤 業 務 の 効 率 化 ・ 生 産 性 向 上</p> <p>①薬剤管理指導業務の推進 (物から人への業務比率を高め、入院から外来へのスムーズな移行を図る) ・薬剤管理指導目標件数 (算定) /年: 目標 いづろ今村4,600 (3,300)、今村総合12,600 (9,600) 谷山2,000 (1,500)、奄美360、徳之島540 (280) ・退院時服薬指導目標件数 (算定) /年: 目標 いづろ今村1,260 (700)、今村総合4,680 (同) 谷山100 (30)、奄美90、徳之島30 (30)</p> <p>②医薬品採用品の統一化 (慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る) 目標: 10品目 ③後発医薬品の変更 (数量ベースの80%確保を目指す) ④業務の標準化を図る (効率化・生産性向上のための取り組み)</p> <p>⑤薬局長WEB会議での情報共有化 (毎月: 第3水曜日)</p>	<p>①薬剤管理指導業務の推進 (物から人への業務比率を高め入院から外来へのスムーズな移行を図る) ・薬剤管理指導目標件数 (算定) /年: 目標 いづろ: 4,284 (93%)、総合: 15,018 (120%)、 谷山: 1,707 (85%)、奄美: 104 (29%)、徳之島: 551 (102%) ・退院時服薬指導目標件数 (算定) /年: 目標 いづろ: 1,562 (124%)、総合: 5,234 (112%) 谷山: 99 (99%)、奄美: 0 (0%)、 徳之島: 32 (107%)</p> <p>②医薬品採用品の統一化 21品目変更 ③後発医薬品の変更 (数量ベースの80%確保を目指す) 各病院後発品へスムーズに変更 ④業務の標準化を図る いづろ: 退院患者に薬剤管理サマリーを作成し薬業連携を図る 総合: 薬剤助手の調剤補助業務見直し 谷山: 持参薬に関する全病棟対応標準化マニュアル作成及び薬剤助手業務手順書マニュアル見直し 奄美: 処方オーダーリングが導入された際の外来・入院調剤の手順を整理 徳之島: 入院時処理手順のマニュアル化、業務の標準化</p> <p>⑤薬局長WEB会議での情報共有化 (毎月第3水曜日実施)</p>	<p>①薬剤管理指導業務の推進 ・薬剤管理指導については総合、徳之島は達成。奄美病院は、退職者2名あったため、指導業務が行えない状況であり、大幅減。また、鹿児島市内3病院より奄美へ薬剤師派遣しているため、いづろ、谷山も減となった。 ・退院指導についても同上の状況であったが、4病院は目標達成、谷山もほぼ達成。</p> <p>②新規発売の後発品はWEB会議にて選定 ③5病院すべて85%以上を達成できた。 ④5病院とも計画を達成し業務につなげることができた。 ⑤WEB会議を毎月開催し、後発医薬品の選定、奄美病院への薬剤師派遣、処方オーダーリング、合同研修会及び学会発表など情報共有を行った。</p>	<p>①薬剤管理指導業務の推進 奄美病院の中途採用薬剤師を確保し、市内からの派遣を最小限にすることにより、薬剤管理指導と退院指導を積極的に行う。 ②③継続して行い経費削減に貢献していく。 ④今年度の目標を達成することで業務の効率化をさらに進めていく。 ⑤今後も継続し、情報共有を行う。</p>

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 薬局長会議の開催（適宜第3水曜日にWEB会議を開催）

《主な協議・確認事項》

- ・ 人事配置について
- ・ 各薬剤部の事務分掌について
- ・ 業務計画及び進捗状況の確認について
- ・ レセプト集計、実績資料について
- ・ 新規後発医薬品の統一品目の選定について
- ・ 奄美病院への薬剤師派遣について
- ・ 処方オーダーリングについて
- ・ 薬剤部合同研修会について
- ・ 鹿児島県病院薬剤師会理事会報告について
- ・ 新型コロナ関連について

## 合同研修会

「第10回 薬剤部合同研修会」Web開催

- ・ 2020年11月7日（土） 15：00－18：00
- ・ 今村総合病院A棟4F大会議室

1. 第一部

座長 今村総合病院薬局長 鬼丸 俊司

講演：「病院薬剤師 服薬指導 黎明期 ～鹿児島大学病院での取り組み～」

講師：慈愛会 薬剤部 統括部長 山口 辰哉

2. 第二部

(1) 座長 今村総合病院 主任 木下 大夢

①当院におけるゾルトファイ配合注の使用状況

いづろ今村病院 元山 真悟

②町の調剤薬局の取組

奄美病院 師玉 龍一

③精神科病棟におけるNST活動の課題と展望

今村総合病院 山崎 良子

④中毒性表皮壊死症（TEN）発症患者の症例報告

谷山病院 馬場 貴子

(2) 座長 今村総合病院 主任 橋本 直美

⑤退院時薬剤情報連携加算における当院の取り組みと展望について

今村総合病院 岩元 美樹

⑥チェックシートを用いたプログラフ使用患者に対する薬剤師の関わり

いづろ今村病院 遠矢 素子

⑦急性期病棟におけるプレクスピラゾール内服開始患者の実態と症例

谷山病院 幸田 将輝

⑧バンコマイシン治療における薬物動態パラメータの相関性とその背景因子について

今村総合病院 岡崎 椋子

## 技能・能力向上に向けた取り組み

1. 人材育成、指導等の取り組み

・ 各病院において、薬剤部クリニカルリーダーに基づく人材育成

・ ジェネラリスト薬剤師として日病薬病院薬学認定薬剤師の単位取得を推進

2. 資格取得状況（新規）

・ 日病薬病院薬学認定薬剤師（今村総合：7名、いづろ今村：2名、谷山：1名、奄美：1名）

・ NST専門薬剤師（今村総合：1名）

・ 糖尿病療養指導士（いづろ今村：1名）

3. 研修施設認定

・ 日本医療薬学会：地域薬学ケア専門薬剤師研修施設

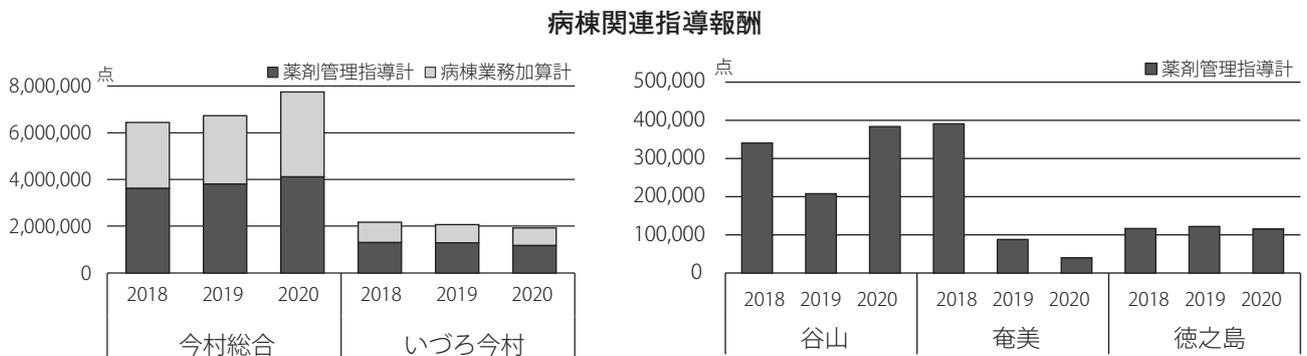
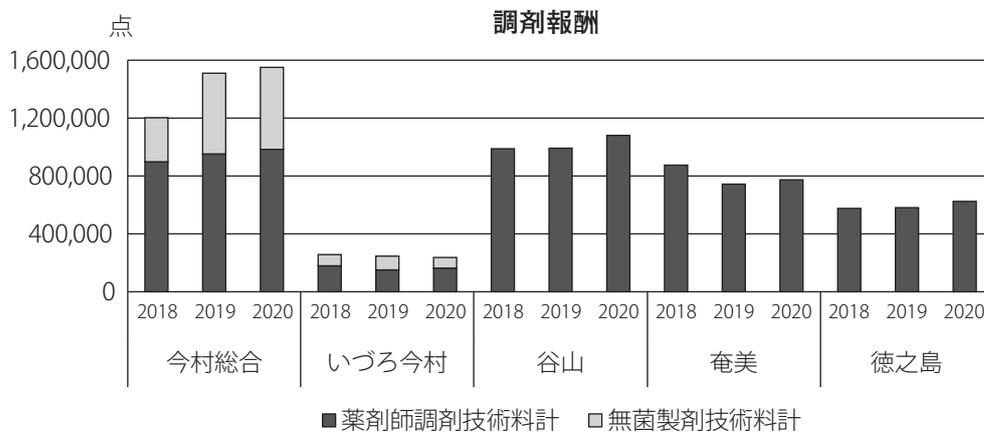
・ 日本医療薬学会：がん専門薬剤師研修施設

・ 日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院

・ 日本臨床薬理学会：認定薬剤師制度研修施設

病院名	資格	2019年度	2020年度 計 画	2020年度 実 績
今村総合	・がん専門薬剤師	1		
	・がん薬物療法認定薬剤師	1		
	・外来がん治療認定薬剤師	0		
	・感染制御認定薬剤師	1		
	・NST専門薬剤師	2	1	1
	・糖尿病療養指導士	3		
	・インфекションコントロールドクター (ICD)	1		
	・スポーツファーマシスト	2		
	・実務実習指導薬剤師	2		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	9	5	7
いづろ今村	・糖尿病療養指導士	5	1	1
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	2	2	2
谷 山	・精神科薬物療法認定薬剤師	1	1	0
	・糖尿病療養指導士	3		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	0	2	1
奄 美	・日病薬病院薬学認定薬剤師	0	1	1

## 各種指標



## 業 績 一 覧

### 【学会発表】

#### 今村総合病院

1. 木下大夢, 岡崎棕子, 御牧夕紀子, 帖佐弘子, 松山淳史, 鬼丸俊司: Clostridioides difficile 感染症再発の要因解析. 第30回日本医療薬学会年会, 2020年10月24日-11月1日, 名古屋 (Web)
2. 御牧夕紀子, 橋本直美, 木下大夢, 平松愛理, 山崎良子, 國師奈緒美, 松山淳史, 帖佐弘子, 鬼丸俊司, 山口辰哉: ICU サテライト薬局における無菌調製業務. 第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021年2月7日, 鹿児島 (Web)
3. 山下万葵, 橋本直美, 岩坪真穂, 横山大樹, 鬼丸俊司, 山口辰哉: 臍帯血移植時のレテルモビルに対する薬剤師の介入について. 第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021年2月7日, 鹿児島 (Web)
4. 橋本直美, 堀口大輔, 松山淳史, 鬼丸俊司, 中野伸亮, 伊藤能清: 同種造血幹細胞移植におけるブスルファンの1日1回投与法への変更による安全性と薬剤師業務への影響に関する検討. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2021, 2021年3月6-7日, 千葉 (Web)
5. 堀口大輔, 橋本直美, 松山淳史, 鬼丸俊司: 連携充実加算取得に向けての取り組み. 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2021, 2021年3月6-7日, 千葉 (Web)

#### いづろ今村病院

6. 遠矢素子, 東屋敷史織, 内山ゆかり, 東條知子, 野元優基, 有間三香子, 元山真悟, 神門孝典, 山口辰哉: チェックシートを活用したタクロリムス UC 患者に対する薬剤師の関わり. 第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021年2月7日, 鹿児島 (Web)

#### 谷山病院

7. 幸田将輝, 馬場貴子, 染川考佑, 大平有紗, 田代佳代, 稲森志織, 四本晶子, 新村味穂子, 山口辰哉: 急性期病棟におけるプレクスピプラゾール内服開始患者の現状と症例. 第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2021年2月7日, 鹿児島 (Web)

### 【研究会・講演会】

#### 今村総合病院

1. 堀口大輔: 患者個々の治療を理解し一歩踏み込んだ患者指導に繋げる～より充実した薬薬連携を目指して～今村総合病院の取り組み. 第231回鹿児島県病院薬剤師会研修会・第39回がん薬物療法対策講習会, 2021年10月3日, 鹿児島 (Web)

#### 谷山病院

2. 大平有紗, 四本晶子, 馬場貴子, 幸田将輝, 染川考佑, 田代佳代, 稲森志織, 新村味穂子, 山口辰哉: アセナピンの著効例と薬剤師の介入. 2020年度 MeijiSeika ファルマ研修会, 2021年1月26日, 鹿児島 (Web)
3. 染川考佑, 馬場貴子, 幸田将輝, 大平有紗, 田代佳代, 稲森志織, 四本晶子, 新村味穂子, 山口辰哉: 再発の急性期統合失調症患者に対するルラシドンの使用経験. 第237回鹿児島県病院薬剤師会研修会・第33回精神科薬物療法対策講習会, 2021年3月13日, 鹿児島 (Web)

**【受賞】**

**今村総合病院**

1. 山口辰哉：令和2年度 薬事功労者知事表彰，鹿児島県，2020年10月19日

**いづろ今村病院**

2. 遠矢素子：「チェックシートを活用したタクロリムス UC 患者に対する薬剤師の関わり」第5回鹿児島県病院薬剤師会学術大会 優秀発表賞，2021年2月7日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

画像診断／放射線治療部門

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～ 2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
放射線治療部門 安定稼働に向けて	①年間200症例、照射件数4,000件	231 症例を実施 (前年度比107.9%) 照射件数 3,260件 (前年度比93.0%) 専任技師1名が加わり、専任技師4人体制となった 4月より非常勤医学物理士勤務 (月1回)	専任技師4人体制により照射・QA等のスループット向上 (診断部門からのローテータ支援減少) 非常勤医学物理士の指導により、月1回のQA日を設け、品質管理の質を向上させた。	院内外へのアピールを継続し、年間4,000件照射を目標とする。
	②人員確保と育成	放射線治療専門技師・放射線治療品質管理士の取得・更新に必要なカウント取得 医学物理士取得に向けた講習会への参加 積極的なWebセミナーへの参加 第14回南九州地域放射線治療技術合同研究会にてWEB講演 (市来)	放射線治療品質管理士の更新 (市来) 医学物理士資格取得に向け、3つの講習会に参加するも試験はコロナ禍の影響で受験できず。  放射線治療に関するWebセミナー6回参加 (牧野・市来・上川・高山)	資格取得のための必要カウント取得の継続 医学物理士等の資格取得
スキルアップによる人材育成	①新人・若手技師	新人技師1名、2年目技師1名に対し、育成チェックシートを用いて教育、ラダー参照	1年目、2年目技師に対し、予定通り教育が行うことができた。 2年目技師の当直業務も問題なく開始することができた。	慈愛会ラダーの本格的運用を行う。
	②中堅技師	各種認定資格の取得・更新 【今村総合病院】 取得 ・アドバンスド診療放射線技師 ・肺がんCT検診認定技師 ・臨床実習指導教員 更新 ・放射線管理士 ・X線CT認定技師	Webを活用しての学会・研究会での発表・講演、また研修会へ参加することができた。 両施設において専門分野の認定資格等の取得、更新を行うことができた。	それぞれの施設に必要な資格・認定などを今後も積極的に取得し、技師のスキルアップに努めていく。
	③役職者	更新	更新	合同研修会の開催 (Web対応の準備) Web開催の学会、研究会、講習会等の情報収集を積極的に行う。
	④施設認定取得への取り組み	【いづろ今村病院】 取得 ・大腸CT検査技師 ・臨床実習指導教員 更新 ・胃がん検診専門技師	コロナ禍、学会、研究会、研修会等の中止が多かったため、認定施設取得に必要な講習会等を受講することができなかった。	
画像診断部 診断部門 生産性の向上と効率化	①各部門の検査件数増加、安定稼働 ・一般撮影系 (58,800件/年)  ・CT (18,600件/年)  ・MRI (9,360件)  ・透視 (3,240件)  ・Angio (600件) ・RI (300件) ・腹部超音波 (8,400件) ・乳腺撮影 (2,400件)	【今村総合病院】 37,625件 (前年度比:83.3%) 【いづろ今村病院】 11,720件 (前年度比:96.6%) 【全体】 49,345件  【今村総合病院】 16,150件 (前年度比:103.6%) 【いづろ今村病院】 2,550件 (前年度比:87.9%) 【全体】 18,700件  【今村総合病院】 7,495件 (前年度比:87.1%) 【いづろ今村病院】 828件 (前年度比:93.2%) 【全体】 8,323件  【今村総合病院】 1,340件 (前年度比:88.9%) 【いづろ今村病院】 1,438件 (前年度比:103.5%) 【全体】 2,778件  【今村総合病院】 516件 (前年度比:99.0%) 【今村総合病院】 183件 (前年度比:76.9%) 【いづろ今村病院】 7,561件 (前年度比:101.8%) 【いづろ今村病院】 2,274件 (前年度比:95.5%)	【今村総合病院】 コロナ禍、外来患者の減少などに伴い全体的に減少であったが、CT件数は消化器外科・脳神経患者フォローが増えたため増加であった。  【いづろ今村病院】 コロナの影響で外来患者数や検診受診者の減少、病床再編などが原因で全体的に減少となった。透視検査は感染対策で胃カメラからの変更により増加した。地域医療連携システム導入のため、検査紹介数が前年度比140%増であった。  【全体】 大きな事故、故障、ダウンタイムはなく、安定稼働することができ、安心安全な検査を行い画像情報を提供することができた。	【今村総合病院】 検査可能な内容の見直し・周知を行い、オーダー獲得へつなげる。  【いづろ今村病院】 他院からの紹介検査数の更なる増加を図り、検査数増加につなげる。  【全体】 撮影条件等の見直しによる最適化を行い、医療被ばく低減に努める。  院内外への積極的な広報を行い、件数増加へつなげる。
	②院内外含めた広報活動	地域医療連携システム (カルナコネクト) 運用開始 (いづろ) 総合での導入準備	いづろ10施設との連携、紹介件数444件。総合次年度より運用開始。	
	③慈愛会技師人材支援体制の強化	今村総合病院からいづろ今村病院への当直明け助勤の継続 いづろ今村病院から今村総合病院・谷山病院への午後助勤の継続 モダリティ間での助勤	施設間で連携がとれ、協力体制が整っている。問題等あれば一体化会議で報告が行われている。	引き続き、慈愛会画像診断部の連携強化を図る。

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 画像診断部一体化会議  
毎月第3火曜日、いづろ今村病院・今村総合病院の役職者により開催。  
・施設間の報告による情報共有  
・モダリティごとの技術・情報共有、業務支援  
・人材交流、育成  
・病欠時業務サポート
2. いづろ今村病院技師による今村総合病院の当直業務  
・月に3～4回当直業務を行っており、翌日の明けは今村総合病院技師によるいづろ今村病院勤務を実施
3. いづろ今村病院技師による午後からの今村総合病院への助勤  
・午後から助勤を行っている。若手技師のスキルアップを実施
4. 谷山病院技師への支援の実施

## 合同研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 技能・能力向上に向けた取り組み

取得認定資格一覧	今村総合病院	いづろ今村病院
第一種放射線取扱主任者	1	
放射線治療専門放射線技師	1	
放射線治療品質管理士	1	
超音波検査士		3
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	1	2
胃がん検診専門技師	3	3
肺がん CT 検診認定技師	2	
大腸 CT 検査技師		1
X 線 CT 認定技師	5	
日本血管撮影・インターベンション専門認定技師	1	
放射線管理士	3	
放射線機器管理士	5	1
医療画像情報精度管理士		1
臨床実習指導教員	5	1
Ai 認定診療放射線技師	2	
画像等手術支援認定診療放射線技師	1	
アドバンスド診療放射線技師	6	2
シニア診療放射線技師	1	1
エックス線作業主任者	3	
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3	

### ○施設認定

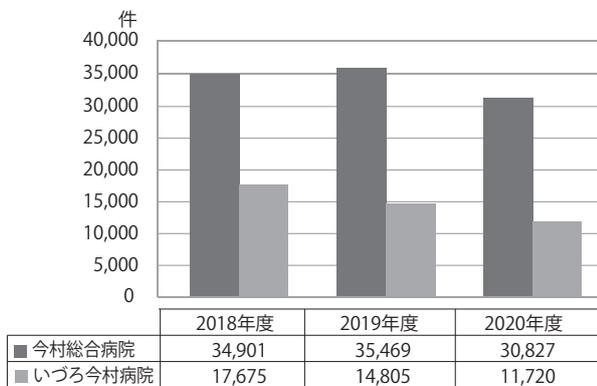
医療被ばく低減施設	今村総合病院
臨床実習指導施設	今村総合病院

### ○2020年度実績 認定資格 取得・更新

大腸 CT 検査技師	取得	上舞
肺がん CT 検診認定技師	取得	二間瀬
アドバンスド診療放射線技師	取得	蓑田
臨床実習指導教員	取得	恵、脇田、二間瀬
胃がん検診専門技師	更新	上釜
放射線機器管理士	更新	市來
X 線 CT 認定技師	更新	恵、二間瀬、蓑田

## 各種指標

### 一般撮影検査



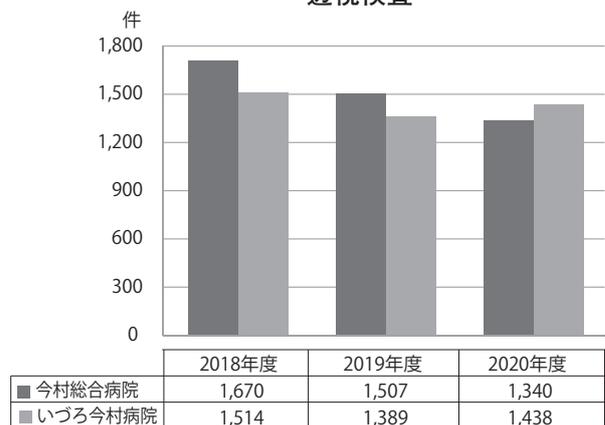
### MRI検査



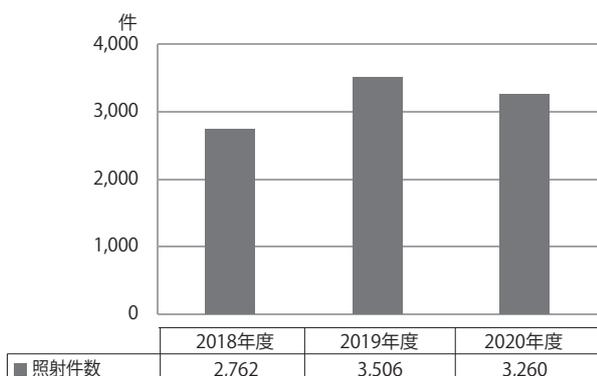
### CT検査



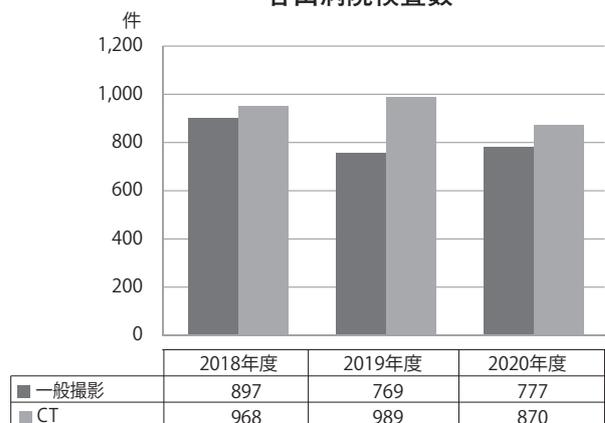
### 透視検査



### 放射線治療



### 谷山病院検査数



## 業 績 一 覧

### 【学会発表】

#### 今村総合病院

1. 馬場隆行：プレシヨットと補助具を用いた多様性のある骨関節に対する低被ばく高精度 X 線撮影の実現. 第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020 年 11 月 4-30 日, 宮崎 (Web)
2. 馬場隆行：プレシヨットと補助具を活用した再撮影基準の決定と低被ばく高精度撮影の実現. 第 36 回日本診療放射線技師学術大会, 2021 年 1 月 8-31 日, 宮城 (Web)

#### いづろ今村病院

3. 矢崎滉平：腹部超音波検査で鑑別困難であった肝疾患の 1 例. 第 61 回日本人間ドック学会学術大会, 2020 年 11 月 26 日 -12 月 26 日, Web
4. 上釜健作, 矢崎滉平：腹部超音波検査で診断に苦慮した脾原発悪性リンパ腫の 1 例. 第 45 回日本超音波検査学会学術集会, 2020 年 12 月 19 日 -2021 年 1 月 31 日, Web

### 【研究会・講演会】

#### 今村総合病院

1. 市來守:当施設の治療計画補助業務について. 第 14 回南九州地域放射線治療合同研究会, 2021 年 2 月 27 日, 宮崎 (Web)

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覽

臨床検査部門

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査業務の改善で、より質の高い臨床検査結果の提供を行う  臨床検査部	①外部精度管理調査の受検（データ分析）	①日本臨床検査技師会、日本医師会、鹿児島県医師会の外部精度管理調査の受検。	①外部精度管理調査結果 ・今村総合病院 日臨技臨床検査精度管理 評価A+B 99.1% 日本医師会 評価項目修正点 98.8点 鹿児島県医師会 0/24 (2SD) ・いづろ今村病院 日臨技臨床検査精度管理 評価A+B 99.2% 鹿児島県医師会 0/24 (2SD)	①1項目D判定のため、改善書類を作成。
	②検査システムと検査機器の更新で病院間ネットワークの充実化をはかる	②今村総合病院、いづろ今村病院、谷山病院的検体検査システム（クラリス）の更新（2/1完了）。検体検査機器の更新（血液学検査機器、凝固測定装置、尿沈渣、免疫測定装置、生化学自動分析装置・8/1完了）検体検査項目コードと検査試薬の統一。 ②いづろ今村病院の心血管超音波検査の動画画像と報告書の管理がHi-medionに変更。	②連携病院間での検体検査機器と検査試薬の統一で、試薬コストの削減、システムの統一と検体検査項目コードの変更で、連携病院間での相互検査結果の閲覧、検体検査結果の時系列比較が可能になった。 ②連携病院間で診療科のMIRAIs上での検査結果、画像データの閲覧が可能になった。	
	③細菌検査外注先検査センター Webシステム導入で、検査データ共有化	③細菌Webシステム導入は検討継続中。2021年3月感染症内科開始に伴う院内細菌検査室設置の検討。	③細菌Webシステム導入は未定、細菌検査の院内ラボ設置の検討を優先する。	③院内細菌検査室設置か、外部検査センターによるプランチラボかの検討を優先しておこなう。
	④正確なデータの提供のため、内部精度管理の実施。	④毎日の内部精度管理実施。55項目（今村総合）46項目（いづろ今村）機器更新時メーカーによる測定試薬の基礎検討の実施。 ④精密肺機能検査機器のメーカーによる精度管理の実施。（1月）	④精度管理は問題なし。	
	⑤検査依頼から検査結果報告までの全行程における管理。	⑤いづろ今村病院の採血管を総合病院と統一する。 ⑤検体検査以外の検査機器の更新。 ・（今村総合）心血管用超音波診断装置の更新（3月） ・（病理部）凍結組織切片作成装置（POLAR-D）の導入（9月） ・（今村総合）生理検査用電動ベッドの導入（3月） ⑤新規検査の検討と導入。 ・人間ドックオプション（心エコー）4月開始（いづろ今村） ・トレッドミル負荷心電図の導入（今村総合） ・SISIの導入（今村総合） ・ティンパノメトリーの導入（今村総合）	⑤採血管本数減少によるコスト削減と、採血量の減少による患者サービスの向上がおこなえた。 ⑤機器耐用年数を超過して使用している検査機器の一部を更新した。院内で検査機器耐用年数7年を超えて使用している検査機器（メーカーによる保守期限の終了）の管理と定期点検の必要性あり。 ⑤シーツ交換廃止による業務軽減と、2回/日の環境整備（検査用ベッドの清拭）徹底がおこなえた。 ⑤診療科の要望による新規検査項目の導入、実施を2020年度は生理検査4項目おこなえた。 ⑤院内イントラを活用し、各部署で紙媒体での検査依頼ができるようにした。	⑤検査機器耐用年数を超過して使用している機器の順次更新の検討をおこなう。 ⑤診療科の全ての要望に答えられない。乳腺超音波検査は、機器の調整や検査技術の習得のため、次年度以降に検討する。 ⑤各部門での書式の統一を再検討する。
	⑥各学術団体、日本医師会の動向注視	⑥電子カルテ（MIRAI）s）トラブル時の対応の見直し		
	⑦数値目標（件数）は、2019年度実績×1.03 2019年度実績件数 （今村総合病院・いづろ今村病院） ・生化学検体 142,212件 （98,396件 総合・45,996件 いづろ） ・心電図検査 17,295件 （6,684件 総合・10,611件 いづろ） ・心血管超音波検査 7,131件 （5,510件 総合・1,621件 いづろ） ・フローサイト検査 477件 ・病理組織検査 4,225件 ・細胞診検査 5,105件	⑦2020年度実績件数  （今村総合病院・いづろ今村病院） ・生化学検体 141,315件 （97,115件 総合・44,200件 いづろ） ・心電図検査 16,417件 （6,181件 総合・10,236件 いづろ） ・心血管超音波検査 7,226件 （5,676件 総合・1,550件 いづろ） ・フローサイト検査 521件 ・病理組織検査 4,291件 ・細胞診検査 5,064件	⑦前年度比  99.30%  94.90%  101.30%  109.2%（目標達成） 101.60% 99.20%	⑦前年度比103%の目標達成項目は、フローサイトの件数のみ。検査項目の検討なども行っている。

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～ 2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査部	<p>教育・人材育成を行い、検査技術のスキルアップを行う</p> <p>①新人臨床検査技師教育</p> <p>②中堅技師のキャリアラダーに沿った教育</p> <p>③高い専門性を有し、知見を得て、迅速で正確な検査で診療に貢献するために各検査技術の習熟度を深め、スキルアップにチャレンジする。</p> <p>④専門分野の各学会や団体が認める各種認定資格取得を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超音波検査士（学会入会後3年で受験資格）</li> <li>・認定輸血検査技師（規定50単位取得後受験）</li> <li>・（脳波・筋電図）専門技師（学会入会後3年で受験資格）</li> <li>・細胞検査士（病理経験1年で受験資格）</li> <li>・認定血液検査技師（規定100単位取得で受験資格）</li> <li>・認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師</li> <li>・医療技術部門管理資格認定</li> </ul>	<p>①新人研修は、6月～8月は日当直の研修し9月より1名での日当直勤務を開始。1年を通して担当の生理検査業務の研修の実施。</p> <p>②クリニカルラダーに沿った教育。</p> <p>③主にWebを用いた研修。</p> <p>③担当部署異動による検査業務の教育指導。</p> <p>④今年度はコロナの影響にて受験者なし、来年度受験に向けた研修。</p>	<p>①1年目の研修はクリニカルラダーに沿って実施。日当直業務も事故なく一人で行なえるようになった。</p> <p>③1年間で3名の産休、育休の取得者。2月に1名の退職あり通年で4名の人員減。補充は、2021年度新入職員採用予定。業務の補充優先になる。</p>	<p>②産休・育休・退職による人員不足の状態が続く、業務優先のために後回しになっている。習熟度を深めるための教育体制の検討を行う。</p> <p>④コロナの影響で各種認定試験の今年度受験者はなし。2021年度に受験延期。</p>
	<p>輸血検査室の安全で適正な業務運用を行う</p> <p>①外部精度管理調査の受検。</p> <p>②院内輸血インシデント事例を解析し、対策を検討する。</p> <p>③迅速で正確な輸血検査を目指した取り組み。（部署内教育、当直者サポート）</p> <p>④移植製剤の品質管理の保持。</p> <p>⑤輸血療法委員会を通して、院内輸血業務の改善に取り組む。</p> <p>⑥厚生労働省指針、学会ガイドラインの改訂等の動向注視。</p> <p>⑦数値目標（件数）2019年度実績×1.03 2019年度実績件数（今村総合病院・いづろ今村病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液型検査 2,651件（2,166件 総合・485件 いづろ）</li> <li>・不規則抗体スクリーニング検査 2,484件（2,052件 総合・432件 いづろ）</li> <li>・交差適合試験検査 3,591件（2,857件 総合・734件 いづろ）</li> </ul>	<p>①日本臨床検査技師会、メーカーサーベイランスの受検。</p> <p>②院内輸血インシデントの事例解析と対策を輸血療法委員会への提案。</p> <p>③希望者や当直者各技師へのサポートを実施。検査部全体教育の実施なし。</p> <p>④幹細胞プロセッシング室の環境整備、落下細菌試験の実施。</p> <p>⑤院内輸血ラウンドへの参加、輸血療法委員会での報告。輸血ラウンドイメージ動画作成協力。</p> <p>⑥指針、ガイドライン改訂に応じて、院内輸血療法マニュアルの改訂の必要性を検討。</p> <p>⑦2020年度実績件数（今村総合病院・いづろ今村病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液型検査 2,472件（2,105件 総合・367件 いづろ）</li> <li>・不規則抗体スクリーニング検査 2,610件（2,074件 総合・536件 いづろ）</li> <li>・交差適合試験検査 4,073件（3,123件 総合・950件 いづろ）</li> </ul>	<p>①精度管理判定は問題なし。</p> <p>②院内輸血インシデント事例対策により、破損による製剤廃棄の減少。</p> <p>③日当直帯で週1～2回のトラブル時電話対応。部署内教育の必要性あり。</p> <p>④落下細菌試験は問題なし。</p> <p>⑤院内の輸血関連業務の現状についての把握、院内輸血療法マニュアル改訂の必要性ありと判断。</p> <p>⑥院内輸血療法マニュアルの改訂に必要性ありと判断。</p> <p>⑦前年度比</p> <p>93.20%</p> <p>105.1%（目標達成）</p> <p>113.4%（目標達成）</p>	<p>②製剤破損減少、業務負担軽減を目的にFFP溶解恒温槽の貸し出しを開始。</p> <p>⑥院内輸血療法マニュアルの改訂。</p>

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

### 【人事交流】

- ・ いろ今村病院技師が、今村総合病院で日当直業務の継続。
- ・ 今村総合病院の超音波検査士がいろ今村病院へ、人間ドックオプションの心臓超音波検査実施と、いろ今村病院技師の超音波検査士取得に向けた教育のため異動（1年間）。
- ・ 今村総合病院技師が、いろ今村病院で腹部超音波検査業務の実施。
- ・ 関連病院連携と相互応援態勢を整えるため、今村総合病院、いろ今村病院の技師が、谷山病院の検査体制を見学し検体検査機器立ち上げの手順書を作成中。

### 【情報共有】

- ・ 今村総合病院臨床検査適正化委員会の実施。（隔月開催、臨床検査部・病理検査部）
- ・ 臨床検査部一体化会議の実施。（Zoomにて隔月開催、今村総合病院・いろ今村病院・谷山病院）
- ・ 2020年度の今村総合病院といろ今村病院、谷山病院の検体検査部門システム（クラリス）の更新を実施。更新時に検体検査の病院間の共有システムと項目の統一、検査機器の統一、試薬及び採血管、基準値を統一し、MIRAIsから連携病院間相互の検査結果検索や時系列検査結果の閲覧が可能になった。
- ・ ホルター心電図の解析の一元化でホルター参照端末ソフトウェア（HNS-REFER）と、生理検査部門システム（FEV）での相互閲覧が可能になった。（今村総合病院検査技師が解析を実施し、各病院の担当医が判読する）
- ・ 2021年1月より、いろ今村病院の心血管超音波検査の画像と報告書作成を生理検査部門システム（Hi-medion）で統一して管理。検査結果検索や時系列検査結果、画像データ閲覧が、MIRAIs上から今村総合病院、いろ今村病院の相互の診療科で可能になった。

## 技能・能力向上に向けた取り組み

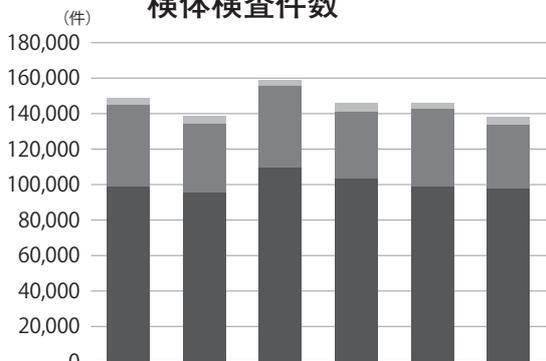
- ・ 新入職員1名を教育、研修、育成を行った。クリニカルラダーに沿って6月から8月に日当直業務の研修を行い、9月より1名での日当直勤務を開始した。担当業務習得のため教育育成を継続中。
- ・ 今村総合病院といろ今村病院臨床検査部一体で、全臨床検査技師による今村総合病院の日当直業務の研修は継続して実施。（24時間365日稼働）
- ・ 新規検査項目導入時に検査技術・知識の習得のために内部研修会の実施。新規検査項目として、今村総合病院でトレッドミル負荷心電図、SISI、ティンパノメトリーを導入。
- ・ 検体検査機器更新時に検査機器の取り扱い、検査結果の見方などのメーカーによる研修会を実施。
- ・ 今村総合病院臨床検査部、1回/月のミーティング時に研修会の実施。
- ・ 資格取得、資格維持のため院外研修会・各種学会へWeb参加。
- ・ 慈愛会能力開発システムへの参加。
- ・ 臨床検査技師のクリニカルラダー仮運用。
- ・ 今年度上位の認定資格試験の受験者なし

## 合同研修会

- ・ 今年度開催なし。

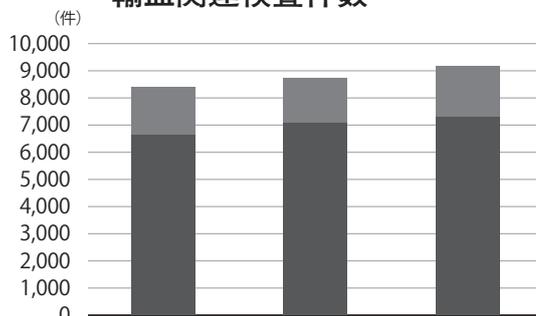
## 各種指標

### 検体検査件数



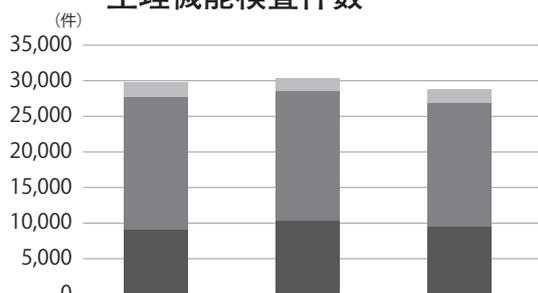
	2018年度		2019年度		2020年度	
	生化学	血液	生化学	血液	生化学	血液
■今村総合病院	98,723	95,527	109,351	102,896	98,421	97,747
■いづろ今村病院	46,362	38,303	46,015	38,120	44,200	35,937
■谷山病院	3,501	4,721	3,390	4,913	3,474	4,613

### 輸血関連検査件数



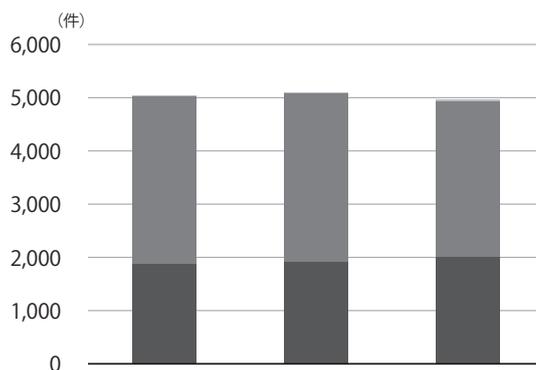
	2018年度	2019年度	2020年度
■今村総合病院	6,623	7,075	7,302
■いづろ今村病院	1,785	1,651	1,853

### 生理機能検査件数



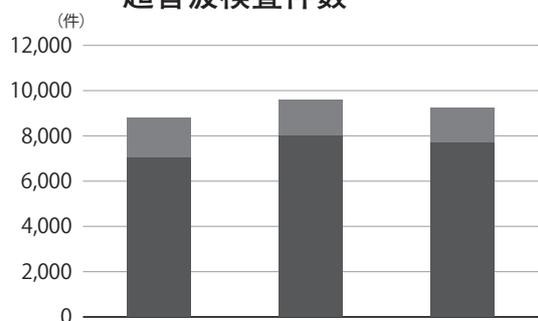
	2018年度	2019年度	2020年度
■今村総合病院	8,986	10,253	9,461
■いづろ今村病院	18,652	18,274	17,412
■谷山病院	2,121	1,761	1,928

### 病理検査件数(細胞診)



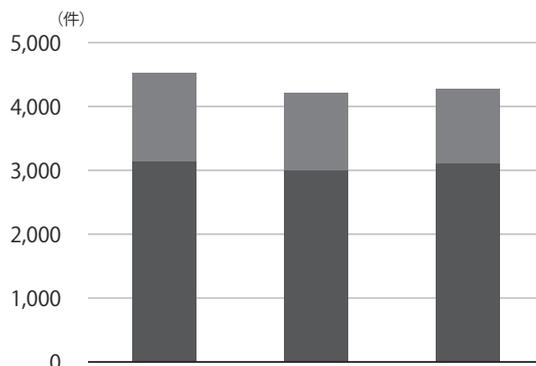
	2018年度	2019年度	2020年度
■今村総合病院	1,890	1,915	2,008
■いづろ今村病院	3,133	3,173	2,929
■七波・オハナ	12	17	20

### 超音波検査件数



	2018年度	2019年度	2020年度
■今村総合病院	7,008	7,978	7,692
■いづろ今村病院	1,764	1,615	1,557

### 病理検査件数(組織診)



	2018年度	2019年度	2020年度
■今村総合病院	3,139	3,006	3,114
■いづろ今村病院	1,389	1,217	1,167

## 業 績 一 覧

### 【学会発表】

#### 今村総合病院

1. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 高塚祥芝, 宇都宮興, 帆北修一: 当院における移植用輸血システムの構築とその効果について. 第68回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2020年5月28 - 30日, 札幌 (Web)
2. 牧野桃子, 兼石知香, 新屋果蓮, 小田原千里, 中島彩乃, 藤山裕輝, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宮園卓宜, 宇都宮興, 帆北修一: 学会認定・自己血輸血看護師の役割～当院における自己血採血前業務の統一化への取り組み～. 第68回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2020年5月28 - 30日, 札幌 (Web)
3. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 小田原千里, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 小田原淳, 中野伸亮, 宇都宮興, 帆北修一: 急性骨髄性白血病再発臍帯血移植後に、急性消化管 GVHD、アデノウイルス性出血性膀胱炎を併発した1例. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第67回総会, 2020年11月28日, 長崎 (Web)

# 部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

## 栄養管理部門

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
栄養管理部門における病院・施設の連携強化  管理栄養部  「食事の質の向上及び栄養管理の充実」と「費用の極小化」	<p>①医療保険・介護保険に関する勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加算点数獲得に向けて</li> <li>・急性期から在宅へ、一体化に向けて</li> <li>・栄養管理に関する必要情報の収集に向けて</li> </ul> <p>②市内4施設の連携会議開催 (月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離島施設との連絡・連携に向け、TV会議の開催</li> <li>・クリニックとの連絡・連携に向けて (DM腎の連携)</li> </ul> <p>③合同研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慈愛会栄養部門合同研修会の開催 (栄養部全スタッフ対象)</li> <li>職種や業務に関連する内容の充実、省力化を進める。</li> <li>働き方改革も含めて検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で勉強会は実施できなかったが、各施設で加算の状況や情報共有して自施設での取り組みに繋げられるよう努めた。</li> <li>・栄養情報収集に関しては、鹿児島市主催の給食ネットワークに参加したことで 鹿児島市共通資料案の「栄養情報提供書」の情報を共有できた。それを基に慈愛会栄養部門内で方向性が決まった。</li> <li>・Zoomを利用して離島も月1回の連絡会議に参加できるようになった。</li> <li>・DMでは、重症化予防従事者の共通資料作成 (栄養士会) へ協力できた。</li> <li>・第7回慈愛会栄養部門合同研修会開催 (2/13 Zoom利用)</li> <li>「専門職の能力開発について」 教育開発センター 中重センター長</li> <li>「栄養部WG事業計画と進捗状況 (報告)」 中菌</li> <li>「レシピ紹介 (各施設より)」 西郷、志賀、中原、隈崎、荒垣、清水</li> <li>栄養部全スタッフおよび全施設対象 38名と例年より多く参加できた。</li> <li>Zoomにより省力化に繋がったが、グループワークは出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養関連の加算対象 (単位取得可能なもの) について情報共有を図る。</li> <li>・「栄養情報提供書」の存在を知り、やはり途切れない栄養管理にはお互いに正しく情報交換が必要という共通認識に繋がった。</li> <li>・コロナ禍で集合しての会議ができなくなったが、検討すべき事項あり、情報共有は必要と思われた。まずメール検討としたが作業効率が悪く、意外と時間がかかってしまった。慈愛会内でZoom利用可能となり、慣れるために市内4施設から進め、離島も一緒に協議できるようになった。</li> <li>・慈愛会内のDM連携として、クリニックも含め協力して資料作成を進めることができた。</li> <li>・コロナ禍で集合研修は難しい状況だったが、世間的にもWebセミナーが多数みられるようになり、慈愛会でもZoom利用できるようになった。スタッフのモチベーション向上 (能力開発) や業務に関連する内容 (レシピ発表)、省力化に繋がったと思われる、意義のある研修会が開催できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療保険・介護保険における栄養関連について学び、加算対象 (単位取得) に取り組んでいく。</li> <li>・「栄養情報提供書」に関する情報をリサーチして共有した。</li> <li>・慈愛会共通の栄養情報提供書の書式を作成していく。</li> <li>・コロナ禍で集合しての会議ができなくなり、メール検討を経てZoom会議 (鹿児島市内4施設で運用に慣れ、離島も一緒に6施設にて開催) に繋がった。</li> <li>離島の状況も分かるようになり、移動時間がなく効率化できた。</li> <li>今後も連絡会議を継続していく。</li> <li>・DM指導に携わるスタッフを中心に、資料媒体を作成した。</li> <li>・Zoomを利用した研修会に切り替え、それに向けて準備することが慈愛会内の取り組みを知ることで (能力開発)、改善する雰囲気づくり (レシピ発表に向けてマニュアル化) に繋がった。</li> <li>・合同研修会は、グループワークも出来るようにしていく。</li> </ul>
	<p>①給食提供の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の状況把握と改善に向けての検討</li> <li>・レシピ提供会/行事食などの発表会 (調理スタッフモチベーションを高める工夫)</li> </ul> <p>②栄養管理の充実：各施設の多職種および委員会との連携状況をふまえて</p> <p>③栄養相談の拡充、栄養改善・経口維持 (目標件数)</p> <p>総合 個別70件 いづろ 個別90件、集団40件、透析予防15件 谷山 個別20件、集団4件 慈CL 個別10件、透析予防190件 七波 個別60件 奄美 個別40件 徳之島 個別10-15件 愛結 栄養改善2件、経口維持10件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策など情報共有して給食提供を維持できた。</li> <li>食材高騰、手袋など衛生物品、非常食や非常時の対応等の情報共有</li> <li>・業者や商品の見直し、情報提供し合い、材料費の極小化に努めた。</li> <li>・ニュークックチル導入に向け、デモ機にて調理テストや検証を行った。(総合)</li> <li>・合同研修会にて、各施設レシピ紹介できた。</li> <li>・栄養管理計画書、栄養アセスメント、NST活動にて各施設取り組んでいた。精神科では、NSTの立ち上げから行うこととなった。</li> <li>・今年度実績 (月平均)</li> <li>総合 個別75件 いづろ 個別102件、集団42件、透析予防25件 谷山 個別12件、集団1件 慈CL 個別14件、透析予防204件 七波 個別54件 奄美 個別4件 徳之島 個別3件、集団1件 愛結 栄養改善0件、経口維持13件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食提供を維持するため、お互いの状況把握とコロナ関連に伴う給食への影響を情報共有・情報提供し合い、早めに対応できた。</li> <li>・コロナ禍における衛生物品の手配や価格について、いち早く情報共有に努め、協力して安全な給食提供に繋がった。</li> <li>・各施設からのレシピ紹介は、スタッフにとって良い刺激になっていた。</li> <li>・栄養管理計画書、栄養アセスメントの作成、NST活動や準備など各施設ごとに取り組んでいた。</li> <li>・コロナの影響で実施が難しい時期もあった。</li> <li>各施設、栄養相談継続に向けて工夫を重ね、それらを共有することで実施へのヒントに繋がった。</li> <li>管理栄養士をはじめとする、スタッフ人員の問題もあり、目標達成できない所もあった。</li> <li>(調理スタッフの人員不足で管理栄養士が給食業務を行うなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設、スタッフ数や状況に合わせて給食内容を検討しており、お互いの状況把握と情報共有・情報提供を連絡会議にて行った。</li> <li>・コロナの影響 (衛生物品の物流、価格高騰) をお互いに共有することで対応の選択肢が広がった。</li> <li>・合同研修会のレシピ紹介に向け、調理方法の統一も工夫していた。</li> <li>・NST活動の維持。精神科においてもNST活動の加算が認められ、まずはその準備に入るようになった。(谷山)</li> <li>・コロナ禍で集団指導 (DM教室) 実施が難しい状況であった。</li> <li>DM診療会議にて検討を重ね、密にならないよう、また交差しないよう人数制限と途中参加無し・1人掛けの机椅子など体制を整え、2Wから1Wに切り替えて実施することになった。(いづろ)</li> <li>・コロナ禍での栄養指導状況を共有 (方法、件数など)</li> <li>アクリル板の設置、フェイスシールド、換気、時間短縮など対策をとり、受診控えて件数減での対応 (患者向けの資料作成など) を共有して各施設での対策に繋がった。</li> </ul>

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～ 2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
管理栄養部 次世代を担う人材育成と環境整備	①地域貢献・院内外活動の充実 ・地域連携への参加協力、糖尿病・CKD関連への参加協力 ・健康講話（高齢者クラブ）、健康まつり・秋まつりへの参加協力 ・鹿腎協、栄養士会などへの参加協力	・コロナ禍で患者会活動、健康まつり、秋まつり等イベントは中止された。鹿児島中央看護専門学校「栄養学講義」、栄養士会研修会にて講師糖尿病重症化予防従事者の共通資料作成・講話（栄養士会へ協力） 糖尿病関連の研修会にて講演、市民公開講座You Tube配信に協力 鹿児島純心女子大学 Web講師、IBDチーム・特定保健指導へ協力 レシピ提供（総合、いづろ、慈CL） 広報誌、鹿腎協へ協力	・例年のイベント等は中止されたが、少人数での資料作成や講師依頼スタッフ派遣などの協力には応えるよう努めた。 ・依頼があった場合、スムーズに進められるよう配慮した。 ・必要事項に関しては個人（施設）で完結せず、共有するよう努めた。	・コロナ禍で各方面の恒例行事（イベント）は中止となったが、対策をして実施されたもの（人数制限開催、Web研修）には協力できるよう、情報共有に努め、お互いに発信できるように取り組んだ。 ・依頼があった場合は、情報共有して協力できることには声かけして一緒に取り組み、連携に繋がるようにした。
	②人材育成 ・専門資格取得への取組、取得資格の維持・更新 ・各職種におけるキャリアアップシステムの構築、推進 ・実習生の受け入れ、院内外研修会への参加、部署内勉強会の充実  ・TQM活動発表（総合・谷山）、院内研究発表（いづろ）	・研修会へ参加、Webセミナーへ参加して自己研鑽に努めた。 Webセミナーへ参加して単位取得、資格更新などに努めた。 ・管理栄養士の能力開発プログラムを作成し、来年度からラダーを運用開始していく。（各ラダーの研修プログラム作成） ・栄養士実習受け入れ いづろ2回（合計4名）、谷山1回（1名） 研修会は可能な範囲で参加、Webセミナーは情報共有・参加を促した。 部署内勉強会はいづろ実施、他事業所は新型コロナ禍を考慮し未実施。 ・TQM、院内研究の活動（改善する仕組み）自体は各施設にて行われていた。	・研修会やセミナーなどの開催状況を共有して、参加できる環境作りに努めた。 ・コロナ禍において、自施設で出来ることを考え取り組むようにした。 実習生の受け入れ（いづろ、谷山）、栄養士が献立作成・発注に関わるような体制づくり（いづろ） ・実習生にも部署内勉強会の資料を作成してもらい、発表の場を設けた。 主体的に学ぶ意識付けに繋がっていると考える（いづろ）。	・Web開催の学会や単位取得可能な研修会（Web含む）の情報を確認して自己研鑽に努めるよう促した。 ・能力開発プログラムを理解して取り組んでいけるよう、合同研修会にて学ぶ機会をつくった。 ・専門資格取得、また更新のための単位取得に取り組める環境を維持できるようにした。 ・実習生の状況も踏まえつつ、発表機会は今後も継続する（いづろ）。 ・部署内勉強会未実施の事業所は状況を見ながら再開予定。
	③環境整備 ・調理システムの検討、食材選択（完調品）などの導入検討 ・業務のスリム化、体制など検討 ・他部門、他施設との交流	・ニュークックチル導入に向け、調理テスト実施・機器選定中（総合） ・調理体制の状況に応じてカット野菜・完調品などを利用 ・食材や調理の工夫、スチコン活用にて柔らかくできるようになった。 ・食事オーダーリングシステム導入（奄美、徳之島） ・朝食点検チェック表を作成、活用（配膳ミスの漸減に）（いづろ） ・総合にて勤務（いづろ 2-3月 調理師）	・各施設にて調理の工夫、食材の選択など状況に合わせてカスタマイズして取り組んだ。  ・再加熱に対応できる栄養システムの検討（総合） ・食事オーダーリングシステムに向けての検討・準備（奄美・徳之島）  ・総合での調理スタッフ研修	・毎月の連絡会議にて給食提供状況の情報共有を行い、各施設の取り組みを必要に合わせて取り入れられるようにした。

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

コロナ禍で集合して会議を開催することができず、メール検討を経て毎月1回のZoom会議に辿り着いた。鹿児島市内4施設の連絡会議から離島を含む6施設の会議に発展した。

### ①栄養部門における病院・施設の連携強化

・医療保険・介護保険に関する研修会は実施できなかったが、栄養関連について情報共有をはかり、各々の施設で取り組みに繋がるよう努めた。また、急性期から在宅まで途切れのない栄養管理には「栄養情報の共有」が必要という認識に一致して、来年度は慈愛会共通の書式を作成することとなった。

### ②食事の質向上及び栄養管理の充実と費用の極小化

・給食提供の維持  
手袋など衛生物品の手配や価格について情報共有す

ることで早期に対策でき、安全に給食を提供できた。また各施設、スタッフ数や状況に合わせて給食内容を検討して運営できた。

### ・給食費用の極小化

コロナ禍で食材の高騰・入荷不安定など影響もあったが、カット野菜・完調品など情報共有、年2回棚卸しにおける見直しを継続して行い、給食費用の最適化に努めた。

### ・レシピ提供会

合同研修会において、給食提供している6施設から発表することが出来た。

### ・栄養管理の充実

精神科においてもNST活動の算定が認められ、立ち上げ準備から進めることになった。各施設にて今まで行っていた栄養アセスメントやNST活動等は維持できた。

### ③次世代を担う人材育成と環境整備

- ・管理栄養士の能力開発プログラム作成  
来年度からラダー運用を始める準備ができた。
- ・栄養士実習生の受け入れ（いづろ、谷山）
- ・慈愛会 管理者任用候補者研修会参加
- ・食事オーダーリング開始（奄美、徳之島）
- ・ニュークックチル導入に向けて準備（総合）
- ・学会、院外セミナー、研修会への参加

#### eラーニング/Web開催（証明書発行あるもの）

- 糖尿病病態栄養専門管理栄養士セミナー
- 病態栄養学会教育セミナー（更新用）
- 病態栄養学会教育セミナー（受験用）
- エキスパートセミナー【糖尿病・腎臓病】
- 高血圧・循環器病予防療養指導士ウェブセミナー（更新用）
- 第18回CDEJ認定更新者用講習会（2020年度）
- 第58回日本糖尿病学会九州地方会
- 第52回日本動脈硬化学会総会・学術集会
- 第21回動脈硬化教育フォーラム
- 第56回日本循環器病予防学会学術集会
- 日本栄養士会（基本研修&実務研修）
- 日本臨床栄養学会2020年度 認定臨床栄養医研修会～北海道・奈良合同開催～
- 2020年度栄養士大会・オンライン
- 第1回鹿児島県精神科病院協会研修会

#### 会場参加（証明書発行あるもの）

- 公益社団法人鹿児島県栄養士会 在宅訪問栄養食事指導研修会（4回シリーズ）
- DM重症化予防従事者連携スキルアップ研修会
- 糖尿病重症化予防従事者連携研修会
- 第3回Delivery Meeting for Kagoshima
- 第21回糖尿病医療連携体制講習会

### 合同研修会

- 「第7回 慈愛会栄養部門合同研修会（全体）」
- ・2021年2月13日（土）15：00～17：00
- ・施設毎に集まり、Zoomを利用して開催  
クリニックを除く6施設にてWeb参加 38名  
自施設で参加できたため、例年より参加者が増えたが、グループワークの実施はできなかった。

### 【内容】

1. 講演  
「専門職の能力開発について」  
慈愛会教育開発センター 中重 敬子センター長
2. 研究発表
  - (1)「栄養部WG事業計画と進捗状況について」（報告）  
いづろ今村病院 管理栄養士 中菌 智美
  - (2) レシピ紹介  
「スチコンで作るエビチリ・ふくさ焼き」  
今村総合病院 調理師 西郷 裕樹  
「揚げない酢豚～調理連携の紹介～」  
いづろ今村病院 調理師 志賀 友洋  
「信州煮風」  
谷山病院 調理師 中原 圭祐  
「鮭の和風ムニエル」  
愛と結の街 調理師 隈崎 耕輔  
「揚げ魚のピリ辛香味ソース」  
奄美病院 管理栄養士 荒垣 春奈  
「鶏飯」  
徳之島病院 管理栄養士 清水 崇

### 技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得（2020年度に取得した資格）

なし

資格更新（2020年度に更新した資格）

- ・日本糖尿病療養指導士更新  
いづろ今村病院 中菌 智美  
慈愛会クリニック 加藤 実穂

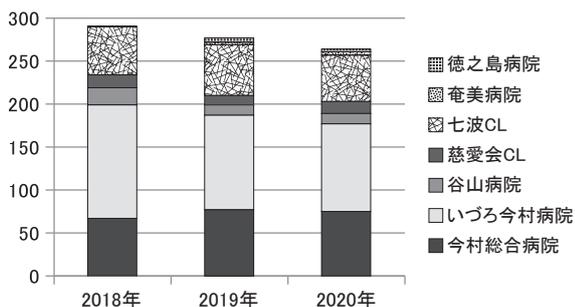
### 院内外活動

- ・広報誌へレシピ提供「じあいのとびら」「にじ」  
総合・いづろ
- ・鹿腎協 透析クッキングレシピ提供  
総合
- ・鹿児島糖尿病療養指導士会役員  
いづろ
- ・糖尿病患者会「ななみ会」「いずみ会」  
いづろ・七波CL、慈愛会CL
- ・鹿児島中央看護学校講師  
慈愛会CL

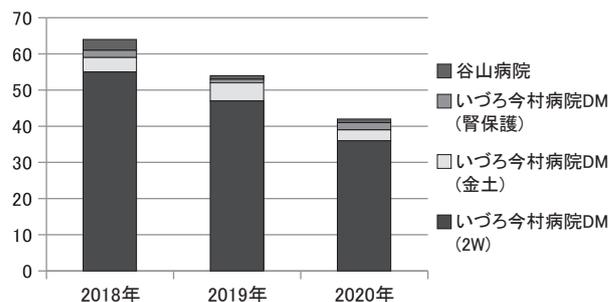
- ・鹿児島県栄養士会への協力(DM重症化予防の資料作成)  
総合・いづろ・慈愛会CL・七波CL
- ・院内IBDチーム参加および症例発表  
いづろ

## 各種指標

個別栄養食事指導件数（件／月）



集団栄養食事指導件数（件／月）



	2018年	2019年	2020年
今村総合病院	67	77	75
いづろ今村病院	132	110	102
谷山病院	20	12	12
慈愛会CL	15	11	14
七波CL	56	59	54
奄美病院	0.4	3	4
徳之島病院	0	5	3
合計	252	290	290

	2018年	2019年	2020年
いづろ今村病院 DM (2W)	55	47	36
いづろ今村病院 DM (金土)	4	5	3
いづろ今村病院 DM (腎保護)	2	1	2
谷山病院	3	1	1

※いづろ今村病院：個別栄養食事指導件数に透析予防管理料の数を含む（2018年度）  
2019年度から別途集計（2019年7月～算定の院内取り決めを行う）

**\*糖尿病透析予防指導管理料**

いづろ今村病院 299件/年（2019年度 236件/年）  
慈愛会CL 2,440件/年（2019年度 2,708件/年）

**\*無料栄養相談（公益法人事業）**

慈愛会CL 37件/年（2019年度 36件/年）

**\*介護関連**

愛と結の街 経口維持13件/月（2019年度 20件/月）

## 業 績 一 覧

### 【研究会・講演会】

#### 今村総合病院

1. 七枝美香：食事療法のアドバイス コンビニ食、宅配食を利用した食事指導. 第20回糖尿病医療連携体制講習会, 2020年11月17日, 鹿児島
2. 西園夏帆：フレイル予防の食事について. 今村総合病院第1回市民公開講座 You Tube 配信, 2020年12月～, 鹿児島

#### いづろ今村病院

3. 中菌智美：糖尿病症例検討・資料説明. 糖尿病重症化予防従事者連携スキルアップ研修会, 2020年10月3日, 鹿児島
4. 萬福有理：卒業生と語る会 体験発表. 鹿児島純心女子大学, 2020年10月31日, 鹿児島
5. 中菌智美：腎臓を守る食事～たんぱく質の考え方～. 糖尿病重症化予防従事者連携研修会, 2020年11月8日, 鹿児島
6. 中菌智美：糖尿病を予防する食生活. 食べて学ぶ～糖尿病予防教室～, 2021年1月27日, 串木野
7. 中菌智美：腎臓を守る食事～たんぱく質の考え方～. 糖尿病重症化予防従事者連携研修会, 2021年1月31日, 鹿児島
8. 中菌智美：食生活を見直そう（パートⅠ）（パートⅡ）. プチ糖尿病予防教室, 2021年2月12日, 3月16日, 鹿児島

#### 徳之島病院

9. 清水崇：自分らしい自己管理のあり方 パネリスト. 第6回 鹿児島1型糖尿病セミナー, 2020年12月19日, 鹿児島

#### 慈愛会クリニック

10. 加藤実穂：栄養スクリーニング. 鹿児島県栄養士会 在宅訪問栄養食事指導研修会, 2020年10月24日, 鹿児島

# 部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

## ソーシャルワーカー部門 (JSW)

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域貢献	①社会福祉、精神保健福祉に関する知識の普及啓発	【今村総合病院】 2020年12月5日 鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会 2020年度第1回全体研修会 研究発表SW実践報告講演	【今村総合病院・いづろ今村病院】 コロナ禍で、地域活動など予定されていたものが中止となり活動できなかった。	【今村総合病院・いづろ今村病院】 ホームページ等のあらゆるツールを使い、院内外への情報発信を計画し普及・啓発活動に努める。
	②認知症疾患医療センターの役割の充実化と機能の強化	【谷山病院】 認知症の鑑別診断、連携協議会 【奄美病院】 連携担当に保健師を配置	【谷山病院】 計画していた研修会開催、認知症カフェはコロナで中止。連携協議会1回。研修会への出席は15回参加出来た。 【奄美病院】 連携担当保健師により充実化を図りたかったが、コロナの影響により決められた業務の遂行に支障をきたした。	【谷山病院】 次年度はコロナ禍でも開催できるように工夫する必要がある。 【奄美病院】 連携担当の変更もあるため、コロナ禍でも実施できる業務へ見直しが必要。関係機関とも積極的に協議していく。
地域貢献	③無料低額診療事業実施(無料健康相談会)	【4施設】 今村総合病院：平日・土曜午前 谷山病院：3回(毎月第3土曜日午後) 奄美病院：1回(毎月第2土曜日午後) 徳之島病院：1回(毎月第3水曜日午後)	【今村総合病院】 新規相談：8件 判定会議：1件 該当者：2名(継続者含む) 【谷山病院】 新規相談：0件 【奄美病院】 新規相談：2件 判定会議：2件 該当者：0名 【徳之島病院】 新規相談：0件 判定会議：0件 該当者：1名(継続者)	生活困窮者に対するアプローチや掘り起こし、行政機関等への関わりを強める必要がある。
	④与論、沖永良部の巡回相談、診療及び訪問看護	【徳之島病院】 巡回診療：沖永良部島2回、与論島4回 訪問看護：沖永良部島7回、与論島7回	【徳之島病院】 昨年度実施出来なかった与論島への訪問診療を再開することができた。訪問看護については、コロナの影響や台風等天候の影響により中止した月も多かったが、多職種協働による訪問看護を継続することができた。	【徳之島病院】 病院内業務優先となり、訪問看護にPSWの派遣が出来ない月があったため、継続して参加できるよう相談室業務の見直しが必要。
地域貢献	⑤鹿児島県精神科救急医療相談事業への継続参加	【3施設】 精神科救急電話相談協力 計15回 今村総合病院：3回 谷山病院：10回 奄美病院：2回	【今村総合病院・谷山病院・奄美病院】 救急医療を必要とする精神障がい者について、精神科救急医療相談に応じ、その状態に応じて医療機関の調整・紹介を行い、早期に適切な医療に結び付けることができた。また、患者や家族等の相談に対し、適切な助言も行うことができ、患者等の不安の軽減を図り、地域生活が維持できるよう貢献できた。	同事業に継続して参加していく。
	⑥行政機関への人材派遣・協力	【奄美病院】 介護・障がい認定審査会(奄美地区) 障がい者計画及び障がい福祉計画策定委員(大和村) 【徳之島病院】 障がい者計画及び障がい福祉計画策定委員(徳之島町) 【谷山病院】 鹿児島県精神医療審査会 【愛と結の街】 鹿児島市介護保険課ケアプラン適正化指導検討会	人材派遣により、行政への協力ができた。	必要な人材を派遣できるよう積極的に協力していく。
地域連携	①外部機関との連携関係を構築し、慈愛会の広報活動に努める	【今村総合病院】 関係機関との連携(面会)：159事業所443件(3回以上：21事業所) 【いづろ今村病院】 関係機関との連携(面会)：205事業所455件(3回以上：37事業所) 訪問：39件 地域連携プロジェクト推進委員会の開催(12回) リンクインフォメーション(連携先向け広報紙)5回発行 【谷山病院】 関係機関との連携(医療機関・公的機関12月) 【奄美病院】 奄美地区自立支援協議会(各種部会参加) 奄美地区地域医療連携室協議会 【徳之島病院】 徳之島地区自立支援協議会(地域移行・地域定着部会) 【愛と結の街】 地域ケア推進会議委員会(3回/年) 地域ケア会議 東谷山コミュニティ協議会	【今村総合病院】 経営幹部同伴で挨拶回りを行ったが、自部署単体での挨拶回りはできなかった。コロナ禍での他機関連携(面談)の減を認めた。 【いづろ今村病院】 コロナ禍、訪問活動は自粛により激減。来院による面談も減少した。地域連携プロジェクト推進委員会と連携し、広報紙の内容等を検討。また、訪問活動の再開に向け、訪問先の検討も実施した。 【谷山病院】 コロナ禍の中、必要最小限の広報活動を実施した。 【奄美病院】 奄美地区の障害福祉関連・医療機関関連の連携を深めることができた。 【徳之島病院】 徳之島地区自立支援協議会(地域移行・地域定着部会)の中心的役割を果たし、関係機関との連携を図ることができた。 【愛と結の街】 コロナ禍ではあったが、Zoom等ITを利用するなど、積極的な参加ができ、関係機関との連携ができた。また、地域活動に向けた支援活動(講演)も実施できたことで、広報活動につながった。	【今村総合病院】 定期的な訪問活動を計画的に行っていく。 【いづろ今村病院】 タイミングを見計らい訪問活動の再開を目指す。 必要時に即応できるよう通信機器等を用いた面談可能な体制を構築。 【谷山病院】 年末やお盆に定期的に訪問できるようにしていく。 【奄美病院】 奄美地区の障害福祉関連・医療機関関連の連携を今後も継続していく。 【徳之島病院】 徳之島地区の医療、障害福祉及び地域福祉の関係機関との連携を継続していく。 【愛と結の街】 コロナの状況を勘案しながら、今後も地域に向けた活動を積極的に実施していく。

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
慈愛会ソーシャルワーカー(JSW)部	地域連携	<p>【全施設】 JSW総会→書面開催 JSW代表者会議 (1回/月) JSW教育委員会 (1回/月) JSW総会班 (1回/月)</p> <p>【いづろ今村病院・今村総合病院・谷山病院・愛と結の街】 慈愛会連携推進会議</p> <p>【いづろ今村病院・今村総合病院】 いづろ今村病院・今村総合病院業務統合協議会 (毎月第1木曜) いづろ今村病院・今村総合病院合同事例検討会 (毎月第4水曜)</p>	<p>【全施設】 JSW代表者会議 (12回/年) JSW教育委員会 (12回/年) ・2021年11月21日 慈愛会ソーシャルワーカー初任者研修③ JSW総会・合同研修会準備班 (5回/年)</p>	<p>【全施設】 法人内の連携強化の継続を図る。</p>
	教育体制	<p>①離職防止を含めた教育体制作り</p> <p>■合同研修会■ 2021年11月21日 慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修③</p> <p>■幹部管理者任用候補者研修■ 【今村総合病院】3名 (内:3名合格)</p> <p>■勉強会■ 【いづろ今村病院・今村総合病院】 第4水曜日: 症例検討会 【いづろ今村病院】 第4火曜日: MSWミーティング 【今村総合病院】 第3金曜日: e-ラーニング視聴 【奄美病院】 月1回 第2土曜日 PSW定例会開催 e-ラーニング 毎月担当制での勉強会開催 1～3年目の職員への初任者研修 【谷山病院】 第3土曜日: スタッフ会議 第3火曜HPSW定例会</p>	<p>各施設とも、各々の勉強会開催を行っておりスキルアップに繋げることができた。 実習生の受け入れが今年度は中止となった。コロナの状況によるが、社会福祉、精神保健福祉に関する知識の普及啓発、人材確保の視点からも積極的に進んでいきたい。</p>	<p>クリニカルラダーとの運用と併せて、来年度も引き続き開催していきたい。</p>
	退院支援(在宅支援を含む)	<p>①地域移行への取り組み強化</p> <p>【谷山病院】 地域移行実施加算: 目標7名中8名達成 鹿児島市保健所、鹿児島市内の相談支援事業所(ピアサポーター)と共同での地域移行地域定着事業に参加。</p> <p>【奄美病院】 退院準備プログラムの強化、療養病棟退院支援委員会の開催 退院前訪問指導料、介護支援連携指導料の積極的算定 在宅系各種委員会の積極的活用 地域移行実施加算算定: 7名退院達成</p> <p>【徳之島病院】 地域移行実施加算算定: 4名退院達成</p> <p>【愛と結の街】 診療情報提供加算: 88件 連携加算: 68件 入所前後訪問指導加算: 83件 退所前後訪問指導: 38件</p>	<p>【谷山病院】 地域移行実施加算は目標を達成できた。 地域移行地域定着事業は、対象者を挙げて取り組んだ。コロナ禍でもピアサポーターの方にZOOMを使っての体験発表を行い、対象者との交流ができた。</p> <p>【奄美病院】 地域移行実施加算対象者の退院をクリアすることが出来、適切な地域移行へ繋がられた。また、加算の算定や各種指導料の算定増加にも繋がった。</p> <p>【徳之島病院】 地域移行実施加算対象者の退院及び地域定着をクリアすることができた。また、地域移行のパスの見直しを行い、地域移行支援への体制づくりを進めることが出来た。</p>	<p>【谷山病院】 地域移行実施加算の継続算定を目指す。 また、各種指導料算定の増加も積極的に実施していく。</p> <p>【徳之島病院】 地域移行実施加算の算定を目指す。</p> <p>【愛と結の街】 診療報酬改定により、在宅復帰のための連携の強化が提示され、算定要件変更。 退所時情報提供加算・入退所前連携加算の取得と入所前後訪問指導、退所前後訪問指導を実施していく。</p>
財務	<p>①診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定に対応し、取得可能な加算を積極的に取得していく</p> <p>【今村総合病院】 介護連携指導料取得対策</p> <p>【いづろ今村病院】 退院支援に関する加算(入退院支援加算1、退院時共同指導料、多機関共同指導料、介護支援連携指導料)の積極的算定</p> <p>【指定特定相談支援事業所あゆみ】 特定事業所加算の算定継続 各種支援体制加算算定継続</p> <p>【愛と結の街】 超強化型老健としての指標: 70ポイント以上を維持</p>	<p>【今村総合病院】 コロナ禍で他機関との連携が激減し、算定件数減となった。情報通信機器を用いた連携推進のため、鹿児島市内の全居宅介護支援事業所へ情報通信機器を用いた連携の有無についてアンケートを実施した。</p> <p>【いづろ今村病院】 病床数減にも関わらず、入退院支援加算算定は増加。介護連携や共同指導についてはコロナ禍により減少。</p> <p>【指定特定相談支援事業所あゆみ】 各種加算算定基準を維持することが出来、報酬増へ繋げることが出来た。</p> <p>【愛と結の街】 コロナ禍でのベッドコントロールで入退所時の調整は厳しいものがあつた。しかし、施設スタッフ一丸で乗り越え、目標達成に至った。</p>	<p>【今村総合病院】 情報通信機器を用いた連携体制は整ったが、居宅介護支援事業所側の意向もあるため積極的な活用には至らなかった。来年度は訪問活動も含めて積極的な活用、連携強化に繋げていきたい。</p> <p>【いづろ今村病院】 積極的に加算算定をしていく。居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションの来院や通信機器使用にて面談を重ねていく。</p> <p>【指定特定相談支援事業所あゆみ】 機能強化型サービス支援費への移行を控えており、同様の体制を維持し算定基準を落とさないようにしていく。将来的には、主任相談支援専門員配置加算の取得も目指す。</p> <p>【愛と結の街】 超強化型老健としての指標: 70ポイント以上を維持の継続 LIFE情報の収集・活用を評価する 加算取得の運営の援護</p>	

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

### 慈愛会ソーシャルワーカー部 (JSW)

いづろ今村病院：3名  
今村総合病院：10名  
谷山病院：34名  
(奄美病院へ1名、徳之島病院へ3名派遣)  
奄美病院：13名  
徳之島病院：5名  
介護老人保健施設愛と結の街：3名 計 69名

### 【人事交流・施設間の協力体制】

谷山病院より奄美病院(1名)と徳之島病院(3名)へ精神保健福祉士を派遣

### 【2020年度の活動】

#### 1. JSW代表者会議(12回/年)

##### (目的)

慈愛会内のソーシャルワーカー間の情報共有を図ることで、質の高いマネジメントを行い、互いの業務、役割、現状を知ること、法人内の連携を強化することを目的としている。

#### 2. JSW総会・合同研修会準備班(5回/年)

##### (目的)

総会準備、合同研修会の企画立案を目的としている。

#### 3. JSW教育委員会(2017年12月より教育プログラム作成委員会として活動。2019年4月名称変更)(12回/年)

##### (目的)

統一した教育プログラムの作成、運用により、援助の質の担保、離職防止を図ることを目的としている。

## 合同研修会

### 【慈愛会ソーシャルワーカー部門総会】

書面開催

### 【慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修】

2020年11月21日(土)第3回JSW初任者研修  
※2019年度全3回分の最終研修開催が延期になっていたため

### 【いづろ今村病院・今村総合病院 合同症例検討会】

毎月第4水曜 17:35 - 18:30

#### ①日付：2020年9月23日

症例提供者：盛山美咲(今村総合病院)

テーマ：認知症のため生活が成り立たなくなった家族の支援を振り返って

#### ②日付：2020年10月28日

症例提供者：梅木亮太(今村総合病院)

テーマ：障害がありながら生活に困窮する本人と目の見えない高齢の母親に介入した一事例

#### ③日付：2020年11月25日

症例提供者：大垣美紀(いづろ今村病院/看護師)

テーマ：親族と疎遠でえにしの会と契約をされた方のK氏の支援について

#### ④日付：2020年12月23日

症例提供者：辻恵理(今村総合病院)

テーマ：回復期病棟における退院支援でみえてきてこと

#### ⑤日付：2021年1月27日

症例提供者：岡田美鈴(いづろ今村病院)

テーマ：全介助で歩行困難であるが、在宅生活を強く希望する患者及び介護者への退院支援について

#### ⑥日付：2021年2月24日

症例提供者：原田美和(今村総合病院)

テーマ：アルコールの問題、経済的課題、家族関係の脆弱さなど複数課題を抱えたケースを振り返って

#### ⑦日付：2021年3月24日

症例提供者：片山秀実(いづろ今村病院/心理師)

テーマ：家族関係が良好でなく、視力低下し食事など退院後の自己管理が懸念された患者の支援について

## 技能・能力向上に向けた取り組み

### 【2020年度取得資格】

・がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)知識確認コース：2名

今村総合病院：原田美和、梅木亮太

- ・両立支援コーディネーター基礎研修：5名  
今村総合病院：原田美和、淵上隆実、梅木亮太、  
日高洋美  
いづろ今村病院：南尚江
- ・エンドオブライフ・ケア援助士：1名  
今村総合病院：梅木亮太
- ・公益社団法人鹿児島県社会福祉士会基礎研修Ⅱ：1名  
今村総合病院：梅木亮太
- ・認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉士認定  
審査：1名  
奄美病院：西牟田智子

【有資格者数】

- ・社会福祉士：43名（実習指導者：6名）  
今村総合病院：10名（実習指導者：3名）  
地頭所孝之、原田美和、淵上隆実、梅木亮太、日  
高洋美、辻恵里、盛山美咲、上野圭祐、永濱咲江、  
上野彩乃  
（実習指導者）  
原田美和、淵上隆実、日高洋美  
いづろ今村病院：3名  
南尚江、内屋敷香織、岡田美鈴  
谷山病院：18名  
内門直人、住吉亜紀美、春山大道、上ノ堀知美、  
久保早苗、前田結華、濱田凌、遠矢ふみ、中山佳祐、  
赤塚広泰、満窪圭吾、今元大祐、中村美鈴、岩元  
利保子、染川悠希、畦元詩織、堂園創、宮竹敦史  
奄美病院：6名（実習指導者：1名）  
下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、  
貴島世梨香、悦本遼  
（実習指導者）  
西牟田智子  
愛と結の街：4名（実習指導者：2名）  
平田博子、段本陽子、戸川千草、齋藤尚美  
（実習指導者）  
段本陽子、戸川千草  
徳之島病院：2名  
川原香織、黒瀬絢未
- ・介護福祉士：5名  
今村総合病院：1名 梅木亮太  
愛と結の街：2名 齋藤尚美、竹迫宏美  
奄美病院：2名 勝田英明、溝辺有希子
- ・介護支援専門員：11名  
今村総合病院：2名 淵上隆実、梅木亮太  
いづろ今村病院：2名 南尚江、岡田美鈴  
愛と結の街：5名  
平田博子、戸川千草、齋藤尚美、竹迫宏美、佐別  
當誠子  
奄美病院：2名 吉村あゆみ、溝辺有希子
- （実習指導者）  
地頭所孝之  
谷山病院：27名（実習指導者：10名）  
内門直人、住吉亜紀美、春山大道、上ノ堀知美、  
久保早苗、前田結華、濱田凌、遠矢ふみ、中山佳  
祐、赤塚広泰、満窪圭吾、今元大祐、岩元利保子、  
染川悠希、東國原穂波、畦元詩織、堂園創、佐々  
木奈美、宮竹敦史、古園友理恵、権現領圭太、福  
留清楓、清水一寿子、有馬喜隆、中村美鈴、村山  
ひろみ、島由紀子  
（実習指導者）  
内門直人、住吉亜紀美、久保早苗、清水一寿子、佐々  
木奈美、中山佳祐、赤塚広泰、岩元利保子、満窪  
圭吾、村山ひろみ  
奄美病院：13名（実習指導者：4名）  
盛谷竜男、下田清一、有村裕志、吉村あゆみ、西  
牟田智子、有村美幸、林亜紀子、森越志保、悦本遼、  
貴島世梨香、奥田透、早野文明、栗坂林子  
（実習指導者）  
盛谷竜男、下田清一、有村裕志、西牟田智子  
徳之島病院：5名（実習指導者：1名）  
梅岡啓香、勝下亜美、川原香織、黒瀬絢未、本山  
和秀  
（実習指導者）  
川原香織
- ・精神保健福祉士：49名（実習指導者：15名）  
今村総合病院：4名（実習指導者：1名）  
地頭所孝之、淵上隆実、永濱咲江、上野彩乃

- ・相談支援専門員：18名  
 谷山病院：10名  
 内門直人、住吉亜紀美、春山大道、久保早苗、清水一寿子、村山ひろみ、中山佳祐、赤塚広泰、岩元利保子、上ノ堀知美  
 奄美病院：8名  
 盛谷竜男、下田清一、吉村あゆみ、有村美幸、溝辺有希子、勝田英明、悦本遼、奥田透
- ・サービス管理責任者：11名  
 今村総合病院：1名 地頭所孝之  
 谷山病院：6名  
 満窪圭吾、岩元利保子、村山ひろみ、内門直人、佐々木奈美、清水一寿子  
 奄美病院：3名 下田清一、吉村あゆみ、有村美幸  
 徳之島病院：1名 梅岡啓香
- ・がん相談支援センター相談員基礎研修（3）知識確認コース終了者：1名  
 今村総合病院：1名 淵上隆実
- ・がん相談支援センター相談員基礎研修（1）（2）知識確認コース終了者：4名  
 今村総合病院：3名 梅木亮太、原田美和、辻恵里  
 いづろ今村病院：1名 南尚江
- ・福祉住環境コーディネーター：3名  
 今村総合病院：1名 梅木亮太  
 愛と結の街：2名 齋藤尚美、竹迫宏美
- ・レクリエーション・インストラクター資格認定証：1名  
 今村総合病院：1名 梅木亮太
- ・公認心理師：1名  
 いづろ今村病院：1名 南尚江
- ・認知症ケア専門士：1名  
 奄美病院：1名 西牟田智子
- ・看護師：3名  
 今村総合病院：1名 盛山美咲  
 愛と結の街：2名 平田博子、佐別當誠子
- ・両立支援コーディネーター基礎研修：5名  
 今村総合病院：4名  
 梅木亮太、原田美和、淵上隆実、日高洋美  
 いづろ今村病院：1名 南尚江
- ・エンドオブライフ・ケア援助士：1名  
 今村総合病院：1名 梅木亮太
- ・公益社団法人鹿児島県社会福祉士会基礎研修Ⅱ：1名  
 今村総合病院：1名 梅木亮太

## 院内外活動

### 【啓発活動】

- ・認知症サポーター養成講座（院外：5回）  
 谷山病院：川添悠希、春山大道、内門直人が講師として派遣
- ・鹿児島市介護予防地域ケア会議（南部ブロック）  
 谷山病院：内門直人、住吉亜紀美、佐々木奈美、染川悠希
- ・鹿児島市脳活性チャレンジ講座（鹿児島市南部保健センター主催）  
 谷山病院：川添悠希
- ・小原町健やかクラブ健康講話（フレイル）  
 愛と結の街：竹迫宏美、齋藤尚美、佐別當誠子
- ・谷山中央地域ケア推進会議（年3回）  
 愛と結の街：佐別當誠子
- ・東谷山校区コミュニティ協議会  
 愛と結の街：佐別當誠子

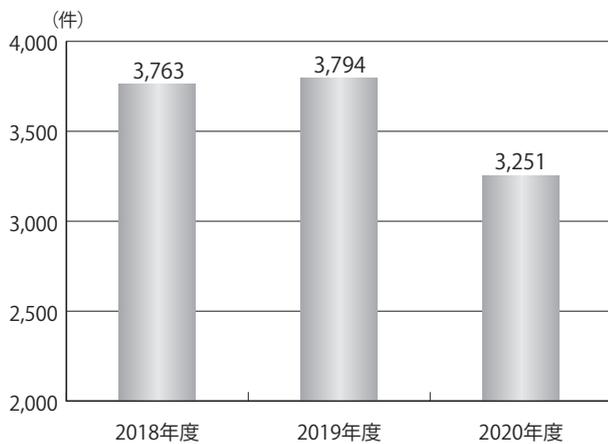
### 【院外活動】

- ・始良市地域包括支援センター運営協議会  
 今村総合病院：淵上隆実
- ・鴨池商店街振興会委員会  
 今村総合病院：地頭所孝之、梅木亮太
- ・介護認定審査会（奄美地区）  
 奄美病院：西牟田智子、有村裕志、盛谷竜男
- ・鹿児島市介護保険ケアプラン適正化指導検討会  
 愛と結の街：佐別當誠子
- ・鹿児島県介護支援専門員実務研修等指導  
 愛と結の街：佐別當誠子

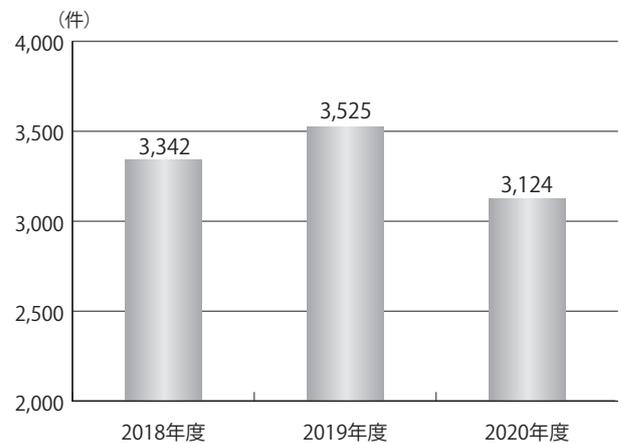
## 各種指標

### 今村総合病院

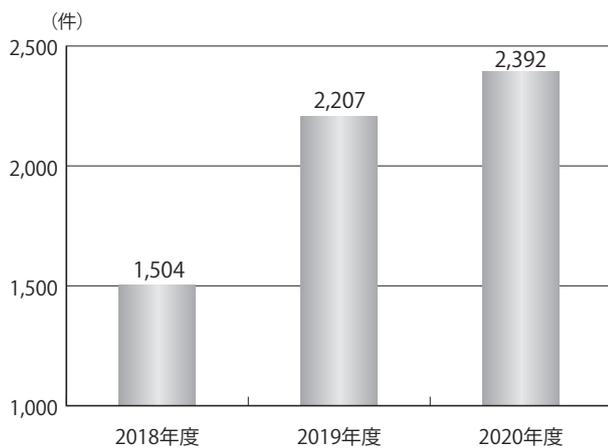
介入者数 (延べ患者数)



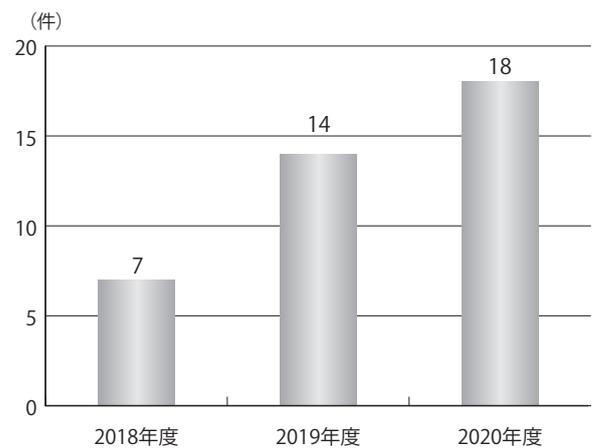
終了者数 (延べ患者数)



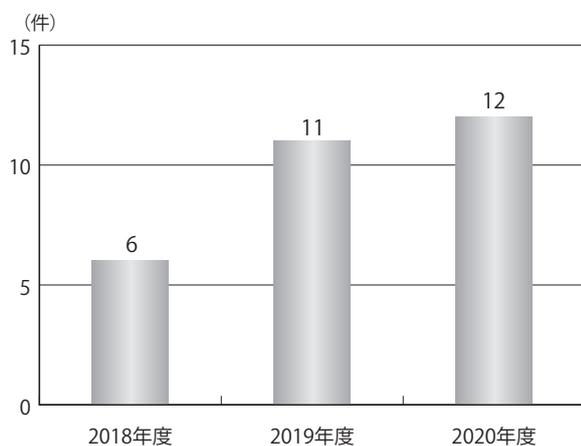
入退院支援加算1



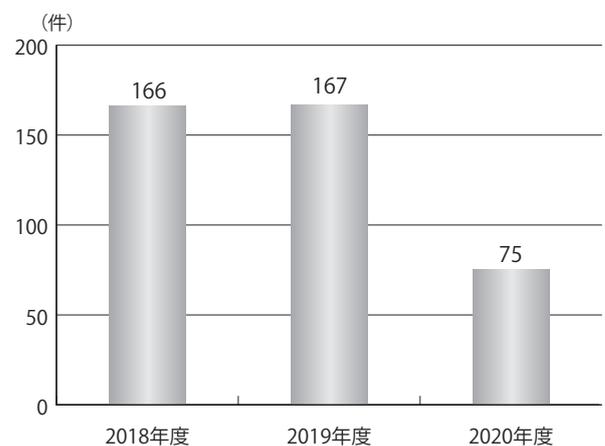
退院時共同指導料2



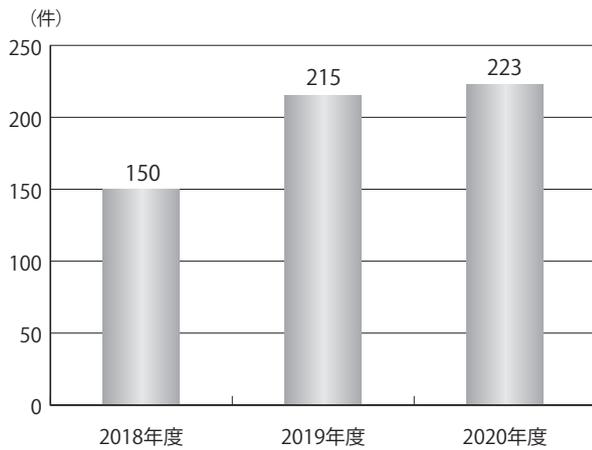
多機関共同指導加算



介護支援連携指導料

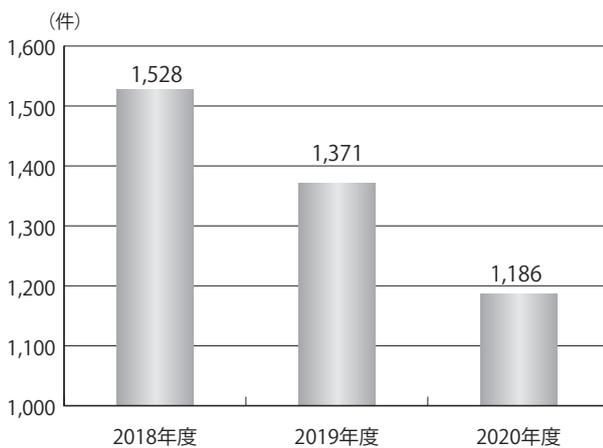


地域連携診療計画加算

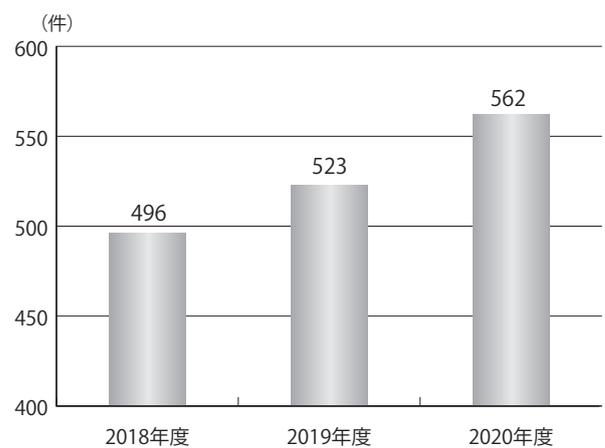


いづろ今村病院

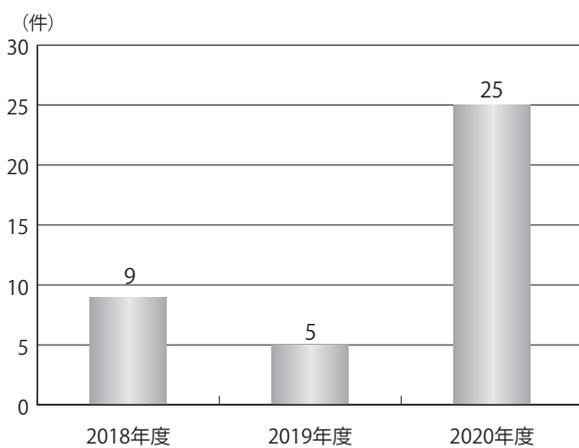
介入者数 (延べ患者)



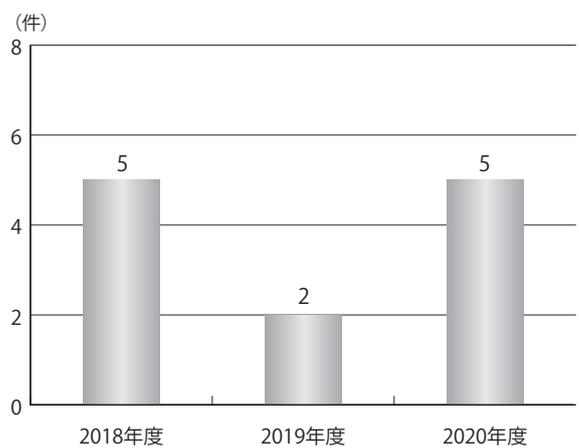
入退院支援加算1



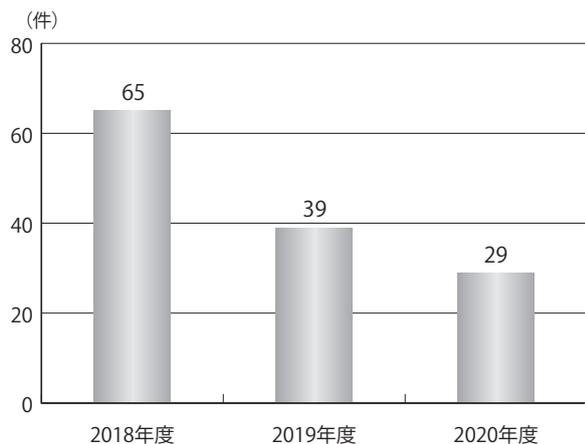
退院時共同指導料2



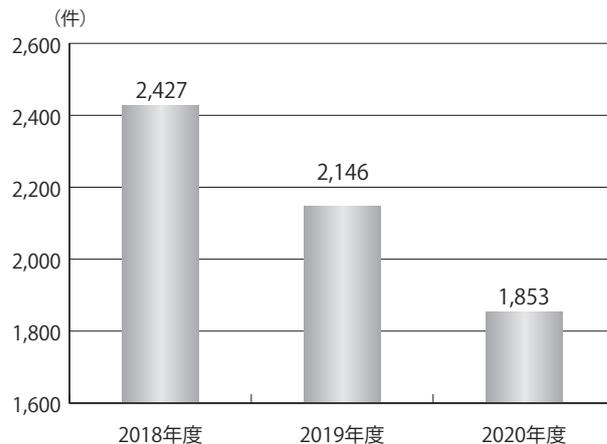
多機関共同指導加算



介護支援連携指導料

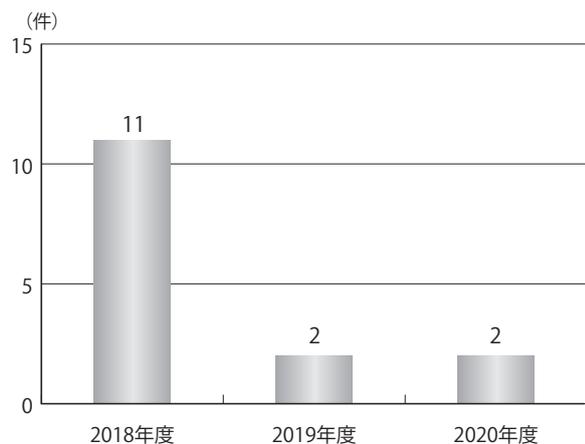


患者サポート体制充実加算

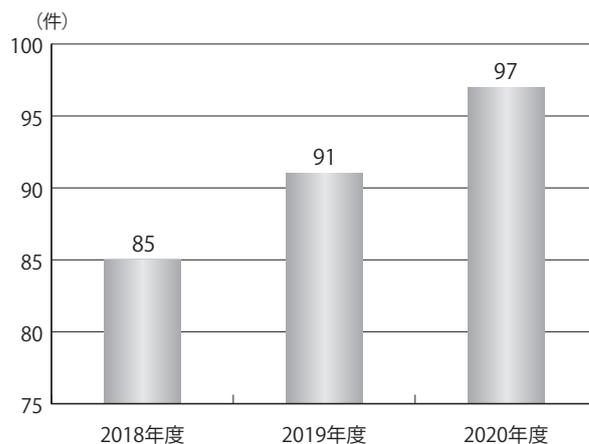


谷山病院

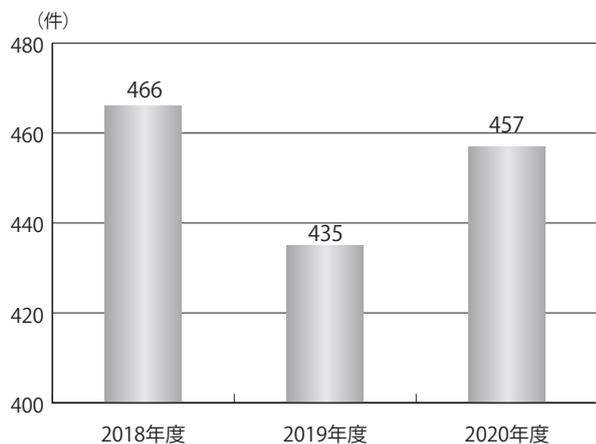
院内標準診療計画加算



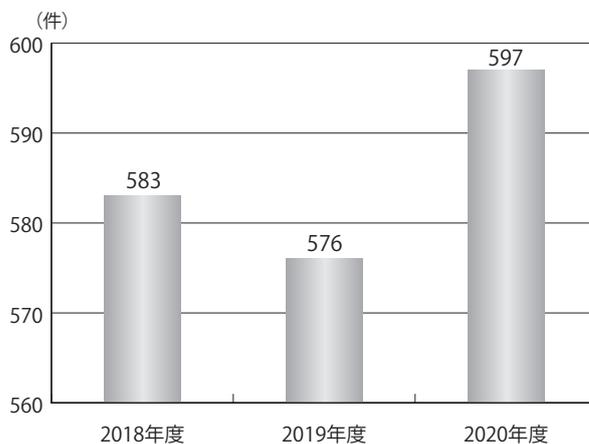
退院調整加算



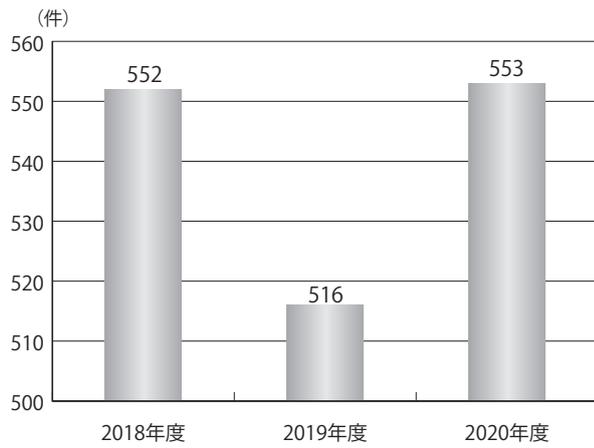
患者サポート体制加算



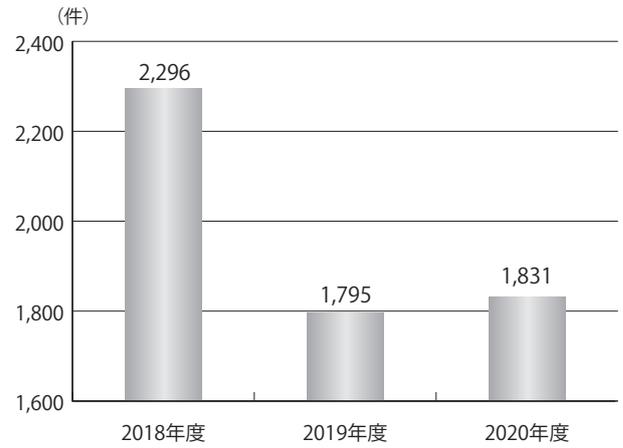
療養病棟退院支援委員会件数 C5病棟



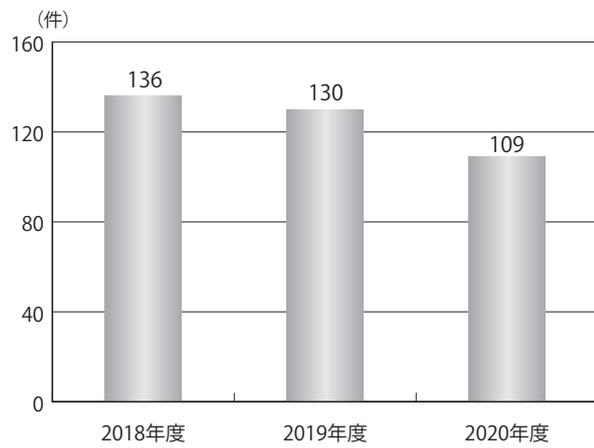
療養病棟退院支援委員会件数 C6病棟



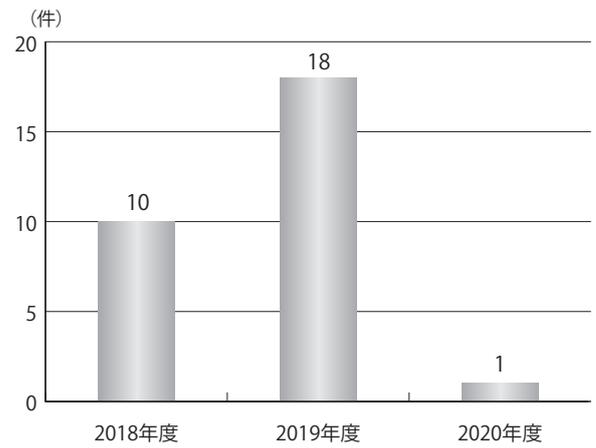
受診入院相談件数



退院前訪問指導料

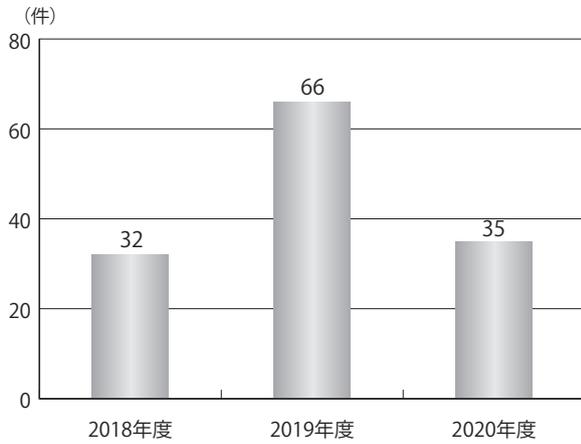


介護支援連携等指導料

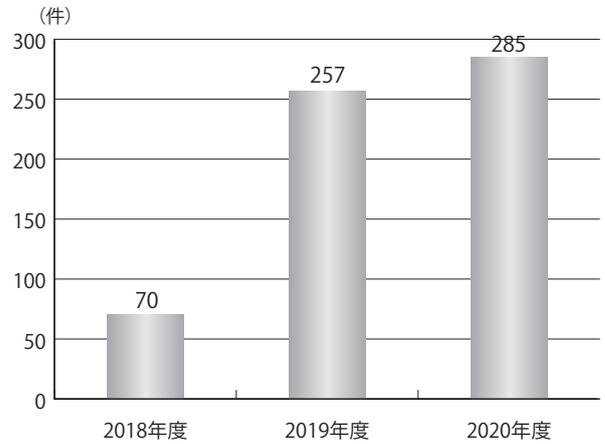


奄美病院

退院調整加算



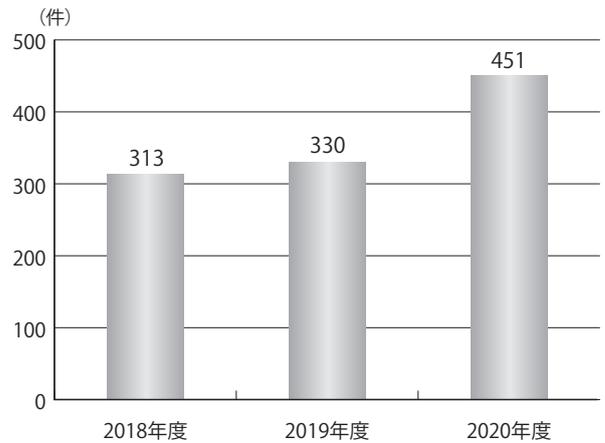
患者サポート体制加算



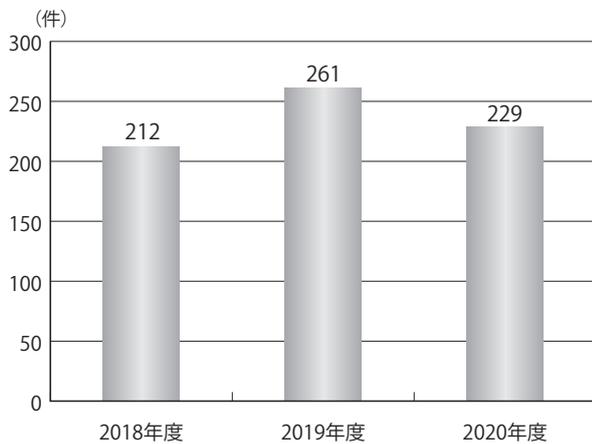
療養病棟退院支援委員会件数 (2東病棟)



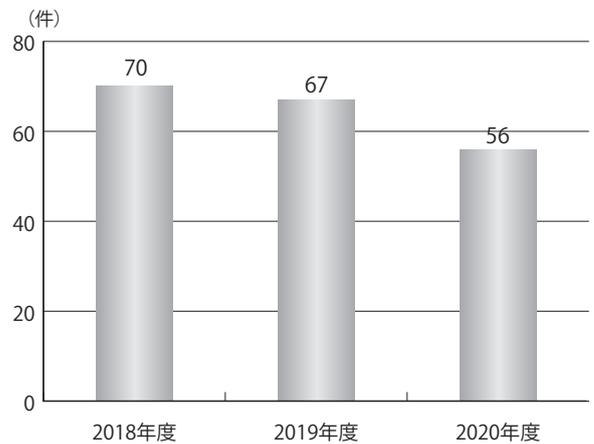
療養病棟退院支援委員会件数 (2西病棟)



退院前訪問指導料

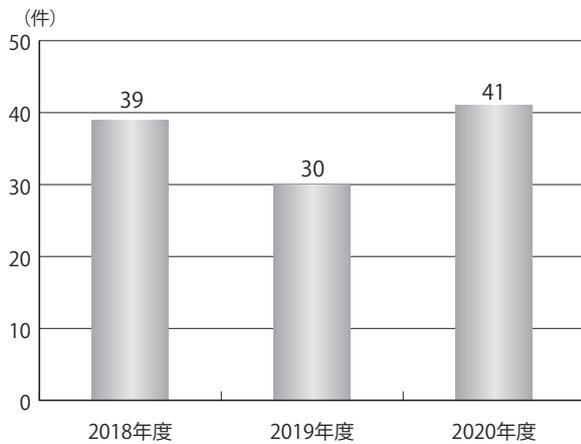


介護支援連携等指導料

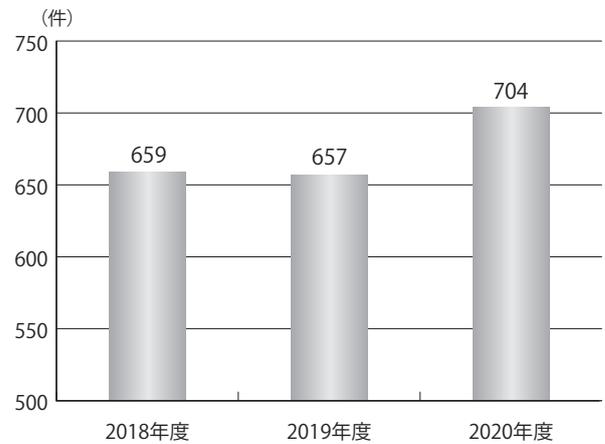


## 徳之島病院

### 退院前訪問指導料

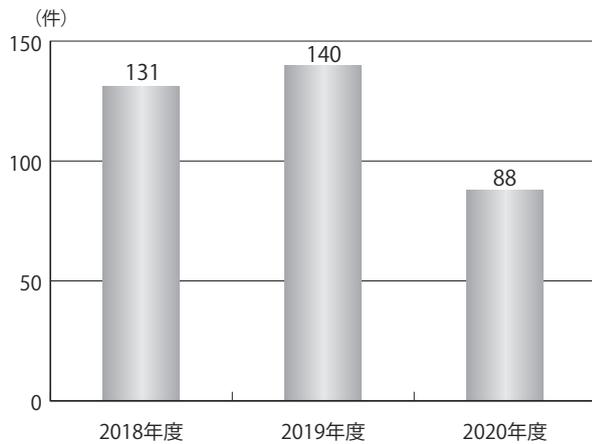


### 療養病棟退院支援委員会（2病棟）

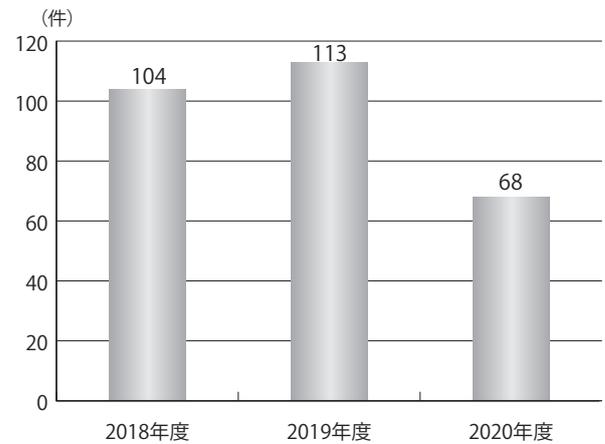


## 介護老人保健施設 愛と結の街

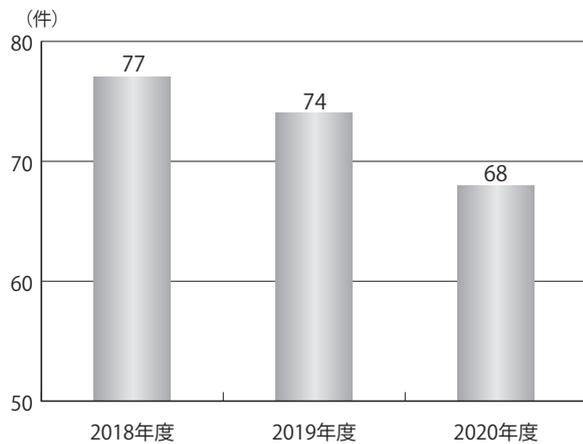
### 退所時情報提供加算



### 退所時連携加算



### 退所時指導加算



## 業 績 一 覧

### 【研究会・講演会】

#### 今村総合病院

1. 梅木亮太：多重課題を抱えた親子に介入した一事例。鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会 令和2年度第1回全体研修会研究発表SW実践報告講演，2020年12月5日，鹿児島

#### 奄美病院

2. 西牟田智子：アディクションの理解と支援について。鹿児島県社会福祉協議会 令和2年度生活支援員研修，2020年11月26日，奄美
3. 西牟田智子：アディクションの理解と支援について。奄美市社会福祉協議会 令和2年度職員研修，2021年2月13日，奄美
4. 西牟田智子：ゲーム・SNSとの付き合い方。鹿児島県奄美市立朝日中学校1・2年生対象講話，2021年3月22日，奄美

## 部門別 総括 指標 業績一覧

# 臨床工学部門(CE)

### 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会の臨床工学部門は2018年より業務統合を行い他の診療支援部のように施設を跨いだ組織横断的な運営、情報共有の取り組みなどは特にないが、慈愛会内の臨床工学部門として、今村総合病院内の業務はもちろんの事、月曜日から金曜日にかけては午後よりいづろ今村病院に技士を派出させいづろ今村のME機器管理を行っている。いづろ今村においてG-CAPなどの血液浄化療法などの対応ではME機器管理を行う技士とは別に熟練の技士を派遣し、オンコールにも対応している。

今村総合病院では、透析センター業務と手術室業務、急性血液浄化業務、病棟透析業務、高気圧酸素業務、ME機器管理業務との業務分けもだいたい形になってきている。

2020年度は2名が入職し、産休育休取得者が1名いたが退職者がいなかった為、人員的に少し改善傾向ではある。透析センター業務とCE業務とでまだ完全に分業できてはいないがお互いのリーダーが業務内容の情報共有を図り、どちらの業務にも対応できる技士の育成をめざす。

### 研修会

- ・いづろ今村病院新人研修・輸液ポンプ等  
2020年4月2日
- ・新規導入透析監視装置ニプロ社製NCV-3研修会  
(鹿児島在住の業者が担当)  
2020年4月21日
- ・新規導入インボディ研修会 (Zoom)  
2020年8月25日

### 技能・能力向上に向けた取り組み

#### 資格取得 (2020年度に取得した資格)

該当者なし

#### 参加学会・研修会

- ・九州アクセスフォーラム2020 (Web)  
2020年9月13日
- ・第30回日本臨床工学会 (Web)  
2020年9月29-30日 (Web)
- ・第48回日本集中治療学会 (Web)  
2021年2月12-14日
- ・第27回鹿児島県臨床工学会 (Web)  
2021年3月13日 鹿児島県

### 各種指標

(単位：件)

	2018年度	2019年度	2020年度
透析センター血液透析	27,277	25,375	26,969
ICU血液透析	100	92	168
ICU持続ろ過透析	156	333	229
二重ろ過血漿交換	23	68	55
腹水ろ過濃縮再静注法	19	24	53
単一膜血漿交換	0	16	40
LDL吸着	27	13	0
高気圧酸素療法	594	622	574

業 績 一 覧

【論文】

今村総合病院

1. 高岡大, 竹下佳希, 坂口政人, 越智秀美, 原康隆, 森田恵一, 樋元祐輔, 井上元紀, 川井田季睦, 岡田翔, 雪松慎太郎, 家村央士朗, 竹之内聖三, 三重陽一: PMX-DHP 施行症例における比較～下部消化管穿孔症例との比較～. エンドトシン血症救命治療研究会誌 プロシーディング 24(1): 183-186, 2020

# 部門別 事業報告(PDCA) 総括

## 総務人事部門

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
円滑な連携が図れる組織態勢の構築  地域社会に貢献できる人材の育成  やりがいの持てる労働環境の実現	1. 職種毎横断的組織の拡充 (1)薬剤部門 ・ 慈愛会薬剤部長再配置による統括体制の確立 ・ 離島病院(奄美病院)薬剤科体制の確立 (2)精神科3病院 ・ 谷山、奄美、徳之島精神科3病院における事務・経営管理部門体制強化 (3)他部門 ・ 横断的組織として十分に機能できる体制構築  2. 地域医療機関、介護施設等との人材派遣を含めた連携  3. 企画部門の充実 (1)企画部門における必要人員配置と所属職員のスキルアップ	1. ・ 慈愛会薬剤部長の再配置(4/1より)⇒薬剤部所属職員の人事・業務管理態勢の再構築 ・ 奄美病院支援 ⇒奄美・本部会議実施(49回)、奄美病院訪問(8回) ⇒電カルMIRAIを活用した「奄美病院オーダリングシステム」稼働(10/1) 予定していた630統計、小遣い銭管理システム、年度内稼働できず⇒奄美病院薬剤師リクルート 地元在住薬剤師3名採用実施…2021年度期初人員態勢日処が立つ  2. ・ M&A事案…鹿児島市内一般病床60床(14床)⇒統合のスキームで対応 ・ クリニックへの業務支援⇒医療機器導入の資金調達、財務面の支援実施中 ・ 鹿児島市内40床医療療養病床M&A案件⇒謝絶  3. 経営企画室へ1名人員増実施  ○新型コロナウイルスに関わる対応 ⇒小学校休業等助成金請求(80名/266日)、休業手当支給(23名/138千円) ⇒医療従事者宿泊支援事業(24名/723泊)	1. ・ 薬剤部長再配置により、薬剤部門のマネジメントが構築された。特に薬剤師派遣、薬剤師のリクルート活動においてスムーズな業務運営がはかられ、実績を上げることができた。 ・ 離島精神科病院支援…奄美病院におけるIT推進においてハード面ソフト面の問題点が認識された。 ・ 離島病院支援における課題として、奄美病院経営体制への介入方法について再検討の必要性が認識された。 ・ 事務、経営管理部門体制の強化として、管理監督を担う人材の定年にとまなう交代人事の必要性が迫っている。 2. コロナ禍において、行政・地域医療機関からの人的支援要請が相次いだ。新たな慈愛会の役割を認識させられた。 今後において、医療の実務部門の支援のみならず、医療経営に関わるコンサル的支援も含めて地域医療機関との関わりが重要と思われる。 3. 今後のDX推進において、MICとの関係強化および責任体制の明確化が必要である。	1. 職種毎横断的組織の拡充 ・ 部門別統括体制の拡充…検査部門、栄養部門の統括責任者設置 ・ 離島精神科病院支援…奄美病院における経営管理体制の強化、および薬剤師人員確保 ・ 谷山病院、老健のグループ化…円滑な人材交流実施⇒管理会計上での統合 ・ 法人事業本部…看護部支援室と教育開発センターの業務連携強化  2. 地域医療機関、介護施設等との人材派遣を含めた連携 ・ 外部の病院、診療所等への人材派遣による職員教育への支援、および経営コンサル的分野での経営支援  3. 企画部門の充実 ・ DX推進へ向けた、企画部医療情報室の役割強化 ・ MICとの関係強化がはかれる体制の構築
	1. 職種毎キャリアラダーの運用 (1)キャリアラダーに基づく育成開始 (2)キャリアラダー評価と整合した人事考課評定実施 2. 管理者任用候補者選考制度 (1)実務4級職への管理者任用候補者選考制度の運営継続 (2)各部署の責任者を目指す上級管理者への選考制度導入の検討 3. 多様なリクルート活動の展開 (1)職員リファーマル制度(知人紹介)の開始 (2)外国人労働力の有効活用 4. 職員情報管理システムの充実化	1. キャリア開発推進委員会開催(6回実施) ⇒キャリアラダー目標達成のための年間教育研修計画立案完了 2021年度ラダー申請登録者受付を開始 2. 管理者任用候補者選考制度 <合格状況> 診療支援部・事務部 53名応募-46名合格(86.8%) 看護部 28名応募-26名合格(92.9%) 3. 医師リクルート ⇒医師紹介会社も活用したリクルート活動展開 ・ 高麗クリニック…採用1名(紹介会社) ・ 老健愛と結の街…採用1名 ・ 奄美病院…今年度採用できず ・ ミャンマーからの技能実習生(実習受入期間:2019.10～2022.9) ・ ミャンマー国内でクーター勃発⇒3名の技能実習生の状況注視とケア実施(徳之島病院) 4. 職員情報管理システムの充実化への対応は未実施	1. ・ キャリアラダーによる能力開発の開始にあたり、職種部門間で準備の進捗状況に差が見られる。 ・ キャリアラダーを人事考課にどのよう連携させるかが課題である。 2. 診療支援部、事務部で3年目となる「管理者任用候補者選考制度」実施であり、本制度の意義が職員へ認知されてきている。 3. ・ 離島精神科病院での医師充足および適切な医局運営について、引き続き支援していく必要性あり。 ・ 奄美病院における薬剤師リクルートについては、年俸制での求人が功を奏し、3名採用することができた。 ・ コロナ収束後を見据えた外国人材活用策を検討すべきである。 ・ 職員リファーマル制度の運用を開始、初年度の紹介実績は1名であり、制度見直しが必要である。	1. 職種毎キャリアラダーの運用 ・ ラダー認定申請者の登録 ・ 人事考課へのラダー認定(取組)状況の反映 2. 管理者任用候補者選考制度 ・ 部署長クラスの任用候補者選考制度の策定 3. 多様なリクルート活動の展開 ・ 職員リファーマル制度の活用促進策の検討 ・ 新型コロナ感染症収束後を見据えた外国人材活用策の検討 ・ 離島病院における精神保健指定医リクルートの継続 ・ 慈愛会ウェブサイトに求人情報欄のリニューアル 4. 職員情報管理システムの充実化 ・ 既存システムのカスタマイズは困難、新システムへの移行検討
	1. 働き方改革への対応 (1)同一労働同一賃金に対応した給与支給の見直し (2)労働時間乖離実態調査による適正な時間外管理の実施 (3)医師の働き方改革に関する取組強化  2. ドクターパフォーマンスレビューの展開 (1)目標設定・多面評価・振り返り面談等の一連の項目実施 (2)結果の年俸への反映実施 3. 給与見直し (1)一般職員(医師以外)について、実態・相場に即した給与額の見直し対応 4. 定年および定年後再雇用制度の見直し 5. パワハラ防止法施行への対応	1. ・ 「同一労働同一賃金」に対応した給与規程への改定実施 ・ 「労働時間乖離実態調査表」を奄美病院、徳之島病院、本部、谷山病院、老健に加え、いづろ今村病院、鹿中看においても活用を開始 ・ 医師で月45時間を超える超過勤務への手当支給(45時間分は年俸包括) 2. ・ 目標設定、多面評価、振り返り面談等の一連の項目実施 ・ 結果の年俸への反映実施開始 3. 一般職員給与について、職種ごとのベンチマークを開始 4. 定年および定年後再雇用制度は現状より変更に至らず 5. パワハラ防止規程の改定実施、職員への周知実施	1. ・ 2020.4より嘱託、パート職員へ正職員同等の手当支給を開始し、制度として定着した。 ・ 七波クリニック、今村総合病院についても「労働時間乖離実態調査表」の活用が必要、早急な導入検討が望まれる。 2. 一連の項目は実施したが、細部の運用面で必ずしも評価を反映した給与になっていないケースがあり、細かい部分の修正、再構築が必要である。 3. 一般職員給与見直しについて、コロナ禍での収益状況を踏まえた対応が必要である。 5. 各病院・施設に規程及び理事長メッセージを周知し、ハラスメント担当者を選任、職員への意識付けをはかることができた。	1. 働き方改革への対応 ・ 「同一労働同一賃金」対応は、今後の判例などの動向を注視 ・ 医師の時間外上限規制施行(2024年)へ向けての対応準備 ・ 勤怠システムタイムプロを使用していないクリニック等についての適正な労働時間乖離実態調査方法の策定 2. ドクターパフォーマンスレビューの展開 ・ 日本経営と再協議による細部の修正見直し ・ 特別手当、暫定給の明確化、業績連動した一時金支給の導入等 3. 給与の見直し ・ 医師以外の一般職員(嘱託・パート職員含む)給与の、実態・相場・現況に即した見直し実施 5. パワハラ防止法施行への対応 ・ 困難事案への危機管理室、顧問弁護士と連携した迅速な対応実施

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
総務人事 法人運営の健全化と経営基盤の強化	1. 適正人員管理手法の確立 (1)病院施設ごとの基準人員設定と人員管理規定の作成・運用による人員管理 (2)人件費管理手法の検討  2. 賞与支給方法改定への対応 (1)年3回賞与支給(夏・冬・期末)、病院・施設毎業績を反映した支給率の決定 (2)賞与計算期間と賞与額引当期間不一致の是正  3. 適切な管理会計の展開 (1)長借返済・自己資金設備投資後C/Fをベースとした管理会計手法の実施 (2)今後の設備投資に備えた病院・施設毎のC/Fの蓄積 (3)病院・施設毎B/Sにおける自己資本の見える化	1. 人員数による管理手法は未実施・事務長会議資料に各事業所の「職員1人1日あたりの付加価値額」をグラフ化 2. 年3回(期末、夏季、冬季)賞与支給へ変更 ・夏季、冬季賞与について、事業所業績(C/F)に応じた支給率に変更 ・2020冬季賞与より、事業所ごと支給率(1.3～2.0カ月)で支給開始 ・今年度での賞与計算期間と賞与額引当期間不一致の是正を決定 ・252百万円の賞与引当金の積み増し実施⇒一過性の人件費増  3. 事務長会議資料に、長借返済・自己資金設備投資後C/F残を記載 ・C/F残状況からの賞与支給可能額についても提示 ・2021年度予算より建築設備投資計画を織り込んだ予算計画作成 ・2020年度決算処理終了後、各病院・施設毎のB/S提示のうえ、事業所毎自己資本を提示予定	1. 「職員1人1日あたりの付加価値額」を「人件費率」と併せて提示～数値の意味合い、活用方法まで言及する必要性あり。 2. C/F経営への意識醸成には大幅に効果があった。 ・「今期は通年でC/F回復した場合には決算賞与にて還元する」とのアナウンスが職員のモチベーション維持に効果があったと認識している。 ・業績評価期間、対象者基準期間、資金引当期間の統一により賞与引当期間のズレの解消、および将来における人事考課を反映した賞与支給も可能となる。 3. C/F結果による賞与支給率決定を打ち出したことで、自己資金による設備投資抑制の動きが過度になることが懸念される。 ・次年度予算策定における建築設備投資計画は、初年度ということもあり、大まかな計画であった。各事業所がスムーズに策定できるよう、具体的な方法を示す必要がある。	1. 適正人員管理手法の確立 ・総務人事課による事業所ごとの基準人員策定 ・財務経理課による基準人員に合わせた予算計画-人件費管理実施 2. 賞与支給方法改定への対応 ・2022年冬季賞与以降～設備投資額を含む予算に対するC/F残で支給率決定 ⇒方針の周知と管理手法確立  3. 適切な管理会計の展開 ・確実な方針に基づいた管理会計手法の展開 ・的確で分かり易い管理帳票の策定 ・2021年度～収益事業を含む各グループのC/F状況の提示 ・各事業所および部署の統廃合に対応した管理会計手法の見直し
	適正な管理と有効活用	1. 資産保全の取り組み (1)建物保全計画、医療機器保守計画の策定と実施状況管理 (2)各種台帳に基づく機器管理の継続、動産・火災保険の確実な活用 (3)資産管理システムの運用 2. 計画的物品購入と効率化実施 (1)機器購入計画の策定と購入時における本部での価格交渉実施 3. 遊休資産活用 (1)不動産(駐車場・借家・遊休地等)の管理、利用法の検討 4. 検査データ統合への取組 (1)鹿児島市内3病院検査データ統合、検査試薬の統一化	1. オハナビル：外壁工事、空調工事、受電設備更新 ・長田町社宅擁壁工事 ・コーポ谷山改修工事 ・マイアミ駐車場移転体制整備、慈愛会ビル降灰除去 他 ・動産保険活用：9件、保険入金額3,612千円 ・資産管理システム申請承認済(今村総合病院「CEIA」本部でも使用対応) 2. 本部価格交渉：徳之島錠剤分包機、奄美電話交換機、谷山厨房機器、エコー等 3. 土地1件の売却(泉町)～競争入札により売却、売却益26,250千円 4. 検査試薬の統一化：8月終了(総合のみの検査機器以外) ・検査データの統合：2021年1月終了	1. 計画的更新、補修工事、突発的修理、不備への早急な対応ができた。 ・稟議受付時における本部台帳でのリース品の有無の確認を実施した。 ・資産管理システムは総合病院C/E部門のみで他事業所との連携はなし。 2. 本部交渉効果：▲16,787千円 ・検査統合による効果：▲71,902千円 4. 電子カルテ上でいづろ、総合病院検査結果を時系列で見ることが可能となった。 ・検査試薬の統一により購入量のスケールメリットで価格の減少を図ることができた。

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

### 1. 慈愛会薬剤部長の再配置

2020年4月より、空席となっていた慈愛会薬剤部長を配置した。これにより、薬剤部における人事面、業務管理面態勢の再構築がはかれることになる。

2020年度においては、鹿児島市内病院から奄美病院への薬剤師の人材派遣が円滑に行われ、奄美病院における薬剤業務運営を適切に進めることができた。また、奄美病院における薬剤師採用においても、年俸制での採用形態を打ち出したことで、地元在住の薬剤師3名の採用を実現できた。

### 2. コロナ禍における地域医療機関への支援

コロナ禍において、行政・地域医療機関から人的支援要請が相次いだ。改めて慈愛会の役割を認識させられた。今後において、医療の実務部門の支援のみならず、医療経営に関わるコンサルの支援も含めて地域医療機関との関わりを展開していきたい。

### 3. ドクターパフォーマンスレビューの展開

目標設定、多面評価、振り返り面談等の一連の項

目については実施したが、細部の運用面で必ずしも評価を反映した給与になっていないケースがあり、細かい部分の修正、再構築が必要である。日本経営と再協議による細部の修正見直しを行っていく。

### 4. 働き方改革への対応

#### (1) 有給休暇取得義務化への対応

昨年に引き続き、有給休暇取得義務化に伴う年間5日間の有給休暇取得状況について管理を継続実施した。

#### (2) 同一労働同一賃金への対応

同一労働同一賃金に対応した給与規程への改訂を実施し、嘱託・パート職員へ正職員同等の手当および慶弔見舞金等の支給を開始した。

#### (3) 医師の働き方改革

いづろ今村病院および今村総合病院において、医師の年俸に包括されていない45時間を超える超過勤務について、時間外実施状況の把握と手当支給を開始した。

今後、医師の時間外上限規制施行(2024年)へ向けての対応準備が急がれる。

## 5. 賞与支給方法の変更

賞与支給を、期末、夏季、冬季の年3回支給へ変更した。なお、夏季、冬季賞与は、事業所ごとの業績（キャッシュフロー残）に応じた支給率とすることを決定し、2020年冬季賞与より、事業所ごとの支給率（1.3～2.0カ月）で支給を開始した。

また、賞与計算期間と賞与額引当期間の不一致を是正することを決定し、2020年度の決算で一過性の人件費増となる252百万円の賞与引当金の積み増しを行った。これにより、2021年度からの賞与支給における業績評価期間、対象者基準期間、資金引当期間の統一がはかられることとなる。

## 技能・能力向上に向けた取り組み

### 1. 「キャリア開発推進者会議」におけるキャリアラダー策定に向けた取り組み

キャリアラダー目標達成のための年間教育研修計画を立案した。2021年度からは、ラダー認定申請者の登録を開始し本格的に運用を始める。なお、今後において、人事考課へラダー認定（取組）状況をどのように反映していくかを検討していく。

### 2. 診療支援・事務部門における「管理者任用候補者選考制度」の実施継続

2020年度における診療支援・事務部門の合格状況は、53名応募者に対して46名の合格者であった。診療支援部、事務部で3年目となる「管理者任用候補者選考制度」実施であり、本制度の意義が職員へ認知されてきている。

## 合同研修会

### 1. 新入職員研修会

#### (1) 入職式

開催日：2020年4月1日

- ・リモートによる理事長の式辞、新入職員は各配属病院・事業所にて参加
- ・例年入職式直後開催の「新入職員研修会」は実施せず

#### (2) 新入職員研修会

開催日：2021年2月3日、9日、16日

- ・新入職員を3組に分けてリモートで実施 69名参加

### <研修の目的>

- ①慈愛会職員として理念、基本方針、法人概要等の基礎知識を身につける
- ②慈愛会フィロソフィとは何かを知る
- ③社会人・医療人として必要なマナー・接遇について学ぶ
- ④慈愛会の人事制度（主に人事考課）について学ぶ
- ⑤新卒同期職員の親睦を図る

### 2. 中途入職者研修会

#### (1) 研修の目的

- ①慈愛会の理念を知り、受講者それぞれの職種・業務において何を実践すべきか考える。
- ②就業規則・各種規程を通じ、慈愛会職員として身に付けるべき就業上の知識・ルールについて学ぶ。
- ③慈愛会の組織・各施設の概要について理解する。
- ④基本的な接遇・ビジネスマナーについて学ぶ。
- ⑤メンタルヘルス（セルフケア）について学ぶ。
- ⑥「慈愛会フィロソフィ」について知る。
- ⑦「自身の現状と将来のビジョン」について考える。

#### (2) 実施概要

- ①対象者：医師以外の中途入職者（正職、嘱託職員）
- ②開催月：年6回実施（4月、6月、8月、10月、12月、2月）計152名参加  
※入職後、直後開催される研修会へ参加
- ③時間：1日研修

### 3. 総務担当者合同研修会

#### (1) 第1回 2020年11月18日開催

##### <主なテーマ>

- ・年末調整について
- ・2021年度の賞与支給基準の変更について
- ・病院企業年金基金からの慶弔金支給方法について
- ・有給休暇の取得状況について
- ・子の看護休暇、介護休暇の改正について
- ・職安手続きの電子化について

#### (2) 第2回 2021年3月8日開催

##### <主なテーマ>

- ・社会保険料額表の変更について
- ・社会保険各種手続き書式変更について
- ・36条協定の様式変更について
- ・2021年度年間休日予定について

業 績 一 覧

【受賞】

今村総合病院

1. 鈴木大輔, 有島尚亮:「2040年に向けての医療機関における生産性の向上への取り組み ～組織として生き残るために必要なこと～」第2回懸賞論文 日本医療経営実践賞 優秀賞. 一般社団法人日本医療経営実践協会, 2020年10月4日

# 部門別 事業報告(PDCA) 総括

## 医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～ 2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)	
慈愛会総合情報システム (J-TIS)	システム管理と構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム構築/統合の推進</li> <li>検査システム統合 (総合・いづろ・谷山)</li> <li>法人職員システム、教育開発センターシステムの構築に向けた検討</li> <li>離島の電子カルテシステムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査システム統合 谷山・いづろ・総合の検査システムを更新して統合。</li> <li>離島の電子カルテシステム構築 奄美病院・徳之島病院の医事システムを更新。 オーダーリングシステムを導入。 訪問看護ステーションイルカへ介護システム導入</li> <li>奄美病院院内画像参照環境構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査システムは、谷山病院・いづろ今村病院・今村総合病院で更新を行い、システムが統合された。検査結果を施設横断的に時系列で参照可能になった。</li> <li>奄美・徳之島に関して、オーダーリングを導入し運用を開始できた。また、医事システムの更新も完了した。訪問看護ステーションイルカに介護システム「寿」を導入し、法人内の介護システムは「寿」で統一されてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>奄美病院の小遣い銭管理システム導入と630統計導入を進める。</li> <li>徳之島病院の630統計導入を進める。</li> </ul>
	システム導入効果の検証と再定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>RPA導入効果の検証と効率的な運用の検討</li> <li>ToDoシステムの拡張</li> <li>障害に強いシステム構築の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理システムの導入 いづろ・総合の医療安全管理システムを内製システムからパッケージシステムへ移行。サーバはデータセンターで運用。</li> <li>ToDoシステムの拡張 画像レポート既読通知機能の追加。他6通知機能追加</li> <li>ウイルス対策ソフト更新 (SymantecからESETへ移行)</li> <li>Web会議システム (Zoom) の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理システムについて、いづろ今村病院では、院内開発されたシステムからパッケージのシステムへ移行され、安定的な稼働・保守体制を構築できた。</li> <li>ToDoシステムについて、稼働初年度13通知機能を作成。2020年度は、7通知機能が作成追加された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今村総合病院のインシデントアクシデントシステムをパッケージシステムへ移行する。</li> <li>各施設へオンライン資格確認システムを導入する。</li> <li>ハードウェア保守リスクの面から、慈愛会ビルに設置している勤怠管理サーバをデータセンターへ移設する。</li> </ul>
	データマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>DWH/MotionBoardを使用したデータマネジメントの推進</li> <li>DWH/MotionBoard利用推進のための組織づくり</li> <li>良質なデータ確保のためのデータ入力分析と改善</li> <li>連携強化に向けたデータ収集の拡大</li> <li>精神/介護等のDWHデータ構築のための準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DWHの使用用途の拡大。 総合病院データマネジメント室と連携し、DWH活用拡大 データニュースに掲載する入院数状況などのデータをDWHから自動集計する仕組みを構築。</li> <li>SOFAスコアデータ抽出のツールを作成。DWHから定期的にデータを抽出。</li> <li>DWHデータから平均在院日数を自動算出するツールを作成 向精神薬多剤投与データ抽出 (総合・奄美) 高齢者総合評価表のデータ抽出 (総合) 査定戻りデータの成型ツール作成</li> <li>奄美病院・徳之島病院のオーダーリング導入・医事システムを更新したことで、DWHデータとして活用が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DWHの利用について、総合病院データマネジメント室との連携により、活用範囲が拡大した。</li> <li>奄美や徳之島のデータもDWHに蓄積されていくため、各施設で利用しているデータ抽出ツールを他施設に流用することで、情報室の業務も効率化でき、施設間で同じ仕様でデータ抽出ができるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DWHデータの活用を意識した、データの入力制御を検討していく。</li> <li>データマネジメント室と連携して作成したデータ抽出ツールを他施設へも展開できるようにしていく。</li> <li>離島のICT環境について、リモート保守環境を整備する。</li> <li>科学的介護情報システム「LIFE」対応</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈愛会SE体制の構築</li> <li>定例会の実施、週報の運用による報連相、情報共有の徹底</li> <li>慈愛会SEとしての業務分析</li> <li>現場におけるITスキルの向上</li> <li>データ/ITのリテラシー向上に向けた仕組み作りと人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、法人全体のSEで、会議を開催し各施設の情報を共有</li> <li>週報による業務報告を行い、他施設の業務内容を把握。</li> <li>VHJ-IT部会参加 (Web開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期Grpで、SEの退職があった。</li> <li>精神・介護Grp、急性期Grp ともに奄美病院や徳之島病院へ訪問し、各施設のICT環境を実際に確認することができた。</li> <li>VHJ-IT部会参加 (Web開催) MIRAI'sユーザーフォーラム参加 (Web開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>奄美のネットワーク環境に関する情報収集を行い、ドキュメントを整備して、全SEが問い合わせ等に対応できるようにする。</li> <li>オンラインセミナーなどを活用し、情報収集を行う。</li> </ul>	

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

### 1. DWH（データウェアハウス）の活用

奄美病院と徳之島病院のオーダリングデータ・医事データをDWHに連携。

定期的なデータ抽出を自動化。

- ・記録・入退院データ、会議室等予約データ、在院数データ、平均在院日数、SOFAスコア、高齢者総合評価表

### 2. J-TIS基盤ハードウェアの増強

奄美病院・徳之島病院のシステム導入と、各施設（本部・いづろ今村病院・今村総合病院・谷山病院）のサーバ仮想化のため、MICデータセンターに構築しているJ-TIS基盤ハードウェアの増強を行った。（2020年9月）

- ・ホスト系Storage  
メモリ：256GB追加、ディスク：約40TB追加
- ・View系Storage  
ディスク：約20TB（View200台分）追加

### 3. 業務システム構築の推進

#### ○検査システムの更新

昨年度の谷山病院に続き、今村総合病院といづろ今村病院で検査システムを更新。

2020年11月 今村総合病院 検査システム更新。

2021年2月 いづろ今村病院 検査システム更新。

これにより検査システムが統合され、施設横断的に検査結果を時系列に表示することができるようになった。

#### ○医療安全管理システムの導入

いづろ今村病院で、これまで院内開発のインシデントアクシデントシステムを運用していたが、新たに医療安全管理システムを導入。サーバをデータセンターで運用し、障害に強い環境での運用を実現した。2021年4月稼働。

#### ○奄美・徳之島病院オーダリングシステムの導入

奄美病院と徳之島病院にオーダリングシステム「MegaOak MI・RA・Is/PX」を導入。

医事システムも「MegaOak IBARS II」に更新

し、慈愛会DWH（データウェアハウス）としてオーダ情報・医事情報のデータ活用が可能になった。

2020年10月 奄美病院

オーダリング

「MegaOak MI・RA・Is/PX」稼働。

医事システム

「MegaOak IBARS II」稼働。

2020年12月 訪問看護ステーションイルカ

介護システム「寿」稼働。

2021年4月 徳之島病院

オーダリング

「MegaOak MI・RA・Is/PX」稼働。

医事システム

「MegaOak IBARS II」稼働。

小遣い銭管理システム

「ちょう楽だ」稼働。

#### ○奄美病院 院内画像閲覧システム構築

奄美病院内で、フィルム運用していたX線・CTの画像をオーダリング端末で画像参照ができる環境を構築。オーダリングの稼働と同時に院内の各端末で画像が参照できるようになった。2020年10月稼働。

#### ○画像レポート既読管理

いづろ今村病院と今村総合病院で2020年9月から既読管理システム「SCOPE」の運用を開始。さらに2021年3月からいづろ今村病院のToDoシステムを利用して未読レポートがあることを通知する機能の運用を開始した。

#### ○平均在院日数自動計算システムの導入

平均在院日数を電子カルテのデータから自動で計算するシステムを作成。

今村総合病院といづろ今村病院で2020年12月から運用を開始。

#### ○Web会議システム（Zoom）の導入

TV会議システムVidyolに代わるオンライン会議ツールとしてZoomを導入。法人内の予約管理環境を構築して、2020年8月から運用を開始した。

部門別 事業報告(PDCA) 総括 業績一覽

教育開発センター

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～ 2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
特定行為研修指定研修機関の開設	<p>①看護師特定行為研修の充実 ・4月～7月の出講日を2回設定した課題レポート学習の支援 ・研修生の学習進捗・主催側への要望を把握した満足度向上(満足度調査：6月8月10月2月) ・離脱者・不合格者のない研修生支援</p> <p>②看護師特定行為研修修了者の活動支援 ・2020年度の研修の指導者としての活動を促し、指導補助者として登録。</p> <p>・研修修了後の各施設各部署での活動状況の把握と活動支援。</p> <p>・研修修了者の情報交換の場(フォローアップ研修実施)</p> <p>③2021年度の研修計画立案 ・追加区分の検討 ・救急のパッケージ研修取得に向けた検討 ・特定看護師輩出支援(各区分複数輩出・新区分取得)</p> <p>④看護師特定行為研修指導者研修受講推進(指導補助者・看護部長・副看護部長)</p>	<p>①看護師特定行為研修の充実 ・開講 4区分(創傷管理関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連・ろう孔管理関連・呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連) ・研修生14名(1名は前年度研修生復学者) ・今年度の研修生は全修了認定できたが、昨年度の復学者は体力知力面で継続不可能となったため、修了者は13名となった。</p> <p>②看護師特定行為研修修了者の活動支援 ・9月から前年度研修修了者を区分別科目の指導者として活用 ・研修修了者のフォローアップ研修は指導体制の変更により実施しなかった。</p> <p>③2021年度の研修計画立案 ・1区分と在宅慢性期領域パッケージ研修を追加申請し承認された ・標準コース5名 在宅慢性期領域パッケージコース1名 免除コース2名 ・呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) 関連は実習施設として協力施設を確保</p> <p>④看護師特定行為研修指導者研修受講推進 ・計画し申し込んだが不採用</p>	<p>①標準コース・免除コース共にコロナ禍の影響を受けて実習期間を延長しながら症例数の確保に努め、研修を修了できた。 コロナ禍の影響の中、演習講義の受講を自宅研修に切り替え研修を継続し、計画とおりの研修内容となるよう努めた。</p> <p>②9月から急速指導体制を変更したが、前年度の研修修了者の活用により研修生への指導の不備はなかった。むしろ、研修生と情報交換が密となり今後の指導のあり方の示唆を得た。 前年度の研修修了者の活躍する場となり、修了者の知識と実践の復習と確認の機会にもなり、指導者としての意識が向上した。</p> <p>③区分追加による指導体制を勘案し、可能な区分追加と領域別パッケージ研修の追加を計画し承認された。 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) 関連の気管カニューレの交換の実習として国立病院機構南九州病院を協力施設として確保できた。</p> <p>④コロナ禍により講習会が少なくなり、可能な講習会に申し込みが殺到したため受講できなかった。</p>	<p>①コロナ禍を考慮した実習期間の延長や工夫を引き続き行う。 リモート研修が可能な研修は出来るだけ取り入れる。</p> <p>②引き続き研修修了者の活用を計画に入れる。 慈愛会以外の研修修了者の活用及びフォローアップ研修を取り入れる。 鹿児島県内の指定研修機関との連携を行い、昨年実施できなかったシンポジウムを今村総合病院が担当として開催する。</p> <p>③次年度の取得区分の申請計画を5月迄に行う。 今村総合病院の特性である、透析管理関連と動脈血液ガス分析関連救急領域パッケージの追加を計画する。 次期センター長に引き継ぐ。</p> <p>④指導講習会の情報を早めに取り、受講を申し込む。 コロナ禍によるリモート講習会にも申し込む。</p>
教育開発センター	<p>【キャリア開発推進者会議事業】</p> <p>①能力開発プログラムの充実(ラダーに沿った教育の実施)</p> <p>②ラダー未開発部門のラダー構築支援(栄養士・調理師・介護福祉士・ナースエイド他)</p> <p>③ラダー評価制度の開始(評価規定作成5月、ラダー申請7月、中間評価11月、評価3月)</p> <p>④能力開発アンケート結果の分析からの進展</p> <p>⑤ミドルマネジメント研修(案)開催 ⇒既存の役職者研修の変革(2020.7開催予定)</p> <p>⑥目標管理研修開催 ⇒ミドルマネジメント対象8月9月10月11月(目標管理：SWOT分析BSCチャレンジプラン育成面接評価)</p> <p>⑦慈愛会学会(案)開催活動(2021.2開催予定)</p>	<p>【キャリア開発推進委員会活動】</p> <p>・12部門の能力開発プログラムが完成し冊子にした。 ・ラダー未開発の栄養士・調理師・ナースエイドの部門には情報発信した。 ・11部門は、能力開発プログラムに沿った、年間教育研修計画を立案した。 ・ラダー認定の運営体制は確立できた。 ・次年度のラダー毎の申請対象者の整理もできた。</p> <p>【ミドルマネジメント研修】</p> <p>・ミドルマネジメント研修は、9月12日(土)に基本勤務地のリモートによる研修とした。 8会場 受講者110名となった。 ・研修内容は、目標管理の学習と人材育成とし、SWOT/クロス分析・BSCを活用した目標管理を学んだ。3月に自部署の次年度のBSCを立案した。</p> <p>【慈愛会学会設立】</p> <p>・参事会で慈愛会学会規定の承認を受け、慈愛会学会が設立された。 ・第1回慈愛会学会学術集会の開催を、2021.7.10に決定した。 ・63演題登録あり(診療部7 看護部36 診療支援部14 事務部4 教員2) (いづろ今村病院17 今村総合病院14 谷山病院14 奄美病院2 徳之島病院4 愛と結の街7 看護学校2 オハナクリニック1 本部2)</p> <p>【管理者任用候補者選考における研修】</p> <p>・11月の3.5日間の研修開催 選考12月10日実施 ・研修受講者76名(看護部27名 診療支援部35名 事務部14名) ・2019年度受講者のフォローアップ研修は実施に至らなかった。</p>	<p>【キャリア開発推進委員会活動】</p> <p>・能力開発の概念化の整理とラダー毎のプログラムの完成に向けて、各部門が理解し納得して、活用できるようなプログラムを作成した。 ・ラダー認定の運営体制も確立し、3月にはラダー毎の対象者を確認し、4月の申請の準備ができた。部門毎に取り組み度の多少差はあったが、一定の能力開発プログラムとラダー認定制度との整合性の完成に至った。</p> <p>【ミドルマネジメント研修】</p> <p>・計画では鹿児島市内の研修を2回、離島2回と日程を分散する計画であったが、コロナ禍により集合研修を基本勤務地のリモート研修に切り替えた。 ・各病院施設の看護部の協力を得ながら目標管理について学習したことには具体的な事例もあり理解が深まり、3月のBSCの立案に繋がった。</p> <p>【慈愛会学会設立】</p> <p>・参事会でも必要な学会と承認され、慈愛会学会運営委員会を定期的に行なったことで、第1回慈愛会学会学術集会の開催に繋がった。 ・演題募集の周知を工夫したことで登録数の確保に繋がった。</p> <p>【管理者任用候補者選考における研修】</p> <p>・3部門の合同研修は2年目となり、昇任・昇格を目指す人材育成として認識されている。受講者の満足度も高く、研修の継続の希望も多かった。 ・研修受講者からのフォローアップ研修希望があったが、感染対策等を考慮する必要もあり、積極的な計画に至らなかった。</p>	<p>【キャリア開発推進委員会活動】</p> <p>・4月にラダー毎の認定申請者を把握し、3月の認定に向けて支援する。 ・ラダー未開発の部門の開発に取り組む。 ・目標管理の一環としてラダーのレベル取得や自己のキャリアアップを意識づける。</p> <p>【ミドルマネジメント研修】</p> <p>・リモートによる勤務地での研修は、病院施設の分析の情報の共有に繋がりが上がったため、研修スタイルは継続する。 ・慈愛会目標管理制度を意識しながら、共通のツールを活用した目標管理の実践に繋がる研修を計画する。 研修日：9月11日(土)</p> <p>【慈愛会学会学術集會】</p> <p>・第1回慈愛会学会学術集會を7月10日(土)開催 ・感染対策を充分考慮し、会場設営等を行う。 ・第1回を成功させるため、慈愛会学会運営委員会での検討と職員への周知を充分に行う。</p> <p>【管理者任用候補者選考における研修】</p> <p>・研修の内容等は継続する。 研修日11月16日17日24日25日に計画 ・リモート研修による情報交換の不十分さの課題を工夫しながら開催する。 ・受講者の満足度向上を継続する。</p>
事務部・診療支援部の能力開発構築支援	<p>【管理者任用候補者選考における研修】</p> <p>①看護部・診療支援部・事務部合同管理者任用候補者選考における研修開催。</p> <p>②2020年度受講生確保と研修前の動機付け充実(ラダーⅣの確保)</p> <p>③2019年度受講者のフォローアップ</p>	<p>【管理者任用候補者選考における研修】</p> <p>・11月の3.5日間の研修開催 選考12月10日実施 ・研修受講者76名(看護部27名 診療支援部35名 事務部14名) ・2019年度受講者のフォローアップ研修は実施に至らなかった。</p>	<p>【管理者任用候補者選考における研修】</p> <p>・3部門の合同研修は2年目となり、昇任・昇格を目指す人材育成として認識されている。受講者の満足度も高く、研修の継続の希望も多かった。 ・研修受講者からのフォローアップ研修希望があったが、感染対策等を考慮する必要もあり、積極的な計画に至らなかった。</p>	<p>【管理者任用候補者選考における研修】</p> <p>・研修の内容等は継続する。 研修日11月16日17日24日25日に計画 ・リモート研修による情報交換の不十分さの課題を工夫しながら開催する。 ・受講者の満足度向上を継続する。</p>

中長期計画	2020年度 事業計画 (Stage4)	実施 2020.4月～2021.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
教育開発センター 患者記録 イノベーション	①患者記録イノベーション検討会再開 (偶数月) ②メデイスの用語の統一とJK標準看護計画の構築	患者記録イノベーション検討会は今村総合病院の記録担当者で行った。継続的な検討会には至らなかったが、今村総合病院の患者記録の検討は委員会でも継続された。標準看護計画の見直しへと繋がっている。	・多職種協働の患者記録を目指したが、看護記録自体の課題解決と電子カルテシステムの関連もあり、進まなかった。看護部記録委員会では、課題を共有し、記録の効率化と簡素化に取り組んでいる。	・電子カルテシステムを利用しながら、看護記録として必要な記録を、看護計画に沿って重複せずに記載できるように各病院が取り組む必要がある。次年度は教育開発センターとしての支援計画は中止する。

## 組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2020年の教育開発センターは、主な事業として、「看護師特定行為研修の充実」と「診療部門を除く全ての部門の職員のキャリア開発」を継続し、新たな事業として、「全部門のミドルマネジメント研修」「慈愛会学会の発足」を追加し活動した。

看護師特定行為研修は、2年目の研修であり、研修内容が充実し指導者の活用も進んだ。2021年度の区分追加が承認され、受講者の確保もできた。キャリア開発支援においては、各部門の教育プログラムの構築とラダー認定制度の整理ができた。

新たな事業の、「全部門のミドルマネジメント研修」は、部署長の目標管理と人材育成の充実を目的にリモート研修にて開催した。慈愛会目標管理制度を導入し、先行している看護部の目標管理を参考に研修を進め、3月には、各部署のSWOT/クロス分析、BSCを展開できた。

「慈愛会学会発足」は、2021年7月10日の学術集会開催を目標に準備を進めた。学術集会のポスター募集、演題登録等順調に進めることが出来た。

右記に各事業実施状況をまとめた。

## 1. 看護師特定行為研修 (4区分) の充実と次年度以降の取得区分確保

### 1) 2020年度開講した研修内容

#### ①研修開催区分と行為 (4区分10行為)

区 分	行 為
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	創傷に対する陰圧閉鎖療法
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタン交換
	膀胱ろうカテーテル交換
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	非侵襲的陽圧換気の設定
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
	人工呼吸器からの離脱

受講生の医療機関名	受講者数		修了者
	標準コース	免除コース	
いづろ今村病院	1		1
今村総合病院	1	1	2
谷山病院		1	1
慈愛会本部看護支援室	1		1
垂水市立医療センター垂水中央病院	1		1
医療法人社団永和会 千年メディカルクリニック	1	1	2
国立病院機構南九州病院	1		1
美厚福祉株式会社 訪問看護ステーションさずな	1		1
いちき申木野市医師会立脳神経外科センター訪問看護ステーションさくら		1	1
医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院	2		2
医療法人徳洲会 徳洲会徳之島病院 (前年度研修生 復学)	1		0

- ②受講者14名（復学者1名：区分別実習から受講）  
及び修了者13名
- ③看護師特定行為研修管理委員会 2回開催  
(2020/9/28, 2021/3) 3月の管理委員会は書面決議
- ④看護師特定行為研修センター会議 4回開催  
(2020/9/10, 10/8, 2021/1/21, 3/10)
- ⑤看護師特定行為研修 開講式 2020/4/4
- ⑥看護師特定行為研修 修了式 2021/3/24

- 2) 2021年度研修応募者
  - ①標準コース6名 共通科目免除コース2名
  - ②2021年1月29日 研修生採用試験実施（小論文・面接試験）全員合格
  - ③受験合格者を研修生8名として採用
- 3) 2021年度開講区分 研修生：標準コース6名 免除コース2名

受講者	区分	行為
2	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法
3	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱
2	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 膀胱ろうカテーテルの交換
1	在宅・慢性期領域パッケージ	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 脱水症状に対する輸液による補正 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 気管カニューレの交換

4) 研修生の所属と選択コース

受講生の医療機関名	人数	
	標準コース	免除コース
今村総合病院	2	
国立病院機構南九州病院	1	1
医療法人徳洲会 鹿児島徳洲会病院	1	
社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院	1	
医療法人千寿会 ひなたクリニック	1	
医療法人社団永和会 千年メディカルクリニック		1

## 2. 職員のキャリア開発推進委員会活動

### 1) 会議開催内容

開催月日	討議内容	備考 活動内容	出席者
第1回 5月26日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 能力開発プログラムの完成について説明</li> <li>2. 能力開発プログラム及びラダー認定制度の職員の周知について</li> <li>3. 年間教育研修計画について</li> <li>4. 慈愛会学会発足について</li> <li>5. 能力開発プログラムの冊子作成</li> <li>6. 今後の会議のあり方について</li> <li>7. その他：今後の評価基準について</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラダーⅣの認定要件は、慈愛会学会学術集会を活用できる旨の説明</li> <li>・提出された能力開発プログラムの文字チェック、印刷調整</li> </ul>	31名
第2回 7月14日 (火)	<p>感染症拡大防止の為 紙面報告とした</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の能力開発プログラム完成について</li> <li>2. 慈愛会広報誌：達人8月号への投稿について</li> <li>3. 今後の活動：各部門の教育プログラムに沿った、教育研修の実施・計画を立てる</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の能力開発プログラム完成について参事会に報告</li> <li>・慈愛会学会規定に理事会設置案の決議報告</li> </ul>	紙面報告
第3回 9月8日 (火)	<p>感染症拡大防止の為 リモート会議</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 能力開発プログラムの周知状況について</li> <li>2. 年間教育研修計画について</li> <li>3. 慈愛会学会学術集会について</li> <li>4. リモート会議の提案</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新キャリア開発推進委員会フォルダにミドルマネジメント研修資料を格納</li> </ul>	25名
第4回 11月10日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育研修計画について</li> <li>2. 2021年度 ラダー申請表について</li> <li>3. 慈愛会学会学術集会について</li> <li>4. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラダー評価用の新人オリエンテーション冊子</li> <li>・リモート会議の会場・Zoom予約依頼</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者任用候補者選考研修 11月12、13、25、26日</li> <li>・選考日 12月15日</li> </ul>	28名
第5回 1月12日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2021年度年間教育研修計画について</li> <li>2. 2021年度ラダー申請表について</li> <li>3. 慈愛会学会学術集会について</li> <li>4. その他：2020年度ミドルマネジメント研修各部門のSWOT・クロス分析とBSC提出状況</li> </ol>		27名
第6回 3月9日 (火)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2021年度 年間教育研修計画について</li> <li>2. 2021年度 ラダー申請表について</li> <li>3. 慈愛会学会学術集会について</li> <li>4. その他</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慈愛会学会学術集会 係協力依頼</li> </ul>	26名

## 合同研修会

### 1. 管理者任用候補者選考における研修

#### 1) 研修開催日

2020年11月12日（木）8：30～17：30

11月13日（金）8：30～17：30

11月25日（水）8：30～17：30

11月26日（木）8：30～12：30

#### 2) 選考日

2020年12月10日（火）

筆記試験：看護部、診療支援部、事務部

個別面接、理事長面談：看護部

\*診療支援部、事務部は後日個別対応

#### 3) 研修受講者 76名

看護部：27名 診療支援部：35名 事務部：14名

#### 4) 選考受験者 77名（再受験者含む）合格者73名

#### 5) 選考結果

	受験者	合格者	合格率
看護部	28	26	92.8%
診療支援部	35	33	94.2%
事務部	14	14	100%
計	77	73	94.8%

### 2. ミドルマネジメント研修

#### 1) 目的 管理者としてのマネジメントとリーダーシップを図るための中間管理者の育成

#### 2) 研修日 2020年9月12日（土）8：30～17：30

#### 3) 受講対象者 117名 受講者110名

#### 4) 研修内容 目標管理についての学習（SWOT/クロス分析・BSCの作成）

#### 5) 会場

施設名	会場
今村総合病院（33名）	かごしまオハナビル3階中会議室12名、4階会議室2名、鹿中看第2校舎3階大教室19名
いづろ今村病院（15名）	いづろ今村病院 会議室
谷山病院 ステップ ひだまり しらゆりの郷（17名）	谷山病院 会議室
奄美病院 イルカ あらいぐま（13名）	奄美病院 会議室
徳之島病院（13名）	徳之島病院 会議室
愛と結の街 併設事業所（12名）	訪問看護ステーション2階会議室
法人事業本部（4名）	かごしまオハナビル4階 会議室
鹿児島中央看護専門学校（3名）	鹿中看第2校舎 3階大教室

## 技能・能力向上に向けた取り組み

### 1. 慈愛会学会発足

#### 1) 慈愛会学会規定作成

#### 2) 慈愛会学会運営委員会規定作成

#### 3) 慈愛会学会運営委員会 会議毎月開催

#### 4) 学術集会予定日 2021年7月10日（土）

#### 5) 開催場所 鹿児島県市町村自治会館 4階

#### 6) 演題登録数 63題

#### 病院施設別

・いづろ今村病院17題 ・今村総合病院14題

・谷山病院14題 ・奄美病院2題

・徳之島病院4題 ・愛と結の街7題

・看護学校2題 ・本部、クリニック3題

#### 部門別

・診療部7題 ・看護部36題 ・診療支援部14題

・事務部4題 ・専任教員2題

### 2. 慈愛会 リソースナースチーム (Jining) 会活動支援

2020年度のJining会のメンバーは、慈愛会の認定看護師と特定看護師、認定看護師教育課程を修了した者で構成されており、総勢25名である。

・認定看護師：緩和ケア2名、感染管理4名、糖尿病看護1名、がん化学療法看護1名、集中ケア1名、脳卒中リハビリテーション2名、救急看護2名、皮膚排泄ケア1名、精神科6名

・特定看護師：4名、特定認定看護師：2名（再掲）

・認定看護師教育課程修了者：1名（がん放射線療法看護）

以上のメンバーが4つのグループに分かれ活動を行った。コロナ禍で活動の制限があったため、計画を修正し、看護職員や地域の看護職員への貢献度を意識しながら継続した。

メンバーが25名となり、また特定看護師と認定看護師では役割の違いがあることから、特定看護師の実践活動を拡大することを目的として、特定看護師の会を別に発足させた方が良いという方向性を出した。

○リソースナースチーム (Jining) 会 グループ活動実績とまとめ

活動名称メンバー	活動実績	まとめ																																														
<p>PAT 研修</p> <p>稲森 (リーダー) 中窪・浜崎・平川・ 中村・切手</p>	<p>2019 年度の PAT 研修の講義を新たに動画撮影した YouTube 視聴</p> <p>① 2019 年度 いづろ今村病院での PAT 研修 講義タイトル：急変前のフィジカルアセスメント ～『あれ?なんか違う?』を看護にする～ 内容：急変前変化など 講師：浜崎彩脳卒中リハビリテーション看護認定看護師</p> <p>② 2019 年度 今村総合病院での PAT 研修 講義タイトル：睡眠中?それとも意識障害?どのように判断する? 内容：一次評価・迅速評価、意識障害の鑑別方法 講師：平川あゆみ救急看護認定看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTube①、②を視聴 (必ず1つは視聴する、2つ視聴してもよい)</li> <li>・視聴したYouTubeのタイトルにチェックをし、アンケートを記入する</li> </ul> <p>研修テーマ：患者の異常に気づくためのフィジカルアセスメント 対象者：ラダーⅢ申請者 研修日程：2021年1月13日(水)～2月5日(金)</p> <table border="1" data-bbox="352 851 965 1048"> <thead> <tr> <th></th> <th>ラダーⅢ申請者</th> <th>総視聴数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いづろ今村病院</td> <td>21</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>谷山病院</td> <td>24</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>今村総合病院</td> <td>107</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>奄美病院</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>161</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="352 1052 965 1350"> <thead> <tr> <th colspan="4">総視聴数</th> </tr> <tr> <th></th> <th>急変前のフィジカルアセスメント</th> <th>睡眠中?それとも意識障害?どのように判断する?</th> <th>総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いづろ今村病院</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>谷山病院</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>今村総合病院</td> <td>59</td> <td>18</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>奄美病院</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>88</td> <td>36</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table>		ラダーⅢ申請者	総視聴数	いづろ今村病院	21	26	谷山病院	24	17	今村総合病院	107	77	奄美病院	9	4	総数	161	124	総視聴数					急変前のフィジカルアセスメント	睡眠中?それとも意識障害?どのように判断する?	総数	いづろ今村病院	16	10	26	谷山病院	9	8	17	今村総合病院	59	18	77	奄美病院	4	0	4	総数	88	36	124	<p>今年度から PAT 研修は慈愛会看護部のリーダー教育の計画に組み込まれ、各施設の教育委員と協働し、運営してきた。そして今年度はコロナ禍という社会情勢で、新しい研修様式を PAT 研修グループメンバーが一丸となって模索した一年であった。協議を重ねた結果、2020 年度の PAT 研修は、2019 年度の PAT 研修の講義を新たに動画撮影し、YouTube 視聴での研修とした。</p> <p>初めての試みではあったが、アンケート結果より、新しい時代のニーズに応じた、YouTube 視聴での PAT 研修を無事に終えることはできた。また、後輩育成と臨床実践での意識の変容へと繋がる研修になった。研修後の行動変容として、「臨床での実践」「リーダーシップ」「後輩への指導」を評価するために、独自に評価項目表を作成したが、期日の関係上、評価を行うことができず、次年度の課題として持ち越すこととなった。</p> <p>様々な課題は残るが、Jining メンバーは更なる自己研鑽を積み重ね、より多くの看護師育成とともに、慈愛会の病院・施設・地域の看護の質向上を図るための活動を行う。</p>
	ラダーⅢ申請者	総視聴数																																														
いづろ今村病院	21	26																																														
谷山病院	24	17																																														
今村総合病院	107	77																																														
奄美病院	9	4																																														
総数	161	124																																														
総視聴数																																																
	急変前のフィジカルアセスメント	睡眠中?それとも意識障害?どのように判断する?	総数																																													
いづろ今村病院	16	10	26																																													
谷山病院	9	8	17																																													
今村総合病院	59	18	77																																													
奄美病院	4	0	4																																													
総数	88	36	124																																													
<p>地域医療従事者向け研修 (出前研修)</p> <p>小波津(リーダー) 吉森・内田・今村・ 中尾・長瀧</p>	<p>2020年6月 花倉病院 実施 「急変に気付くフィジカルアセスメント」</p> <p>2020年8月 花倉病院 キャンセル 「スキンケア、医療関連機器圧迫創傷の予防」</p> <p>2020年12月 ひまわり病院 実施 「手指衛生遵守率向上」</p> <p>2021年1月 ひまわり病院 キャンセル 「耐性菌対策」</p> <p>2021年2月 次年度の研修方法の検討 (COVID-19により病院を訪問し講義することが困難であるため、オンラインでの研修を検討し、各病院へ案内文を発送)。 38医療機関へ案内送付。 講演可能なテーマは44テーマ。</p>	<p>コロナ禍の影響もあり、本年度研修の申し込み自体が例年より少なかった。申し込みがあっても、社会情勢などによりキャンセルとなることもあった。</p> <p>DVDを作成し依頼があった病院に送付する等の対応をとった。</p> <p>来年度も COVID-19 の終息には時間がかかると思われ、医療機関等の訪問は難しいことが予想される。その点を考慮し、オンラインでの研修 (Zoom など) を用いれば十分対応可能かと判断し、来年度の案内文を作成している段階である。</p> <p>COVID-19 の終息状況や社会情勢などにより、施設訪問が可能となった場合には、昨年度同様に病院のラウンドなどを再開することを検討する必要がある。</p>																																														

活動名称メンバー	活動実績	まとめ
<p>広報</p> <p>杉田（リーダー） 加藤・小濱・前田・ 尾堂・平江</p>	<p>1. フェイスブック投稿7件 6月：谷山病院 加藤Ns. 7月：今村総合病院 小濱Ns. 8月：奄美病院 平江Ns. 9月：いづろ今村病院 中窪Ns. 10月：リーダー会 12月：今村総合病院 感染研修 2月：谷山病院 新人研修</p> <p>2. リソースナースパンフレット作成 認定看護師・特定看護師の説明や法人内の各医療機関でのリソースナースの紹介、特定行為研修の説明について記事を収集し2020年版のパンフレットを作成</p>	<p>コロナ禍により法人内の各医療機関において実施する研修は少なかったため、研修内容の写真や集合写真の撮影は困難であったが、グループLINEによるチーム内の連携により協力して活動を行う事ができ、過去の写真を活用することでリソースナースの広報誌も作成することができた。</p> <p>しかし、リソースナースの中で記事依頼や写真撮影の拒否、不満を述べる等、非協力的なケースが多く広報メンバーも困難さを感じざるを得なかった。Jining および広報の目的や必要性の浸透がリソースナースのなかで十分できていないと考え来年度は、リソースナースの意識改革が必要と感じる。</p>
<p>特定看護師 クリニカルリーダー</p> <p>谷村（リーダー） 米澤・福留・西森・ 郡田</p>	<p>5月～8月 今村総合病院特定行為研修センター指導者 特定看護師クリニカルリーダー作成開始</p> <p>9月～2月 特定行為研修センター区分別科目指導</p>	<p>感染の問題もありLINEなどの双方向媒体を活用し意思疎通を図りながらクリニカルリーダー作成に向けて問題を抽出し、抽出した課題を元にリーダーの骨子作成した。</p> <p>次年度からはJiningとしてではなく特定看護師委員会（仮）として活動することが予定され業務規約なども作成が必要である。</p>

## 業 績 一 覧

### 【学会発表】

1. 中重敬子：人材育成とチームビルディングの組織づくり。第22回日本医療マネジメント学会学術集会，2020年10月6-7日，京都

### 【研究会・講演会】

1. 中重敬子：認定看護管理者セカンドレベル教育 経営資源と管理の実際（適切な療養環境の整備）。鹿児島県看護協会，2020年10月26日，鹿児島

### 【受賞】

1. 中重敬子：看護業務功労 鹿児島県知事表彰。鹿児島県，2020年5月20日

### 【マスメディア】

1. 中重敬子：人材育成とチームビルディングの組織づくり。定期刊行誌「医事業務」2021.1号 投稿

# 2020年度 新たな取り組み

## 慈愛会学会立ち上げ

慈愛会学会運営委員会 委員長 中重 敬子

### 【慈愛会学会の必要性と意義】

当法人は、2020年に創設86年を迎え、1,575床\*を有す医療・福祉の組織であり、県内有数の医療機関としての機能を果たしてきている組織となりました。職員は2,400名を超え、各種専門職が慈愛会の理念を大切にしながら運営しており、多くの業務改善や研究的取り組みを積み重ねてきました。（\*病床数：2021年4月現在1,589床）

しかし、それらを承認したり公表したりする場がなく、病院・施設毎、しかも部門毎の発表会や報告会に留まっていました。

今回、多職種が専門性を高め相互の学習の場と機会を作り、多職種協働の文化の醸成と医療の質向上を図ることを目的として慈愛会学会を立ち上げました。

この目的を果たすべく学会の活動は下記のとおりです。

#### 1. 慈愛会学会理事会発足

慈愛会学会理事会は、慈愛会理事長・病院施設長・運営委員会委員が委員となり、学会の運営の決定機関としました。

#### 2. 慈愛会学会運営委員会発足

委員長 中重敬子教育開発センター長

委員 企画部長（黒野明日嗣 いづろ今村病院院長 ⇒ 今村英仁理事長）、  
宇都宮 宇 今村総合病院臨床研究センター長、内田良慶企画部経営企画室長、  
池田貴美子教育開発センター長補佐

書記 米丸直美教育開発センター事務員

毎月会議を開催し学会の運営を検討しました。会議の内容は下記のとおりです。

開催月日	討議内容	備考 活動内容	出席者
第1回 4月22日 (水)	1. 慈愛会学会規定の確認 2. 理事会発足の必要性の確認 3. 学術集会開催の時期の検討（2021.7） 4. 学術集会会場候補から会場決定 5. 学術集会開催までのスケジュール確認		6名
第2回 5月20日 (水)	1. 慈愛会学会（理事会設置）規定案の確認 2. 慈愛会学会学術集会 大会長の検討 3. 学会雑誌のタイトル名の検討 4. 学術集会抄録集の決定とイメージ 5. 学術集会開催までのスケジュールについて		6名

開催月日	討議内容	備考 活動内容	出席者
第3回 6月24日 (水)	1. 参事会提案事項確認 2. 学会の共通メール設置確認 3. 共有フォルダの設置 4. 学術集会開催における予算 5. 学会雑誌に業者の広告掲載をどうするか 6. 広告掲載の手続き方法	参事会で理事会発足の承認 第1回大会長の決定  慈愛会学会共通メール設置	5名
第4回 7月22日 (水)	1. 学術集会・学会雑誌の経費について 2. 慈愛会学会第1回理事会開催の方法及びレジュメについて 3. 演題登録基準について 4. 投稿規定・査読規定について揭示、検討、決定	第1回慈愛会学会理事会 書面決議 学術集会テーマ決定	6名
第5回 8月19日 (水)	1. 第1回理事会 書面会議 決議について 2. 慈愛会学会学術集会 開催日決定 3. 今後のスケジュールについて 4. 学術集会の大会長講演・特別講演・教育講演・ランチョンセミナーについて	学会誌の名称：かごしま慈愛会学会 ジャーナルに決定	6名
第6回 9月30日 (水)	1. 学術集会プログラムについて 2. ランチョンセミナーについて 3. 学術集会ポスターについて 4. 学術集会のあり様について 5. 抄録の内容について 6. その他 座長について		6名
第7回 10月28日 (水)	1. 学術集会プログラムについて変更部分 2. 広報の方法について 3. 演題登録について 4. その他 学術集会のテーマ		6名
第8回 11月25日 (水)	1. 共有フォルダの変更と活用について 2. 鹿児島県市町村自治会館の会場の把握報告 3. ポスターの状況と決定について 4. 学術集会プログラムについて(修正案) 5. 演題登録について 6. 学術集会 テーマについて	慈愛会学会学術集会のポスター決定 (20作品の応募) 演題募集期間 12月1日～2月28日	6名
第9回 12月23日 (水)	1. 会場下見項目確認について 2. 会場予約の確認について 3. レイアウト・設営について 4. ウェブサイトの広報内容について 5. その他 ①診療部門の募集について ②学術集会開催時の協力員の要請について ③離島の発表者と参加者について ④参加申し込みについて	・慈愛会ウェブサイトのお知らせ欄・ Facebook ページに慈愛会学会学術集 会開催の告知	5名
第10回 1月27日 (水)	1. 会場下見報告 2. レイアウト・設営について 3. 抄録確認項目について 4. 口演・ポスターの発表評価について 5. 役割(係の担当者)について 6. 発表者の勤務取り扱いについて 7. その他 今後のスケジュール確認	・1月21日(木) 学術集会開催会場 鹿児島県市町村自治会館下見	5名
第11回 2月17日 (水)	1. 演題登録状況について 2. 抄録確認項目について 3. 審査員の選出と優秀賞の決定について 4. 発表データ・ポスターの提出方法について 5. 発表者の勤務取り扱いについて 6. その他・今後のスケジュール確認		6名

開催月日	討議内容	備考 活動内容	出席者
第12回 3月17日 (水)	1. 利益相反自己申告書について 2. 演題登録状況について 3. 抄録原稿の確認について 4. タイムスケジュール (案) 5. 発表データ・ポスターの提出方法について 6. 審査員の選出について 7. 会場と予約とキャンセルについて 8. 今後のスケジュール		6名

### 3. 第1回慈愛会学会学術集会開催予定

学術集会のテーマ 「逆境に強い体力のある組織づくり」

- ・第1回大会長 今村英仁理事長
- ・日時 2021年7月10日(土) 9時～16時20分
- ・会場 鹿児島県市町村自治会館4階 メイン会場：ホール  
(口演：ホール 示説：403号室)
- ・演題登録数 63題 (口演：24題 示説：39題)

#### 内訳 部門別

診療部：7 看護部：36 診療支援部：14 事務部：4 教員：2

#### 病院施設別

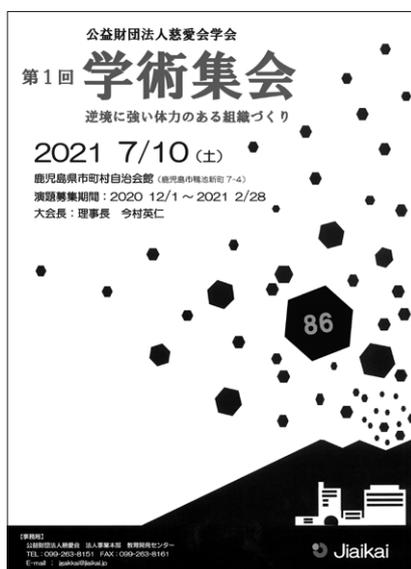
いづろ今村病院：17 今村総合病院：14 谷山病院：14 奄美病院：2  
徳之島病院：4 愛と結の街：7 鹿児島中央看護専門学校：2  
法人事業本部：2 クリニック：1

#### カテゴリー別

医療・福祉の質：30 地域医療：3 医療安全：4 医療経済：3  
人材育成：7 働き方改革：6 その他：10

### 4. かがしま慈愛会学会ジャーナル発行 (2021年内発行)

### 5. 慈愛会学会第1回学術集会のポスター



最優秀作品 (横井淳二さんの作品)



佳作 (有木攻さんの作品)

# 一年のあゆみ

## ◎慈愛会の新型コロナ対応

陽性患者の入院受け入れ、感染拡大防止策、鹿児島県内で続発したクラスターへの対応など、慈愛会各施設による主な取り組みを月別施設別に集約します。

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設の COVID-19 対応状況
～2020年 3月	鹿児島県で 初めて 感染者確認 (3/26)	<p>【今村総合病院】 感染者受け入れシミュレーション実施</p> <p>【愛と結の街】 職員以外の入館を禁止</p> <p>【各病院施設】 面会制限／禁止、院内行事や会議等の延期・中止</p>
2020年 4月	緊急事態宣言 (4/16-5/14)	<p>【今村総合病院】 コロナ専用病棟開設：旧ICUに7床 新型コロナ対策とBCP作成 臨時透析の受け入れ休止</p> <p>【谷山病院】 鹿児島県よりコロナ陽性の精神障がい者入院受け入れの要請、受諾：結核病床に5床 感染者受け入れシミュレーション実施 シミュレーション後の意見交換を踏まえ受け入れマニュアル作成</p> <p>【いづろ今村病院】 健診・ドックでの肺機能検査および胃部・大腸内視鏡検査の一時休止（5月再開） BCP作成、PPE・総合外来シミュレーション実施 外来診療で電話等再診開始</p> <p>【奄美病院】 ウェブ活用の診察を一部実施</p> <p>【徳之島病院】 感染疑いの患者の救急搬送が必要になった場合に備え、搬送ルートを消防署と打ち合わせ・確認</p> <p>【愛と結の街】 各事業所単位で感染者対応のシミュレーション実施</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 鹿児島県の要請に基づき休校措置（4/22-5/6） 休校期間中の取り組み（Microsoft teams 利用による体調管理、オンライン授業／ホームルーム／個人面接実施、ナーシングチャンネルによる補助講義） iPad、デジタル教科書導入（18期生）、電子黒板全教室導入</p> <p>【高麗町クリニック】 訪問リハ利用者に対する訪問診療の一時休止（2021.3月迄）</p> <p>【法人事業本部】 第71期入職式 初のオンライン開催 法人感染管理担当メーリングリスト作成</p> <p>【各病院施設】 受付ほか各所に飛沫防止用のビニールカーテン・アクリル板等を順次設置</p>
5月		<p>【谷山病院】 コロナ専用病棟の業務フロー、ゾーニングなど最終確認</p> <p>【奄美病院】 休床病棟を感染病棟としたマニュアル作成。シミュレーション実施</p> <p>【愛と結の街】 感染拡大防止のため職員更衣室を部署毎に再編</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 臨地実習から学内実習への切り替え 2年課程単位認定試験の中止</p>



今村総合病院での感染者受け入れシミュレーション



谷山病院での感染者受け入れシミュレーション



慈愛会5病院と法人事業本部をオンラインで結んで開催した第71期合同入職式。奄美病院会場の様子



鹿児島中央看護専門学校でオンライン授業がスタート。講義を配信中の今村校長

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設の COVID-19 対応状況
6月		<p>【愛と結の街】 ウェブ面会受付開始</p> <p>【いづろ今村病院】 面会禁止を一部解除、面会制限（許可ある家族のみ可）に変更</p>
7月	<p>鹿児島市で100人超のクラスター発生</p> <p>与論島でクラスター発生</p> <p>県内各地でクラスター続発</p>	<p>【今村総合病院、谷山病院】 感染者入院受け入れ始まる</p> <p>【今村総合病院】 吉森みゆき感染管理認定看護師を与論島クラスター対応支援に派遣（7/30 - 8/4）</p> <p>【愛と結の街】 訪看愛の街管理者末永真由美看護師を与論島クラスター対応支援に派遣（7/28 - 8/10）</p> <p>【徳之島病院】 中尾明美 感染管理認定看護師を谷山病院へ派遣（7/7 - 7/29）</p> <p>【いづろ今村病院】 健診・ドックでの肺機能検査および胃部・大腸内視鏡検査の一時休止（検査数の制限実施へ） 面会禁止</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 オープンキャンパスをオンライン・会場参加併用で初のハイブリッド開催 民泊体験を2021年度へ延期 放送大学1学期単位認定試験自宅受験 2年課程実習受け入れ中止の為学内実習へ切り替え</p>
8月	<p>鹿児島県における感染拡大の警戒基準ステージⅠ（ステージⅣ新設） （8/25）</p>	<p>【今村総合病院】 吉森看護師を指宿市のクラスター発生医療機関に派遣（8/15 - 8/25のうち8日間）</p> <p>【谷山病院】 今村健次 精神科認定看護師をクラスター発生の指宿市の医療機関へ派遣（8/26 - 8/28）</p> <p>【愛と結の街】 ショートステイ受け入れ基準の見直し</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 県看護協会施設代表者会議コロナ禍の現状発表～看護学校の立場から～</p> <p>【高麗町クリニック】 在宅連携カンファレンス木四会（機能強化型加算）のオンライン開催スタート</p> <p>【法人事業本部】 ウェブ会議システム Zoom 導入 / 予約管理環境整備・運用開始</p>
9月	<p>警戒基準を初判断：ステージⅡ（9/9）</p>	<p>【今村総合病院】 術前患者のPCR検査開始</p> <p>【いづろ今村病院】 毎年秋開催の健康まつり 中止を決定</p> <p>【愛と結の街】 ウェブ面会受付中止</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 2年課程オンライン授業導入</p>
10月		<p>【今村総合病院】 鹿児島県より「重点医療機関」に指定される 吉森看護師を鹿児島市のクラスター発生高齢者施設に派遣（10/31）</p> <p>【いづろ今村病院】 オンライン面会受付開始 帰国者・接触者外来開設</p> <p>【愛と結の街】 窓ごし面会受付開始（午後：各階1日1組）</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 国体ボランティア参加延期（2023年へ） 感染対策の為 戴灯式会場変更、市民第2ホールへ</p>



愛と結の街でオンライン面会の取り組み開始



鹿児島中央看護専門学校オープンキャンパス。参加者の質問に、在校生が自宅からリモートで回答



自衛隊機による感染者の搬送を見送る吉森看護師（与論空港）



与論島の高齢者施設で入浴サービス再開に向けた感染防止策を指導する吉森看護師



「発熱や咳・鼻水がある方は院内に入らずに電話を」との表示に見入る来院者（徳之島病院）

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設の COVID-19 対応状況
11月		<p>【今村総合病院】 発熱外来開設 吉森看護師をクラスター発生の日置市の医療機関に派遣 (11/4)</p> <p>【谷山病院】 鹿児島県より「重点医療機関」に指定される</p> <p>【いづろ今村病院】 発熱外来開設</p>
12月	鹿児島県内の感染者数累計1,000人突破 (12/30)	<p>【今村総合病院】 予防活動として吉森看護師を20事業所に派遣 (12/2 - 12/23のうち11日間)</p> <p>【徳之島病院】 感染者受け入れのシミュレーション実施・受け入れ病棟にてゾーニングの確認</p> <p>【愛と結の街】 通所系事業所の年末年始利用制限</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 2年課程実習受け入れ中止の為 学内実習へ切り替え</p>
2021年1月	警戒基準をステージⅢに引き上げ (1/22) 感染拡大警報 (1/22-2/7)	<p>【今村総合病院】 吉森看護師をクラスター対応支援に派遣 ①始良市の医療機関 (1/2) ②垂水市の高齢者施設、医療機関 (1/20 - 2/10のうち10日間)</p> <p>【谷山病院】 加藤和弘 精神科認定看護師をクラスター発生の垂水市の高齢者施設へ派遣 (1/25 - 1/27)</p> <p>【法人事業本部】 今村健次 精神科認定看護師をメンタルケア等を目的に派遣 ①肝付町の高齢者施設 (1/18 - 1/19) ②県出先機関 (1/20、2/2)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 2年課程オンライン授業再開 放送大学2学期単位認定試験自宅受験</p>
2月	警戒基準をステージⅡに引き下げ (2/15)	<p>【今村総合病院】 吉森看護師をクラスター対応支援のため鹿児島市の医療機関に派遣 (2/13) 基本型接種施設に指定 (鹿児島市内で3病院が指定)、ワクチン保管用冷凍庫 (ディープフリーザー) 設置</p> <p>【谷山病院】 加藤看護師をクラスター発生の鹿児島市の医療機関へ派遣 (2/17 - 2/18)</p> <p>【愛と結の街】 濱田郁代 ケアマネジャー兼介護福祉士をクラスター発生に伴う介護職員充足のため垂水市の高齢者施設に派遣 (2/3 - 2/9)</p> <p>【奄美病院】 院内における陽性者、濃厚接触者確認時のシミュレーション実施</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 第110回看護師国家試験受験地分散のため熊本大学にて受験</p>
3月		<p>【今村総合病院】 感染症内科を標榜開始 基本型接種施設として医療従事者向けワクチン接種開始</p> <p>【谷山病院、奄美病院、徳之島病院】 連携型接種施設として医療従事者向けワクチン接種開始</p>



飛沫防止のビニールカーテンが張り巡らされた愛と結の街のスタッフステーション



いづろ今村病院正面入り口で来院者の体温チェックを継続中



今村総合病院に配分された最初の新型コロナウイルスワクチン



今村総合病院での職員向け接種会場 初日の様子

## ◎鹿児島県の要請による人材派遣実績

### 1. 今村総合病院 看護師長 吉森みゆき（感染管理認定看護師）

#### 【鹿児島県「新型コロナウイルス感染症対策本部」委員】

「感染症チーム」「介護・福祉施設班」「医師会運営の相談窓口チーム」 3チームへの就任

#### 【派遣実績と活動概要】

#### ①大島郡与論町クラスター対応支援 2020/7/30-8/4（6日間）

- ・医療施設におけるグレーゾーンの患者と濃厚接触者の病室の再検討
- ・奄美大島への患者搬送（5名の陽性者対応）
- ・高齢者施設のラウンドと感染対策の相談（2カ所）、高齢者施設訪問指導（入浴に関する対策の助言等）
- ・台風シーズンに向けた避難所3カ所のゾーニング（毎回約300名使用）  
⇒平常時と段階的ゾーニング提案：濃厚接触者（約150名）を含むため
- ・家庭での消毒方法のパンフレットについて保健センター職員と協議検討
- ・「感染者の退院・退院後の支援について」ミニレクチャー2回実施
- ・筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者宅訪問
- ・災害派遣医療チーム（DMAT）、徳之島保健所、鹿児島大学病院感染制御部とのオンラインミーティング参加
- ・商工会の方々と会議（飲食店の今後等）

#### ②指宿市の医療機関でのクラスター対応支援 2020/8/15-8/25（うち8日間）

- ・院内全体のゾーニング作業、COVID-19病棟の空き病室のベッドのクリーニングと別棟への移動の指示
- ・感染対策全般の指導、適切な人員配置およびPCR検査のタイミングなどの検討
- ・院内対策本部のミーティング参加及び助言、物品の確保と在庫チェック
- ・新型コロナウイルス感染症対策マニュアル作成と配布
- ・国立感染症研究所クラスター班との協働  
⇒PCR陽性者追跡のための聞き取り調査と患者、職員の濃厚接触者の洗い出し
- ・鹿児島県医師会相談窓口メンバーへWebでの情報共有とラウンド報告
- ・鹿児島県看護協会との連携（看護師配置とメンタル支援依頼に関する事項）

#### ③鹿児島市の高齢者施設でのクラスター対応支援 2020/10/31

- ・施設内における感染管理及びゾーニング等の指導・助言  
⇒感染拡大の要因分析、ゾーニング、個人防護具着脱指導、リーフレットとマニュアル提供等

#### ④日置市の医療機関でのクラスター対応支援 2020/11/4

- ・管轄の伊集院保健所と打ち合わせ
- ・院内の感染管理及びゾーニング等の指導・助言  
⇒感染状況の確認と要因分析、感染対策指導、マニュアル提供等

#### ⑤予防活動：グループホーム9施設・医療機関11施設への派遣 2020/12/2-12/23（うち11日間）

- ・施設の感染予防対策及びゾーニング等の指導、助言

#### ⑥始良市の医療機関でのクラスター対応支援 2021/1/2

- ・ゾーニングと感染対策への指導、助言

#### ⑦垂水市の高齢者施設・医療機関でのクラスター対応支援 2021/1/20-1/25、1/29、2/2-2/3、2/7、2/10

- ・ゾーニング、個人防護具着脱指導とチェック、患者搬送支援、職員の勤務体制検討、マニュアル提供、関係者会議への出席、感染者受け入れ体制構築支援、再発防止支援

#### ⑧鹿児島市の医療機関でのクラスター対応支援 2021/2/13

- ・発生病棟のゾーニング変更と個人防護具着脱指導、助言

⑨現地支援：グループホーム2施設・デイサービス1施設 2021/3/23

- ・施設の感染予防対策の状況確認及び助言、感染対策を講じる上での取り組みについての相談対応

【講演】

- ・認知症およびグループホーム対象意見交換会（Web） 2020/7/17
- ・新型コロナウイルス感染症（拡大）防止に係る研修（社会福祉協議会主催）「ゾーニングの基礎」について 2020/9/25
- ・潜在看護師向けスキルギャップ研修（鹿児島県看護協会依頼） 2020/10/5
- ・医療関連感染対策研修会（鹿児島県医師会依頼） 2020/10/28
- ・新型コロナウイルス感染症について（鹿児島市小規模多機能ホーム連絡会依頼） 2020/10/31
- ・鹿児島県IC（インフェクションコントロール）ネットワーク学術集会クロズドカンファレンスにてクラスター支援報告（鹿児島県ICネットワークより依頼） 2020/10/31
- ・新型コロナウイルス感染症について（鹿児島県内医療機関依頼） 2020/12/18
- ・看看連携「看護師で語ろう！つながろう！新型コロナ感染対策」シンポジスト（鹿児島県看護協会鹿児島地区主催） 2021/1/30
- ・令和2年度鹿児島県の看護と政策を考える意見交換会（鹿児島県看護連盟主催）「医療現場における新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の課題」講師 2021/2/20
- ・日本認知症ケア学会シンポジスト「新型コロナウイルス感染症の感染対策支援～介護事業所支援の現状と予防に向けて」講演（Web） 2021/2（6日間放映）
- ・個人防護具着脱講習会講師（鹿児島市保健所保健予防課主催、対象者：医療機関従事者約30人） 2021/3/1
- ・鹿児島県看護協会管理者研修講師（Web）「新型コロナウイルス感染症への対応 看護管理者がおこなうこと」 2021/3/5

2. 笹貫訪問看護ステーション愛の街 管理者 末永真由美（認定看護管理者）

【派遣実績と活動概要】

①大島郡与論町クラスター対応支援 2020/7/28-8/10（14日間）

- ・鹿児島県健康危機管理支援チーム（C-HEAT：医師・保健師らで構成）と活動
- ・現地の看護・介護職員の充足状況の確認と報告
- ・高齢者施設、障害者支援施設、病院、クリニックの現状と課題分析、各施設からの相談対応
- ・高齢者施設の早期再開にむけた支援（再開の方法、感染対策など）
- ・在宅の難病患者、障害者、高齢者の訪問と支援
- ・メンタルケア

3. 愛と結の街 療養棟ケアマネジャー兼介護職 濱田郁代（介護福祉士）

【派遣実績と活動概要】

①垂水市の高齢者施設でのクラスター対応支援 2021/2/3-2/9（7日間）

- ・クラスター発生に伴う介護職員充足を目的とした派遣（グリーンゾーンでの介護業務支援）

4. 法人事業本部 看護部支援室長補佐 今村健次（精神科認定看護師）

【派遣実績と活動概要】

①指宿市の医療機関 2020/8/26-8/28（3日間）

- ・職員のメンタルケア（面接）、ストレスセルフチェック実施とストレス対処方法（セルフケアとラインケア）
- ・ストレス予防対策（PFA）

②肝属郡肝付町の高齢者施設 2021/1/18-1/19（2日間）

- ・職員のメンタルケア（面接）、ストレスセルフチェック実施とストレス対処方法（セルフケアとラインケア）
- ・ストレス対策（PFA）
- ・継続的支援対策の検討と共有（大隅地域振興局地域保健福祉課担当者）

③鹿児島県南薩地域振興局（加世田地区・指宿地区） 2021/1/20、2/2

・「心の健康教室」 職場などでの陽性者確認時の職員のメンタルケアについて講話

**5. 谷山病院 看護師長 加藤和広（精神科認定看護師）**

**【派遣実績と活動概要】**

①垂水市の医療機関、高齢者施設 2021/1/25-1/27（3日間）

・職員のメンタルケア（面接）、ストレスセルフチェック実施とストレス対処方法（セルフケアとラインケア）

②鹿児島市の医療機関 2021/2/17-2/18（2日間）

・職員のメンタルケア（面接）、ストレスセルフチェック実施とストレス対処方法（セルフケアとラインケア）



## 編集後記

慈愛会年報作成委員会 副委員長  
公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長兼臨床研究センター長  
宇都宮 與

今年度は世界中が新型コロナウイルス感染で苦しめられ、日本中で自粛が余儀なくされました。このような状況の中でも慈愛会は、それぞれの施設において粛々と役割を果たしてまいりました。法人年報は、「慈愛会は一つ」を目指し日々活動している慈愛会全体の活動実績を知る大きなツールとして有用です。発刊当初は各施設で書式が統一されておらず、さらに年報作成を行っていない施設もありました。納委員長を中心に慈愛会年報作成委員会のメンバーで集まり（一部オンライン）協議を重ね、充実した法人年報の作成が可能となりました。目指すは年報の充実ではなく、法人全体の活動の充実・発展であり、それらを実践するための情報共有であります。慈愛会においては大きな施設のハードの整備は一段落して、次はインテグレーションの時期に入っております。今年度の第5号の年報もコロナ禍で活動制限の中、慈愛会として成し遂げた多くの活動実績が網羅され素晴らしい年報が完成しました。多くの職員が閲覧し、情報共有していただければ幸いに存じます。

慈愛会年報作成委員会

委員長 納 光弘（公益財団法人慈愛会 会長）

副委員長 宇都宮 與（公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長 兼 臨床研究センター長）

委員 鈴木 大輔（今村総合病院）、細川 貴子（いづろ今村病院）、松山 匡博（谷山病院）、白原 弘紀（奄美病院）  
芳 あずさ（徳之島病院）、高橋 千秋（愛と結の街）、濱下 千浪（鹿児島中央看護専門学校）  
黒瀬 寛（高麗町クリニック）、内田 良慶・中馬 敦志・瀬涯 里花（法人事業本部）

---

## 公益財団法人慈愛会 年報

— 第5号 —

発行日 2021年7月  
発行者 今村 英仁  
発行所 公益財団法人慈愛会  
鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号  
TEL 099(256)0311  
編集 慈愛会年報作成委員会  
制作・印刷 株式会社イースト朝日  
鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7  
TEL 099(266)5522

---

医療の原点は慈愛にあり